ヤシャルの書



第 1 章

1 神は言われた。「我々の形に、我々に似せて人を造ろう。」そして神は、ご自身の形に人を創造された。
2 神は土から人を形造り、その鼻に命の息を吹き込まれた。こうして人は生きた魂となり、言葉を話せるようになった。
3 主は言われた、「人が独りでいるのは良くない。わたしは彼にふさわしい助け手を作ろう。」
4 主はアダムを深い眠りに落とされたので、アダムは眠りについた。主はアダムのあばら骨の一つを取り、その上に肉を造り、形を整えてアダムのもとに持って来られた。アダムが眠りから覚めると、見よ、一人の女が彼の前に立っていた。
5 彼は言った、「これは私の骨の骨だ。これは男から取られたものだから、女と呼ばれるだろう。」アダムは彼女の名をエバと名付けた。彼女はすべての生きている者の母となった。
6 神は彼らを創造した日に彼らを祝福し、アダムとエバと名付けた。主なる神は言われた、「子を産み、増え、地に満ちよ。」
7 主なる神はアダムとその妻を連れてエデンの園に置き、そこを耕し、守らせた。そして彼らに命じて言われた。「園のどの木の実も食べてよい。しかし、善悪を知る木の実だけは食べてはならない。それを食べる日には、必ず死ぬからだ。」
8 神は彼らを祝福し、命じた後、彼らのもとを去られた。アダムとその妻は、主が命じられたとおりに園に住んだ。
9 そして、神が地上で彼らと共に創造された蛇が彼らのところに来て、神が彼らに命じられた戒めを破るように彼らを唆した。
10 蛇は女を誘惑して、知恵の木の実を食べるように説得した。女は蛇の声に聞き従い、神の言葉に背き、善悪の知識の木の実を取って食べ、また夫にも取って与えたので、夫も食べた。
11 アダムとその妻は、神が彼らに命じた戒めを破った。神はそれを知って、彼らに対して怒りを燃やし、彼らを呪った。
12 その日、主なる神は彼らをエデンの園から追い出し、彼らが取られた土地を耕作させた。彼らはエデンの園の東の方に住み、アダムは妻エバを知り、彼女は二人の息子と三人の娘を産んだ。
13 彼女は長男をカインと名付け、「わたしは主から一人の男を得た」と言い、次男をアベルと名付けた。彼女は「わたしたちはむなしく地上に来た。むなしく地上から去る」と言った。
14 少年たちは成長し、父は彼らにその土地の所有地を与えた。カインは農夫となり、アベルは羊飼いとなった。
15 そして数年後、彼らは主にそれに近い供え物をささげた。カインは地の産物から、アベルは自分の羊の初子からその脂肪をささげた。すると神はアベルとその供え物に心を向け、主から天から火が下ってきてそれを焼き尽くした。
16 しかし、主はカインとその供え物に目を向けず、それを受け入れられなかった。カインが地の劣った産物を主の前に持って来たからである。このことでカインは弟アベルに嫉妬し、彼を殺す口実を探した。
17 それからしばらくして、カインとその兄弟アベルは、ある日、畑に仕事をしに行った。二人は畑にいて、カインは自分の畑を耕し、アベルは羊の群れを飼っていた。羊の群れがカインが耕した畑を通り過ぎたので、カインはひどく悲しんだ。
18 カインは怒って弟アベルに近づき、彼に言った。「お前と私の間に何の恨みがあるのか。なぜお前は私の土地に住み、羊の群れを連れてきて飼うのか。」
19 アベルは兄カインに答えて言った。「わたしとあなたの間に何の問題があるというのか。あなたがわたしの羊の肉を食べ、その羊毛で身を包むとは。」
20 それゆえ、今、あなたが身にまとっている私の羊の毛を脱ぎ捨て、あなたが食べた羊の実と肉の代償を私に払いなさい。あなたがこれをしたら、私はあなたが言ったとおり、あなたの地から去ろう。
21 カインは弟のアベルに言った。「もし今日、私があなたを殺したら、誰があなたの血を私に求めるだろうか。
22 アベルはカインに答えて言った。「確かに、地上で私たちを造られた神は、私の訴えを必ず解決し、もしあなたが私を殺すならば、私の血をあなたに求めるでしょう。主は裁き主であり、仲裁者であられるからです。主は、人の悪行に応じて報い、悪人をその地上で行う悪行に応じて報いる方です。」
23 そして今、もしあなたがここで私を殺すなら、神はあなたの隠された考えを知っておられ、あなたが今日私にしようと宣言した悪事のためにあなたを裁かれるでしょう。
24 カインは弟アベルの言葉を聞いたとき、見よ、カインは弟アベルがこのことを告げたために怒りを燃やした。
25 カインは急いで立ち上がり、耕具の鉄の部分を取り、それで突然弟を打ち殺した。カインは弟アベルの血を地に流し、アベルの血は羊の群れの前で地に流れ出た。
26 その後、カインは弟を殺したことを悔い改め、ひどく悲しみ、弟のために泣き、非常に苦しんだ。
27 カインは立ち上がり、野原に穴を掘り、そこに弟の遺体を入れ、土をかぶせた。
28 主はカインが弟にしたことをご存じで、カインに現れて言われた。「あなたと共にいたあなたの弟アベルはどこにいるのか。」
29 カインは偽って言った。「私は知りません。私は弟の番人でしょうか。」主は彼に言われた。「お前は何をしたのか。お前が弟を殺した地から、弟の血の声が私に叫んでいる。」

30 あなたは兄弟を殺し、私の前で偽り、私があなたを見ていない、あなたの行いをすべて知らないと心の中で思い込んでいた。
31 しかし、あなたはこのようなことを行い、弟があなたに正しく語ったというだけの理由で、むなしく弟を殺した。それゆえ、今、あなたの手から弟の血を受け入れるために口を開いた地、そしてあなたが弟を埋葬した地から、あなたは呪われる。
32 あなたがそれを耕しても、それはもはや初めのようにあなたに力を与えない。なぜなら、地はいばらとあざみを生じさせ、あなたは死ぬ日まで地上をさまよい歩くことになるからである。
33 その時、カインは主の前から、自分がいた場所から出て行き、彼と彼に属するすべての者は、エデンの東の地をさまよい歩いた。
34 その頃、カインは妻を知り、妻は身ごもって男の子を産んだ。カインはその子をエノクと名付け、「その時、主は地上で彼に安息と平和を与え始めた」と言った。
35 その頃、カインも町を建て始めた。彼はその町を建て、息子の名にちなんでエノクと名付けた。その頃、主は彼に地上での安息を与えられ、彼は初めのようにさまよい歩くことはなかった。
36 イラドはエノクの子として生まれ、イラドはメクヤエルを生み、メクヤエルはメトサエルを生んだ。

第 2 章

1 アダムが地上に生きて百三十年目に、彼は再び妻エバを知り、彼女は身ごもって、彼に似せて、彼の姿に似た男の子を産んだ。彼女はその子をセツと名付け、「カインがアベルを殺したので、神は私にアベルの代わりに別の種を与えてくださった」と言った。
2 セツは百五歳になり、息子をもうけた。セツはその息子をエノシュと名付けた。それは、その頃、人の子らが増え始め、神に背き、反逆することによって、彼らの魂と心を苦しめていたからである。
3 エノシュの時代に、人の子らは神に反逆し、罪を犯し続け、主の怒りを人の子らに対して増し加えた。
4 人の子らは行って、他の神々に仕え、地上に彼らを創造された主を忘れた。その頃、人の子らは青銅や鉄、木や石で像を作り、ひれ伏して仕えた。
5 すると、人はそれぞれ自分の神を造り、それにひれ伏した。エノシュとその子孫の治世の間、人は主を捨て去った。そして、彼らが地上で行った行いと忌まわしい行いのために、主の怒りが燃え上がった。
6 主はギホン川の水を彼らに押し寄せさせ、彼らを滅ぼし尽くし、地の三分の一を滅ぼした。それにもかかわらず、人の子らは悪の道から立ち返らず、主の御前で悪を行うために手を伸ばし続けた。
7 その頃は、地には種まきも収穫もなく、人の子らには食べ物がなく、その頃は飢饉が非常に大きかった。
8 その時代に彼らが地に蒔いた種は、いばら、あざみ、いばらとなった。アダムの時代から、神が地を呪われたという宣告があった。それは、アダムが主の前で犯した罪のゆえに、神が地を呪われたのである。
9 人々が神に反逆し、罪を犯し、その行いを堕落させ続けたとき、地もまた堕落した。
10 エノシュは九十歳になり、カイナンを生んだ。
11 カイナンは成長して 40 歳になり、知恵に富み、あらゆる知恵に精通し、すべての人々を治め、人々を知恵と知識へと導いた。カイナンは非常に賢い人で、あらゆる知恵を理解しており、その知恵によって霊や悪霊を支配した。
12 カイナンは知恵によって、神が地上で罪を犯したために人を滅ぼし、主が終わりの日に洪水を彼らにもたらすことを知っていた。
13 その頃、カイナンは将来起こることを石板に書き記し、それを自分の宝物庫にしまった。
14 カイナンは全地を支配し、人の子らのうち何人かを神に仕える者とした。
15 カイナンが七十歳になったとき、彼は三人の息子と二人の娘をもうけた。
16 これらはカイナンの子らの名である。長男はマハラレル、次男はエナン、三男はメレド、姉妹はアダとジラであった。これらはカイナンに生まれた五人の子である。
17 メトサエルの子ラメクは、結婚によってカイナンと親戚関係になり、カイナンの二人の娘を妻として迎えた。アダは身ごもってラメクとの間に息子を産み、その子をヤバルと名付けた。
18 そして彼女は再び身ごもり、男の子を産み、その子をジュバルと名付けた。その頃、彼女の妹のジッラは不妊で、子供がいなかった。
19 その頃、人の子らは神に背き、アダムに命じられた「地で子を産み、増えよ」という戒めを破り始めた。
20 また、人の息子たちの中には、妻たちが体型を保ち、美しい容姿が衰えないように、不妊になるような薬を飲ませる者もいた。
21 人の息子たちが妻たちに酒を飲ませたとき、ジラも彼らと一緒に飲んだ。
22 夫が生きている間は、子を産む女は未亡人として夫の目には忌まわしいものに見えた。なぜなら、子を産まない女だけが夫に愛されていたからである。
23 そして、終わりの日と年月が過ぎ、ジラが年老いたとき、主は彼女の胎を開かれた。
24 彼女は身ごもって男の子を産み、その子をトゥバル・カインと名付けて言った。「私が衰え果てた後、全能の神からこの子を授かったのです。」
25 そして彼女は再び身ごもり、娘を産んだ。そして彼女はその子をナアマと名付けた。なぜなら彼女は、「私が衰え果てた後、喜びと楽しみを得た」と言ったからである。
26 ラメクは年老いて目がかすんで見えなくなっていた。息子のトバル・カインが彼を先導していた。ある日、ラメクは野原に出かけ、息子のトバル・カインも一緒だった。彼らが野原を歩いていると、アダムの

子カインが彼らの方へ近づいてきた。ラメクは非常に年老いて目がほとんど見えなくなっていたが、息子のトバル･カインは非常に若かった。
27 するとトバル･カインは父に弓を引くように言い、父は矢でまだ遠くにいたカインを射て殺した。カインは彼らには獣のように見えたからである。
28 矢はカインの体に入り込んだが、カインは矢から遠く離れていた。そして彼は地に倒れて死んだ。
29 主は、カインが弟アベルに対して行った悪行に応じて、カインの悪行に報復された。それは、主が語られた言葉どおりであった。
30 カインが死んだとき、ラメクとトバルは自分たちが殺した動物を見に行った。すると、見よ、彼らの祖父カインが地に倒れて死んでいた。
31 ラメクは自分がしたことに非常に悲しみ、手を叩いて息子を打ち、死なせてしまった。
32 ラメクの妻たちはラメクの行いを聞き、彼を殺そうと企てた。
33 ラメクの妻たちは、彼がカインとトバル･カインを殺したその日から彼を憎み、ラメクの妻たちは彼から離れ、その日々の間、彼の言うことを聞かなかった。
34 ラメクは妻たちのところへ行き、この件について自分の話を聞くように強く勧めた。
35 彼は妻のアダとジラに言った。「ラメクの妻たちよ、私の声を聞きなさい。私の言葉に耳を傾けなさい。あなたがたは、私が何の罪も犯していないのに、傷によって人を殺し、鞭で子供を殺したと想像して言ったが、私が年老いて白髪になり、老齢のために目が重くなっていることをよく知ってほしい。私は知らずにこのことをしたのだ。」
36 ラメクの妻たちはこの件に関して彼の言うことを聞き、父アダムの助言を持って彼のところへ戻ったが、それ以来、彼に子供を産まなかった。それは、その頃、神の怒りが人の子らに対して増し、彼らの悪行のために洪水の水で彼らを滅ぼそうとしていることを知っていたからである。
37 カイナンの子マハラレルは六十五歳でヤレドを生み、ヤレドは六十２歳でエノクを生んだ。

第 3 章

1 エノクは六十五歳でメトセラを生んだ。エノクはメトセラを生んだ後、神と共に歩み、主にお仕えし、人の悪しき行いを軽蔑した。
2 エノクの魂は主の教えと知識と理解に包まれ、彼は賢明にも人から離れ、長い間彼らから身を隠した。
3 そして、何年も経って、彼が主にお仕えし、家で主の前で祈っていたとき、主の天使が天から彼に呼びかけたので、彼は「はい、ここにいます」と答えた。
4 彼は言った、「立ち上がって、あなたの家から、そしてあなたが身を隠している場所から出て、人の子らに現れ、彼らが進むべき道と、神の道に入るために成し遂げなければならない業を教えなさい。」
5 エノクは主の言葉に従って立ち上がり、自分の家、自分の場所、隠れていた部屋から出て行き、人の子らのところへ行って、彼らに主の道を教え、その時、人の子らを集めて、主の教えを彼らに知らせた。
6 彼は人の子らが住むすべての場所でこれを布告するように命じて言った。「主の道と善行を知りたい人はどこにいるのか。エノクのところに来なさい。」
7 すると、すべての人がエノクのもとに集まった。このことを望む者は皆エノクのもとへ行き、エノクは主の言葉に従って人の子らを治めた。人々はエノクのもとへ来てひれ伏し、彼の言葉を聞いた。
8 神の霊がエノクの上に臨み、彼は自分の部下すべてに神の知恵と道を教えた。人の子らはエノクの生涯の間ずっと主に仕え、彼の知恵を聞きに来た。
9 人の子らの王は、初めから終わりまで、その君主や裁判官と共に、エノクの知恵を聞いて彼のところにやって来て、彼にひれ伏し、またエノクに自分たちの上に君臨するよう求めた。エノクはこれに同意した。
10 そして彼らは総勢 130 人の王や君主を集め、エノクを彼らの王とし、彼らは皆彼の権力と支配下に置かれた。
11 エノクは彼らに知恵と知識と主の道を教え、彼らの間に平和をもたらした。エノクの生涯の間、地上には平和が満ちていた。
12 エノクは人の子らを 243 年間統治し、民すべてに対して正義と義を行い、彼らを主の道に導いた。
13 これはエノク、メトセラ、エリシャ、エリメレクという三人の息子たちの系図である。彼らの姉妹はメルカとナフマであった。メトセラは八十七歳でラメクをもうけた。
14 アダムが死んだのは、ラメクの生涯の 56 年目のことであった。彼は 930 歳で死んだ。彼の２人の息子と、エノクと息子のメトセラは、神が彼に告げた洞窟に、王の葬りのように盛大に彼を葬った。
15 そしてその場所で、人は皆アダムのことで大いに嘆き悲しんだ。それゆえ、それは今日まで人の間で習慣となっている。
16 アダムは知恵の木の実を食べたために死んだ。主なる神が言われたとおり、彼とその子孫も死んだ。
17 アダムが死んだ年、すなわちエノクの治世の２４３年目に、エノクは人の子らから身を離し、最初にしたように身を隠して主にお仕えすることを決意した。
18 エノクはそのようにしたが、完全に彼らから身を隠したわけではなく、三日間人から離れ、それから一日彼らのところへ行った。
19 彼は自分の部屋にいた三日間、主なる神に祈り、賛美した。そして、彼が行って臣民たちの前に現れた日には、彼らに主の道を教え、彼らが主について尋ねたことはすべて彼らに答えた。
20 彼はこのようにして何年も過ごし、その後、6 日間姿を隠し、7 日に 1 日だけ民の前に姿を現しました。その後は月に 1 回、そして年に 1 回と、すべての王、

王子、そして人々が彼を探し求め、再びエノクの顔を見て、彼の言葉を聞きたいと願いました。しかし、すべての人々はエノクを非常に恐れており、彼の顔に宿る神のような畏怖のために近づくことを恐れていたので、それはできませんでした。そのため、罰せられて死ぬことを恐れて、誰も彼を見ることができなかったのです。
21 そして、すべての王と君主は、エノクが彼らの前に現れる時に皆で彼に話しかけることができると考え、人の子らを集めてエノクのところに来ることを決意し、そのようにした。
22 エノクが出かける日が来て、皆が集まって彼のもとに来た。エノクは彼らに主の言葉を語り、知恵と知識を教えた。彼らは彼の前にひれ伏し、「王よ、生きよ！王よ、生きよ！」と言った。
23 その後しばらくして、王や君主、人の子らがエノクに語りかけ、エノクが彼らに神の道を教えていたとき、見よ、主の天使が天からエノクを呼び、彼を天に昇らせて、地上で人の子らを統治したように、そこで神の子らを統治させようとした。
24 その時、エノクはこれを聞いて、地上のすべての住民を集め、彼らに知恵と知識を教え、神の指示を与え、彼らに言った。「私は天に昇らなければならないので、いつ天に昇るかはわかりません。」
25 そこで今、わたしはあなたがたに知恵と知識を教え、あなたがたを去る前に、地上でどのように生きるべきかを教えよう。そして、イエスはそのようにされた。
26 そしてイエスは彼らに知恵と知識を教え、訓戒を与え、戒め、地上で行うべき律法と裁きを彼らの前に示し、彼らの間に平和をもたらし、永遠の命を教え、しばらくの間彼らと共に住み、これらのことをすべて教えた。
27 その時、人の子らはエノクと共にいて、エノクが彼らに話していると、彼らが目を上げると、大きな馬の姿が天から降りてきて、その馬は空中を歩いた。
28 彼らは自分たちが見たことをエノクに告げた。エノクは彼らに言った。「この馬が地上に降りてくるのは私のためだ。私があなたたちから去り、もうあなたたちには見られなくなる時が来たのだ。」
29 すると、馬はその時降りてきてエノクの前に立ち、エノクと共にいたすべての人間はそれを見た。
30 そこでエノクは再び声を上げてこう告げさせた。「主なる神の道を知りたいと願う者はどこにいるのか。今日、エノクのもとに来なさい。さもないと、彼は私たちから連れ去られてしまう。」
31 その日、すべての人がエノクのもとに集まり、地上のすべての王とその君主や顧問官もその日彼と共に留まった。エノクは人々に知恵と知識を教え、神の教えを与え、生涯を通して主に仕え、主の道に従って歩むように命じ、彼らの間に平和をもたらし続けた。
32 その後、イエスは立ち上がり、馬に乗って出発された。すると、約 80 万人の人が皆イエスの後について行き、イエスと共に一日の道のりを進んだ。
33 二日目に彼は彼らに言った、「なぜテントに帰りたいのですか。死ぬかもしれません。」すると、彼らのうち何人かは彼のもとを去り、残った者たちは彼と共に六日間の旅をしました。エノクは毎日彼らに、「死ぬかもしれないので、テントに帰りなさい」と言いましたが、彼らは帰りたがらず、彼と共に行きました。
34 六日目に、何人かの人が残ってイエスにすがりつき、イエスに言った。「あなたが行かれる所へ、私たちも一緒に行きます。主は生きておられる。死だけが私たちを分かつでしょう。」
35 彼らはイエスに同行するようにしつこく勧めたので、イエスは彼らに話しかけるのをやめ、彼らはイエスの後について行き、戻ってこなかった。
36 王たちが戻ってくると、エノクと共に旅をした残りの人々の数を知るために人口調査を行った。そして七日目に、エノクは旋風に乗って火の馬と戦車と共に天に昇った。
37 そして八日目に、エノクと共にいたすべての王たちは、エノクが天に昇った場所から、エノクと共にいた者たちを連れ戻すために人を遣わした。
38 すると、王たちは皆その場所へ行ってみると、そこは雪で覆われており、雪の上には大きな雪の石が転がっていた。そこで、王たちは互いに言った。「さあ、雪を割って見てみよう。エノクと共に残っていた者たちは死んで、雪の石の下に埋まっているかもしれない。」そして彼らは探したが、エノクを見つけることはできなかった。彼は天に昇っていたからである。

第 4 章

1 エノクが地上に生きた日は、365 年であった。
2 エノクが天に昇ると、地上のすべての王たちは立ち上がり、彼の息子メトセラを連れてきて、彼に油を注ぎ、父に代わって彼らを治めるようにした。
3 メトセラは父エノクが教えたとおり、神の御前で正しく行動し、生涯を通じて人々に知恵と知識と神への畏れを教え、右にも左にも正しい道から逸れることはなかった。
4 しかし、メトセラの末の時代に、人の子らは主から離れ、地を堕落させ、互いに略奪し、神に反逆し、罪を犯し、道を堕落させ、メトセラの声に耳を傾けず、彼に反逆した。
5 すると主は彼らに対して非常に怒り、その日々の間、主は種を滅ぼし続けられたので、地には種まきも収穫もなかった。
6 彼らが生活を支えるための食物を得ようとして地に種を蒔いたところ、見よ、彼らが蒔いていないいばらやあざみが生えた。

7 それでも人の子らは悪の道から立ち返らず、神の目に悪を行うために手を伸ばし続け、悪の道で主を怒らせた。主は激しく怒り、人を造ったことを悔いた。
8 彼は彼らを滅ぼし尽くそうと考え、そのようにした。
9 その頃、メトセラの子ラメクが百六十歳になったとき、アダムの子セツが死んだ。
10 セツの生涯は九百十二年で、彼は死んだ。
11 ラメクは 180 歳のとき、叔父エノクの子エリシャの娘アシュムアを妻に迎え、彼女は身ごもった。
12 その時、人の子らは地に種を蒔き、わずかな食物が収穫されたが、人の子らは悪の道から立ち返らず、神に背き、反逆した。
13 ラメクの妻は、その年の初めに身ごもり、彼に息子を産んだ。
14 メトセラは彼の名をノアと名付け、「彼の時代には地は平和で、腐敗から解放されていた」と言った。彼の父ラメクは彼の名をメナヘムと名付け、「この者は、神が呪ったこの地での私たちの仕事と惨めな労苦において、私たちを慰めてくれるだろう」と言った。
15 そしてその子は成長して乳離れし、父メトセラの歩んだ道を歩み、神に対して完全で正しい者となった。
16 その頃、人は皆、地上に息子や娘を増やし、主の道から離れ、互いに悪事を教え合い、主に対して罪を犯し続けた。
17 そして、人は皆、自分を神とし、隣人や親族から奪い、略奪し、地を堕落させ、地は暴力で満ちた。
18 そして、彼らの裁判官や支配者たちは人の娘たちのところへ行き、自分たちの好みに従って、力ずくで夫から妻を奪い取った。また、その時代の人の子らは、地上の家畜、野の獣、空の鳥から動物を選び、主を怒らせるために、異なる種類の動物を交配するように教えた。神は全地をご覧になったが、それは堕落していた。地上のすべての生き物、すべての人間とすべての動物が、その行いを堕落させていたからである。
19 主は言われた、「わたしは、わたしが創造した人間を地の面から滅ぼし尽くす。人から空の鳥、野の家畜や獣に至るまで、わたしは彼らを造ったことを悔いているからだ。」
20 そして、主の道に従って歩んだ人々は皆、主が告げられた災いを人に下される前に、その時代に死んだ。これは主からのことで、主が人の子らについて語られた災いを彼らが見ないようにするためであった。
21 ノアは主の目に恵みを得た。主は彼とその子孫を選び、彼らから全地の面に子孫を起こさせた。

第 5 章

1 ノアの生涯の 84 年目に、セツの子エノクは死んだ。彼は 905 歳であった。
2 ノアの生涯の 179 年目に、エノシュの子カイナンが死んだ。カイナンの生涯は 910 年であった。そして彼は死んだ。
3 ノアの生涯の２３４年目に、カイナンの子マハラレルが死んだ。マハラレルの生涯は８百９５年で、彼は死んだ。
4 その頃、ノアの生涯の 336 年目に、マハラレルの子ヤレドが死んだ。ヤレドの生涯は 962 年であった。
5 そして、主に従った者たちは皆、神が地上に下そうと宣言された災いを見る前に、その時代に死んだ。
6 そして、多くの年月が過ぎ、ノアの生涯の四百八十年目に、主に従った人々は皆、人の子らの中から死に絶え、メトセラだけが残されたとき、神はノアとメトセラに言われた。
7 語り、人の子らに告げよ。「主はこう言われる。悪の道から立ち返り、行いを捨てよ。そうすれば、主はあなたがたに下すと宣言された災いを思い直し、それは起こらないであろう。」
8 主はこう言われる。「見よ、わたしはあなたがたに百二十年の期間を与える。もしあなたがたがわたしに立ち返り、悪の道を捨てるならば、わたしもあなたがたに告げた悪から離れ、それはなくなるであろう」と主は言われる。
9 そしてノアとメトセラは、主のすべての言葉を人々に語り、毎日絶えず彼らに語りかけた。
10 しかし、人の子らは彼らの言うことに耳を傾けず、彼らの言葉に耳を澄ませようともせず、頑固であった。
11 そして主は彼らに 120 年の猶予を与えて言われた。「もし彼らが立ち返るならば、神は災いを思い直し、地を滅ぼさないであろう。」
12 ラメクの子ノアは、その頃、子をもうけるために妻をめとることを控えた。彼は言った。「まことに今、神は地を滅ぼされる。その時、どうして子をもうける必要があるだろうか。」
13 ノアは正しい人であり、その世代において完全な人であった。主は彼を選び、彼の子孫から地上に子孫を起こさせた。
14 主はノアに言われた、「妻をめとり、子をもうけなさい。わたしはこの世代の中で、あなたがわたしの前に正しい者と認められたからだ。」
15 あなたは地の真ん中で子孫を増やし、あなたの子供たちを共に育てなさい。ノアは行って妻をめとった。彼はエノクの娘ナアマを選んだ。彼女は 580 歳であった。
16 ノアがナアマを妻として迎えたのは、彼が 498 歳のときであった。
17 ナアマは身ごもって男の子を産み、ヤペテと名付けて、「神は私を地上で大きくされた」と言った。彼女は再び身ごもって男の子を産み、セムと名付けて、「神は私を残りの民とし、地の真ん中で子孫を起こさせる」と言った。

18 ノアが 502 歳のとき、ナアマはセムを産んだ。息子たちは成長し、父メトセラとノアが教えたすべてのことに従って、主の道を歩んだ。
19 その頃、ノアの父ラメクは死んだ。しかし、彼は父の道に心から従わなかったため、ノアの生涯の百九十五年に死んだ。
20 ラメクの生涯は七百七十年で、彼は死んだ。
21 そして、主を知っていた人は皆、主が彼らに災いを下される前にその年に死んだ。主は、神が彼らの兄弟や親族に下すと宣言された災いを彼らが見ないように、彼らが死ぬことを望まれたのである。
22 その時、主はノアとメトセラに言われた。「前に出て、わたしがその日々にあなたたちに語ったすべての言葉を人の子らに告げなさい。そうすれば、彼らは悪の道から立ち返り、わたしは災いを思い直して、それをもたらさないであろう。」
23 ノアとメトセラは前に出て、神が彼らについて語られたすべてのことを人の子らに告げた。
24 しかし、人の子らは耳を傾けようとせず、彼らのすべての言葉に耳を澄ませようとしなかった。
25 その後、主はノアに言われた。「すべての肉なるものの終わりが、彼らの悪行のゆえに、わたしの前に来た。見よ、わたしは地を滅ぼす。」
26 あなたはゴフェルの木を取り、ある場所へ行き、大きな箱舟を作り、それをその場所に置きなさい。
27 あなたはそれをこのように造る。長さは三百キュビト、幅は五十キュビト、高さは三十キュビトとする。
28 あなたは自分のために、側面が開いた扉を作り、上部を 1 キュビトの高さまで仕上げ、内側と外側を瀝青で覆いなさい。
29 見よ、わたしは地上に洪水をもたらす。すべての肉なるものは滅び、天の下の地上にあるすべてのものは滅びる。
30 あなたとあなたの家族は行って、あらゆる生き物の中から雄と雌のつがいを二組ずつ集め、それを箱舟に連れて行き、地上でそれらから子孫を育てなさい。
31 そして、すべての動物が食べる食物をすべて集めて、あなたと彼らのための食物としなさい。
32 あなたは、人の娘の中から、あなたの息子たちのために三人の乙女を選び、彼女たちをあなたの息子たちの妻としなければならない。
33 ノアは立ち上がり、神が命じられた場所で箱舟を造り、ノアは神の命令どおりに行動した。
34 ノアは五百九十五年目に箱舟を作り始め、主が命じられたとおり、五年で箱舟を完成させた。
35 そこでノアは、主がノアに命じられたとおり、メトセラの子エリアキムの三人の娘を息子たちの妻として娶った。
36 その時、エノクの子メトセラが死んだ。彼は九百六十歳であった。

第 6 章

1 その時、メトセラが死んだ後、主はノアに言われた。「あなたとあなたの家族は箱舟に入りなさい。見よ、わたしは地上のすべての動物、野の獣、空の鳥をあなたのところに集め、それらは皆来て箱舟を取り囲むであろう。」
2 あなたは行って箱舟の扉のそばに座りなさい。すると、すべての獣、動物、鳥が集まってあなたの前に立つでしょう。あなたの前に来てひざまずくものはすべて、あなたの息子たちの手に渡して箱舟に連れて行きなさい。あなたの前に立つものはすべて、そのままにしておきなさい。
3 すると主は翌日、このことを起こされた。すると、動物、獣、鳥が大群でやって来て、箱舟を取り囲んだ。
4 ノアは行って箱舟の戸口に座り、彼の前にひざまずくすべての生き物を箱舟の中に入れ、彼の前に立つ生き物はすべて地上に残した。
5 すると、雌ライオンが雄と雌の二匹の子を連れてやって来て、三匹はノアの前にひれ伏した。すると二匹の子ライオンが雌ライオンに襲いかかり、雌ライオンを打ち、その場所から逃げ去らせた。雌ライオンは去り、彼らは元の場所に戻り、ノアの前にひれ伏した。
6 すると雌ライオンは逃げ出し、雄ライオンたちのところに立ちました。
7 ノアはこれを見て、大変驚き、立ち上がって二匹の子犬をつかみ、箱舟の中に入れた。
8 ノアは地上にいたすべての生き物を箱舟に運び入れたので、ノアが箱舟に運び入れなかった生き物は一匹も残らなかった。
9 2 匹ずつノアの箱舟にやって来たが、清い動物と清い鳥の中から、神が命じられたとおり、7 組のつがいを連れてきた。
10 そして、すべての動物、獣、鳥はまだそこにいて、あらゆる所で箱舟を取り囲んでいた。そして、七日後まで雨は降らなかった。
11 その日、主は全地を揺るがし、太陽は暗くなり、世界の基は激しく揺れ動き、全地は激しく動いた。稲妻が閃き、雷鳴が轟き、地上のすべての泉が、かつて住民が知らなかったような形で決壊した。神は、人の子らを恐れさせ、地上にもはや悪がなくなるように、この偉大な業を行った。
12 それでもなお、人の子らは悪の道から立ち返ろうとせず、その時主の怒りを増し加え、これらのことすべてに心を向けようともしなかった。
13 そして七日後、ノアの生涯の六百年目に、洪水が地上に起こった。
14 すると、深淵の泉はすべて破れ、天の窓が開かれ、四十日四十夜、地上に雨が降り続いた。
15 ノアとその家族、そして彼と共にいたすべての生き物は、洪水の水のために箱舟の中に入り、主は彼をその中に閉じ込めた。

16 そして、地上に残されたすべての人々は、雨のために災いによって疲れ果てた。水はますます激しく地上に降り注ぎ、動物や獣はなおも箱舟を取り囲んでいた。
17 人の子らは集まって、およそ七十万人の男女がノアの箱舟にやって来た。
18 彼らはノアに呼びかけて言った、「箱舟を開けてください。そうすれば私たちはあなたのところへ行けます。私たちはなぜ死ななければならないのですか？」
19 するとノアは箱舟の中から大声で彼らに答えて言った。「あなたがたは皆、主に逆らい、主は存在しないと言ったのではないか。それで主はあなたがたを滅ぼし、地の面から断ち切るために、この災いを下されたのだ。」
20 これは、私が 120 年前にあなた方に話したことではないか。あなた方は主の声に耳を傾けようとしなかったのに、今になって地上に生きたいと願うのか。
21 彼らはノアに言った。「私たちは主のもとに帰る準備ができています。どうか私たちに門を開けてください。そうすれば私たちは生き、死ぬことはありません。」
22 するとノアは彼らに答えて言った。「あなたがたは今、自分の魂の苦しみを見て、主のもとに立ち返りたいと願っている。主が定めた期間として与えたこの百二十年の間に、なぜ立ち返らなかったのか。」
23 しかし、あなたがたは今、心の苦しみから来て、このことを私に告げるが、主はあなたがたの言うことを聞かず、今日、あなたがたの願いに耳を傾けない。だから、あなたがたの願いは叶わない。
24 人の子らは、雨が降っていたので、箱舟に押し入って中に入ろうと近づいた。彼らは雨に耐えられなかったからである。
25 すると主は箱舟の周りにいたすべての獣と動物を遣わされた。獣は彼らを圧倒し、その場所から追い払った。人々はそれぞれ自分の道へ行き、再び地上に散らばった。
26 雨は地上に降り続け、四十日四十夜降り続いた。水は地上に溢れ、地上や水中にいたすべての生き物、すなわち人間、動物、獣、這うもの、空の鳥は死に絶えた。そして、ノアと彼と共に箱舟にいた者たちだけが生き残った。
27 水は勢いを増し、地上に非常に多く溢れ出し、箱舟を持ち上げ、箱舟は地上から持ち上げられた。
28 箱舟は水面に浮かび、水面に揺さぶられたので、箱舟の中にいた生き物は皆、大釜の中の煮物のようにひっくり返された。
29 すると、箱舟の中にいたすべての生き物はひどく不安になり、箱舟は壊れそうになった。
30 すると、箱舟の中にいたすべての生き物は恐れおののき、獅子は吠え、牛はうなり声を上げ、狼は遠吠えをした。箱舟の中のすべての生き物は、それぞれの言葉で話し、嘆き悲しんだので、その声は遠くまで響き渡った。ノアと息子たちは苦難の中で泣き叫び、死の門にたどり着いたのではないかと大いに恐れた。
31 ノアは主に祈り、このことで主に叫び求め、こう言った。「主よ、私たちをお助けください。私たちには、私たちを取り囲んだこの災難に耐える力がありません。水の波が私たちを取り囲み、悪意に満ちた激流が私たちを恐れさせ、死の罠が私たちの前に迫っています。主よ、私たちに答えてください。私たちに答えてください。私たちに御顔を輝かせ、私たちに恵みを与え、私たちを贖い、私たちを救い出してください。」
32 主はノアの声に耳を傾け、主は彼を覚えておられた。
33 すると、風が地上を吹き抜け、水は静まり、箱舟は静止した。
34 そして、深淵の泉と天の窓は止まり、天からの雨は止んだ。
35 その日には水が減り、箱舟はアララト山に漂着した。
36 そこでノアは箱舟の窓を開け、その時もなお主に向かって叫び、言った。「主よ、あなたは地と天とその中にあるすべてのものを造られました。どうか、あなたが私たちを閉じ込めたこの牢獄から、私たちの魂を救い出してください。私はため息をついて疲れ果てています。」
37 主はノアの声を聞き入れ、彼に言われた。「あなたが一年を終えたら、出発しなさい。」
38 そして、年が巡り、ノアが箱舟に住んでから一年が経つと、地上の水は乾き、ノアは箱舟の覆いを脱ぎ捨てた。
39 その時、第二の月の二十七日には、地は乾いていたが、ノアとその息子たち、そして彼らと共にいた者たちは、主が告げるまで箱舟から出なかった。
40 そして主が彼らに出て行くように言われた日が来たので、彼らは皆箱舟から出て行った。
41 そして彼らはそれぞれ自分の道と場所へ帰っていった。ノアとその息子たちは神が彼らに告げた地に住み、生涯主にお仕えした。主はノアとその息子たちが箱舟から出た時に彼らを祝福された。
42 そしてイエスは彼らに言われた。「子を産み、全地に満ちよ。強くなり、地に満ち溢れ、そこで増えよ。」

第 7 章

1 ノアの子らの名はヤペテ、ハム、セムである。彼らは洪水前に妻をめとっていたので、洪水の後、彼らに子が生まれた。
2 これらはヤペテの子らである。ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、トバル、メシェク、ティラスの七人の子らである。
3 ゴメルの子らはアスキナズ、レファト、テガルマであった。
4 マゴグの子らはエリハナフとルバルであった。

5 マダイの子らは、アコン、ゼエロ、カゾニ、ロトであった。
6 ヤワンの子らはエリシャ、タルシシュ、キッティム、ドゥドニムであった。
7 トゥバルの息子たちはアリフィ、ケセド、タアリであった。
8 メシェクの子らはデドン、ザロン、シェバシュニであった。
9 ティラスの子らはベニブ、ゲラ、ルピリオン、ギラクであった。彼らはヤペテの子孫であり、その当時、彼らの数は約 460 人であった。
10 ハムの子らは、クシュ、ミツライム、プテ、カナンという 4 人である。クシュの子らはセバ、ハビラ、サブタ、ラーマ、サテカであり、ラーマの子らはシェバとデダンであった。
11 ミツライムの子らはルド、アノム、パトロス、ハスロート、チャフトルであった。
12 プテの子らはゲブル、ハダン、ベナ、アダンであった。
13 カナンの子らはジドン、ヘテ、アモリ、ゲルガシ、ヒビ、アルキー、セニ、アロディ、ジモディ、チャモティであった。
14 これらはハムの子孫であり、その氏族によって記されている。当時の彼らの数は約 730 人であった。
15 セムの子らは、エラム、アシュル、アルパクシャド、ルド、アラムの五人である。エラムの子らは、シュシャン、マクル、ハルモンであった。
16 アシャルの子はミロスとモキルであり、アルパクシャドの子はシェラク、アナール、アシュコルであった。
17 ルドの子はペトルとビザヨンで、アラムの子はウズ、チュル、ガバ、マシュであった。
18 これらはセムの子孫であり、その氏族によって分けられている。当時の彼らの数は約 300 人であった。
19 これはセムの系図である。セムはアルパクシャドを生み、アルパクシャドはシェラハを生み、シェラハはエベルを生んだ。エベルには二人の子が生まれ、そのうちの一人の名はペレグであった。彼の時代に人の子らは分かれ、終わりの日に地は分かれた。
20 第二の者の名はヨクタンで、それは彼の時代に人の子らの命が衰え、短くなったという意味である。
21 これらはヨクタンの子らである。アルモダド、シェラフ、ハザルモベト、イェラフ、ハドゥロム、オゼル、ディクラ、オバル、アビマエル、シェバ、オフィル、ハビラ、ヨバブ。これらはすべてヨクタンの子らである。
22 そしてペレグの兄弟はイェンを生み、イェンはセルグを生み、セルグはナホルを生み、ナホルはテラを生んだ。テラは 38 歳で、ハランとナホルを生んだ。
23 その頃、ノアの子ハムの子クシュは、老齢になって妻をめとり、彼女は息子を産んだ。人々はその子をニムロデと名付け、「その時、人の子らは再び神に反逆し、背き始めた」と言った。その子は成長し、父親は彼を非常に愛した。なぜなら、彼は父親の老齢の息子だったからである。
24 そして、アダムとその妻が園を出た時に神が彼らのために作った皮の衣は、クシュに与えられた。
25 アダムとその妻が死んだ後、その衣服はヤレドの子エノクに与えられ、エノクが神のもとに昇天したとき、彼はそれを自分の息子メトセラに与えた。
26 メトセラが死んだとき、ノアは彼らを連れて箱舟に入れ、ノアが箱舟から出るまで彼らはノアと共にいた。
27 そして、彼らが出かけるとき、ハムは父ノアからその衣服を盗み、兄弟たちに見えないように隠した。
28 ハムは長男クシュをもうけたとき、ひそかにその衣服をクシュに与え、その衣服はクシュと共に多くの日々を過ごした。
29 クシュはそれらを息子たちや兄弟たちにも隠しておき、ニムロデが生まれたとき、彼への愛情からそれらの衣服を与えた。ニムロデは成長し、20 歳になったときにそれらの衣服を着た。
30 ニムロデは衣を着ると強くなり、神は彼に力と強さを与えられた。彼は地上で力強い狩人となり、野原でも力強い狩人となった。彼は動物を狩り、祭壇を築き、その上で主の前に動物をささげた。
31 ニムロデは力を奮い立たせ、兄弟たちの中から立ち上がり、周囲のすべての敵に対して兄弟たちの戦いを戦った。
32 主は彼の兄弟たちの敵をすべて彼の手に渡され、神は彼の戦いにおいて度々彼を祝福し、彼は地上で統治した。
33 そこで、その時代には、戦いのために訓練した者たちを連れ出す人が、彼らにこう言うのが流行った。「地上で力強い狩人であったニムロデに神がなさったように、彼は兄弟たちとの戦いに勝利し、彼らを敵の手から救い出した。今日、神が私たちを強くし、私たちを救い出してくださいますように。」
34 ニムロデが 40 歳になったとき、彼の兄弟たちとヤペテの子孫たちの間に戦争が起こり、彼らは敵の支配下に置かれました。
35 その時、ニムロデは出陣し、クシュの息子たちとその家族全員、およそ 460 人を集め、また友人や知人からおよそ 80 人を雇い、彼らに報酬を与え、彼らと共に戦いに出かけた。道中、ニムロデは同行する民の心を強くした。
36 彼は彼らに言った、「恐れるな、不安になるな。我々の敵は皆我々の手に渡されるのだから、あなたがたは彼らを好きなようにしてよい。」
37 出陣した兵士は全部で約 500 人で、彼らは敵と戦い、彼らを打ち破り、征服した。そしてニムロデはそれぞれの場所に彼らの上に常駐の指揮官を置いた。
38 彼は彼らの子供たちの何人かを担保として連れて行き、彼らは皆ニムロデとその兄弟たちのしもべとなった。そしてニムロデと彼と共にいた人々は皆、故郷へ帰った。

39 ニムロデが敵を打ち破って戦いから喜び勇んで帰ってくると、彼の兄弟たちと、以前から彼を知っていた者たちが集まり、彼を王にしようとして、王冠を彼の頭にかぶせた。
40 そして彼は、王たちの慣習に従って、臣民と民の上に君主、裁判官、支配者を任命した。
41 彼はナホルの子テラを軍勢の長に任命し、彼をすべての長の上に高めた。
42 彼は自分の心の望み通りに統治し、周囲の敵をすべて征服した後、顧問たちに宮殿のための都市を建設するように助言し、彼らはそれを行った。
43 そして彼らは東の向かい側に大きな谷を見つけ、そこに大きくて広大な町を建てた。ニムロデはその町をシナルと名付けた。主が彼の敵を激しく揺さぶり、彼らを滅ぼされたからである。
44 ニムロデはシナルに住み、安泰に統治し、敵と戦って彼らを征服し、すべての戦いで勝利し、彼の王国は非常に大きくなった。
45 すべての国々と言語の人々は彼の名声を聞き、彼のもとに集まり、地にひれ伏し、彼に供え物を捧げた。彼は彼らの主であり王となり、彼らは皆シナルの町で彼と共に住んだ。ニムロデは地上でノアのすべての子孫を統治し、彼らは皆彼の力と助言の下にあった。
46 地上の人々は皆同じ言葉を話し、一致した言葉を話していたが、ニムロデは主の道に従わず、洪水の日からその日まで、彼より前のすべての人よりもさらに悪かった。
47 彼は木や石で神々を作り、それらにひれ伏し、主に反逆し、すべての臣民と地上の人々に自分の邪悪な行いを教えた。そして彼の息子マルドンは父よりもさらに邪悪であった。
48 ニムロデの子マルドンの行いを聞いた者は皆、彼について「悪人からは悪が出てくる」と言った。それゆえ、「悪人からは悪が出てくる」ということわざが全地に広まり、その時から今日まで人々の間で言い伝えられている。
49 ナホルの子テラは、ニムロデの軍勢の長であり、その頃、王と臣民の目に非常に高く評価され、王と高官たちは彼を愛し、彼を非常に高い地位に就かせた。
50 テラは妻をめとった。その名はコルネボの娘アムテロであった。その頃、テラの妻は身ごもり、テラに息子を産んだ。
51 テラは彼を生んだとき 70 歳であった。テラは生まれた息子をアブラムと名付けた。それは、王が当時彼を育て、王の側近であるすべての君主たちよりも彼を高くしたからである。

第 8 章

1 アブラムが生まれた夜、テラの家臣たちとニムロデの賢者たちと彼の魔術師たちが皆テラの家に集まり、そこで食事をし、酒を飲み、その夜アブラムと共に喜び祝った。
2 そして、賢者と魔術師たちが皆テラの家から出て行ったとき、その夜、彼らは目を上げて星を見上げた。すると、見よ、非常に大きな星が東から来て天を駆け巡り、天の四方から四つの星を飲み込んだ。
3 王の賢者たちと魔術師たちは皆その光景に驚き、賢者たちはこの事態を理解し、その意味を悟った。
4 彼らは互いに言った、「これは、今夜テラに生まれた子のしるしにすぎない。その子は成長して子孫を増やし、地のすべてを所有し、彼とその子孫は永遠にその地を所有するであろう。彼とその子孫は偉大な王たちを殺し、彼らの土地を相続するであろう。」
5 その夜、賢者と魔術師たちは家に帰り、翌朝、これらの賢者と魔術師たちは皆早く起きて、決められた家に集まった。
6 彼らは互いに話し合って言った、「昨夜私たちが見た光景は王には隠されていて、王には知らされていないのです。
7 もしこのことが後の時代に王に知られることがあれば、王は私たちに「なぜこのことを私に隠していたのか」と言い、私たちは皆死刑に処せられるでしょう。ですから、今、私たちは王のもとへ行き、私たちが見た光景とその解釈を話しましょう。そうすれば、私たちは潔白でいられるでしょう。
8 彼らはそのようにして、皆王のところへ行き、地にひれ伏して言った。「王よ、永遠なれ。王よ、永遠なれ。」
9 私たちは、あなたの軍勢の長であるナホルの息子テラに息子が生まれたと聞き、昨晩彼の家に行き、彼と共に食事をし、飲み、喜びを分かち合いました。
10 あなたのしもべたちがテラの家を出て、それぞれの家に泊まるために帰ろうとしたとき、私たちは天を見上げました。すると、東から大きな星がやって来るのが見えました。その星は猛スピードで走り、天の四方から四つの大きな星を飲み込みました。
11 あなたのしもべたちは、私たちが見た光景に驚き、大いに恐れました。そして私たちはその光景について判断を下し、私たちの知恵によってその正しい解釈を知りました。それは、このことがテラに生まれる子に当てはまるということです。その子は成長して大いに増え、力強くなり、地上のすべての王を殺し、彼とその子孫は彼らのすべての土地を永遠に相続するでしょう。
12 さて、わが主であり王よ、ご覧ください、私たちはこの子について見たことをあなたに正直にお伝えしました。
13 もし王が、この子のために父に報いることが良いと思われるなら、私たちは彼が成長してこの地に増える前に彼を殺し、彼の悪が私たちに対して増し加わり、私たちと私たちの子孫が彼の悪によって滅びるようにします。

14 王は彼らの言葉を聞き、それが王の目に良いと思われたので、人を遣わしてテラを呼び寄せた。テラは王の前に出た。
15 王はテラに言った、「昨夜、あなたに息子が生まれたと聞きました。そして、その誕生の際に天にこのようなことが起こったそうです。」
16 それゆえ、今、その子を私にください。その子の悪事が私たちに起こる前に、私たちがその子を殺しましょう。そうすれば、私はその子の代価として、あなたの家いっぱいの銀と金をあなたに与えましょう。
17 テラは王に答えて言った。「わが主君、王よ、私はあなたの言葉を聞きました。あなたのしもべは王の望むことをすべて行います。」
18 しかし、わが君であり王よ、昨夜私に起こったことをお話ししましょう。王がしもべにどのような助言をされるかを見たいのです。それから、王が今おっしゃったことについてお答えします。すると王は、「話せ」と言われた。
19 テラは王に言った、「モレドの子アヨンが昨夜私のところに来て、こう言いました。
20 王があなたに与えた、大きくて美しい馬を私にください。そうすれば、その価値に見合う銀と金と藁と飼料をあなたに与えましょう。私は彼に言いました。「あなたの言葉について王に会うまで待ってください。王が何を言われても、私はそうします。」
21 さて、わが主君であり王よ、ご覧なさい、私はこのことをあなたにお知らせしました。わが王がしもべに与える助言に、私は従います。
22 王はテラの言葉を聞いて怒りを燃やし、彼を愚か者とみなした。
23 すると王はテラに答えて言った、「お前はそんなに愚かで、無知で、理解力が欠けているのか。自分の美しい馬を銀や金、あるいは藁や飼料と交換するとは。」
24 あなたは銀や金がそんなに足りないのか。馬に与える藁や飼料さえ手に入らないから、こんなことをするのか。銀や金、藁や飼料など、あなたにとって何ほどのものか。私があなたに与えた、地上に類を見ないほど立派な馬を、なぜ手放してしまうのか。
25 王は話を終えると、テラは王に答えて言った。「王はしもべにこのように話されました。
26 わが主君、わが王よ、どうか私にこうおっしゃいました。「あなたの息子を差し出してください。私たちが彼を殺せば、その代価として銀と金を差し上げます」と。息子が死んだ後、私は銀と金をどうすればよいのでしょうか。誰が私を相続するのでしょうか。私が死んだら、銀と金は必ずそれをくださったわが王のもとに返されるでしょう。
27 王はテラの言葉と、彼が王について語ったたとえ話を聞くと、ひどく悲しみ、このことで腹を立て、怒りが燃え上がった。
28 テラは王の怒りが自分に対して燃え上がっているのを見て、王に答えて言った。「私の持ち物はすべて王の支配下にあります。王がしもべに対して望むことは何でもしてください。そうです、私の息子も、彼より年上の二人の兄も、何の代価も払うことなく王の支配下にあります。」
29 すると王はテラに言った、「いや、私はあなたの末息子を代価を払って買い取ろう。」
30 テラは王に答えて言った。「わが主君、王よ、どうかこのしもべに一言申し上げさせてください。王よ、このしもべの言葉を聞いてください。」そしてテラは言った。「王よ、この件についてじっくり考え、王の言葉について家族と相談する時間を三日間ください。」そして彼は王に強く懇願して、このことに同意するように頼んだ。
31 王はテラの言うことを聞き入れ、彼に三日間の猶予を与えた。テラは王の前から出て、家に帰って家族に王の言葉をすべて伝えた。人々は非常に恐れた。
32 三日目に王はテラに使いを送り、「私が言ったとおり、代価を払ってあなたの息子を私に送ってください。もしあなたがそうしないなら、私はあなたの家にあるものすべてを殺し、犬一匹さえ残さないようにします」と言った。
33 テラは急いで（王の命令で急ぎであったので）、その日、自分の女奴隷が産んだ子供を召使の一人から連れてきて、王のもとに連れて行き、その見返りとして代価を受け取った。
34 主はこの件でテラと共におられ、ニムロデがアブラムを死なせることはなかった。王はテラから子供を奪い取り、アブラムだと思って、力の限り頭を地面に打ちつけた。このことはその日から王には隠され、アブラムの死を許さないという神の御心によって、王はそれを忘れてしまった。
35 テラは息子アブラムを母と乳母と共にひそかに連れ出し、洞窟に隠した。そして毎月彼らに食料を届けた。
36 主は洞窟の中でアブラムと共におられ、アブラムは成長した。アブラムは 10 年間洞窟の中にいた。王と王家の家臣たち、占い師たち、賢者たちは、王がアブラムを殺したと思った。

第 9 章

1 その頃、アブラムの長兄テラの息子ハランは妻をめとった。
2 ハランは彼女を妻に迎えたとき、３９歳であった。ハランの妻は身ごもって男の子を産み、ハランはその子をロトと名付けた。
3 そして彼女は再び身ごもり、娘を産み、その子をミルカと名付けた。そして彼女は再び身ごもり、娘を産み、その子をサライと名付けた。
4 ハランがサラを生んだのは 42 歳の時で、アブラムの 10 歳の時であった。その頃、王と臣民がアブラムの件を忘れていたので、アブラムと彼の母と乳母は洞窟から出てきた。

5 アブラムは洞窟から出て、ノアとその息子セムのところへ行き、主の教えと道を学ぶために彼らと共に留まった。アブラムがどこにいるのかは誰も知らなかった。アブラムは長い間ノアとその息子セムに仕えた。
6 アブラムはノアの家に３９年間住んでいた。アブラムは３歳の時から主を知っており、ノアとその息子セムが教えたとおり、死ぬ日まで主の道に従って歩んだ。その頃、地上の人は皆、主に対して大いに背き、主に反逆し、他の神々に仕え、地上に彼らを創造した主を忘れた。その時、地上の住民はそれぞれ自分の神を造り、話すことも聞くことも救うこともできない木や石の神々を造り、人の子らはそれらに仕え、それらが彼らの神となった。
7 そして、王とすべての家臣、そしてテラとその家族全員が、木や石の神々を拝む者たちの最初の者であった。
8 テラは木と石でできた大きな神像を十二体持っていた。彼は一年の十二ヶ月ごとに、それぞれの神像に毎月仕え、毎月、神々に穀物の供え物と飲み物の供え物を捧げた。テラは毎日このようにした。
9 その世代の人々は皆、主の目に悪しき者であり、それぞれが自分の神を崇拝し、自分たちを創造された主を捨てた。
10 その頃、全地には主を知る者は一人もいなかった（人々はそれぞれ自分の神に仕えていたからである）。ただノアとその家族、そしてノアの助言を受けていた者たちだけが、その頃主を知っていた。
11 その頃、テラの子アブラムはノアの家でますます栄えていたが、誰もそのことを知らなかった。主は彼と共におられた。
12 主はアブラムに理解力のある心を与えられたので、彼はその世代のすべての行いがむなしく、彼らのすべての神々がむなしく、何の役にも立たないことを知った。
13 アブラムは太陽が地上を照らすのを見て、心の中で言った。「確かに、地上を照らすこの太陽は神である。わたしは神に仕えよう。」
14 その日、アブラムは太陽に仕え、太陽に祈った。夕方になり、太陽はいつものように沈んだ。アブラムは心の中で言った。「まさかこれが神ではないだろうか。」
15 アブラムは心の中でこう言い続けた。「天と地を造られたのはだれですか。地上に創造されたのはだれですか。その方はどこにおられますか。」
16 すると夜が彼を覆い、彼は西、北、南、東の方へ目を上げると、太陽が地上から消え、昼が暗くなったのを見た。
17 アブラムは目の前に星と月を見て言った。「確かにこの方は、全地と人を創造された神である。見よ、これらのしもべたちは神々である。」そしてアブラムはその夜ずっと月に仕え、祈りを捧げた。
18 朝になり、太陽がいつものように地上を照らしたとき、アブラムは主なる神が地上に造られたすべてのものを見た。
19 アブラムは心の中で言った。「確かに、これらは地とすべての人間を造った神々ではなく、神のしもべたちである。」アブラムはノアの家にとどまり、そこで主とその道を知り、生涯にわたって主に仕えた。しかし、その世代の人々は皆、主を忘れ、木や石でできた他の神々に仕え、生涯にわたって反逆した。
20 ニムロド王は安泰に統治し、全地は彼の支配下にあり、全地は一つの言語と統一された言葉で結ばれていた。
21 ニムロデのすべての君主と有力者たちは、プテ、ミツライム、クシュ、カナンとその家族と共に集まって相談し、互いに言った。「さあ、町を建て、その中に天に届く堅固な塔を建てよう。そうすれば、我々は名声を得て、全世界を支配することができる。そうすれば、敵の悪は我々から消え去り、我々は彼らを力強く支配し、彼らの戦争のために地上に散らされることもなくなるだろう。」
22 そして彼らは皆王の前に出て行き、王にこれらのことを告げた。王はこの件に関して彼らの意見に同意し、そのようにした。
23 そして、約 60 万人の男性からなるすべての家族が集まり、町と塔を建てるための広い土地を探しに出かけました。彼らは全世界を探し回りましたが、シナルの地の東にある谷ほど良い場所は見つかりませんでした。そこは歩いて約 2 日ほどの距離でした。そこで彼らはそこへ旅をして、そこに住みました。
24 そして彼らは、自分たちが完成させようと思い描いていた町と塔を建てるために、煉瓦を作り、火を焚き始めた。
25 塔を建てることは彼らにとって背きであり罪であった。彼らは塔を建て始め、天の主なる神に逆らって建てながら、心の中で神と戦い、天に昇ることを企てた。
26 そして、これらの民と家族は三つに分かれた。第一の者は「天に昇って彼と戦おう」と言い、第二の者は「天に昇って自分たちの神々をそこに置き、それに仕えよう」と言い、第三の者は「天に昇って弓と槍で彼を打とう」と言った。神は彼らのすべての行いとすべての悪しき思いを知っておられ、彼らが建てていた町と塔をご覧になった。
27 彼らが建設していたとき、彼らは自分たちのために大きな町と非常に高く頑丈な塔を建てました。その高さのために、モルタルとレンガは、塔に登る建設者たちのところに届きませんでした。そこで、登った者たちが丸一年を終えた後、彼らは建設者たちのところにたどり着き、モルタルとレンガを渡しました。このようにして、毎日行われました。
28 すると、一日中、これらの者たちは昇り、他の者たちは下った。もし彼らの手から煉瓦が落ちて割れたとしても、彼らは皆それを嘆き悲しみ、もし人が

倒れて死んだとしても、誰もその人を見ようとしなかった。
29 主は彼らの考えを知っておられた。彼らが建物を建てているとき、天に向かって矢を放った。すると、すべての矢が血に満たされて彼らの上に落ちた。彼らはそれを見て互いに言った。「確かに、私たちは天にいる者たちを皆殺しにしたのだ。」
30 これは、彼らを惑わし、地上から滅ぼし尽くすために、主がなさったことだった。
31 そして彼らは塔と町を建て、多くの日と年が過ぎるまで毎日これを続けた。
32 神は、御前に立っていた七十人の天使たち、すなわち御近くにいた者たちに言われた。「さあ、降りて行って、彼らの言葉を混乱させよう。そうすれば、だれも隣人の言葉がわからなくなるだろう。」そして、彼らはそのようにした。
33 その日から、人々はそれぞれ隣人の言葉を忘れ、一つの言葉で話すことができなくなった。建築者が隣人から注文していない石灰や石を受け取ると、それを投げ捨てて隣人に投げつけ、隣人を死なせた。
34 そして彼らは何日も続け、このようにして多くの者を殺した。
35 主はそこにいた三つの集団を打ち、彼らの行いと企てに応じて彼らを罰した。すなわち、「天に昇って自分たちの神々に仕えよう」と言った者たちは猿や象のようになった。また、「矢で天を打とう」と言った者たちは、主によって隣人の手によって一人ずつ殺された。さらに、「天に昇って彼と戦おう」と言った第三の集団は、主によって全地に散らされた。
36 そして、彼らの間に残された者たちは、自分たちに降りかかる災いを知り、理解したとき、その建物を捨て、全地の面に散らばった。
37 そして彼らは町と塔の建設をやめた。それで主はその場所をバベルと名付けた。主がそこで全地の言葉を混乱させたからである。見よ、それはシナルの地の東にあった。
38 人の子らが建てた塔については、地が口を開いてその三分の一を飲み込み、また天から火が下ってきて別の三分の一を焼き尽くした。残りの三分の一は今日まで残っており、それは高くそびえていた部分で、その周囲は三日歩けるほどである。
39 そして、その塔の中で多くの人が死んだ。数えきれないほどの人であった。

第 10 章

1 その頃、エベルの子ペレグは死んだ。テラの子アブラムの生涯の 48 年目に、ペレグの生涯は 239 年であった。
2 主が塔で人の子らをその罪のために散らされたとき、見よ、彼らは多くのグループに分かれ、すべての人は地の四隅に散らされた。
3 そして、それぞれの家族は、その言語、土地、または都市に応じて分かれていった。
4 人の子らは、自分たちの家系に従って、主が彼らを散らされた地の至る所に、多くの町を建てた。
5 また、彼らの中には、後に滅ぼされた場所に町を建てた者もおり、彼らはそれらの町を自分たちの名前、あるいは子供たちの名前、あるいは自分たちの特定の出来事にちなんで名付けた。
6 ノアの子ヤペテの子孫は、散らされた場所に町を建て、それぞれの町に自分の名前をつけた。ヤペテの子孫は地上に分かれて、多くの部族と言語に分かれた。
7 ヤペテの子孫は、その氏族ごとに、ゴメル、マゴグ、メダイ、ヤワン、トバル、メシェク、ティラスである。これらはヤペテの子孫であり、その世代ごとに記されている。
8 ゴメルの子孫は、その町々によってフランクム族と呼ばれ、フランクムの地、フランクム川のほとり、セナ川のほとりに住んでいた。
9 レファトの子らはバルトニムであり、バルトニアの地にレダ川のほとりに住んでいて、その川は大海ギホン、すなわちオケアノスに水を注ぎ込んでいる。
10 トゥガルマの子孫は 10 家族で、その名はブザール、パルズナク、バルガル、エリカヌム、ラグビブ、タルキ、ビド、ゼブク、オンガル、ティルマズである。彼らは皆北方に広がり、そこに定住し、町を築いた。
11 そして彼らは自分たちの町々を自分たちの名前で呼んだ。彼らは今日までヒトラ川とイタラク川のほとりに住んでいる人々である。
12 しかし、アンゴリ、バルガル、パルズナックの家族は、大河ドゥブニーのほとりに住んでおり、彼らの町の名前も彼ら自身の名前にちなんでいる。
13 ヤワンの子孫はマクドニアの地に住むヤワン人であり、メダイアレの子孫はクルソンの地に住むオレラム人であり、トゥバルの子孫はパシア川のほとりのトゥスカナの地に住む人々である。
14 メシェクの子孫はシバシュニ族、ティラスの子孫はルシャシュ族、クシュニ族、オンゴリス族である。これらの人々は皆、町を建てた。それらの町はヤブス湖畔、クラ川のほとりに位置し、クラ川はトラガン川に注ぎ込んでいる。
15 エリシャの子孫はアルマニムであり、彼らもまた町々を建てた。それらはヨブ山とシバトモ山の間にある町々である。そして、ヨブ山とシバトモ山の向かい側に住んでいたルンバルディの人々は、イタリアの地を征服し、今日までそこに留まっている。
16 キッティムの子孫は、ティブレウ川のほとりのカノピアの谷に住むロミムである。
17 ドゥドニムの子らは、ギホンの海の町々、ボルドナの地に住む者たちである。
18 これらは、ヤペテの子孫が塔の後に散らばったときに、彼らの町と言語に従ってつけた家族であり、彼らは自分たちの町を自分たちの名前と出来事にちなんで名付けた。そして、これらは彼らが塔の後に

その時代に建てた、彼らの家族によるすべての町の名前である。
19 ハムの子孫は、世代と町々によって、クシュ、ミツライム、プテ、カナンであった。
20 これらの人々は皆、自分たちのためにふさわしい場所を見つけて町を建て、自分たちの父祖の名にちなんで、クシュ、ミツライム、プテ、カナンと名付けた。
21 ミツライムの子孫は、ルディム、アナミム、レハビム、ナフトゥヒム、パトルシム、カスルヒム、カフトゥリムの七つの家族である。
22 これらの人々は皆、シホル川、すなわちエジプトの川のほとりに住み、自分たちのために町を建て、自分たちの名前をつけた。
23 パトロスとカスロクの子孫は互いに結婚し、彼らからペリシュティム、アザティム、ゲラリム、ギティム、エクロンの五つの部族が生まれた。彼らもまた町を建て、今日まで先祖の名にちなんで町を名付けた。
24 カナンの人々は自分たちのために町を建て、その町々に自分たちの名前をつけた。11 の町と、数えきれないほどの町があった。
25 ハムの子孫から四人の男が平野の地へ行った。その四人の名は、ソドム、ゴモラ、アドマ、ゼボイムである。
26 そして、これらの人々は平野の地に四つの町を建て、自分たちの名前を町の名前につけた。
27 そして彼らとその子孫、そして彼らに属するすべての人々はそれらの町々に住み、子孫は増え、大いに繁栄し、平和に暮らした。
28 フルの子、ヒビの子、カナンの子であるセイルは、パラン山の向かいにある谷を見つけ、そこに町を建て、彼と七人の息子と家族はそこに住み、自分の名にちなんでその町をセイルと名付けた。それが今日までセイルの地である。
29 これらは、塔の出来事の後、ハムの子孫がそれぞれの国に散らされたときの、言語と都市による家族構成である。
30 また、ノアの子セム、すなわちエベルの子孫すべての父の子孫の一部も、散らされた場所に町を建て、自分たちの名前でその町を名付けた。
31 セムの子らはエラム、アシュル、アルパクシャド、ルド、アラムであった。彼らは町を建て、すべての町を自分たちの名前で名付けた。
32 その時、セムの子アシュルとその子らと家族は、大勢で出発し、遠くの地に行き、そこで見つけた広大な谷に出会いました。そして、彼らは自分たちのために 4 つの町を建設し、自分たちの名前と出来事にちなんでそれらの町に名前を付けました。
33 これらはアッシュルの子らが建てた町々の名前である。ニネベ、レセン、カラク、レホボテル。アッシュルの子らは今日までそこに住んでいる。
34 アラムの子らは行って町を建て、その町を長兄の名にちなんでウズと名付け、そこに住んだ。それが今日までウズの地である。
35 塔が建てられた二年目に、アッシュルの家からベラという名の男がニネベの地を出て、家族と共に住む場所を探し求めて旅に出た。そして彼らはソドムに面した平野の町々の向かいまで来て、そこに住んだ。
36 その人は立ち上がり、そこに小さな町を建て、自分の名にちなんでベラと名付けた。それが今日までゾアルの地である。
37 これらは、塔の後に地上に散らされたセムの子孫の、言語と都市による家族である。
38 その後、ノアの子孫の王国、都市、家族はそれぞれ多くの都市を建設した。
39 そして彼らは、自分たちのすべての都市に政府を樹立し、その命令に従って統治されるようにした。ノアの子孫のすべての家族は、永遠にそのようにした。

第 11 章

1 クシュの子ニムロデはまだシナルの地にいて、そこを治め、そこに住み、シナルの地に町々を建てた。
2 そして、これらは彼が建てた四つの町の名前であり、彼は塔の建設中にそれらの町に起こった出来事にちなんでそれらの町にその名前を付けた。
3 彼は最初の町をバベルと名付けた。それは、主がそこで全地の言葉を混乱させたからである。また、二番目の町をエレクと名付けたのは、神がそこから人々を散らしたからである。
4 そして三番目はエケドと名付け、そこで大きな戦いがあったと言った。四番目はカルナと名付けた。彼の君主たちと勇士たちがそこで滅び、彼らは主を怒らせ、反逆し、主に背いたからである。
5 ニムロデはシナルの地にこれらの町々を建て、王国に残っていた残りの民、すなわち彼の君主たちと勇士たちをそこに住まわせた。
6 ニムロデはバベルに住み、そこで残りの臣民に対する統治を再開し、安定した統治を行った。ニムロデの臣民と君主たちは、塔で彼の君主と部下たちが彼の策略によって倒れたと言って、彼の名をアムラフェルと呼んだ。
7 それにもかかわらず、ニムロデは主のもとに立ち返らず、悪を行い、人の子らに悪を教え続けた。そして、彼の息子マルドンは父よりもさらに悪く、父の忌まわしい行いをさらに増やし続けた。
8 彼は人の子らを罪に陥れた。それゆえ、「悪人からは悪が出てくる」と言われる。
9 その頃、ハムの子孫の家族の間で戦争が起こった。彼らは自分たちが建てた町々に住んでいた。
10 エラムの王ケドルラオメルはハムの子孫の家族のもとを離れ、彼らと戦って彼らを征服し、平野の五

つの町に行って彼らと戦い、彼らを征服し、彼らは
彼の支配下に入った。
11 そして彼らは 12 年間彼に仕え、毎年税金を納めた。
12 その時、テラの子アブラムの 49 歳の時に、セルグ
の子ナホルが死んだ。
13 テラの子アブラムの五十歳のとき、アブラムはノ
アの家を出て、父の家へ行った。
14 アブラムは主を知っており、主の道と教えに従っ
て歩み、主なる彼の神は彼と共におられた。
15 その頃、彼の父テラはニムロド王の軍の長であり、
依然として異国の神々を崇拝していた。
16 アブラムは父の家に行き、そこに十二の神々が神
殿に立っているのを見た。父の家でこれらの像を見
たとき、アブラムの怒りが燃え上がった。
17 アブラムは言った。「主にかけて誓います。これ
らの偶像は私の父の家に残してはなりません。もし
私が三日のうちにこれらをすべて壊さなければ、私
を創造された主は私にそうされるでしょう。」
18 アブラムは彼らから離れて行ったが、怒りが彼の
心に燃え上がった。アブラムは急いで部屋を出て父
の庭へ行き、庭で父とすべてのしもべたちが座って
いるのを見つけた。アブラムは父の前に進み、座っ
た。
19 アブラムは父に尋ねて言った。「父よ、天と地、
地上のすべての人を創造し、あなたと私を創造した
神はどこにおられるのですか。」テラは息子アブラ
ムに答えて言った。「見よ、私たちを創造した者た
ちは皆、この家に私たちと共にいる。」
20 アブラムは父に言った。「わが主よ、どうかそれ
らを私に見せてください。」テラはアブラムを内庭
の部屋に連れて行った。アブラムが見ると、見よ、
部屋全体が木と石の神々で満ちており、十二の大き
な像と、それより小さい像が数えきれないほどあっ
た。
21 テラは息子に言った。「見よ、地上であなたが見
るものすべてを造ったのは、これらの者たちであり、
私とあなた、そしてすべての人類を創造した者たち
である。」
22 テラは自分の神々にひれ伏し、それから彼らから
離れて行った。彼の息子アブラムも彼と一緒に行っ
た。
23 アブラムは彼らから離れて母のところへ行き、母
の前に座って言った。「見よ、父は私に天と地を造
った者たちと、すべての人の子らを見せてくれまし
た。
24 さあ、急いで群れの中から子ヤギを連れてきて、
それを美味しい肉にして、父の神々に捧げ物として
持って行き、食べてもらうようにしよう。そうすれ
ば、もしかしたら私は神々に受け入れられるかもし
れない。
25 そこで、彼の母はそうした。子ヤギを連れてきて、
それを美味しい料理にしてアブラムのところに持っ
てきた。アブラムは母からその美味しい料理を受け
取り、父の神々の前に持って行き、神々がそれを食
べるように近づいた。彼の父テラはそれを知らなか
った。
26 アブラムは、彼らの間に座っているときに、彼ら
には声も聞こえず、動くこともできず、また、彼ら
のうちのだれも手を伸ばさずに食べることもできな
いのを見た。
27 アブラムは彼らをあざけて言った。「私が用意し
た美味しい肉は、きっと彼らの気に入らなかったの
だろう。あるいは量が少なすぎたのかもしれない。
だから彼らは食べなかったのだ。だから明日、私は
これよりも美味しくて量も多い、新しい美味しい肉
を用意して、その結果を見てみよう。」
28 翌日、アブラムは母に美味しい肉のことを頼んだ。
母は起きて群れの中から立派な子ヤギを三匹連れて
きて、息子が好むような美味しい肉を作り、息子の
アブラムに与えた。父テラはそのことを知らなかっ
た。
29 アブラムは母から香ばしい肉を受け取り、父の
神々の部屋へ持って行き、神々が食べられるように
近づいて、それを神々の前に置いた。そして、神々
が食べてくれるかもしれないと思いながら、アブラ
ムは一日中神々の前に座っていた。
30 アブラムが彼らを見ると、見よ、彼らには声も聞
こえず、また、彼らのうちのだれも食べ物に手を伸
ばして食べようとしなかった。
31 その日の夕方、その家でアブラムは神の霊に覆わ
れた。
32 彼は叫んで言った、「わが父とこの邪悪な世代に
災いあれ。彼らの心は皆、虚栄に傾き、木や石でで
きた偶像を拝んでいる。これらの偶像は、食べるこ
とも、嗅ぐことも、聞くことも、話すこともできず、
口は話さず、目は見えず、耳は聞こえず、手は感じ
ず、足は動かせない。これらの偶像を作った者と、
これらを頼りにする者も、これらの偶像と同じであ
る。」
33 アブラムはこれらすべてを見て、父に対して怒り
を燃やし、急いで斧を手に取り、神々の部屋に行き、
父の神像をすべて壊した。
34 彼が像を壊し終えると、目の前にあった大神の手
に斧を置き、出て行った。父テラは戸口で斧の音が
聞こえたので、何事かと家の中に入ってきた。
35 テラは偶像の部屋で斧の音を聞いて、偶像の部屋
に走って行くと、アブラムが出てくるのに出会った。
36 テラが部屋に入ると、偶像はすべて倒れて壊れて
いたが、一番大きな偶像の手にあった斧は壊れてお
らず、息子アブラムが作ったおいしい肉料理もまだ
彼らの前に残っていた。
37 テラはこれを見て激怒し、急いで部屋を出てアブ
ラムのところへ行った。
38 すると、彼は息子アブラムがまだ家に座っている
のを見つけ、彼に言った。「お前は私の神々に何を
したのか。」
39 するとアブラムは父テラに答えて言った、「いい
え、わが主よ。私は彼らの前においしい肉を持って

行き、彼らが食べられるように肉を持って近づくと、偉大な方が食べようと手を伸ばす前に、彼らは皆、一斉に手を伸ばして食べようとしたのです。」
40 すると、大男は彼らが自分の目の前で行った行いを見て、彼らに対して激しく怒りを燃やし、家にあった斧を取りに行って彼らのところへ行き、彼らを皆打ち砕いた。見よ、あなたが見ているように、斧はまだ彼の手に握られている。
41 テラは息子アブラムがこう言ったとき、彼に対して怒りを燃やし、怒りに任せて息子アブラムに言った。「お前が言ったこの話は何だ？お前は私に嘘をついている。」
42 これらの神々に、あなたが私に告げたすべてのことを行う霊や魂や力があるというのか？ それらは木や石でできているのではないか。私が作ったのではないか。それなのに、あなたは、彼らと共にいた大神が彼らを打ち倒したなどという嘘をつくことができるのか？ 斧を彼の手に持たせたのはあなた自身であり、それから彼が彼らをすべて打ち倒したと言うのか。
43 アブラムは父に答えて言った。「それなのに、どうしてあなたは、何の力も持たない偶像に仕えるのですか。あなたが頼りにしている偶像が、あなたを救い出すことができるでしょうか。あなたが祈るとき、それらはあなたの祈りを聞くことができるでしょうか。それらは、あなたの敵の手からあなたを救い出すことができるでしょうか。あるいは、あなたのために敵と戦ってくれるでしょうか。あなたが、話すことも聞くこともできない木や石に仕えるとは、どういうことでしょうか。」
44 しかし、このようなことを行うのは、あなたにとっても、あなたと関係のある人々の息子たちにとっても、決して良いことではありません。あなたはそんなに愚かで、そんなに理解力に欠けているのですか。木や石に仕え、このようなことをするのですか。
45 天と地を造り、地上にあなた方を創造された主なる神を忘れ、石と木を仕えることによって、このことであなた方の魂に大きな災いをもたらすのか。
46 昔の私たちの先祖は、このことで罪を犯したのではありませんか。そして、宇宙の主なる神は、洪水を彼らの上に降らせ、全地を滅ぼされたのではないでしょうか。
47 あなた方はどうしてこのようなことを続け、聞くことも話すことも、あなた方を抑圧から救い出すこともできない木や石の神々に仕え、それによって宇宙の神の怒りをあなた方に招き寄せることができるのでしょうか。
48 ですから、父よ、どうかこのことを控えてください。あなたの魂とあなたの家族の魂に災いをもたらさないでください。
49 アブラムは急いで父の前から飛び出し、父の一番大きな偶像から斧を取り、それで偶像を壊して逃げ出した。
50 テラはアブラムのしたことすべてを見て、急いで家を出て王のもとへ行き、ニムロデの前に立って王にひれ伏した。王は言った、「お前は何を望むのか」。
51 彼は言った、「主よ、どうか私の言うことを聞いてください。50 年前に私の子が生まれましたが、その子は私の神々に対してこのような行いをし、このようなことを言いました。ですから今、主であり王である方よ、その子をあなたの前に出させて、律法に従って裁いてください。そうすれば私たちはその悪から救われるでしょう。」
52 王は家臣の中から三人を遣わし、彼らは行ってアブラムを王の前に連れてきた。その日、ニムロデと彼のすべての高官と家臣は王の前に座り、テラもまた彼らの前に座っていた。
53 王はアブラムに言った。「お前は父と父の神々に、一体何をしたのか。」アブラムは父に言った言葉で王に答えた。「家の中にいた大きな神が、あなたが聞いたとおりのことをしたのです。」
54 王はアブラムに言った。「彼らには、あなたが言ったように話したり食べたり行ったりする力があったのか。」アブラムは王に答えて言った。「もし彼らに力がないのなら、なぜあなたは彼らに仕え、あなたの愚かさによって人の子らを迷わせるのですか。」
55 あなたは、彼らがあなたを救い出し、大小を問わず何かを行い、あなたが彼らに仕えることができるとでも思っているのか。そして、あなたを創造し、殺すことも生かすこともできる全宇宙の神を、なぜあなたは感じようとしないのか。
56 0 愚かで、単純で、無知な王よ、永遠に災いあれ。
57 わたしはあなたがしもべたちに正しい道を教えてくださると思っていたが、あなたはそうせず、あなたの罪と、あなたの道に従ったあなたの民の罪で全地を満たした。
58 あなたは知らないのか、あるいは聞いたことがないのか。あなたが今行っているこの悪行は、昔、私たちの先祖が犯した罪であり、永遠の神は彼らに洪水をもたらし、彼らを滅ぼし、また彼らのために全地を滅ぼしたのだ。それなのに、あなたとあなたの民は今、立ち上がって、宇宙の主なる神の怒りを招き、あなたと全地に災いをもたらすために、この行いを繰り返すつもりなのか。
59 それゆえ、あなたが今行っているこの悪行を捨て、あなたの魂が神の御手の中にあるように、宇宙の神に仕えなさい。そうすれば、あなたは幸いになるでしょう。
60 もしあなたの邪悪な心が、あなたの悪しき行いを捨てて永遠の神に仕えるようにするための私の言葉に耳を傾けないならば、あなたは終わりの日に恥辱のうちに死ぬであろう。あなた自身も、あなたの民も、あなたの言葉を聞く者も、あなたの悪しき行いを歩む者も、あなたと関係のある者すべても同様である。

61 アブラムが王と君主たちの前で話し終えると、アブラムは目を天に向けて言った。「主はすべての悪人を見ておられ、彼らを裁かれる。」

第 12 章

1 王はアブラムの言葉を聞くと、彼を牢獄に入れるよう命じた。アブラムは十日間牢獄にいた。
2 その日の終わりに、王は各地の王、君主、総督、賢者たちを皆、王の前に来るように命じた。彼らは王の前に座ったが、アブラムはまだ監禁の家にいた。
3 王は王子たちと賢者たちに言った。「テラの子アブラムが父にしたことを聞いたか。彼は父にこのようにした。そこで私は彼を私の前に連れて来るように命じた。すると彼はこのように言った。彼は心の中で疑うこともなく、私の前でも動揺しなかった。そして今、彼は牢獄に閉じ込められている。」
4 それゆえ、王を罵り、あなたがたが聞いたすべてのことを言い、行ったこの男に、どのような裁きが下されるべきかを判断しなさい。
5 すると彼らは皆王に答えて言った、「王を侮辱する者は木に吊るされるべきですが、彼は言ったとおりのことをすべて行い、私たちの神々を侮辱したので、火あぶりにされなければなりません。これがこの件に関する律法です。」
6 もし王がそうお望みなら、しもべたちに命じて、あなたの煉瓦の炉に昼も夜も火を焚かせてください。そうすれば、この男をその中に投げ込みます。王はそのようにし、しもべたちに、カシディムにある王の炉に三日三晩火を焚くように命じ、アブラムを牢獄から連れ出して焼くように命じました。
7 王の家臣、王子、領主、総督、裁判官、そしてその地のすべての住民、およそ九十万人が、アブラムを見るために炉の向かい側に立っていた。
8 すると、女たちと幼い子供たちは皆、アブラムに何が起こっているのかを見ようとして、屋根や塔に群がり、皆遠くから一緒に立っていた。その日、その光景を見に来なかった男は一人もいなかった。
9 アブラムがやって来ると、王の呪術師と賢者たちはアブラムを見て、王に叫んで言った。「我らが君主よ、確かにこの方は、五十年前に王に告げた、誕生の際に大きな星が四つの星を飲み込んだ子供であったと我々が知っている方です。」
10 見よ、今やその子の父もあなたの命令に背き、あなたを嘲り、別の子供を連れてきたが、あなたはそれを殺した。
11 王は彼らの言葉を聞くと、非常に怒り、テラを自分の前に連れてくるよう命じた。
12 王は言った。「お前は呪術師たちが言ったことを聞いたか。さあ、正直に、どのように聞いたのかを私に話せ。もしお前が真実を話すなら、お前は無罪となるだろう。」
13 王の怒りが激しく燃え上がったのを見て、テラは王に言った。「わが君、王よ、あなたは真実を聞きました。賢者たちが言ったことは正しいのです。」すると王は言った。「どうしてあなたはこのようなことをしたのか。私の命令に背き、自分の子ではない子を私に与え、その子を倖
14 テラは王に答えた。「その時、私は息子への愛情に駆られ、女奴隷の息子を連れて王のもとへ参りました。」
15 王は言った。「誰があなたにこれを勧めたのか。私に言いなさい。何も隠すな。そうすればあなたは死なない。」
16 テラは王の前でひどく恐れ、王に言った。「これは私の長男ハランが私に勧めたことです。アブラムが生まれた当時、ハランは 32 歳でした。」
17 しかし、ハランは父に何も助言しなかった。テラは王から身を守るために、このことを王に言ったのである。彼は非常に恐れていたからである。王はテラに言った。「このことをあなたに助言したあなたの息子ハランは、アブラムと共に火で死ぬであろう。このことを行ったことで王の意向に反逆したため、死刑の宣告を受けたのだ。」
18 その時ハランはアブラムの生き方に倣いたいと思ったが、それを心の中に留めておいた。
19 ハランは心の中で言った、「見よ、王はアブラムのこれらの行いのゆえにアブラムを捕らえた。もしアブラムが王に勝つなら、私は彼に従う。しかし、もし王が勝つなら、私は王に従う。」
20 テラが息子ハランについて王にこのことを告げると、王はハランとアブラムを捕らえるように命じた。
21 そして彼らはアブラムとその兄弟ハランを連れてきて、火の中に投げ込もうとした。その地のすべての住民、王の家臣、王子たち、すべての女たちと幼い子供たちがそこにいて、その日、彼らの上に立っていた。
22 王の家臣たちはアブラムとその兄弟を捕らえ、彼らが着ていた下着以外の衣服をすべて剥ぎ取った。
23 そして彼らは彼らの手足を亜麻の紐で縛り、王の家臣たちは彼らを持ち上げて、二人とも炉の中に投げ込んだ。
24 主はアブラムを愛し、彼を憐れまれた。主は降りてきて、アブラムを火から救い出されたので、彼は焼かれなかった。
25 しかし、アブラムを縛っていた縄はすべて燃え尽き、アブラムは火の中にとどまり、火の中を歩き回った。
26 ハランは火の中に投げ込まれたとき、灰になって死んだ。彼の心は主に対して完全ではなかったからである。彼を火の中に投げ込んだ者たちの上にも火の炎が燃え移り、彼らは焼かれ、そのうち十二人が死んだ。
27 アブラムは三日三晩、火の中を歩き回った。王の家臣たちは皆、彼が火の中を歩いているのを見て、王のところへ行って、「ご覧ください。私たちはアブラムが火の中を歩き回っているのを見ました。彼

の着ている下着は燃えていませんが、彼を縛っていた紐は燃えています」と告げた。
28 王は彼らの言葉を聞くと、心が弱り、信じようとしなかった。そこで、他の忠実な王子たちを遣わしてこのことを調べさせた。王子たちは行ってそれを見て、王に報告した。王は立ち上がって見に行くと、アブラムが火の中を行ったり来たりしているのを見て、ハランの体が焼かれているのを見て、非常に驚いた。
29 王はアブラムを火の中から出すように命じた。家臣たちは彼を出そうと近づいたが、火が周囲を取り囲み、炉から炎が彼らに向かって上がってきたので、出すことができなかった。
30 すると王の家臣たちはそこから逃げ出した。王は彼らを叱責して言った。「急いでアブラムを火の中から連れ出せ。さもないと死ぬことになる。」
31 すると、王の家臣たちが再びアブラムを連れ出そうと近づいたところ、炎が彼らに降りかかり、彼らの顔を焼き尽くしたので、8 人が死んだ。
32 王は、家臣たちが火に近づくと焼かれてしまうのを見て、アブラムに呼びかけた。「天におられる神のしもべよ、火の中から出て、私の前に来なさい。」アブラムは王の声に聞き従い、火の中から出て、王の前に立って立った。
33 アブラムが出てくると、王とすべての家臣は、アブラムが下着を身に着けて王の前に来るのを見た。下着は焼けていなかったが、彼を縛っていた紐は焼けていた。
34 王はアブラムに言った。「どうしてあなたは火で焼かれなかったのか。」
35 アブラムは王に言った。「私が信頼し、全能の神である天と地の神が、あなたが私を投げ込んだ火の中から私を救い出してくださいました。」
36 アブラムの兄弟ハランは灰になって焼かれ、人々は彼の遺体を探し、それが焼け焦げているのを見つけた。
37 ハランはカシディムの火で死んだとき、82 歳であった。王、君主、そしてその地の住民は、アブラムが火から救われたのを見て、アブラムのところへ来てひれ伏した。
38 アブラムは彼らに言った、「私にひれ伏すのではなく、あなたたちを造られた世界の神にひれ伏し、その神に仕え、その道に従いなさい。この火の中から私を救い出したのも、すべての人の魂と霊を創造し、母の胎内で人を形作り、この世に生み出したのも、その神であり、神を信頼する者をあらゆる苦しみから救い出すのも、その神なのです。」
39 アブラムが火から救われ、ハランが焼かれたことは、王と王子たちの目には非常に不思議なことと思われた。そこで王はアブラムに多くの贈り物をし、王宮から二人の頭領を彼に与えた。一人の名はオニ、もう一人の名はエリゼルであった。
40 そして、すべての王、王子、家臣たちはアブラムに銀、金、真珠などの多くの贈り物を贈った。王と王子たちは彼を送り出し、彼は平和のうちに旅立った。
41 アブラムは王のもとから平和のうちに出て行った。王の家臣の多くが彼に従い、約 300 人の男たちが彼に加わった。
42 その日、アブラムは父の家へ戻り、彼と彼に従った者たちも一緒に行った。アブラムは生涯を通して主なる神に仕え、その道に歩み、その律法に従った。
43 その日から、アブラムは人々の心を主にお仕えするように傾けた。
44 その頃、ナホルとアブラムは、兄弟ハランの娘たちを妻として迎えた。ナホルの妻はミルカ、アブラムの妻はサライという名であった。アブラムの妻サライは不妊で、当時、彼女には子供がいなかった。
45 アブラムが火の中から出てから 2 年が経ったとき、すなわち彼の５２歳のとき、見よ、ニムロデ王がバベルで王座に座っていた。王は眠りに落ち、夢の中で、自分の軍隊と軍勢と共に、王の炉の向かい側の谷に立っているのを見た。
46 すると、彼は目を上げ、アブラムに似た人が炉から出てくるのを見た。その人は剣を抜いて王の前に立ち、剣を振りかざして王に襲いかかった。王は恐れてその男から逃げ出した。王が逃げている間に、その男は王の頭に卵を投げつけた。すると、その卵は大きな川になった。
47 すると王は、自分の軍隊が皆その川に沈んで死んでしまう夢を見た。そして王は自分の前にいた三人の男と共に逃げ出し、難を逃れた。
48 王はこれらの人々を見ると、彼らは王の衣服のような王族の衣装を身に着けており、王のような姿と威厳を備えていた。
49 彼らが走っている間に、川は再び王の前で卵に変わり、卵から雛鳥が出てきて王の前に現れ、王の頭に飛びかかり、王の目をえぐり出した。
50 王はその光景を見て悲しみ、眠りから覚めて、心が乱れ、大きな恐怖を感じた。
51 朝になると王は恐れおののいて寝台から起き上がり、賢者と魔術師たちを皆自分の前に呼び寄せ、夢の話を彼らに語った。
52 すると、王の賢い家臣で、アヌキという名の者が王に答えて言った。「これは、終わりの日にわが主であり王である方に反逆する、アブラムとその子孫の災いに他なりません。」
53 見よ、アブラムとその子孫、そしてその家の子供たちがわたしの王と戦い、王の軍勢と軍隊をすべて打ち破る日が来る。
54 あなたが自分に似た三人の男を見て、彼らが逃げたと言ったことについては、それは、あなただけが、戦いであなたと共にいる三人の王と共に、地上の王たちから逃れるという意味です。
55 あなたが見た川が最初と同じように卵に変わり、雛鳥があなたの目をえぐり出したことは、終わりの日に王を殺すアブラムの子孫以外の何物でもない。

56 これはわが王の夢であり、これがその解釈です。夢は真実であり、あなたのしもべがあなたにお伝えした解釈は正しいのです。
57 それゆえわが王よ、あなたの賢者たちがアブラムの誕生の時にこのことを予見してからすでに 52 年が経ったことを、あなたはきっとご存じでしょう。もしわが王がアブラムを地上に生かしておくならば、それはわが主君であり王であるあなたに害を及ぼすことになります。アブラムが生きている限り、あなたもあなたの王国も確立されないでしょう。これは彼の誕生の時にすでに知られていたことです。わが王はなぜ彼を殺さないのですか。そうすれば、彼の災いが後世にあなたから遠ざかるでしょう。
58 ニムロデはアヌキの声に耳を傾け、家臣たちを密かに遣わしてアブラムを捕らえさせ、王の前に連れて行って死刑に処そうとした。
59 その時、王がアブラムに与えたアブラムのしもべエリゼルは王のそばにいて、アヌキが王に助言したこと、そして王がアブラムを死に至らしめるために言ったことを聞いていた。
60 エリゼルはアブラムに言った、「急いで立ち上がり、命を救いなさい。王の手によって死ぬことのないように。王はあなたについて夢でこのように見て、アヌキもそれをこのように解釈し、またアヌキはあなたについて王にこのように助言したのだ。」
61 アブラムはエリゼルの声に耳を傾け、急いでノアとその息子セムの家に逃げ込み、そこで身を隠して安全な場所を見つけた。王の家臣たちはアブラムを探しに彼の家に来たが、彼を見つけることができず、国中を探し回ったが、見つからなかった。彼らはあらゆる方向を探し回ったが、彼に会うことはできなかった。
62 王の家臣たちはアブラムを見つけることができなかったため、王のもとに戻った。しかし、アブラムが見つからなかったため、王のアブラムに対する怒りは静まり、王はアブラムに関するこのことを忘れてしまった。
63 アブラムはノアの家に一か月間隠れていた。王はこのことを忘れていたが、アブラムは依然として王を恐れていた。テラは息子のアブラムに会うためにノアの家にひそかにやって来た。テラは王の目に非常に高く評価されていた。
64 アブラムは父に言った。「王が邪悪な助言者たちの助言に従って、私を殺し、私の名を地上から消し去ろうとしていることを、あなたは知らないのですか。」
65 さて、あなたはここで誰を頼りにしているのか、この地で何を持っているのか。立ち上がって、共にカナンの地へ行こう。そうすれば、私たちは彼の手から逃れることができ、あなたも終わりの日に彼によって滅びることはないだろう。
66 あなたは知らないのか、あるいは聞いたことがないのか。ニムロデがあなたにこれほどの栄誉を与えるのは愛からではなく、ただ自分の利益のためにあなたにこれほどの善行を与えるのだ。
67 もし彼があなたにこれ以上の善いことをしたとしても、それらは確かにこの世の空しいものにすぎない。なぜなら、富や財産は怒りの日には役に立たないからである。
68 さあ、私の声に耳を傾け、立ち上がってカナンの地へ行き、ニムロデの害から逃れよう。そして、地上であなたを創造された主にお仕えしなさい。そうすれば、あなたは幸いになる。そして、あなたが追い求めているすべての無益なものを捨てなさい。
69 アブラムが話すのをやめたとき、ノアと息子セムはテラに答えて言った、「アブラムがあなたに言った言葉は真実です」。
70 テラは息子アブラムの声に耳を傾け、アブラムの言うとおりにすべて行った。これは王がアブラムを死なせないようにするための主の御心であった。

第 13 章

1 テラは息子アブラムと孫のハランの子ロト、息子アブラムの妻である嫁のサライ、そして家族全員を連れてウル▪カスディムからカナンの地へ向かった。彼らはハランの地まで来るとそこに留まった。そこは牧草地として非常に良い土地であり、同行する者たちにとって十分な広さがあったからである。
2 ハランの地の人々は、アブラムが神と人に対して善良で正直であり、主なる神が彼と共におられるのを見て、ハランの地の人々のうち何人かが来てアブラムに加わり、アブラムは彼らに主の教えと道を教えた。そして、これらの人々はアブラムの家に留まり、彼に従順であった。
3 アブラムは三年間その地にとどまり、三年が過ぎた時、主はアブラムに現れて言われた。「わたしは、あなたをウル▪カスディムから連れ出し、すべての敵の手からあなたを救い出した主である。」
4 それゆえ、もしあなたがわたしの声に聞き従い、わたしの戒め、わたしの定め、わたしの律法を守るならば、わたしはあなたの敵をあなたの前にひれ伏させ、あなたの子孫を天の星のように増やし、あなたの手のすべての働きにわたしの祝福を送り、あなたは何も欠けることがないであろう。
5 さあ、立ち上がって、あなたの妻とあなたの持ち物すべてを連れて、カナンの地へ行き、そこに住みなさい。わたしはそこであなたの神となり、あなたを祝福する。そこでアブラムは立ち上がり、妻と彼の持ち物すべてを連れて、主が告げられたとおりカナンの地へ行った。アブラムがハランを出発したとき、彼は 50 歳であった。
6 アブラムはカナンの地に着き、町の真ん中に住み、そこでカナンの子ら、すなわちその地の住民たちの間に天幕を張った。
7 主はアブラムがカナンの地に着いたとき、彼に現れて言われた。「これはわたしがあなたとあなたの子

孫に永遠に与える土地である。わたしはあなたの子孫を天の星のように多くし、あなたが見るすべての土地をあなたの子孫に相続地として与える。」
8 アブラムは、神が彼に語りかけた場所に祭壇を築き、そこで主の名を呼び求めた。
9 その時、アブラムがカナンの地に住んで 3 年が経ったとき、ノアは死んだ。それはアブラムの５８歳のことであった。ノアの生涯は９百５０年で、彼は死んだ。
10 アブラムは、妻と彼の家族全員、彼に同行した者全員、そしてその地の民から彼に加わった者全員と共に、カナンの地に住んだ。しかし、アブラムの兄弟ナホル、彼の父テラ、ハランの子ロト、そして彼らの家族全員はハランに住んだ。
11 アブラムがカナンの地に住み始めて五年目に、ソドムとゴモラの民と平野のすべての町の民は、エラムの王ケドルラオメルの権力に反逆した。平野のすべての町の王たちは、12 年間ケドルラオメルに仕え、毎年税金を納めていたが、その十三年目に彼らは彼に反逆したのである。
12 アブラムがカナンの地に住んで十年目に、シナルの王ニムロデとエラムの王ケドルラオメルとの間に戦争が起こり、ニムロデはケドルラオメルと戦って彼を征服するためにやって来た。
13 その時、ケドルラオメルはニムロデの軍勢の君主の一人であった。塔にいた民が皆散り散りになり、残った者たちも地上に散らばったとき、ケドルラオメルはエラムの地に行き、そこを支配して主君に反逆した。
14 その頃、ニムロデは平野の町々が反逆したのを見て、傲慢と怒りに駆られてケドルラオメルと戦うためにやって来た。ニムロデは自分のすべての王子と臣下、およそ七十万人を集めてケドルラオメルに攻め寄せた。ケドルラオメルは五千人の兵士を率いて彼を迎撃し、エラムとシナールの間にあるバベルの谷で戦いの準備をした。
15 そして、それらの王たちは皆そこで戦ったが、ニムロデとその民はケドルラオメルの民の前で打ち破られ、ニムロデの兵士のうち約 60 万人が倒れ、王の息子マルドンもその中に倒れた。
16 ニムロデは逃げて恥辱と屈辱のうちに自分の国に戻り、長い間ケドルラオメルに服従した。ケドルラオメルは自分の国に戻り、自分の軍勢の王子たちを周囲の王たち、エラサルの王アリオクとゴイムの王ティダルに送り、彼らと契約を結んだ。彼らは皆、彼の命令に従った。
17 アブラムがカナンの地に住み始めて 15 年目、すなわちアブラムの生涯 70 年目のこと、主はその年にアブラムに現れて言われた。「わたしは、あなたをウル・カスディムから連れ出し、この地を相続地として与えるために来た主である。」
18 それゆえ、わたしの前に歩み、完全であり、わたしの戒めを守りなさい。わたしはあなたとあなたの子孫に、ミツライム川から大河ユーフラテス川に至るこの地を相続地として与えるからである。
19 あなたは平和のうちに、長寿を全うして先祖のもとに帰るであろう。そして第四の世代はこの地に帰って来て、この地を永遠に相続するであろう。アブラムは祭壇を築き、彼に現れた主の名を呼び求め、祭壇の上にいけにえをささげた。
20 その時、アブラムはハランに戻り、父と母、そして父の家族に会いに行った。アブラムと妻、そして彼に属するすべての者はハランに戻り、アブラムはハランに 5 年間住んだ。
21 ハランの人々のうち、およそ 72 人の男がアブラムに従い、アブラムは彼らに主の教えと道を教え、主を知るように教えた。
22 その頃、主はハランでアブラムに現れて言われた。「見よ、わたしは二十年前にあなたにこう言った。
23 あなたの土地、あなたの生まれた場所、あなたの父の家を出て、わたしがあなたとあなたの子孫に与えるために示した土地に行きなさい。その土地でわたしはあなたを祝福し、あなたを大いなる国民とし、あなたの名を大いなるものとする。そして、あなたを通して地のすべての家族が祝福されるであろう。
24 それゆえ、あなたとあなたの妻、そしてあなたに属するすべての者、あなたの家で生まれたすべての者、そしてあなたがハランで生み出したすべての魂と共に、ここから出て行き、カナンの地へ帰りなさい。
25 アブラムは立ち上がり、妻サライと、自分の所有するすべてのもの、自分の家で生まれたすべての子供たち、そしてハランで生まれたすべての人々を連れて、カナンの地へ向かって出て行った。
26 アブラムは主の言葉に従ってカナンの地へ帰って行った。彼の兄弟ハランの子ロトも彼と共に行った。アブラムはハランを出てカナンの地へ帰るとき、七十五歳であった。
27 彼は主がアブラムに告げられたとおりにカナンの地に来て、天幕を張り、マムレの平野に住んだ。彼の兄弟の子ロトと、彼に属するすべての人々も彼と共にいた。
28 主は再びアブラムに現れて言われた、「わたしはあなたの子孫にこの地を与える」。そこでアブラムは、自分に現れた主のために祭壇を築いた。それは今日までマムレの平野にある。

第 14 章

1 その頃、シナールの地に、あらゆる知恵に通じ、容姿端麗な賢者がいた。しかし、彼は貧しく困窮していた。彼の名はリカヨンで、生活に苦労していた。
2 彼はエジプトに行き、エジプトの王アノムの子オスウィリスに自分の知恵を示すことにした。そうすれば、王の目にかなって、地位を高めて養ってくれるかもしれないと考えたからである。そしてリカヨンはそうした。

3 リカヨンがエジプトに着くと、エジプトの住民に王について尋ねた。すると、エジプトの住民は彼にエジプトの王の習慣を告げた。当時、エジプトの王は年に一度だけ王宮を出て外に姿を現し、その後は王宮に戻ってそこに留まるのが習慣であった。
4 そして王が出発したその日に、王は国中で裁きを下し、訴えのある者は皆、その日に王の前に来て願いを聞き入れた。
5 リカヨンはエジプトの慣習と、王の前に出ることができないことを聞くと、ひどく悲しみ、非常に嘆き悲しんだ。
6 夕方になるとリカヨンは出て行き、エジプトにある廃墟となった家を見つけた。そこはかつてパン屋だった。彼はそこで夜通し、心の苦しみと飢えに苛まれ、眠気も消え失せた。
7 リカヨンは、王が現れるまで町で何をすべきか、またそこでどのように生活していくべきかを心の中で考えた。
8 彼は朝起きて歩き回り、途中で野菜や様々な種類の種を売って住民に供給している人々に出会った。
9 リカヨンも町で生活費を得るために同じことをしようとしたが、彼は民の習慣を知らなかったので、彼らの間では盲人のようだった。
10 彼は野菜を買ってきて、それを売って生計を立てようとしたが、群衆が彼を取り囲み、彼を嘲り、野菜を奪い取って何も残さなかった。
11 彼はそこから苦い思いで立ち上がり、ため息をつきながら、前夜泊まったパン屋に行き、二晩目をそこで寝た。
12 その夜、彼は再び、飢えから身を守るにはどうすればよいかを心の中で考え、行動するための計画を立てた。
13 彼は朝起きて巧妙に行動し、武器を手に持った暴徒の中から力強い男たち３０人を雇い、彼らをエジプトの墓の頂上に連れて行き、そこに置いた。
14 彼は彼らに命じて言った、「王はこう仰せられる。力をつけ、勇敢であれ。銀貨 200 枚が支払われるまでは、ここに埋葬してはならない。銀貨が支払われれば、埋葬することができる。」そして、彼らはその年中、リカヨンのエジプト人に対する命令どおりに行動した。
15 そして八か月後、リカヨンとその部下たちは銀と金の莫大な富を集め、リカヨンは大量の馬やその他の動物を捕らえ、さらに多くの人を雇い、彼らに馬を与え、彼らはリカヨンのところに留まった。
16 そしてその年が過ぎ、王が町へ出かける時、エジプトの住民は皆集まって、リカヨンとその部下たちの行いについて王に話をした。
17 王は定められた日に出て行き、すべてのエジプト人が王の前に来て、王に向かって叫んで言った。
18 王よ、永遠に生きられますように。町で家臣たちに、なぜこのようなことをなさるのですか。銀や金が一定額支払われるまで、死体を埋葬することを許さないとは。かつての王たちの時代から、いや、アダムの時代から今日に至るまで、地上でこのようなことが行われたことがあったでしょうか。死者が一定の金額を支払わなければ埋葬されないなどということが。
19 王が生きている者から年賦の税金を取るのが慣習であることは知っているが、あなたはそれだけでなく、死者からも日ごとに税金を徴収している。
20 王よ、私たちはもうこれ以上耐えられません。このために都全体が滅びてしまったのです。あなたはそれを知らないのですか。
21 王は彼らの話をすべて聞いて、非常に怒り、この件について全く知らなかったので、怒りが燃え上がった。
22 王は言った。「私の命令なしに、私の国でこのような悪事を働く者は誰で、どこにいるのか。必ず私に教えてくれ。」
23 彼らはリカヨンとその部下たちの行いをすべて王に告げた。王は怒り、リカヨンとその部下たちを自分の前に連れてくるように命じた。
24 リカヨンは、息子と娘を千人ほど連れてきて、絹と刺繍の衣を着せ、馬に乗せて、部下を使って王のもとへ送った。また、大量の銀、金、宝石、そして強くて美しい馬を王への贈り物として持って行き、王の前に出て、地にひれ伏した。王と家臣、そしてエジプトのすべての住民は、リカヨンの行いに驚き、彼の財宝と王に持ってきた贈り物を見た。
25 王はそれを大変喜び、驚嘆した。リカヨンが王の前に座ると、王は彼のすべての業績について尋ねた。リカヨンは王と家臣、そしてエジプトのすべての住民の前で、賢明にすべての言葉を語った。
26 王はリカヨンの言葉と知恵を聞いたとき、リカヨンは王の目に恵みを得た。そして、彼の知恵と優れた弁舌のゆえに、王のすべての家臣とエジプトのすべての住民から恵みと親切を受けた。その時から、彼らはリカヨンを非常に愛するようになった。
27 すると王はリカヨンに答えて言った。「あなたの名はもはやリカヨンとは呼ばれず、ファラオと呼ばれるであろう。あなたは死者から税金を徴収したからだ。」そして王は彼の名をファラオと名付けた。
28 王と臣民はリカヨンの知恵を愛し、エジプトのすべての住民と相談して、彼を王の長官に任命した。
29 エジプトの住民と賢者たちは皆そのようにし、それはエジプトの法律となった。
30 そして彼らはエジプトの王オズウィリスの下でファラオ・リカヨンを長官に任命し、ファラオ・リカヨンはエジプトを統治し、毎日全都市に裁きを下した。しかし王オズウィリスは年に一度、出陣して民を裁くことになっていた。
31 そしてリカヨン王は狡猾にもエジプトの政権を奪い、エジプトのすべての住民から税金を取り立てた。
32 エジプトの住民は皆、ファラオ・リカヨンを大いに愛し、エジプトで自分たちと子孫を治める王はすべてファラオと呼ぶように布告を出した。

33 それゆえ、その時から今日に至るまで、エジプトで統治したすべての王はファラオと呼ばれた。

第 15 章

1 その年、カナンの地全体にひどい飢饉があり、その地の住民は飢饉のためにそこにとどまることができなかった。それは非常に深刻な飢饉であった。
2 アブラムと彼の一族は皆、飢饉のために立ち上がり、エジプトへ下って行った。そして、ミツライム川のほとりに着くと、旅の疲れを癒すためにしばらくそこに滞在した。
3 アブラムとサライはミツライム川のほとりを歩いていた。アブラムは妻サライを見て、彼女がとても美しいことに気づいた。
4 アブラムは妻サライに言った。「神はあなたをこんなにも美しい容姿に創造されたので、エジプト人が私を殺してあなたを連れ去ってしまうのではないかと恐れています。この地には神を畏れる心がないからです。」
5 それゆえ、必ずこうしなさい。あなたに尋ねる者すべてに、あなたは私の妹だと言いなさい。そうすれば、私は幸いになり、私たちは生き延びて死刑に処されることもないだろう。
6 アブラムは飢饉のためにエジプトへ同行した者たち全員に同じことを命じ、甥のロトにも命じて言った。「エジプト人がサライについて尋ねたら、彼女はアブラムの妹だと言いなさい。」
7 しかし、アブラムはこれらの命令をすべて信じず、サライを連れて箱に入れ、彼らの器の中に隠した。アブラムはエジプト人の悪行のためにサライのことを非常に心配していたからである。
8 アブラムと彼に属する者たちは皆、ミツライム川から立ち上がり、エジプトに着いた。彼らが町の門をくぐるとすぐに、番兵たちが彼らに立ち、「持っているものの中から十分の一を王に納めなさい。そうすれば町に入ってよい」と言った。アブラムと彼と共にいた者たちはそうした。
9 アブラムは彼と共にいた人々と共にエジプトに着き、到着するとサラが隠されていた箱を持ってきた。エジプト人はその箱を見た。
10 すると王の家臣たちがアブラムに近づき、「この箱の中に、我々が見ていない何かがあるのではないか。さあ、箱を開けて、中身の十分の一を王に献げなさい」と言った。
11 するとアブラムは言った。「この箱は開けません。しかし、あなたがたが求めるものはすべて差し上げましょう。」するとファラオの役人たちはアブラムに答えて言った。「それは宝石の箱です。その十分の一を私たちにください。」
12 アブラムは言った、「あなたが望むものはすべて与えよう。しかし、箱を開けてはならない。」
13 王の役人たちはアブラムに迫り、箱に手を伸ばして力ずくで開けると、箱の中には美しい女性がいた。
14 王の家臣たちはサラを見ると、その美しさに感嘆した。ファラオのすべての王子と家臣たちはサラを見るために集まった。彼女はとても美しかったからである。王の家臣たちは走ってファラオに、自分たちが見たことをすべて伝え、サラを褒め称えた。ファラオは彼女を連れてくるように命じ、その女は王の前に現れた。
15 ファラオはサライを見て、彼女を大変気に入り、その美しさに心を奪われた。王は彼女のことで大いに喜び、彼女について知らせてきた者たちに贈り物をした。
16 そしてその女はファラオの家に連れて行かれ、アブラムは妻のことで悲しみ、ファラオの手から彼女を救い出してくれるよう主に祈った。
17 その時、サラも祈って言った。「主なる神よ、あなたはわが主アブラムに、その土地と父の家を出てカナンの地へ行くように命じ、もし彼があなたの命令に従うならば、彼に恵みを与えると約束されました。今、私たちはあなたが命じられたとおりに行い、私たちの土地と家族を離れ、見知らぬ土地、見知らぬ民のところへ行きました。」
18 私たちは飢饉を避けるためにこの地に来たのですが、このような災難に見舞われてしまいました。ですから、主なる神よ、どうか私たちをこの圧制者の手から救い出し、あなたの慈悲によって私に恵みを与えてください。
19 主はサラの声を聞き入れ、主は天使を遣わしてサラをファラオの支配から救い出した。
20 王が来てサラの前に座ると、見よ、主の天使が彼らの上に立っていた。そして、天使はサラに現れて言った。「恐れるな。主はあなたの祈りを聞き入れた。」
21 王はサラに近づき、「あなたをここへ連れてきたあの男は、あなたにとって何者ですか」と尋ねた。サラは「私の兄です」と答えた。
22 王は言った、「彼を偉大な者とし、地位を高め、あなたが命じるすべての善行を彼に行うことは、我々の務めである。」そしてその時、王はアブラムに銀、金、宝石を大量に送り、家畜、男のしもべ、女のしもべも送った。王はアブラムを連れてくるように命じ、アブラムは王宮の中庭に座り、その夜、王はアブラムを大いに高めた。
23 王はサラに話しかけようと近づき、彼女に触れようと手を伸ばした。すると天使が王を激しく打ち、王は恐れおののき、彼女に手を伸ばすのをためらった。
24 王がサライに近づくと、天使は王を地に打ち倒し、夜通し王にそのようにしたので、王は恐れおののいた。
25 その夜、天使はサライのことで王の家臣たちと王の家族全員をひどく打ち、その夜、ファラオの家の人々の間には大きな嘆きがあった。
26 ファラオは自分に降りかかった災難を見て、「確かにこの女のせいで私にこんなことが起こったのだ」

と言い、彼女から少し離れて、彼女に優しい言葉をかけました。
27 王はサラに言った。「どうか、あなたが一緒にここに来た男について教えてください。」サラは言った。「この人は私の夫です。あなたが彼を悪意をもって殺してしまうのではないかと恐れたので、兄だと言ったのです。」
28 王はサラから遠ざかり、主の使いの災いは王とその家族から止んだ。ファラオは自分がサラのために災いを受けたことを知り、このことに非常に驚いた。
29 朝になると王はアブラムを呼び寄せて言った。「お前は私に何てことをしたのだ。なぜ『彼女は私の妹だ。だから私は彼女を妻として迎えた。それでこのひどい疫病が私と私の家族に降りかかったのだ』と言ったのか。」
30 そこで、ここにあなたの妻がいます。彼女を連れてこの地から出て行ってください。さもないと、彼女のせいで私たち全員が死んでしまいます。ファラオはさらに多くの家畜、男のしもべ、女のしもべ、銀と金を取り、アブラムに与え、妻サライを彼のもとに返しました。
31 王は側室との間に生まれた娘を一人連れてきて、サラに侍女として与えた。
32 王は娘に言った。「娘よ、この女のせいで我々に降りかかった災難を見た後では、私の家で女主人になるよりは、この男の家で女中になる方がましだ。」
33 アブラムは立ち上がり、彼と彼のすべての仲間はエジプトを去った。ファラオは自分の部下たちに、彼と彼と共に行くすべての人々に同行するように命じた。
34 アブラムはカナンの地に戻り、祭壇を造り、最初に天幕を張った場所へ行った。
35 アブラムの兄弟であるハランの子ロトは、アブラムのゆえに主が彼らに恵みを与えられたので、多くの牛、羊、牛の群れ、天幕を所有していた。
36 アブラムがその地に住んでいたとき、ロトの牧夫たちはアブラムの牧夫たちと争った。彼らの財産があまりにも多く、一緒にその地に留まることはできず、また、彼らの家畜のためにその地は彼らを支えきれなかったからである。
37 アブラムの羊飼いたちは羊の群れを飼うためにその地の民の畑には入らなかったが、ロトの羊飼いたちの家畜はそうではなく、その地の民の畑で飼われることを許されていた。
38 その地の民は毎日この出来事を見て、アブラムのところへ来て、ロトの羊飼いのことで彼と口論した。
39 アブラムはロトに言った。「あなたは私に何をしているのですか。なぜ、あなたの牧夫に命じて、他の人の畑であなたの牛を飼わせ、この地の住民に私を蔑まれるようにするのですか。あなたは私がカナンの民の中で異邦人であることを知らないのですか。なぜ私にこのようなことをするのですか。」
40 アブラムはこのことで毎日ロトと口論したが、ロトはアブラムの言うことを聞かず、同じことを繰り返したので、その地の住民が来てアブラムに告げた。
41 アブラムはロトに言った。「いつまであなたは、この地の住民たちにとって私のつまずきの石となるのか。どうか、もう私たちの間に争いがないようにしてください。私たちは親族なのですから。」
42 しかし、お願いですから、私から離れて、行って、あなたの家畜とあなたの持ち物すべてと共に住む場所を選びなさい。あなたとあなたの家族は、私から離れていなさい。
43 私から離れて行くことを恐れてはならない。もし誰かがあなたに危害を加えたなら、私に知らせなさい。そうすれば、私がその人からあなたの訴えを取り上げ、あなたのために報復する。ただ、私から離れて行きなさい。
44 アブラムがロトにこれらの言葉をすべて語り終えると、ロトは立ち上がり、ヨルダン川の平野の方を向いた。
45 彼はこの地全体が水に恵まれ、人間にとっても家畜の牧草地としても適しているのを見た。
46 ロトはアブラムから離れてその地に行き、そこに天幕を張ってソドムに住み、彼らは離れ離れになった。
47 アブラムはヘブロンにあるマムレの平野に住み、そこに天幕を張り、アブラムはその場所に長年留まった。

第 16 章

1 その時、エラムの王ケドルラオメルは、近隣のすべての王、すなわち、当時彼の支配下にあったシナールの王ニムロド、ゴイムの王ティダル、そして契約を結んだエラサルの王アリオクに使いを送り、「私のところに来て私を助けてください。ソドムのすべての町とその住民を打ち滅ぼしましょう。彼らはこの 13 年間、私に反逆してきたのです」と言った。
2 そして、この四人の王は全軍を率いて、およそ八十万人の兵を率いて進軍し、そのままの姿で進み、道中で出会った者を皆殺しにした。
3 ソドムとゴモラの五人の王、アドマの王シナブ、ゼボイムの王シェメベル、ソドムの王ベラ、ゴモラの王ベルシャ、ゾアルの王ベラは彼らを迎えに出陣し、シディムの谷で合流した。
4 そして、これら九人の王はシディムの谷で戦いをし、ソドムとゴモラの王たちはエラムの王たちの前で打ち負かされた。
5 シディムの谷は石灰の穴で満ちており、エラムの王たちはソドムの王たちを追撃した。ソドムの王たちは陣営と共に逃げ、石灰の穴に落ちた。残った者たちは皆、安全を求めて山へ逃げた。エラムの五人の王は彼らを追ってソドムの門まで追い詰め、ソドムにあったもの全てを奪った。

6 そして彼らはソドムとゴモラのすべての町を略奪し、
アブラムの兄弟の息子ロトとその財産を捕らえ、ソ
ドムの町々のすべての財産を奪い取って去って行っ
た。戦いに参加していたアブラムのしもべウニクは
これを見て、王たちがソドムの町々にしたこと、そ
してロトが捕虜にされたことをアブラムに告げた。
7 アブラムはこれを聞いて、彼と共にいた約 318 人の
部下と共に立ち上がり、その夜、これらの王たちを
追い詰めて打ち破った。彼らは皆、アブラムとその
部下たちの前で倒れ、逃げた 4 人の王だけが残った。
彼らはそれぞれ自分の道へ去っていった。
8 アブラムはソドムのすべての財産を取り戻し、ロト
とその財産、妻たち、幼い子供たち、そして彼に属
するすべてのものを取り戻したので、ロトは何も不
足することがなかった。
9 そして、彼がこれらの王たちを打ち破って戻って来
たとき、彼と彼の部下たちは、王たちが共に戦った
シディムの谷を通り過ぎた。
10 ソドムの王ベラと、彼と共にいた残りの兵士たち
は、落ちていた石灰穴から出て、アブラムとその一
行に会した。
11 エルサレムの王アドニゼデク、すなわちセムは、
パンとぶどう酒を持って、部下たちと共にアブラム
とその民を迎えに行き、メレクの谷で共に過ごした。
12 アドニゼデクはアブラムを祝福し、アブラムは敵
から奪った戦利品の十分の一を彼に与えた。アドニ
ゼデクは神の前に立つ祭司であったからである。
13 そこにいたソドムとゴモラの王たちは皆、しもべ
たちと共にアブラムに近づき、捕虜にしたしもべた
ちを返してくれるように、そしてすべての財産を自
分のものにするようにと懇願した。
14 アブラムはソドムの王たちに答えて言った。「天
と地を創造し、私の魂をあらゆる苦難から贖い出し、
今日私を敵から救い出し、彼らを私の手に渡された
主にかけて誓います。私はあなたがたの所有物を何
も取りません。明日、あなたがたが『アブラムは私
たちの財産を救って金持ちになった』と自慢しない
ためです。」
15 わたしが信頼する主なる神はわたしに言われた。
「あなたは何も欠けることがない。わたしはあなた
の手のすべての働きにおいてあなたを祝福する。」
16 それゆえ、見よ、ここにあなたがたに属するもの
はすべてある。これを持って行きなさい。主にかけ
て誓うが、私はあなたがたから生きている者一人一
人、靴紐一本一本、糸一本に至るまで奪わない。た
だし、私と共に戦いに出た者たちの食費、私と共に
戦ったアナール、アシュコル、マムレの者たちとそ
の部下、そして荷物の見張りに残った者たちの分け
前は除く。彼らは戦利品の分け前を受け取るであろ
う。
17 ソドムの王たちは、アブラムが言ったとおりに彼
に与え、好きなものを何でも取るようにと迫ったが、
彼はそれを拒んだ。
18 彼はソドムの王たちと残りの兵士たちを遣わし、
ロトについて彼らに指示を与え、彼らはそれぞれの
所へ帰って行った。
19 アブラムは、兄の息子ロトも自分の財産と共に送
り出し、ロトは彼らと共に行った。そしてロトは故
郷のソドムに帰り、アブラムとその一族はヘブロン
にあるマムレの平野の故郷に帰った。
20 その時、主は再びヘブロンでアブラムに現れて言
われた。「恐れるな。あなたの報いはわたしの前に
非常に大きい。わたしはあなたを見捨てず、あなた
を増やし、あなたを祝福し、あなたの子孫を天の星
のように数えきれないほどにする。」
21 わたしはあなたの子孫に、あなたが目で見るこれ
らの土地すべてを、永遠の相続地として与える。た
だ強くあれ、恐れるな、わたしの前を歩み、完全で
あれ。
22 アブラムの生涯の七十八年目に、ペレグの子レウ
が死んだ。レウの生涯は２百３９年であった。
23 アブラムの妻であるハランの娘サライは、その頃
もまだ子を産むことができず、アブラムに息子も娘
も産まなかった。
24 すると、彼女は自分が子供を産まないのを見て、
ファラオから与えられた女奴隷ハガルを連れてきて、
夫アブラムに妻として与えた。
25 ハガルはサラが教えたとおりにサラのすべての道
を学び、サラの良い行いに従うことに少しも欠ける
ことはなかった。
26 サライはアブラムに言った。「ご覧ください、こ
こに私の女奴隷ハガルがいます。彼女のところへ行
って、私のひざの上で子を産んでもらい、私も彼女
を通して子供を得られるようにしてください。」
27 アブラムがカナンの地に住んで十年が経ったとき、
すなわちアブラムの生涯の八十五年目に、サライは
ハガルを彼に与えた。
28 アブラムは妻サライの声を聞き、女奴隷ハガルを
連れて行き、彼女のもとへ行った。するとハガルは
身ごもった。
29 ハガルは自分が身ごもったのを見て大いに喜び、
女主人を軽蔑し、心の中でこう思った。「これは、
私が女主人サライよりも神の前に優れているという
ことに他ならない。女主人は夫と暮らしていた間ず
っと子を宿さなかったのに、主は私をこんなにも短
い期間で夫によって身ごもらせてくださったのだか
ら。」
30 サライはハガルがアブラムの子を身ごもったのを
見て、自分の女奴隷に嫉妬し、心の中で「これはき
っと、彼女が私より優れているということに違いな
い」と思った。
31 サライはアブラムに言った。「あなたが主の前で
子供を求めて祈った時、なぜ私のために祈らなかっ
たのですか。主があなたから私に子孫を与えてくだ
さるようにと。」
32 そして、私があなたの前でハガルに話しかけても、
彼女は妊娠したために私の言葉を軽蔑し、あなたは

彼女に何も言わないのです。あなたが私にしたことについて、主が私とあなたの間を裁いてくださいますように。
33 アブラムはサライに言った。「見よ、あなたの女奴隷はあなたの手の中にある。あなたの目に良いと思うように彼女にしなさい。」サライは彼女を苦しめ、ハガルは彼女から逃れて荒野へ行った。
34 すると主の使いが、彼女が逃げ込んだ井戸のそばで彼女を見つけ、彼女に言った。「恐れるな。わたしはあなたの子孫を増やす。あなたは男の子を産み、その子をイシュマエルと名付けなさい。さあ、あなたの女主人サライのもとに帰り、彼女の支配下に入りなさい。」
35 ハガルはその井戸の場所をベエル・ラハイ・ロイと名付けた。それはカデシュとベレドの荒野の間にある。
36 その頃、ハガルは主人の家に戻り、終わりの日にアブラムに息子を産んだ。アブラムはその子をイシュマエルと名付けた。アブラムが彼を生んだのは 86 歳の時であった。

第 17 章

1 その頃、アブラムの生涯の九十 1 年目に、キッティムの子らはトバルの子らと戦った。主が人の子らを地の面に散らされたとき、キッティムの子らはカノピアの平野に出て行き、そこに町を建て、ティブレウ川のほとりに住んだ。
2 トゥバルの子孫はトスカーナに住み、その境界はティブレウ川にまで達した。トゥバルの子孫はトスカーナに町を建て、父トゥバルの子サビナの名にちなんでサビナと名付け、今日までそこに住み続けている。
3 その時、キッティムの子らはトゥバルの子らと戦い、トゥバルの子らはキッティムの子らに打ち負かされ、キッティムの子らはトゥバルの子らから三百七十人を倒した。
4 その時、トバルの子らはキッティムの子らに誓って言った、「あなた方は我々の仲間と結婚してはならない。また、誰も自分の娘をキッティムの子らに嫁がせてはならない。」
5 その当時、トゥバルの娘たちは皆美しかった。地上のどこにも、トゥバルの娘たちほど美しい女性はいなかった。
6 そして、女の美しさを喜ぶ者は皆、トバルの娘たちのところへ行き、彼女たちから妻を娶った。また、女の美しさを大いに喜ぶ人々の息子たち、王や君主たちも、その時代にトバルの娘たちから妻を娶った。
7 トバルの子らがキッティムの子らに娘を妻として与えないと誓ってから 3 年後、キッティムの子らの約２０人がトバルの娘を何人か連れて行こうとしたが、一人も見つからなかった。
8 トゥバルの子孫は彼らと結婚しないという誓いを守り、その誓いを破らなかった。
9 収穫の時期になると、トバルの子らは収穫のために畑へ出かけた。その時、キッティムの若者たちが集まってサビナの町へ行き、それぞれがトバルの娘たちの中から若い女性を一人ずつ連れて、自分たちの町へ帰った。
10 トゥバルの子らはこれを聞いて、彼らと戦いに行ったが、山が彼らから非常に高かったので、彼らに勝つことができなかった。そして、彼らに勝てないと分かると、自分たちの土地に引き返した。
11 そしてその年の革命の時、トゥバルの子らは近くの町々からおよそ 1 万人の男を雇い、キッティムの子らと戦った。
12 トゥバルの子らはキッティムの子らと戦い、彼らの土地を破壊し、彼らを苦しめようとした。この戦いでトゥバルの子らはキッティムの子らに勝利し、キッティムの子らは彼らがひどく苦しめられているのを見て、トゥバルの娘たちとの間に生まれた子供たちを、築かれた壁の上に持ち上げて、トゥバルの子らの目にさらした。
13 するとキッティムの子らは彼らに言った。「あなた方は自分の息子や娘と戦うために来たのですか。私たちはあの時から今まであなた方の肉親とみなされてこなかったのですか。」
14 トゥバルの子らはこれを聞くと、キッティムの子らとの戦いをやめ、去っていった。
15 そして彼らは自分たちの町々に戻り、その時キッティムの子らは集まって海辺に二つの町を建て、一つをプルトゥ、もう一つをアリザと名付けた。
16 その時、テラの子アブラムは九十九歳であった。
17 その時、主は彼に現れて言われた。「わたしはわたしとあなたとの間に契約を結び、あなたの子孫を大いに増やす。わたしとあなたとの間に結ぶ契約は、あなたとあなたの子孫の男子は皆、割礼を受けることである。」
18 生後八日目に割礼を受けさせ、この契約は永遠の契約としてあなたの肉体に刻まれる。
19 それゆえ、あなたの名はもはやアブラムではなくアブラハムと呼ばれ、あなたの妻はもはやサライではなくサラと呼ばれる。
20 わたしはあなたたち二人を祝福し、あなたたちの子孫を増やして、あなたたちを大いなる国民とし、あなたたちから王たちが出るようにする。

第 18 章

1 アブラハムは立ち上がり、神が命じられたとおりにすべてを行い、自分の家の男たちと自分の金で買った男たちを連れて行き、主が命じられたとおりに彼らに割礼を施した。
2 すると、割礼を受けなかった者は一人も残らなかった。アブラハムとその息子イシュマエルも、包皮の肉に割礼を受けた。イシュマエルが包皮の肉に割礼を受けたのは、13 歳のときであった。

3 そして三日目に、アブラハムは天幕から出て、肉体の苦痛を和らげるために、戸口に座って太陽の暖かさを楽しんだ。
4 主はマムレの平野で彼に現れ、三人の仕える天使を遣わして彼を訪ねさせた。彼は天幕の入り口に座っていたが、目を上げて見ると、三人の人が遠くからやって来た。彼は立ち上がり、彼らを迎えに走り、彼らにひれ伏して自分の家に迎え入れた。
5 イエスは彼らに言われた。「もし今、あなたがたの目に私が好意を得たのなら、中に入ってパンを少し食べなさい。」イエスは彼らを強く勧めたので、彼らは中に入った。イエスは彼らに水を与え、彼らは足を洗った。そして、イエスは彼らを天幕の入り口の木の下に置いた。
6 アブラハムは走って行って、柔らかくて良い子牛を捕まえ、急いでそれを屠り、しもべのエリゼルにさばかせた。
7 アブラハムはサラのところへ天幕に入り、彼女に言った。「急いで上等の小麦粉を三升用意し、それをこねてパンを作り、肉の入った鍋を覆いなさい。」サラはそのようにした。
8 アブラハムは急いでバターと牛乳、牛肉と羊肉を彼らの前に持ってきて、子牛の肉が十分に火が通る前に彼らに食べさせたので、彼らはそれを食べた。
9 食事が終わると、彼らのうちの一人がイエスに言った。「わたしはあなたの命の時が来たら戻ってきます。あなたの妻サラは息子を産むでしょう。」
10 その後、男たちは出発し、それぞれが遣わされた場所へ向かった。
11 その頃、ソドムとゴモラ、そして五つの町の民は皆、主に対して極めて邪悪で罪深く、忌まわしい行いで主を怒らせ、主の前で忌まわしく、軽蔑的に年老いていった。その頃、彼らの悪行と罪は主の前で甚だしかった。
12 彼らの土地には、半日ほど歩けるほどの広大な谷があり、そこには泉があり、その水の周りにはたくさんの草木が生い茂っていた。
13 ソドムとゴモラの人々は皆、妻や子供、その他すべての持ち物と共に、年に四度そこへ行き、タンバリンを鳴らし、踊りながら喜んだ。
14 そして、喜びの時になると、彼らは皆立ち上がり、隣人の妻たちを捕らえ、またある者は隣人の処女の娘たちを捕らえ、彼女たちを楽しんだ。そして、各人は自分の妻や娘が隣人の手に渡っているのを見ても、一言も言わなかった。
15 そして彼らは朝から晩までそうして、その後、男はそれぞれ自分の家に、女はそれぞれ自分の天幕に帰った。彼らはいつも年に四回そうしていた。
16 また、見知らぬ人が彼らの町々にやって来て、そこで売ろうと思って買った品物を持ってくると、町の人々は男も女も子供も、老いも若きも集まって、その男のところへ行き、力ずくでその品物を奪い取り、持ち主が土地に持ち込んだ品物がなくなるまで、一人一人に少しずつ分け与えた。
17 もしその品物の持ち主が彼らと口論して、「あなたたちは私に何をしたのか」と言うと、彼らは一人ずつ彼に近づき、それぞれが取ったわずかなものを見せて、「私はあなたが私にくれたわずかなものしか取っていない」と彼をあざけった。彼が皆からこれを聞くと、彼は立ち上がり、悲しみと心の苦しみを抱えて彼らから立ち去った。すると彼らは皆立ち上がり、彼を追いかけ、大騒ぎと騒乱の中で彼を町から追い出した。
18 さて、エラムの国から来た人が、ろばに乗ってのんびりと道を歩いていた。ろばは色とりどりの美しい外套を背負っており、その外套は紐でろばに縛り付けられていた。
19 その男は旅の途中でソドムの街を通りかかった。日が暮れて、夜を過ごすためにそこに留まったが、誰も彼を家に入れようとしなかった。その時、ソドムには邪悪で悪事を働くことに長けた男がいた。その名はヘダドであった。
20 彼は目を上げて町の通りにいる旅人を見て、近づいて言った。「あなたはどこから来て、どこへ行くのですか。」
21 すると、その男はイエスに言った。「私はヘブロンから、私の故郷であるエラムへ旅をしています。日が暮れてしまいましたが、パンも水も、ろばのための藁と飼料も持っていて、何も不足していないのに、誰も私を家に入れてくれませんでした。
22 ヘダドは答えて言った、「あなたが必要とするものはすべて私が与えよう。しかし、夜通し路上に留まってはならない。」
23 ヘダドは彼を自分の家に連れて行き、縄でロバの外套を脱がせて自分の家に連れて行き、旅人がヘダドの家で飲食している間、ロバに藁と飼料を与え、その夜はそこに泊まった。
24 朝になると旅人は早く起きて旅を続けようとしたが、ヘダドは彼に言った。「待ちなさい。パンを少し食べて心を慰めてから行きなさい。」すると旅人はその通りにした。そしてヘダドは彼と一緒にいて、二人は一日中一緒に食べたり飲んだりした。そして旅人が出発しようと起き上がった。
25 ヘダドは彼に言った、「見よ、もう日が暮れつつある。心を慰めるために、一晩泊まった方が良いだろう。」ヘダドは彼を強く勧めたので、彼は一晩泊まった。そして二日目、彼は早く起きて出発しようとしたが、ヘダドは彼に勧めて言った、「パンを少し食べて心を慰めてから行きなさい。」ヘダドは二日目もそこに留まり、彼と一緒に食事をした。それから彼は旅を続けるために立ち上がった。
26 ヘダドは彼に言った、「見よ、もう日が暮れつつある。私のそばにいて心を慰めなさい。そして朝早く起きて行きなさい。」
27 すると、その男はそこに留まろうとせず、立ち上がってろばに鞍をつけた。彼がろばに鞍をつけている間に、ヘダドの妻は夫に言った。「ご覧ください、この男は二日間も私たちと一緒にいて、食べたり飲

んだりして、何もくれませんでした。今になって何もくれずに去っていくのですか。」ヘダドは彼女に言った。「黙れ。」
28 すると、その人はろばに鞍をつけて出かけようとし、ヘダドに、ろばに結びつけるための紐と外套をくれるように頼んだ。
29 ヘダドは彼に言った、「お前は何と言っているのか」。ヘダドは彼に言った、「わが主よ、あなたが保管するために家に隠しておかれた、さまざまな色の紐と外套を私にください。」
30 ヘダドは男に答えて言った。「これがあなたの夢の解釈です。あなたが見た紐は、あなたの命が紐のように長くなることを意味します。また、あらゆる色に染まった外套を見たことは、あなたがぶどう畑を持ち、そこにあらゆる果実の木を植えることを意味します。」
31 すると旅人は答えて言った、「いいえ、旦那様。紐と、色とりどりの糸で織られた外套をお渡しした時は、私は起きておられました。旦那様はそれをろばから外して、私のために保管してくださったのです。」 ヘダドは答えて言った、「確かに私はあなたの夢の解釈を告げました。それは良い夢です。これがその解釈です。」
32 さて、人は夢を解釈する報酬として銀貨四枚を私に渡しますが、私はあなたからだけ銀貨三枚を要求します。
33 その男はヘッダドの言葉に腹を立て、激しく泣き叫び、ヘッダドをソドムの裁判官セラクのところへ連れて行った。
34 その男は裁判官セラクに訴えたが、ヘダドは「そうではない、事の次第はこうだ」と答えた。裁判官は旅人に「このヘダドという男は真実を言っている。彼は夢を正確に解釈することで町々で有名だ」と言った。
35 すると、その男は裁判官の言葉に叫び、「それは違います、閣下。私が彼に、ろばにかかっていた紐と外套を渡したのはその日のことでした。それを彼の家に置いておくためでした」と言った。そして、二人は裁判官の前で言い争い、一方は事の真相を述べ、もう一方はそれとは異なることを主張した。
36 ヘダドは男に言った。「夢の解釈の報酬として銀貨四枚をくれ。値引きはしない。それから、私の家で食べた四食分の食事代もくれ。」
37 すると男はヘダドに言った。「あなたの家で食べたものの代金は必ずお支払いします。ただ、あなたが家に隠しておいた紐と外套をください。」
38 ヘダドは裁判官の前でその男に答えて言った。「私はあなたの夢の解釈をあなたに告げなかったか。紐はあなたの寿命が紐のように長くなることを意味しており、外套はあなたがぶどう畑を持ち、そこにあらゆる種類の果樹を植えることを意味する。」
39 これがあなたの夢の正しい解釈です。さあ、賠償として要求する銀貨 4 枚を私に渡してください。私はあなたに何の手当も与えません。
40 すると男はヘダドの言葉に泣き叫び、二人は裁判官の前で口論になった。裁判官は召使たちに命令し、召使たちは彼らを乱暴に家から追い出した。
41 彼らは裁判官と口論しながら立ち去った。ソドムの人々はそれを聞いて、彼らを取り囲み、その異邦人に対して叫び、彼を乱暴に町から追い出した。
42 そして男は心の苦しみを抱え、嘆き泣きながら、ろばに乗って旅を続けた。
43 彼は歩きながら、堕落した町ソドムで自分に起こったことを思い、涙を流した。

第 19 章

1 ソドムの町々には、それぞれ四人の裁判官がおり、その名はソドムの町のセラク、ゴモラの町のシャルカド、アドマの町のザブナク、ゼボイムの町のメノンであった。
2 そして、アブラハムのしもべエリゼルは彼らに別の名前をつけ、セラクをシャクラ、シャルカドをシャクルラ、ゼブナクをケゾビム、メノンをマツロディンと改名した。
3 ソドムとゴモラの人々は、四人の裁判官の希望により、町の通りに寝台を設置した。そして、人がそこに来ると、彼らはその人を捕らえて寝台に連れて行き、無理やり寝かせた。
4 彼が横になると、三人の男が彼の頭のそばに、三人の男が彼の足のそばに立ち、ベッドの長さに合わせて彼を測った。もし彼がベッドより短ければ、この六人の男は彼の両端を引っ張った。彼が彼らに叫んでも、彼らは答えなかった。
5 もしその男がベッドよりも長かったなら、彼らはベッドの両端を寄せ集め、その男が死の門に達するまでそうした。
6 彼が彼らに向かって叫び続けると、彼らは彼に答えて言った、「私たちの土地に来る者には、このようにされるのだ」。
7 ソドムの町々の人々が行ったこれらのことをすべて聞いた人々は、そこへ行くのを控えた。
8 貧しい人が彼らの土地に来ると、彼らは銀や金を与え、町中に布告を出して、彼にパン一切れも食べさせないようにした。そして、もしその異邦人がそこに数日間滞在し、パン一切れも得られずに飢え死にすると、町の人々は皆やって来て、彼に与えた銀や金を取り上げた。
9 そして、彼に与えた銀や金が分かる者たちはそれを取り返し、彼が死ぬときには彼の衣服も剥ぎ取り、それらをめぐって争い、隣人に勝った者がそれらを奪った。
10 その後、彼らは彼を運び出して荒野の低木の下に埋めた。彼らは、自分たちの土地に来て死んだ者には、いつもこのようにした。
11 やがてサラはエリゼルをソドムに遣わし、ロトに会わせて彼の安否を尋ねさせた。

12 エリゼルはソドムに行き、ソドムの男が旅人と争っているのに出会った。ソドムの男はその貧しい男の服をすべて剥ぎ取って立ち去った。
13 この貧しい男はエリゼルに叫び求め、ソドムの人が自分にしたことのゆえに、エリゼルの恵みを懇願した。
14 彼は彼に言った、「なぜあなたは、あなたの国に来た貧しい人にこのようなことをするのか。」
15 するとソドムの人はエリゼルに答えて言った、「この男はあなたの兄弟ですか。それともソドムの人々が今日あなたを裁判官に任命したのですか。それであなたはこの男について話しているのですか。」
16 エリゼルは貧しい人のことでソドムの人と争った。エリゼルがソドムの人から貧しい人の服を取り戻そうと近づくと、ソドムの人は急いで石を投げつけ、エリゼルの額を打った。
17 すると、エリゼルの額から血が大量に流れ出た。男はその血を見てエリゼルをつかみ、「あなたの額にあったこの悪い血を取り除いた報酬を私にください。これがこの国の慣習であり法律なのです」と言った。
18 エリゼルは彼に言った、「あなたは私を傷つけ、私に報酬を要求している」。エリゼルはソドムの人の言葉に耳を傾けようとしなかった。
19 その男はエリゼルを捕らえ、ソドムの裁判官シャクラのところへ連れて行き、裁きを受けさせた。
20 するとその男は裁判官に言った、「お願いです、主よ。この男はこのようなことをしたのです。私が石で彼を打ったので、彼の額から血が流れましたが、彼は私に報酬を支払おうとしません。」
21 裁判官はエリゼルに言った。「この男はあなたに真実を語っている。彼に報酬を与えなさい。これがこの地の慣習だからだ。」エリゼルは裁判官の言葉を聞いて、石を持ち上げて裁判官を打った。石は裁判官の額に当たり、裁判官の額から血が大量に流れ出た。エリゼルは言った。「もしこれがあなたの地の慣習であるならば、私が彼に与えるべきだったものをこの男に与えなさい。これはあなたの決定であり、あなたが定めたことだ。」
22 エリゼルはソドムの男を裁判官に預けて立ち去った。
23 エラムの王たちがソドムの王たちと戦ったとき、エラムの王たちはソドムのすべての財産を奪い、ロトとその財産を捕虜にした。このことがアブラハムに伝えられると、彼はエラムの王たちと戦い、ロトの財産とソドムの財産を彼らの手から取り戻した。
24 その時、ロトの妻が彼に娘を産んだ。ロトは彼女をパルティトと名付けた。それは、神が彼とその家族全員をエラムの王たちから救い出したからである。ロトの娘パルティトは成長し、ソドムの男の一人が彼女を妻として迎えた。
25 ある貧しい人が生活費を求めて町にやって来て、数日間町に滞在した。するとソドムの人々は皆、この人にパン一切れも食べさせないようにという慣習に従って布告を出し、ついに彼は地面に倒れて死んでしまった。
26 ロトの娘パルティトは、この男が飢えに苦しみながら路上に横たわっているのを見た。誰も彼に生きるための食べ物を与えようとせず、彼はまさに死にかけていた。
27 彼女はその男のことをとても哀れに思い、何日もひそかに彼にパンを食べさせた。すると、その男の魂は生き返った。
28 彼女が水を汲みに出かけるときは、水差しにパンを入れ、貧しい人のところに着くと、水差しからパンを取り出して彼に食べさせた。彼女はこれを何日も続けた。
29 ソドムとゴモラの人々は皆、この人がどうしてこれほど長い間飢えに耐えられるのか不思議に思った。
30 彼らは互いに言った。「これは、この人が食べたり飲んだりしているからに違いない。これほど長い間飢えに耐え、顔色も変わらないでいる人はいないだろう。」そして、3 人の男がその貧しい男のいる場所に身を隠し、誰が彼にパンを持ってきたのかを知ろうとした。
31 その日、ロトの娘パルティトは水を汲みに出かけ、水差しにパンを入れ、貧しい人の家のそばに水を汲みに行き、水差しからパンを取り出して貧しい人に与えたので、彼はそれを食べた。
32 すると三人はパルティスがその貧しい男にしたのを見て、彼女に言った。「あなたが彼を支えたからこそ、彼は飢え死にせず、容姿も変わらず、他の人たちのように死ななかったのだ。」
33 そして三人は隠れていた場所から出て行き、パルティトと貧しい男の手にあったパンを奪い取った。
34 そこで彼らはパルティトを捕らえ、裁判官たちの前に連れて行き、こう言った。「彼女はこのようにして貧しい男にパンを与えたので、彼はこれまで死なずに済んだのです。ですから、この女が私たちの律法を破ったことに対する罰を私たちに告げてください。」
35 ソドムとゴモラの人々は集まって町の通りに火を焚き、女を捕らえて火の中に投げ込んだ。女は灰になってしまった。
36 アドマの町に、彼らが同じようなことをした女がいた。
37 ある旅人がアドマの町にやって来て、一晩そこに泊まり、翌朝に帰るつもりでいました。彼はその場所に着いたときには日が沈んでいたので、若い娘の父親の家の戸口の向かいに座っていました。すると若い娘は彼が家の戸口に座っているのを見ました。
38 彼は彼女に水を一杯求めた。彼女は彼に「あなたはどなたですか」と尋ねた。彼は彼女に「私は今日旅をしていて、日が暮れる頃にここに着きました。ですから、今夜はここで泊まり、朝早く起きて旅を続けようと思います」と答えた。
39 すると、その若い女性は家に入り、男に食べるためのパンと飲むための水を持ってきた。

40 この出来事はアドマの人々に知れ渡り、彼らは集
まってその若い女性を裁判官たちの前に連れて行き、
この行為について裁きを受けさせた。
41 裁判官は言った。「この女は我々の律法に違反し
たので、死刑の判決を下さなければならない。これ
が彼女に対する判決である。」
42 すると、その町の人々は集まって、その若い女性
を連れ出し、裁判官の命令どおり、頭からつま先ま
で蜜を塗り、巣の中にいた蜂の群れの前に彼女を立
たせた。すると蜂は彼女に飛びかかり、刺したので、
彼女の全身が腫れ上がった。
43 すると、その若い女性は蜂のせいで叫び声をあげ
たが、誰も彼女に気付かず、彼女を哀れむ者もいな
かった。そして彼女の叫び声は天にまで届いた。
44 主はこれとソドムの町々のすべての行いに憤られ
た。彼らは食物に恵まれ、平和を享受していたが、
貧しい者や困窮している者を養おうとせず、その日、
彼らの悪行と罪は主の御前で大きくなった。
45 そして主は、アブラハムの家に来た天使のうち二
人を呼び寄せ、ソドムとその町々を滅ぼさせた。
46 天使たちは、食べたり飲んだりした後、アブラハ
ムの天幕の入り口から立ち上がり、夕方にソドムに
着いた。ロトはソドムの門に座っていたが、彼らを
見ると立ち上がって迎えに行き、地にひれ伏した。
47 彼は彼らを大いに押して自分の家に連れて行き、
食べ物を与えて彼らに食べさせ、彼らは一晩中彼の
家に泊まった。
48 天使たちはロトに言った、「立ち上がって、あな
たとあなたの持ち物すべてと共にここから出て行き
なさい。さもないと、あなたは、この町の罪のため
に滅ぼされてしまうだろう。主はこの場所を滅ぼさ
れるからだ。」
49 天使たちはロトの手と彼の妻の手と彼の子供たち
の手、そして彼に属するすべての者の手をつかみ、
彼を連れ出して町々の外に置いた。
50 彼らはロトに「命がけで逃げろ」と言ったので、
ロトは持ち物全てと共に逃げた。
51 すると主はソドムとゴモラ、そしてこれら全ての
町々に、天から主の硫黄と火を降らせた。
52 彼はこれらの町々、平野全体、町々の住民すべて、
そして地上に生えているものすべてを滅ぼした。ロ
トの妻アドは振り返って町々の滅びを見ていた。ソ
ドムに残った娘たちのことを思うと、彼女は深く心
を痛めていた。娘たちは彼女と一緒に行かなかった
からである。
53 すると、彼女が振り返ると、塩の柱になってしま
った。そしてそれは今日までその場所に残っている。
54 その場所に立っていた牛たちは毎日、足の先まで
塩をなめていたが、朝になるとまた塩が湧き出てき
て、牛たちは今日までそれをなめていた。
55 ロトと、彼と共に残っていた二人の娘は逃げてア
ドラムの洞窟に逃げ込み、しばらくの間そこに留ま
った。
56 アブラハムは朝早く起きて、ソドムの町々に何が
起こったかを見ようとした。そして見ると、町々か
ら煙が炉の煙のように立ち上っているのが見えた。
57 ロトと二人の娘は洞窟にとどまり、父にぶどう酒
を飲ませ、父と寝た。彼女たちは、地上には自分た
ちから子孫を残せる男はいないと考え、全地が滅び
たと思っていたからである。
58 そして二人は父と寝て、身ごもって男の子を産ん
だ。長女は息子をモアブと名付けて言った。「父か
ら彼を身ごもった。彼は今日までモアブ人の祖であ
る。」
59 また、妹も息子をベナミと名付けた。彼は今日ま
でアンモン人の子孫の父である。
60 その後、ロトと二人の娘はそこを去り、二人の娘
と息子たちと共にヨルダン川の向こう側に住んだ。
ロトの息子たちは成長し、カナンの地に行って妻を
めとり、子をもうけ、子孫が増えた。

第 20 章

1 その時、アブラハムはマムレの平野から旅立ち、ペ
リシテ人の地へ行き、ゲラルに住んだ。アブラハム
がカナンの地に住んで二十五年目、アブラハムの生
涯の百年目に、彼はペリシテ人の地のゲラルに着い
た。
2 そして彼らがその地に入ると、イエスは妻サラに言
った。「だれかに尋ねられても、あなたは私の妹だ
と言いなさい。そうすれば、私たちはその地の住民
の悪から逃れることができるでしょう。」
3 アブラハムがペリシテ人の地に滞在していたとき、
ペリシテ人の王アビメレクの家臣たちは、サラが非
常に美しいのを見て、アブラハムに彼女について尋
ねた。アブラハムは、「彼女は私の妹です」と答え
た。
4 アビメレクの家臣たちはアビメレクのところへ行き、
「カナンの地から来た人がこの地に住むことになり、
彼には非常に美しい妹がいます」と告げた。
5 アビメレクは、サラを褒め称える家臣たちの言葉を
聞き、役人たちを遣わして、サラを王のもとへ連れ
て行かせた。
6 サラはアビメレクの家に着くと、王はサラが美しい
のを見て、彼女を大変気に入った。
7 彼は彼女に近づいて言った。「あなたが私たちの土
地に一緒に来たあの男は、あなたにとって何者です
か。」サラは答えて言った。「彼は私の兄です。私
たちはカナンの地から来て、住む場所を見つけられ
るところならどこにでも住もうとしていました。」
8 アビメレクはサラに言った。「見よ、私の土地はあ
なたの前にあります。あなたの兄弟をこの土地の好
きな場所に住まわせなさい。彼はあなたの兄弟です
から、私たちは彼をこの土地のすべての人々の上に
高め、地位を与える義務があります。」
9 アビメレクはアブラハムを呼び寄せ、アブラハムは
アビメレクのところへ行った。

10 アビメレクはアブラハムに言った。「あなたの妹サラのために、あなたが望むように栄誉を受けるように命じた。」
11 アブラハムは王のもとを出て行った。王の贈り物も彼に続いた。
12 夕方になり、人々が寝る前に、王は玉座に座っていたが、深い眠りに落ち、玉座に横たわって朝まで眠った。
13 すると彼は夢を見た。主の天使が手に抜いた剣を持って彼のところにやって来て、アビメレクの上に立ち、剣で彼を殺そうとした。王は夢の中で恐れおののき、天使に言った。「私があなたに対してどんな罪を犯したというのですか。なぜあなたは剣で私を殺しに来るのですか。」
14 すると天使はアビメレクに答えて言った。「昨夜、あなたが家に連れてきた女のせいで、あなたは死ぬことになる。彼女は既婚者で、あなたの家に来たアブラハムの妻だからだ。だから、今すぐその男を妻に返せ。彼女は彼の妻なのだから。もしあなたが彼女を返さないなら、あなたも、あなたの家族も皆、必ず死ぬことを知っておきなさい。」
15 その夜、ペリシテ人の地で大きな叫び声が響き渡り、その地の住民は、剣を抜いて手に持った男が立っているのを見た。そして、その男は剣でその地の住民を打ち、打ち続けた。
16 その夜、主の使いがペリシテ人の全地を打ち、その夜と翌朝には大混乱が起こった。
17 そして、すべての胎が閉じられ、そのすべての産物が失われた。主の手が、アブラハムの妻サラのことで、彼らの上に下った。サラはアビメレクに娶られたのである。
18 朝になるとアビメレクは恐怖と混乱と大きな不安に駆られて起き上がり、使いを遣わして家臣たちを呼び寄せ、夢の話を彼らに語った。人々は非常に恐れた。
19 すると、王の家臣の中に立っていた一人の男が王に答えて言った。「王よ、この女を夫のもとに返してください。彼は彼女の夫です。この男がエジプトに来たとき、エジプトの王にも同じことが起こりました。」
20 彼は妻について「彼女は私の妹だ」と言った。これは、彼が異国の地に住むときにいつもすることである。
21 ファラオは人を遣わしてこの女を妻として迎えたが、主は彼にひどい災いを下し、ついに彼はその女を夫のもとに返した。
22 それゆえ、王よ、昨夜、国中に何が起こったかを知ってください。非常に大きな混乱と大きな苦痛と嘆きがありました。そして、私たちはそれがあなたが娶った女のせいであることを知っています。
23 それゆえ、この女を夫に返してください。エジプトの王ファラオとその臣民に起こったようなことが私たちにも起こらないように、そして私たちが死なないように。アビメレクは急いでサラを呼び、サラは彼の前に来た。またアブラハムも呼び、アブラハムは彼の前に来た。
24 アビメレクは彼らに言った。「あなたたちは兄弟姉妹だと言いながら、私がこの女を妻に迎えた。一体どういうことなのか。」
25 アブラハムは言った、「妻のことで死ぬかと思ったからです」。アビメレクは羊や牛、男のしもべや女のしもべ、銀千枚を取り、それらをアブラハムに与え、サラを彼に返した。
26 アビメレクはアブラハムに言った。「見よ、この地全体があなたの前にあります。あなたが選ぶ所に住みなさい。」
27 アブラハムと妻サラは、王の前から丁重に迎えられ、敬意をもって出て行き、ゲラルの地に住んだ。
28 ペリシテ人の地の住民と王の家臣たちは皆、サラのことで天使が一晩中彼らに下した疫病のために、なおも苦しんでいた。
29 アビメレクはアブラハムを呼び寄せて言った。「どうか、あなたの神、主に、私たちのしもべたちのために祈ってください。主が私たちの間からこの死すべき運命を取り除いてくださるように。」
30 アブラハムはアビメレクとその家臣たちのために祈った。すると主はアブラハムの祈りを聞き入れ、アビメレクとその家臣たちを癒された。

第 21 章

1 アブラハムがペリシテ人の地ゲラルに住んで一年と四ヶ月が経った頃、神はサラを訪ね、主は彼女を覚えておられた。そしてサラは身ごもり、アブラハムに息子を産んだ。
2 アブラハムは、サラが産んだ息子をイサクと名付けた。
3 アブラハムは、神がアブラハムに、自分の子孫にするように命じられたとおり、息子イサクが生後八日目に割礼を施した。イサクが彼らの間に生まれたとき、アブラハムは百歳、サラは九十歳であった。
4 そして、その子は成長し、乳離れした。アブラハムはイサクの乳離れした日に盛大な宴会を催した。
5 そして、セムとエベルとこの地のすべての有力者、ペリシテ人の王アビメレクとその家臣たち、そして彼の軍の長ピコルが、アブラハムが息子イサクの乳離れの日に開いた宴会で飲食し、喜ぶためにやって来た。
6 また、アブラハムの父テラと彼の兄弟ナホルも、彼らとその家族全員と共にハランからやって来た。サラに息子が生まれたと聞いて、彼らは大いに喜んだからである。
7 そして彼らはアブラハムのところに来て、アブラハムがイサクの乳離れの日に催した宴で食べたり飲んだりした。
8 テラとナホルはアブラハムと共に喜び、ペリシテ人の地で彼と共に多くの日々を過ごした。

9 その時、アブラハムの子イサクが生まれた最初の年
に、レウの子セルグが死んだ。
10 セルグの生涯は 239 年で、彼は死んだ。
11 その頃、アブラハムの子イシュマエルは成長し、
サラがアブラハムにイサクを産んだとき、彼は 14 歳
であった。
12 神はアブラハムの子イシュマエルと共におられ、
彼は成長し、弓の使い方を学び、射手となった。
13 イサクが五歳になったとき、彼はイシュマエルと
共に天幕の入り口に座っていた。
14 イシュマエルはイサクのところへ来て、彼の向か
いに座り、弓を取って引き、矢をつがえ、イサクを
殺そうとした。
15 サラはイシュマエルが自分の息子イサクにしよう
としていることを見て、息子のことでひどく悲しみ、
アブラハムを呼び寄せて言った。「この女奴隷とそ
の息子を追い出してください。彼女の息子は私の息
子と一緒に相続人になるべきではありません。なぜ
なら、イシュマエルは今日、私の息子にこのような
ことをしようとしたからです。」
16 アブラハムはサラの声に耳を傾け、朝早く起きて、
十二個のパンと水筒を取り、ハガルに渡して、彼女
と息子を送り出した。ハガルは息子と共に荒野に行
き、パランの荒野で荒野の住民と共に暮らした。イ
シュマエルは弓の名手であり、長い間荒野に住んで
いた。
17 その後、彼と彼の母はエジプトの地へ行き、そこ
に住んだ。ハガルはエジプトから息子のために妻を
迎え、その名はメリバであった。
18 イシュマエルの妻は身ごもり、四人の息子と二人
の娘を産んだ。その後、イシュマエルと彼の母と妻
と子供たちは荒野へ戻って行った。
19 そして彼らは荒野に天幕を張り、そこに住み、旅
を続け、月ごと、年ごとに休息した。
20 神はイシュマエルに、彼の父アブラハムのゆえに
羊の群れと牛の群れと天幕を与え、イシュマエルの
家畜は増えた。
21 イシュマエルは荒野や天幕に住み、長い間旅をし
ては休息していたが、父の顔を見ることはなかった。
22 その後しばらくして、アブラハムは妻サラに言っ
た。「息子イシュマエルに会いに行こう。長い間会
っていないので、彼に会いたいのだ。」
23 アブラハムは自分のラクダの一頭に乗って荒野へ
行き、息子イシュマエルを探しに行った。イシュマ
エルが荒野の天幕に住み、持ち物すべてと共に暮ら
していると聞いたからである。
24 アブラハムは荒野に行き、正午頃にイシュマエル
の天幕に着き、イシュマエルの様子を尋ねた。する
と、イシュマエルの妻が子供たちと一緒に天幕の中
に座っているのを見つけたが、夫のイシュマエルと
彼の母は彼らと一緒にいなかった。
25 アブラハムはイシュマエルの妻に、「イシュマエ
ルはどこへ行ったのか」と尋ねた。妻は、「狩りに
野へ行きました」と答えた。アブラハムはまだラク
ダに乗っていた。妻サラにラクダから降りないと誓
っていたからである。
26 アブラハムはイシュマエルの妻に言った。「娘よ、
旅で疲れたので、少し水を飲ませてくれ。」
27 イシュマエルの妻はアブラハムに答えて言った。
「私たちには水もパンもありません。」そして彼女
は天幕の中に座ったままで、アブラハムに気づかず、
彼が誰なのかも尋ねなかった。
28 しかし彼女は天幕の中で子供たちを叩き、呪い、
夫イシュマエルをも呪い、彼を非難した。アブラハ
ムはイシュマエルの妻が子供たちに言った言葉を聞
いて、非常に怒り、不快に思った。
29 アブラハムは女に天幕から出てくるように呼びか
けた。すると女は来てアブラハムの向かいに立った。
アブラハムはまだラクダに乗っていたからである。
30 アブラハムはイシュマエルの妻に言った。「あな
たの夫イシュマエルが家に帰ってきたら、彼にこう
言いなさい。
31 ペリシテ人の地から来た非常に年老いた男が、あ
なたを訪ねてここに来ました。その男の容姿はこの
ようなものでした。私は彼が誰であるかを尋ねませ
んでしたが、あなたがここにいないのを見て、彼は
私に話しかけて言いました。「あなたの夫イシュマ
エルが帰ってきたら、この男がこう言ったと伝えな
さい。『あなたが家に帰ってきたら、ここに立てた
この天幕の釘を外し、代わりに別の釘を打ちなさ
い。』」
32 アブラハムは女への指示を終えると、向きを変え
てラクダに乗って家路についた。
33 その後、イシュマエルは母と共に狩りから戻って
天幕へ行き、妻は彼にこう言った。
34 ペリシテ人の地から来た非常に年老いた男があな
たを訪ねてきました。その男の容姿はこのようなも
のでした。私は彼が誰であるかを尋ねませんでした
が、あなたが家にいないのを見て、彼は私にこう言
いました。「あなたの夫が帰ってきたら、こう言い
なさい。あなたがここに立てた天幕の釘を外し、代
わりに別の釘を打ちなさい。」
35 イシュマエルは妻の言葉を聞いて、それが自分の
父の言葉であり、妻が父を敬っていないことを知っ
た。
36 イシュマエルは父が妻に言った言葉を理解し、父
の声に耳を傾け、その女を捨てたので、彼女は去っ
ていった。
37 その後、イシュマエルはカナンの地に行き、別の
妻をめとり、彼女を自分の天幕に連れて行き、そこ
に住んでいた。
38 そして三年後、アブラハムは言った。「私は再び
息子イシュマエルに会いに行こう。長い間彼に会っ
ていないからだ。」
39 彼はラクダに乗って荒野に行き、正午頃にイシュ
マエルの天幕に着いた。
40 彼はイシュマエルの所在を尋ねると、彼の妻が天
幕から出てきて言った。「主よ、彼はここにはおら

れません。野に狩りに行き、らくだに餌をやっています。」そして女はアブラハムに言った。「主よ、天幕に入ってパンを少し召し上がってください。旅の疲れで、きっとお疲れでしょう。」
41 アブラハムは彼女に言った。「私は旅を続けなければならないので、立ち止まるつもりはありません。ただ、喉が渇いているので、少し水を飲ませてください。」すると女は急いで天幕に入り、アブラハムに水とパンを持ってきて、彼の前に置き、食べるように勧めた。アブラハムはそれを食べて飲み、心が慰められ、息子イシュマエルを祝福した。
42 彼は食事を終えると主を賛美し、イシュマエルの妻に言った。「イシュマエルが家に帰ってきたら、彼にこう言いなさい。
43 ペリシテ人の地から来た非常に年老いた人がここに来て、あなたの所在を尋ねましたが、あなたはここにいませんでした。そこで私は彼にパンと水を持って行き、彼はそれを食べて飲んで、心が慰められました。
44 彼は私にこう言った。「あなたの夫イシュマエルが帰ってきたら、彼にこう言いなさい。『あなたが持っている天幕の釘はとても良いものだ。それを天幕から外してはならない。』」
45 アブラハムは女に命じ終えると、ペリシテ人の地にある自分の家へ馬で向かった。イシュマエルが天幕に着くと、妻は喜びと明るい心で彼を迎えに出た。
46 彼女は彼に言った。「ペリシテ人の地から老人がやって来て、このような姿をしていました。彼はあなたのことを尋ねましたが、あなたはここにいらっしゃいませんでした。そこで私はパンと水を持ってきました。彼はそれを食べて飲み、心が慰められました。」
47 彼は私にこう言った。「あなたの夫イシュマエルが帰ってきたら、彼にこう言いなさい。『あなたが持っている天幕の釘はとても良いものだから、天幕から外してはならない。』」
48 イシュマエルは、それが自分の父であり、その妻が父を敬ったことを知り、主はイシュマエルを祝福された。

第 22 章

1 そこでイシュマエルは立ち上がり、妻と子供たちと家畜、そして自分の持ち物すべてを連れて、そこから旅立ち、ペリシテ人の地にいる父のもとへ行った。
2 アブラハムは息子イシュマエルに、イシュマエルが娶った最初の妻との出来事を、彼女の行いに応じて語った。
3 イシュマエルとその子らは、その地でアブラハムと共に多くの日々を過ごし、アブラハムはペリシテ人の地に長い間滞在した。
4 そして日が経ち、二十六年が過ぎた。その後、アブラハムはしもべたちと彼に属するすべての者と共にペリシテ人の地を出て、遠くへ移り、ヘブロンの近くに着き、そこに留まった。アブラハムのしもべたちは井戸を掘り、アブラハムと彼に属するすべての者はその水のそばに住んだ。ペリシテ人の王アビメレクの家臣たちは、アブラハムのしもべたちがその地の境界に井戸を掘ったという知らせを聞いた。
5 そして彼らはやって来てアブラハムのしもべたちと争い、彼らが掘った大きな井戸を奪い取った。
6 ペリシテ人の王アビメレクはこのことを聞き、軍の長ピコルと二十人の部下と共にアブラハムのもとへやって来た。アビメレクはアブラハムに彼のしもべたちのことを話した。アブラハムは、しもべたちが盗んだ井戸のことでアビメレクを叱責した。
7 アビメレクはアブラハムに言った。「全地を創造された主にかけて誓います。私のしもべたちがあなたのしもべたちに行った行為については、今日まで聞いていませんでした。」
8 アブラハムは雌の子羊を七匹取ってアビメレクに渡し、「どうぞ、これらを私の手から受け取ってください。私がこの井戸を掘ったことの証しとなるでしょう」と言った。
9 アビメレクはアブラハムから与えられた七匹の雌の子羊を受け取った。アブラハムは彼にたくさんの牛や家畜も与えていたからである。アビメレクは井戸についてアブラハムに誓ったので、その井戸をベエルシェバと名付けた。二人はその井戸について誓ったからである。
10 そして二人はベエルシェバで契約を結び、アビメレクは軍の長ピコルと部下全員と共に立ち上がり、ペリシテ人の地へ帰った。アブラハムと彼の一族はベエルシェバに住み、彼は長い間その地に滞在した。
11 アブラハムはベエルシェバに大きな木立を作り、地の四方に向かって四つの門を設け、そこにぶどう畑を植えた。旅人がアブラハムのところに来ると、道にあるどの門からでも入り、そこに滞在して食べたり飲んだりして満足してから出発した。
12 アブラハムの家は、行き来する人々の子供たちに常に開かれており、彼らは毎日アブラハムの家で食事をし、飲み物を飲んでいた。
13 飢えている人がアブラハムの家に来ると、アブラハムは彼にパンを与えて食べさせ、飲ませて満腹にさせた。また、裸で家に来る人がいれば、その人が望むように衣服を与え、銀や金を与え、地上で彼を創造した主を知らせた。アブラハムは生涯、このようにした。
14 アブラハムとその子供たちと彼に属するすべての人々はベエルシェバに住み、ヘブロンまで天幕を張った。
15 アブラハムの兄弟ナホルとその父、そして彼らに属するすべての人々はハランに住んでいた。彼らはアブラハムと共にカナンの地に来なかったからである。
16 そして、ハランの娘で、アブラハムの妻サラの妹であるミルカがナホルに産んだ子らが生まれた。

17 そして、彼に生まれた子らの名前は、ウズ、ブズ、ケムエル、ケセド、ハゾ、ピルダシュ、ティドラフ、ベトエルの 8 人である。これらは、アブラハムの兄弟ナホルにミルカが産んだ子らである。
18 ナホルにはレウマという名の側室がおり、彼女もナホルにゼバク、ガハシュ、タハシュ、マアハという 4 人の息子を産んだ。
19 ナホルに生まれた子供は、娘たちを除いて 12 人の息子であり、ハランでも子供が生まれた。
20 ナホルの長男ウズの子は、アビ、ケレフ、ガディン、メルス、そして彼らの妹デボラであった。
21 ブズの子らはベラケル、ナアマト、シェバ、マドヌであった。
22 ケムエルの子らはアラムとレホブであった。
23 ケセドの子らはアナムレク、メシャイ、ベノン、イフィであり、ハゾの子らはピルダシュ、メヒ、オフェルであった。
24 ピルダシュの子らは、アルド、ハムム、メレド、モロクであった。
25 ティドラフの息子たちは、ムシャン、クシャン、ムツィであった。
26 ベトエルの子供たちは、セカル、ラバン、そして彼らの妹リベカであった。
27 これらはナホルの子孫の家族で、ハランで生まれた者たちである。ケムエルの子アラムとその兄弟レホブはハランを離れ、ユーフラテス川のほとりの地に谷を見つけた。
28 そして彼らはそこに町を建て、アラムの子ペトルの名にちなんでその町をアラム▪ナヘライムと名付けた。今日までその名で呼ばれている。
29 ケセドの子らもまた、住む場所を見つけられるところへ行き、行ってシナルの地の向かいにある谷を見つけ、そこに住んだ。
30 そして彼らはそこに町を建て、その町を彼らの父の名にちなんでケセドと名付けた。その地は今日までカスディムと呼ばれている。カスディムの人々はそこに住み、子孫を増やし、非常に繁栄した。
31 ナホルとアブラハムの父テラは、年老いてからペリラという名の別の妻をめとった。彼女は身ごもってテラに息子を産み、テラはその子をゾバと名付けた。
32 テラはゾバを生んでから二十五年生きた。
33 そしてテラはその年に死んだ。すなわち、アブラハムの子イサクが生まれて 35 年目のことである。
34 テラの生涯は 205 年で、彼はハランに葬られた。
35 テラの子ゾバは 30 歳で、アラム、アクリス、メリクをもうけた。
36 テラの子ゾバの子アラムには三人の妻がおり、十二人の息子と三人の娘をもうけた。主はゾバの子アラムに富と財産、多くの家畜、羊、牛を与え、彼は大いに増えた。
37 ゾバの子アラムとその兄弟、そしてその家族全員はハランを出発し、住む場所を見つけるために旅立った。彼らの財産はハランにとどまるには多すぎたからである。彼らはナホルの子らである兄弟たちと共にハランに留まることはできなかったからである。
38 ゾバの子アラムは兄弟たちと共に行き、東の国の遠くに谷を見つけ、そこに住んだ。
39 そして彼らはそこに町を建て、長兄の名にちなんでその町をアラムと名付けた。今日までアラム▪ゾバと呼ばれている。
40 その頃、アブラハムの子イサクは成長していた。父アブラハムは彼に主を知るための主の道を教え、主は彼と共におられた。
41 イサクが３７歳になったとき、彼の兄弟イシュマエルは彼と共に天幕を歩き回っていた。
42 イシュマエルはイサクに自慢して言った。「私が 13 歳のとき、主は父に私たちに割礼を施すように命じられました。私は主が父に語られた言葉どおりに行い、主に身を捧げ、父に命じられた主の言葉に背きませんでした。」
43 イサクはイシュマエルに答えて言った。「なぜあなたは、主が命じられた、自分の体から取ったわずかな肉片について、私に自慢するのか。」
44 私の父アブラハムの神、主は生きておられる。もし主が私の父に、「あなたの息子イサクを連れて、私の前に捧げ物として持って来なさい」と言われたなら、私はためらうことなく喜んでそれに従うだろう。
45 主はイサクがイシュマエルに語った言葉を聞き、それが主の目に良いと思われたので、この件でアブラハムを試してみようと思われた。
46 そして、神の子らが来て主の前に立った日が来た。サタンも神の子らと共に主の前に来た。
47 主はサタンに言われた、「お前はどこから来たのか」。サタンは主に答えて言った、「地上をあちこち歩き回り、その上を行き来していました」。
48 主はサタンに言われた。「地上のすべての子らについて、お前は私に何を言うのか。」サタンは主に答えて言った。「私はあなたに仕え、あなたに何かを求めるときにはあなたを思い出す地上のすべての子らを見ました。
49 そして、あなたが彼らの求めるものを与えると、彼らは安楽に座り、あなたを見捨て、あなたを二度と思い出さなくなる。
50 あなたはテラの子アブラハムをご覧になったか。彼は最初は子がいなかったが、あなたに仕え、行く先々であなたのために祭壇を築き、その上に供え物を捧げ、地のすべての子らにあなたの名を絶えず告げ知らせた。
51 そして今、息子イサクが生まれたので、彼はあなたを見捨て、この地のすべての住民のために盛大な宴会を開き、主を忘れてしまった。
52 彼はこれまで行ったすべてのことの中で、あなたに何の供え物も持って来なかった。全焼のいけにえも、平和のいけにえも、息子が乳離れした日に屠った牛、子羊、山羊も、何も持って来なかった。

53 彼は息子が生まれてから今日まで、37 年間、あなたの前に祭壇を築かず、あなたに供え物を捧げませんでした。なぜなら、あなたが彼の願いを叶えてくださったのを見て、彼はあなたを捨てたからです。
54 主はサタンに言われた。「あなたはわたしのしもべアブラハムのことをこのように考えたのか。地上には彼のような者はいない。わたしの前に完全で正しい人、神を畏れ、悪を避ける人だ。わたしは生きている。もしわたしが彼に『あなたの息子イサクをわたしの前に連れて来なさい』と言ったとしても、彼はそれをわたしに拒まないだろう。ましてや、彼の羊や牛の中から焼き尽くす捧げ物をわたしの前に連れて来なさいと言ったらなおさらだ。」
55 サタンは主に答えて言った、「それでは、あなたが言ったとおりにアブラハムに言ってください。そうすれば、彼が今日、あなたの言葉に背いて、あなたの言葉を捨てないかどうか分かるでしょう。」

第 23 章

1 その時、主の言葉がアブラハムに臨み、主は彼に言われた、「アブラハムよ」。アブラハムは言った、「はい、ここにいます」。
2 するとイエスは彼に言われた、「あなたの息子、あなたの愛する一人息子イサクを連れて、モリヤの地に行き、あなたに示される山の一つで、彼を焼き尽くすいけにえとしてささげなさい。そこであなたは雲と主の栄光を見るであろう。」
3 アブラハムは心の中で言った。「どうすれば、私の息子イサクを母サラから引き離し、彼を主の御前に燔祭としてささげることができるだろうか。」
4 アブラハムは天幕に入り、妻サラの前に座り、彼女にこう言った。
5 私の息子イサクは成長しましたが、しばらくの間、神への奉仕を学んでいませんでした。明日、私は彼をセムとその息子エベルのところへ連れて行きます。そこで彼は主の道を学び、主を知ること、そして主の前で絶えず祈れば主が答えてくださることを知るように教えられるでしょう。それゆえ、彼はそこで主なる神に仕える道を知るでしょう。
6 サラは言った、「あなたはよくおっしゃいました。どうぞ行って、おっしゃったとおりにしてください。しかし、彼を私からあまり遠く離さないでください。また、彼をそこに長く留めないでください。私の魂は彼の魂と結びついているからです。」
7 アブラハムはサラに言った。「娘よ、私たちの神、主に祈ろう。主が私たちに恵みを与えてくださるように。」
8 サラは息子イサクを連れて行き、イサクはその夜ずっとサラの家に泊まり、サラはイサクに口づけをし、抱きしめ、朝まで彼に教えを授けた。
9 彼女は彼に言った、「わが子よ、どうして私の魂はあなたから離れることができましょうか」。そして彼女はなおも彼に口づけし、抱きしめ、アブラハムに彼に関する指示を与えた。
10 サラはアブラハムに言った。「わが主よ、どうかあなたの息子に気を配り、彼を見守ってください。私には彼以外に息子も娘もいないのです。」
11 彼を見捨ててはならない。もし彼が飢えているならパンを与え、渇いているなら水を飲ませなさい。彼を歩かせてはならない。また、日なたに座らせてはならない。
12 彼を道で一人で行かせてはならない。また、彼が望むことを無理強いしてはならない。彼があなたに言うとおりにしなさい。
13 サラはイサクのことで一晩中激しく泣き、朝まで彼に指示を与え続けた。
14 そして朝になると、サラはアビメレクからもらった家にあった服の中から、とても上質で美しい服を一枚選んだ。
15 彼女は息子イサクにその衣を着せ、頭にターバンを巻き、ターバンのてっぺんに宝石をはめ込んだ。そして旅の食料を彼らに与え、彼らは出発した。イサクは父アブラハムと共に行き、彼らの召使数人が彼らを見送るために同行した。
16 サラは彼らと一緒に出て行き、見送りの道で彼らに付き添った。彼らはサラに「天幕に戻りなさい」と言った。
17 サラは息子イサクの言葉を聞いて激しく泣き、夫アブラハムも彼女と共に泣き、息子も彼らと共に大声で泣いた。彼らと共にいた者たちも大声で泣いた。
18 サラは息子イサクをつかみ、腕に抱きしめ、彼を抱きしめながら泣き続け、言った。「今日以降、私があなたに再び会えるかどうかは誰にもわかりません。」
19 アブラハム、サラ、イサクは共に泣き続け、道中彼らに同行していた者たちも皆、彼らと共に泣いた。その後、サラは激しく泣きながら息子から顔を背け、彼女の男奴隷と女奴隷は皆、彼女と共に天幕に戻った。
20 アブラハムは、主が命じられたとおり、息子イサクを連れて主の前にいけにえとして連れて行こうとした。
21 アブラハムは二人の若者、ハガルの子イシュマエルと彼のしもベエリゼルを連れて行き、彼らも一緒に行った。彼らが道を歩いているとき、若者たちは心の中でこう言った。
22 イシュマエルはエリゼルに言った。「今、私の父アブラハムは、主が命じられたとおり、イサクを連れて主への燔祭として捧げようとしています。
23 彼が帰ってきたら、彼の所有するすべてのものを私に与えて、彼の後に相続させるでしょう。なぜなら、私は彼の長男だからです。
24 エリゼルはイシュマエルに答えて言った。「確かにアブラハムはお前とお前の母を捨て、お前が自分の所有するすべてのものを相続しないと誓った。では、彼が所有するすべてのもの、すべての宝物を、

誰に与えるというのか。彼の家に忠実に仕え、昼も夜も彼に仕え、彼が望むことをすべて行ってきた彼のしもべである私以外には。彼は死ぬときには、自分の所有するすべてのものを私に遺すだろう。」
25 アブラハムが息子イサクを連れて道を進んでいたとき、サタンが現れ、謙遜で悔い改めた心を持つ、非常に年老いた男の姿でアブラハムの前に現れ、アブラハムに近づいて言った。「あなたは愚か者か、それとも獣のような者なのか。今日、自分のひとり息子にこのようなことをしようとしているのか。」
26 神はあなたの晩年、老齢になってから息子を与えられたのに、あなたは今日、彼が何の暴力も犯していないという理由で彼を殺しに行くのか。あなたは自分のひとり息子の魂を地上から滅ぼすのか。
27 あなたは、これが主からのものではないことを知らないのか。主は、地上で人に「行って自分の子供を殺せ」などという悪事をなさるはずがない。
28 アブラハムはこれを聞いて、主の道から自分を逸らそうとするサタンの言葉だと悟った。しかしアブラハムはサタンの声に耳を傾けず、彼を叱責したので、サタンは去っていった。
29 そしてサタンは戻ってイサクのところへ来た。そして、美しく容姿端麗な若者の姿でイサクの前に現れた。
30 彼はイサクに近づいて言った、「お前は知らないのか、お前の愚かな老父が今日お前を無駄に屠殺場に連れて行くことを知らないのか。」
31 だから、わが子よ、彼の言うことを聞いてはならない。彼は愚かな老人だからだ。あなたの尊い魂と美しい姿が地上から失われることのないように。
32 イサクはこれを聞いてアブラハムに言った。「父よ、この人が言ったことを聞きましたか。まさにそのように言ったのです。」
33 アブラハムは息子イサクに答えて言った。「彼の言葉に耳を傾けてはならない。彼の言うことに従ってはならない。彼はサタンであり、今日私たちを神の戒めから引き離そうとしているのだ。」
34 アブラハムはなおもサタンを叱責し続けた。するとサタンは彼らから去り、彼らに打ち勝つことができないと悟ると、身を隠した。そして、彼らの前を通り過ぎ、道で大きな流れに姿を変えた。アブラハムとイサクと二人の若者はその場所に着くと、大水のように大きく力強い流れを見た。
35 そして彼らは小川に入り、そこを通り抜けた。最初は水が彼らの足まで達した。
36 彼らは小川の奥深くへと進み、水は彼らの首まで達した。彼らは皆、水のために恐れおののいた。彼らが小川を渡っているとき、アブラハムはその場所を認識し、以前はそこに水がなかったことを知った。
37 アブラハムは息子イサクに言った。「私はこの場所を知っている。かつては川も水もなかった。今、このサタンが私たちにこのようなことをすべて行い、私たちを神の戒めから引き離そうとしているのだ。」
38 アブラハムは彼を叱責して言った。「サタンよ、主があなたを叱責されますように。私たちから去れ。私たちは神の命令に従って行動するのだ。」
39 アブラハムの声を聞いてサタンは恐れおののき、彼らから去って行った。するとその場所は元の乾いた地に戻った。
40 アブラハムはイサクと共に、神が告げられた場所へ向かった。
41 そして三日目にアブラハムは目を上げて、神が彼に告げられた場所を遠くから見た。
42 すると、火の柱が地上から天にまで達し、山の上に栄光の雲が現れ、その雲の中に主の栄光が見えた。
43 アブラハムはイサクに言った。「わが子よ、遠くから見えるあの山に、私が見ているものが見えるか。」
44 イサクは父に答えて言った、「見よ、火の柱と雲があり、雲の上に主の栄光が見えます。
45 アブラハムは、自分の息子イサクが主の御前で燔祭として受け入れられたことを知っていた。
46 アブラハムはエリゼルとその子イシュマエルに言った。「あなたたちも、遠くの山の上にある、私たちが見ているものを見るか。
47 彼らは答えて言った、「私たちが見るのは、地上の他の山々と同じようなものです。」アブラハムは、彼らが主の御前に受け入れられず、一緒に行くことができないことを悟り、彼らに言った、「あなたがたはここでろばと共にいなさい。私と私の息子イサクは、あちらの山へ行き、そこで主の御前に礼拝してから、あなたがたのところへ戻ってきます。」
48 エリエゼルとイシュマエルは、アブラハムが命じたとおり、その場所にとどまった。
49 アブラハムは燔祭のための薪を取り、それを息子イサクに背負わせ、火とナイフを持って、二人でその場所へ行った。
50 彼らが歩いていると、イサクは父に言った。「ご覧ください。ここに火と薪があります。では、主の前に捧げる燔祭の小羊はどこにいるのですか。」
51 アブラハムは息子イサクに答えて言った。「わが子よ、主はあなたを選び、小羊の代わりに完全な焼き尽くしのいけにえとされた。」
52 イサクは父に言った。「主があなたに告げられたことはすべて、喜びと心の明るさをもって行います。」
53 アブラハムは再び息子イサクに言った。「このことについて、お前の心の中に何か不適切な考えや企みがあるのか。息子よ、どうか私に話してくれ。息子よ、私に隠さないでくれ。」
54 イサクは父アブラハムに答えて言った。「父よ、主が生きておられるように、またあなたの魂が生きておられるように、私の心には、主があなたに語られた言葉から右にも左にも逸れるようなことは何もありません。」

55 このことで、手足も筋肉も動いたり動いたりせず、私の心にはこのことに関して何の考えも悪しき企みもありません。
56 しかし、私はこのことについて喜びと喜びに満ちています。そして、こう言います。「今日、わたしを御前に焼き尽くすいけにえとして選んでくださった主は祝福されますように。」
57 アブラハムはイサクの言葉を聞いて大いに喜び、彼らは主が言われたその場所へ一緒に行った。
58 アブラハムはその場所に祭壇を建てようと近づき、アブラハムは泣いていた。イサクは石とモルタルを取り、祭壇を建て終えた。
59 アブラハムは木材を取り、自分が建てた祭壇の上に整然と並べた。
60 彼は息子イサクを連れてきて縛り、祭壇の上の薪の上に置いて、主の前で焼き尽くす捧げ物として屠ろうとした。
61 イサクは父に言った。「私をしっかりと縛って祭壇の上に置いてください。私が動いて、肉に当てられたナイフの力から逃れて、燔祭を汚すことのないように。」アブラハムはそのようにした。
62 イサクは父に言った。「父よ、あなたが私を殺して、私をいけにえとして焼いたときには、私の灰の残りを母サラのところに持って行き、彼女に『これはイサクの香ばしい香りです』と言ってください。しかし、彼女が井戸のそばや高い所に座っているときには、このことを彼女に言ってはなりません。彼女が私の後を追って死んでしまうかもしれないからです。」
63 アブラハムはイサクの言葉を聞いて、声を上げて泣きました。イサクがこれらの言葉を語ったとき、アブラハムの涙は息子イサクの上に流れ落ち、イサクは激しく泣きながら父に言いました。「父よ、急いでください。主なる私たちの神があなたに命じられたとおりに、私にしてください。」
64 アブラハムとイサクの心は、主が命じられたこのことを喜んだ。しかし、心は喜んだものの、目は激しく泣いた。
65 アブラハムは息子イサクを縛り、祭壇の薪の上に置いた。イサクは父の前で首を祭壇の上に伸ばし、アブラハムは手を伸ばしてナイフを取り、息子を主への燔祭として殺そうとした。
66 その時、慈悲の天使たちが主の前に来て、イサクについて主に語り、こう言った。
67 0 主よ、あなたは天と地に創造されたすべてのものの上に、慈しみ深く憐れみ深い王であり、それらすべてを支えておられます。それゆえ、あなたのしもべイサクの代わりに贖いと救済を与え、今日あなたの命令を実行しているアブラハムとその息子イサクを憐れみ、慈しんでください。
68 主よ、あなたはあなたのしもべアブラハムの子イサクが、動物のように屠殺場に縛り付けられているのをご覧になりましたか。それゆえ、主よ、今、彼らのために憐れみを起こしてください。
69 その時、主はアブラハムに現れ、天から彼に呼びかけて言われた。「その子に手をかけてはならない。彼に何もしてはならない。今、わたしはあなたがこの行いをすることによって神を畏れ、あなたの息子、あなたのひとり息子をわたしに差し出そうとしていることを知った。」
70 アブラハムは目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を茂みに絡め取っていた。それは、主なる神が天地を造られた日に、地上に創造された雄羊であった。
71 主は、その日からこの雄羊を、イサクの代わりに燔祭として用意しておられたのです。
72 この雄羊がアブラハムに向かって進んでいたとき、サタンが雄羊を捕らえ、その角を茂みに絡ませて、アブラハムに近づけないようにした。それは、アブラハムが自分の息子を殺すためであった。
73 アブラハムは雄羊が自分に向かって近づいてくるのを見て、サタンがそれを阻んでいるのを見て、雄羊を連れてきて祭壇の前に連れて行き、息子イサクの縛りを解き、代わりに雄羊を置いた。そしてアブラハムは祭壇の上で雄羊を屠り、息子イサクの代わりにそれを捧げ物としてささげた。
74 アブラハムは雄羊の血を祭壇に振りかけ、叫んで言った。「これは私の息子の代わりに捧げるものです。今日、主の御前で、これが私の息子の血として認められますように。」
75 アブラハムはこの時祭壇で行ったすべてのことを、こう叫んで言った。「これは私の息子の代わりです。どうか今日、主の御前で私の息子の代わりに認められますように。」こうしてアブラハムは祭壇での奉仕をすべて終え、その奉仕は主の御前で受け入れられ、イサクの仕業とみなされた。そして主はその日、アブラハムとその子孫を祝福された。
76 そしてサタンはサラのところへ行き、非常に謙遜で柔和な老人の姿で彼女に現れた。アブラハムはまだ主の前で燔祭を捧げていた。
77 彼は彼女に言った、「あなたは、アブラハムが今日、あなたのひとり息子に対して行ったすべてのことを知らないのか。彼はイサクを捕らえ、祭壇を築き、彼を殺し、祭壇の上にいけにえとして連れてきた。イサクは父の前で泣き叫んだが、父は彼を見向きもせず、憐れみも示さなかった。」
78 サタンはこれらの言葉を繰り返してサラの前から去っていった。サラはサタンの言葉をすべて聞いていたが、彼を自分の息子と一緒にいた人の中の老人だと思い、その老人が来てこれらのことを告げたのだと思った。
79 サラは声を上げて泣き叫び、息子のために激しく嘆き悲しんだ。そして地に身を投げ出し、頭に塵をかぶって言った。「ああ、わが子イサクよ、わが子イサクよ、ああ、今日、あなたの代わりに私が死んでいればよかったのに。」そして泣き続け、「ああ、わが子イサクよ、わが子イサクよ、あなたのために

私は悲しむ。ああ、今日、あなたの代わりに私が死んでいればよかったのに。」と言った。
80 彼女は泣き続け、こう言った。「あなたを育て、育て上げたのに、あなたのために悲しくなります。あなたを慕い、90 歳であなたを産むまで神に祈り、泣き叫んだ私の喜びは、今やあなたのために悲しみに変わりました。そして今日、あなたはナイフと火にかけられ、捧げ物としてささげられるのです。」
81 しかし、わが子よ、私はあなたと共に慰められる。それは主の言葉だからだ。あなたはあなたの神の命令を実行した。すべての生き物の魂をその御手に握っておられる私たちの神の言葉に、誰が背くことができようか。
82 主よ、私たちの神よ、あなたは正義です。あなたのすべての業は善く、正しいからです。私はあなたが命じられたあなたの言葉に喜び、私の目は激しく泣きますが、私の心は喜びます。
83 サラは侍女の一人の胸に頭を預け、石のようにじっと動かなくなった。
84 その後、彼女は立ち上がり、ヘブロンに着くまであちこち尋ね歩き、道で出会った人々に尋ねたが、誰も彼女の息子に何が起こったのかを彼女に伝えることはできなかった。
85 彼女は女中たちと男中たちと共にキレアト▪アルバ、すなわちヘブロンへ行き、息子について尋ねた。そして、アブラハムがイサクと共にどこへ行ったのかを探すために、何人かのしもべを遣わしてそこに留まった。しもべたちはセムとエベルの家へ彼を探しに行ったが、見つからなかった。彼らは国中を探し回ったが、そこにもいなかった。
86 すると、サタンが老人の姿でサラのところにやって来て、彼女の前に立ち、「私はあなたに偽りを言った。アブラハムは息子を殺していないし、息子は死んでいない」と言った。サラはこの言葉を聞くと、息子のことで非常に喜び、喜びのあまり魂が抜け出て死んで、自分の民のもとに集められた。
87 アブラハムは務めを終えると、息子イサクと共に若い部下たちのところへ戻り、彼らは立ち上がって共にベエルシェバへ行き、家に帰った。
88 アブラハムはサラを探したが、見つけることができなかった。そこで彼はサラについて尋ねたところ、人々は彼に言った。「サラはあなた方が行ったところへあなた方を探しにヘブロンまで行ったのです。彼女はそのように知らされました。」
89 アブラハムとイサクはヘブロンにいる母のところへ行き、母が死んでいるのを見つけると、声を上げて激しく泣き、イサクは母の顔にひれ伏して泣きながら言った。「わが母よ、わが母よ、どうして私を捨てて行ってしまったのですか。どこへ行ってしまったのですか。ああ、どうして私を捨ててしまったのですか。」
90 アブラハムとイサクはサラのことで大いに泣き、彼らのしもべたちも皆彼らと共に泣き、彼女のために深く悲しんだ。

第 24 章

1 サラの生涯は百二十七年であった。サラは死んだ。アブラハムは妻サラを葬る場所を探し求めて、死者の前から立ち上がった。そして彼はヘトの子ら、すなわちその地の住民のところへ行き、こう言った。
2 私はあなた方の地にいる寄留者であり、旅人です。どうか、あなたの地で私に埋葬地を与えてください。そうすれば、私は自分の死者を人前で葬ることができます。
3 ヘトの子らはアブラハムに言った、「見よ、この地はあなたの目の前にあります。私たちの墓を選んで、あなたの死者を葬ってください。誰もあなたが死者を葬るのを妨げることはできません。」
4 アブラハムは彼らに言った。「もしあなたがたがこれに賛成するなら、ゾカルの子エフロンに私のために頼み込んでください。彼の畑の端にあるマクペラの洞窟を私に譲ってくれるようにお願いしてください。私は彼が望むどんな値段でも彼からそれを買い取ります。」
5 エフロンはヘトの子らの間に住んでいたので、彼らはエフロンを呼びに行った。エフロンはアブラハムの前に現れ、アブラハムに言った。「あなたのしもべが求めることは何でもいたします。」アブラハムは言った。「いや、私はあなたが持っている洞窟と畑を代価を払って買い取ろう。それは永遠の墓所として所有するためである。」
6 エフロンは答えて言った、「見よ、畑と洞窟はあなたの目の前にあります。あなたが望むものを何でもお与えください。」アブラハムは言った、「私はあなたの手から、またあなたの町の門から入る者たちの手から、そしてあなたの子孫の手から、永遠に、正当な対価でそれを買い取ります。」
7 エフロンと彼の兄弟たちは皆これを聞き、アブラハムはエフロンと彼の兄弟たちの手に渡した銀四百シェケルをエフロンに量り、この取引を書き留め、四人の証人と共に証言した。
8 そして、証人の名前は次のとおりである。ヒッタイト人アビシュナの子アミガル、ヒビ人アシュナクの子アディコロム、ゴメル人アキラムの子アブドン、シドン人アブディシュの子バクディル。
9 アブラハムは購入の書を取り、それを自分の宝物庫にしまい、その書に次のような言葉を書き記した。
10 アブラハムがヒッタイト人エフロンから、またその子孫から、またその町から出て行く者から、またその子孫から、その洞窟と畑を永久に買い取ったことは、アブラハムとその子孫、またその腰から出る者にとって、永遠の埋葬地として所有するためのものとなる。そして彼はそれに印章を付け、証人たちと共にそれを証言した。
11 そして、その畑とそこにある洞窟、そしてその場所全体は、ヘトの子孫であるアブラハムとその子孫

に確実に与えられた。見よ、それはカナンの地にあるヘブロンのマムレの前にある。
12 その後、アブラハムは妻サラをそこに葬った。こうして、その場所とその境界全体は、アブラハムとその子孫の墓地としての所有地となった。
13 アブラハムは王の埋葬に倣って盛大にサラを葬り、サラは非常に上質で美しい衣を着せて葬られた。
14 彼女の棺のそばには、セムとその息子エベルとアビメレク、アナール、アシュコル、マムレがおり、その地のすべての有力者たちが彼女の棺に続いていた。
15 サラの生涯は 127 年で、彼女は死んだ。アブラハムは深く悲しみ、7 日間喪の儀式を行った。
16 そして、その地の住民は皆、サラのことでアブラハムとその息子イサクを慰めた。
17 喪に服する日々が過ぎ去ると、アブラハムは息子イサクを送り出し、イサクは主の道と教えを学ぶためにセムとエベルの家へ行った。アブラハムはそこに三年滞在した。
18 その時、アブラハムはすべてのしもべたちと共に立ち上がり、ベエルシェバの自宅へ帰って行った。そしてアブラハムとすべてのしもべたちはベエルシェバにとどまった。
19 その年の初めに、ペリシテ人の王アビメレクが死んだ。彼は百九十三歳であった。アブラハムは民と共にペリシテ人の地に行き、家族全員と家臣たちを慰め、それからアブラハムは引き返して家に帰った。
20 アビメレクが死んだ後、ゲラルの人々は彼の息子ベンマリクを連れて行った。彼はまだ 12 歳であったが、彼らは彼を父の場所に横たわらせた。
21 そして、ゲラルではそれが慣習であったので、人々は彼の父の名にちなんで彼の名をアビメレクと名付けた。アビメレクは父アビメレクに代わって王となり、その王座に座った。
22 その頃、ハランの子ロトも死んだ。イサクの生涯の 39 年目に。ロトの生涯は 140 年であった。
23 これらはロトの娘たちから生まれた子らである。長男の名はモアブ、次男の名はベナミである。
24 ロトの二人の息子はカナンの地から妻をめとり、彼女たちは彼らに子を産んだ。モアブの子らはエド、マヨン、タルソス、カンビルという四人の息子で、今日に至るまでモアブの子らの父となっている。
25 ロトの子孫の家族は皆、行き着いた所に住み着いた。彼らは子孫が豊かで、大いに増えたからである。
26 そして彼らは行って、自分たちの住む地に町々を建て、建てた町々に自分たちの名前をつけた。
27 その頃、アブラハムの兄弟であるテラの子ナホルは、イサクの四十歳の時に死んだ。ナホルの生涯は百七十二年であった。彼は死んでハランに葬られた。
28 アブラハムは弟が死んだと聞いてひどく悲しみ、何日も弟のために嘆き悲しんだ。
29 アブラハムは家事の責任者であるエリゼルを呼び、自分の家に関する指示を与えようとした。エリゼルはやって来て、アブラハムの前に立った。
30 アブラハムは彼に言った、「見よ、私は年老いており、いつ死ぬかわかりません。私はもう年老いています。ですから、さあ、立ち上がって出て行き、この場所、この土地から、私たちが住んでいるカナン人の娘たちの中から、私の息子のために妻を娶らないでください。」
31 しかし、私の土地、私の故郷に行き、そこから私の息子のために妻を迎えなさい。天と地の主なる神は、私を父の家から連れ出し、この場所に連れてきて、「わたしはあなたの子孫にこの土地を永遠の相続地として与える」と私に言われた。主は御使いをあなたの前に遣わし、あなたの道を祝福し、私の家族、私の父の家から私の息子のために妻を得させてくださるだろう。
32 するとしもべは主人アブラハムに答えて言った。「ご覧ください。私はあなたの故郷、あなたの父の家へ行き、そこからあなたの息子のために妻を迎えます。しかし、もしその女が私についてこの地へ来ることを望まないなら、私はあなたの息子をあなたの故郷へ連れ戻さなければならないでしょうか。
33 アブラハムは彼に言った、「私の息子を再びここへ連れて来ないように気をつけなさい。私が歩んできた主は、あなたの前に御使いを遣わし、あなたの道を成功させてくださるでしょう。」
34 エリゼルはアブラハムの命令どおりに行い、この件に関して主人アブラハムに誓った。エリゼルは立ち上がり、主人のラクダの中から十頭、主人のしもべの中から十人を連れて、アブラハムとナホルの町ハランへ行き、アブラハムの子イサクの妻を迎えに行った。彼らが出かけている間に、アブラハムはセムとエベルの家に使いを送り、そこから息子イサクを連れてこさせた。
35 イサクは父の家ベエルシェバに帰ったが、エリゼルとその部下たちはハランに着いた。彼らは町の水飲み場のそばで立ち止まり、エリゼルはラクダを水のそばにひざまずかせ、そこに留まった。
36 アブラハムのしもべエリゼルは祈って言った。「わが主人アブラハムの神よ、どうか今日、私に幸運をお与えください。そして、わが主人に慈しみを示し、今日、わが主人の息子にその家族の中から妻をお与えください。」
37 主はしもべアブラハムのためにエリゼルの声を聞き入れ、エリゼルはアブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカの子ベトエルの娘に出会った。エリゼルは彼女の家に行った。
38 エリゼルは自分の抱えているすべてのことと、自分がアブラハムのしもべであることを彼らに話した。彼らはエリゼルのことを大いに喜んだ。
39 そして彼らは皆、このことを成し遂げた主を賛美し、ベトエルの娘リベカをイサクの妻として与えた。
40 その若い女性は非常に美しい容姿で、処女であった。リベカはその時 10 歳であった。

41 その夜、ベトエルとラバンとその子らは宴会を開き、エリゼルとその部下たちが来て、そこで食べたり飲んだりして、その夜を祝った。
42 朝になると、エリゼルは彼と共にいた者たちと共に起き上がり、ベトエルの家族全員を呼び、「主人のところへ行かせてください」と言った。すると彼らは立ち上がり、リベカと彼女の乳母であるウズの娘デボラを送り出し、銀と金、男のしもべと女のしもべを与え、彼女を祝福した。
43 そして彼らはエリゼルを部下たちと共に送り出した。しもべたちはリベカを連れて行き、エリゼルは主人のもと、カナンの地へ帰って行った。
44 イサクはリベカを妻として迎え、彼女を天幕に連れて行った。
45 イサクは、叔父ベトエルの娘リベカを妻として迎えたとき、40 歳であった。

第 25 章

1 その頃、アブラハムは老齢になってから再び妻をめとった。彼女の名はケトゥラで、カナンの地出身であった。
2 彼女は彼にジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディアン、イシュバク、シュアハという六人の息子を産んだ。ジムランの子はアビヘン、モリク、ナリムであった。
3 ヨクシャンの子らはシェバとデダンであり、メダンの子らはアミダ、ヨアブ、ゴキ、エリシャ、ノタクであり、ミディアンの子らはエファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダアであった。
4 イシュバクの子らはマキロ、ベヨドゥア、タトルであった。
5 シュアハの子らはビルダド、マムダド、ムナン、メバンであった。これらはすべて、カナンの女ケトゥラがヘブライ人アブラハムに産んだ子らの家族である。
6 アブラハムは彼ら全員を送り出し、贈り物を与えた。彼らは息子イサクのもとを離れ、住む場所を見つけるままに去っていった。
7 そして彼らは皆、東の山へ行き、そこに六つの町を建て、今日までそこに住み続けている。
8 しかし、シェバとデダンの子孫、ヨクシャンの子孫は、その子孫たちと共に、兄弟たちの町々に住まず、今日に至るまで、各地や荒野を旅して宿営した。
9 アブラハムの子ミディアンの子らはクシュの地の東へ行き、そこで東の地に大きな谷を見つけ、そこに留まって町を建て、そこに住み着いた。それが今日までミディアンの地である。
10 ミディアンは、自分が建てた町に、彼と彼の五人の息子、そして彼に属するすべての人々と共に住んだ。
11 ミディアンの子らの名は、彼らの町々での名前に従って、エファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダアである。
12 エファの子らはメタク、メシャル、アビ、ツァヌアであり、エフェルの子らはエフロン、ツル、アリルン、メディンであり、ハノクの子らはレウエル、レケム、アジ、アリヨシュブ、アラドであった。
13 アビダの子らはクル、メルド、ケルリ、モルキであり、エルダアの子らはミケル、レバ、マルキヤ、ガボルであった。これらはミディアン人の氏族名である。その後、ミディアンの氏族はミディアンの地全体に広がった。
14 これは、サラの女奴隷ハガルがアブラハムに産んだ息子イシュマエルの系図である。
15 イシュマエルはエジプトの地から妻をめとった。彼女の名はリバー、すなわちメリバであった。
16 そしてリバーはイシュマエルにネバヨト、ケダル、アドビール、ミブサム、そして彼らの姉妹ボスマトを産んだ。
17 イシュマエルは妻リバを捨てた。彼女は彼のもとを離れ、エジプトにある自分の父の家に戻り、そこに住んだ。彼女はイシュマエルと彼の父アブラハムの目に非常に悪い者と映っていたからである。
18 その後、イシュマエルはカナンの地から妻をめとった。彼女の名はマルクトで、彼女は彼にニシュマ、ドゥマ、マサ、チャダド、テマ、イェトゥル、ナフィシュ、ケドマを産んだ。
19 これらはイシュマエルの息子たちであり、彼らの名前は、それぞれの民族に応じて 12 人の王子たちである。その後、イシュマエルの家族は各地に散らばり、イシュマエルは自分の子供たちと、自分が得たすべての財産、家族全員と自分の所有物すべてを連れて、住む場所を見つけたところへ行った。
20 そして彼らはパラン荒野の近くに住み着き、その住まいはハビラからシュルまで、すなわちエジプトの手前、アッシリアに向かう途中にあった。
21 イシュマエルとその息子たちはその地に住み、彼らには子供が生まれ、彼らは子孫繁栄し、大いに増えた。
22 イシュマエルの長男ネバヨトの子らの名は、メンド、センド、マヨンであった。ケダルの子らは、アリヨン、ケゼム、ハマド、エリであった。
23 アドベエルの子らはハマドとヤビンであり、ミブサムの子らはオバデヤ、エベドメレク、イェウシュであった。これらはイシュマエルの妻リバの子らの家族である。
24 イシュマエルの子ミシュマの子らはシャムア、ゼカリオン、オベデであり、ドゥマの子らはケゼド、エリ、マフマド、アメドであった。
25 マサの子らはメロン、ムラ、エビダドンであり、チャダドの子らはアズル、ミンザル、エベドメレクであり、テマの子らはセイル、サドン、ヤコルであった。
26 イェトゥルの子らはメリト、ヤイシュ、アリョ、パコトであり、ナフィシュの子らはエベド・タメド、アビヤサフ、ミルであり、ケドマの子らはカリプ、

タクティ、オミルであった。これらはイシュマエルの妻マルクトの子らで、それぞれの家系による。
27 これらはすべて、イシュマエルの子孫の系譜であり、彼らは今日まで、自分たちが町を築いた土地に住んでいた。
28 その頃、アブラハムの子イサクの妻であるベトエルの娘リベカは不妊で、子がいなかった。イサクは父と共にカナンの地に住んでいた。主はイサクと共におられた。その頃、ノアの子セムの子アルパクシャドが、イサクの四十八歳の時に死んだ。アルパクシャドの生涯は四百三十八年であった。

第 26 章

1 アブラハムの子イサクが 59 歳になったとき、彼の妻リベカはまだ子を産めなかった。
2 リベカはイサクに言った。「わが主よ、あなたの母サラは、あなたの父であるわが主アブラハムが彼女のために祈るまで不妊であったと、確かに聞いております。そして、彼女はアブラハムによって身ごもりました。」
3 さあ、立ち上がって神に祈りなさい。そうすれば、神はあなたの祈りを聞き、その慈しみによって私たちを覚えてくださるでしょう。
4 イサクは妻リベカに答えて言った。「アブラハムはすでに私のために神に祈って子孫を増やしてくれるように頼んだ。だから、この不妊はあなたから私たちに伝わるのだ。」
5 リベカは彼に言った、「あなたも今立ち上がって祈ってください。主があなたの祈りを聞き、私に子供を授けてくださるように。」イサクは妻の言葉に耳を傾け、イサクと妻は立ち上がってモリヤの地へ行き、そこで祈り、主を求めた。そして彼らがその場所に着くと、イサクは立ち上がって、不妊の妻のために主に祈った。
6 イサクは言った。「天と地の主なる神よ、あなたの恵みと慈しみは地に満ちています。あなたは私の父を父の家と故郷から連れ出し、この地に連れて来られました。そして父に『わたしはあなたの子孫にこの地を与える』と言われ、また『わたしはあなたの子孫を天の星のように、海の砂のように増やす』と約束し、宣言されました。今、あなたが私の父に語られた言葉が実現しますように。」
7 あなたは私たちの神、主です。私たちの目はあなたに向けられています。あなたが私たちに約束されたとおり、私たちに子孫を与えてください。あなたは私たちの神、主です。私たちの目はただあなたに向けられています。
8 主はアブラハムの子イサクの祈りを聞き入れ、主は彼の願いを聞き入れ、彼の妻リベカは身ごもった。
9 それから七か月ほど経つと、胎内の子供たちが激しく争い、彼女はひどく苦しみ、疲れ果てた。そこで彼女はその地のすべての女たちに、「私のようなことがあなたたちにも起こりましたか」と尋ねた。すると女たちは「いいえ」と答えた。
10 彼女は彼らに言った、「地上のすべての女の中で、なぜ私だけがこのような目に遭っているのですか」。そして彼女はこのことのために主を問うべくモリヤの地へ行き、この件についてセムとその子エベルに尋ね、彼女に関するこのことについて主を問うように頼んだ。
11 また彼女はアブラハムに、自分に起こったすべてのことについて主に尋ねて調べてほしいと頼んだ。
12 そこで皆は、このことについて主に尋ね、主からの言葉を彼女に伝えた。「あなたの胎内には二人の子供がおり、そこから二つの国民が生まれる。一つの国民は他の国民よりも強くなり、強い方が弱い方に仕えるであろう。」
13 彼女が出産する日が満了したとき、彼女はひざまずいた。すると、見よ、主が彼女に告げられたとおり、彼女の胎内に双子がいた。
14 最初に生まれた子は全身が毛深い衣のように赤く、その地の民は皆、その子の名をエサウと呼び、「この子は胎内から完全な者とされた」と言った。
15 その後、彼の弟がやって来て、エサウのかかとをつかんだので、人々は彼の名をヤコブと呼んだ。
16 アブラハムの子イサクは、彼らをもうけたとき、60 歳であった。
17 少年たちは十五歳になり、人間の社会に出た。エサウは策略家で欺瞞に満ちた男で、野の狩りに長けていた。一方、ヤコブは完全で賢い男で、天幕に住み、羊の群れを飼い、主の教えと父と母の命令を学んでいた。
18 イサクとその家族の子らは、神が命じられたとおり、父アブラハムと共にカナンの地に住んだ。
19 アブラハムの子イシュマエルは、自分の子供たちと彼らに属するすべての人々と共にそこへ行き、ハビラの地へ戻り、そこに住んだ。
20 アブラハムの側室の子どもたちは皆、東の地へ移住した。アブラハムは彼らを息子から遠ざけ、贈り物を与えたので、彼らは去っていった。
21 アブラハムは自分の持っているものすべてを息子イサクに与え、また自分の宝物もすべて彼に与えた。
22 そしてイエスは彼に命じて言われた。「あなたは知らないのか。主は天と地の神であり、主のほかに神はいないことを。
23 わたしを父の家、わたしの生まれ故郷から連れ出し、地上のあらゆる喜びを与えてくださったのは、この方でした。また、悪人の企みからわたしを救い出してくださったのも、この方でした。わたしはこの方に信頼していたからです。
24 彼は私をこの場所に連れて行き、ウル･カスディムから私を救い出し、私に言った。「わたしはあなたの子孫にこれらの土地すべてを与えよう。彼らがわたしの戒め、わたしの律法、わたしの定めを守り、わたしがあなたに命じ、また彼らに命じるならば、彼らはこれらの土地を相続するであろう。」

25 それゆえ、わが子よ、わたしの声に聞き従い、わたしが命じた主なるあなたの神の戒めを守りなさい。右にも左にも、正しい道から逸れてはならない。そうすれば、あなたとあなたの子孫は永遠に幸いである。
26 そして、主の驚くべき御業と、主が私たちに示された慈しみを思い出しなさい。主は私たちを敵の手から救い出し、私たちの神である主は敵を私たちの手に渡らせてくださったのです。ですから、今、私があなたに命じたすべてのことを守り、あなたの神の戒めから離れず、神以外に仕える者を一人も見てはなりません。そうすれば、あなたとあなたの子孫は幸いになるでしょう。
27 あなたはあなたの子供たちと子孫に主の教えと戒めを教え、彼らが歩むべき正しい道を教えなさい。そうすれば、彼らは永遠に幸いになる。
28 イサクは父に答えて言った。「わが主が命じられたことは何でも行います。わが神、主の命令から離れません。主が命じられたことはすべて守ります。」アブラハムは息子イサクと、その子らを祝福した。アブラハムはヤコブに主の教えと道を教えた。
29 その時、アブラハムは死んだ。イサクの子ヤコブとエサウの十五年目のことであった。アブラハムの生涯は百七十五年であった。彼は老齢で、満ち足りた人生を送って死に、民のもとに召された。そして、彼の子イサクとイシュマエルが彼を葬った。
30 カナンの住民はアブラハムが死んだと聞いて、王や君主、そしてすべての兵士を伴ってアブラハムを葬るためにやって来た。
31 ハランの地のすべての住民、アブラハムの家のすべての家族、すべての王子と貴族、そしてアブラハムの側室から生まれた息子たちは皆、アブラハムの死を聞いてやって来て、アブラハムの親切に報い、その息子イサクを慰め、アブラハムがヒッタイト人エフロンとその子供たちから墓地として買い取った洞窟にアブラハムを葬った。
32 カナンの住民全員と、アブラハムを知っていたすべての人々は、アブラハムのために一年間泣き、男も女も彼のために嘆き悲しんだ。
33 そして、幼子たちも、その地の住民も皆、アブラハムのために泣いた。アブラハムは皆に善行を施し、神と人に対して正直であったからである。
34 アブラハムのように神を畏れる人は、その後一人も現れなかった。彼は幼い頃から神を畏れ、主にお仕えし、幼少期から死ぬ日まで、生涯を通して自分の道を歩み続けたからである。
35 主は彼と共におられ、ニムロデとその民の策略から彼を救い出し、彼がエラムの四人の王と戦ったとき、彼らを打ち負かした。
36 彼は地上のすべての子らを神に仕えさせ、彼らに主の道を教え、彼らに主を知らしめた。
37 彼は木立を作り、そこにぶどう畑を植え、その地を通る人々に常に自分の天幕で食べ物と飲み物を用意し、彼らが彼の家で満腹になるようにした。
38 そして主なる神は、アブラハムのゆえに全地を救われた。
39 アブラハムの死後、神は彼の息子イサクとその子孫を祝福された。主は、かつて彼の父アブラハムと共におられたように、イサクと共におられた。イサクは、父アブラハムが命じたとおり、主のすべての戒めを守り、父が命じた正しい道から右にも左にも逸れなかったからである。

第 27 章

1 その頃、アブラハムの死後、エサウは頻繁に野に狩りに出かけていた。
2 バベルの王ニムロデ、すなわちアムラフェルは、しばしば勇士たちと共に野に狩りに出かけ、涼しい時間帯に部下たちと歩き回った。
3 ニムロデは毎日エサウを監視していた。ニムロデの心には、毎日エサウに対する嫉妬が芽生えていたからである。
4 ある日、エサウは狩りをするために野原へ出かけた。すると、ニムロデが二人の従者と共に荒野を歩いているのを見つけた。
5 彼の勇士たちと民は皆、荒野で彼と共にいたが、彼らは彼から離れて、それぞれ別の方向に狩りに出かけた。エサウはニムロデのために身を隠し、荒野で彼を待ち伏せた。
6 ニムロデとその部下たちは彼を知らなかった。ニムロデとその部下たちは、涼しい日に野原を歩き回り、部下たちが野原でどこで狩りをしているかを知るために、よく歩き回った。
7 ニムロデと彼と共にいた二人の部下が彼らのいた場所に着くと、エサウは突然隠れていた場所から飛び出し、剣を抜いて急いでニムロデに駆け寄り、彼の首を切り落とした。
8 エサウはニムロデと共にいた二人の男と激しい戦いを繰り広げ、彼らがエサウに呼びかけると、エサウは振り向いて剣で彼らを打ち殺した。
9 ニムロデの勇士たちは皆、彼を残して荒野へ行ったが、遠くから叫び声を聞き、それが二人の男の声だと分かったので、何が起こったのかを知ろうと駆けつけると、荒野で王と彼と共にいた二人の男が死んでいるのを見つけた。
10 エサウはニムロデの勇士たちが遠くから来るのを見て逃げ出し、こうして難を逃れた。そしてエサウはニムロデの父がニムロデに遺した、ニムロデが全地を征服するのに用いた貴重な衣服を奪い、自分の家に隠した。
11 エサウはそれらの衣服を身につけ、ニムロデの部下たちのため町へ逃げ込み、戦いで疲れ果てて父の家に着いた。そして、兄ヤコブのところへ行き、彼の前に座ったときには、悲しみで死にそうだった。
12 彼は兄のヤコブに言った。「見よ、私は今日死ぬ。それなのに、なぜ長子の権利を欲しがる必要があるのか。」ヤコブはこの件に関してエサウに対して賢

明な行動を取り、エサウはヤコブに長子の権利を売った。それは主の御心によるものであった。
13 また、アブラハムがヘトの子らから墓地として買い取ったマクペラの野の洞窟にあるエサウの分け前もヤコブに売り、ヤコブは兄エサウから代価を払ってこれを買い取った。
14 ヤコブはこれらすべてを書物に書き記し、証人たちと共にそれを証言し、封印した。そしてその書物はヤコブの手の中に残された。
15 クシュの子ニムロデが死んだとき、彼の部下たちは彼を担ぎ上げて、悲嘆に暮れながら彼の町に運び、埋葬した。ニムロデの生涯は 215 年で、彼は死んだ。
16 ニムロデがその地の民を治めた期間は百八十五年であった。ニムロデはエサウの剣によって恥辱と侮辱のうちに死に、アブラハムの子孫が夢で見たとおりに彼を殺した。
17 ニムロデの死後、彼の王国は多くの地域に分裂し、ニムロデが統治していたすべての地域は、ニムロデの死後にそれらを回復したそれぞれの国の王に返還され、ニムロデの家系の人々は長い間、その地の他のすべての王に奴隷として仕えることになった。

第 28 章

1 その頃、アブラハムの死後、その年に主はカナンの地に大飢饉をもたらされた。カナンの地で飢饉が猛威を振るっているとき、イサクは父アブラハムがしたように、飢饉のためにエジプトへ下ろうと立ち上がった。
2 その夜、主はイサクに現れて言われた。「エジプトに下ってはならない。立ち上がってゲラルに行き、ペリシテ人の王アビメレクのところへ行き、飢饉が終わるまでそこに留まりなさい。」
3 イサクは主の命令どおりに立ち上がり、ゲラルへ行き、そこで一年間過ごした。
4 イサクがゲラルに着くと、その地の人々は彼の妻リベカが美しい容姿をしているのを見て、ゲラルの人々はイサクに彼の妻について尋ねた。すると彼は「彼女は私の妹です」と答えた。彼は、その地の人々が彼女のことで彼を殺すことを恐れて、彼女が自分の妻だとは言わなかったのである。
5 アビメレクの王子たちは王のもとへ行き、その女を褒め称えたが、王は彼らに答えず、彼らの言葉にも耳を傾けなかった。
6 しかし、イサクが彼女を自分の妹だと宣言したという話を聞いたので、王はそれを心に留めておいた。
7 イサクがその地に三か月滞在したとき、アビメレクは窓から外を見ると、イサクが妻リベカと戯れているのが見えた。イサクは王の家の外側の家に住んでいたので、イサクの家は王の家の向かいにあった。
8 王はイサクに言った。「お前は妻のことを『彼女は私の妹だ』と言って、我々に何をしたのだ。民の有力者の一人が彼女と寝てもおかしくなかった。そうすれば、お前は我々に罪を負わせることになっただろう。」
9 イサクはアビメレクに言った。「妻のことで死ぬのが怖かったので、彼女は私の妹だと言いました。
10 その時、アビメレクはすべての家臣と有力者に命じ、彼らはイサクとその妻リベカを連れて王の前に来た。
11 王は、彼らに王族の衣装を着せ、町の通りを馬で巡らせ、国中にこう告げ知らせるように命じた。「これがその男で、これがその妻である。この男またはその妻に触れる者は必ず死ぬ。」イサクは妻と共に王宮に戻った。主はイサクと共におられ、イサクはますます栄え、何一つ欠けることがなかった。
12 主はイサクがアビメレクの目にも、また彼のすべての臣民の目にも好意を得られるようにされた。アビメレクはイサクに親切に接した。それはアビメレクが父とアブラハムの間にあった誓いと契約を覚えていたからである。
13 アビメレクはイサクに言った。「見よ、全地はあなたの前にある。あなたが自分の土地に帰るまで、あなたの目に良いと思う所に住みなさい。」そしてアビメレクはイサクに畑とぶどう畑とゲラルの地の最良の部分を与え、飢饉の日々が過ぎ去るまで、種を蒔き、刈り取り、その地の産物を食べるようにした。
14 イサクはその地に種を蒔き、その年に百倍の収穫を得た。主は彼を祝福された。
15 その人は富み栄え、羊の群れや牛の群れ、そして多くのしもべを所有するようになった。
16 飢饉の日々が過ぎ去ると、主はイサクに現れて言われた。「立ち上がって、この場所を出て、あなたの故郷、カナンの地へ帰りなさい。」そこでイサクは立ち上がり、主が命じられたとおり、彼と彼のすべての持ち物を携えて、カナンの地にあるヘブロンへ帰った。
17 その後、アルパクシャドにいた息子シェラハは、ヤコブとエサウの生涯の 18 年目に死んだ。シェラハの生涯は 433 年であった。
18 その時、イサクは末の息子ヤコブをセムとエベルの家に遣わした。ヤコブは主の教えを学び、セムとエベルの家に 32 年間滞在した。兄エサウは行きたくなかったので、カナンの地にある父の家にとどまった。
19 エサウは獲物を得るために野原で狩りをし、毎日そうしていた。
20 エサウは策略家で欺瞞に満ちた人であり、人の心を狙って誘惑する人であった。エサウは野では勇敢な人で、いつものように狩りに出かけ、セイルの野、すなわちエドムの野まで来た。
21 彼はセイルの地に留まり、野で一年四ヶ月間狩りをしていた。
22 エサウはセイルの地で、カナン人の娘を見かけた。彼女の名はエフディトで、エフェルの子ベエリの娘であり、カナンの子ヘトの子孫であった。

23 エサウは彼女を妻として迎え、彼女のところへ行った。エサウが彼女を妻として迎えたとき、彼は 40 歳であった。彼は彼女をヘブロン、すなわち彼の父の住まいの地へ連れて行き、そこに住んだ。
24 その頃、イサクの生涯の百十年目、すなわちヤコブの生涯の五十年目に、ノアの子セムが死んだ。セムは六百歳で死んだ。
25 セムが死ぬと、ヤコブは父のいるヘブロン、すなわちカナンの地に戻った。
26 ヤコブの生涯の 56 年目に、ハランから人々がやって来て、リベカはベトエルの子である兄ラバンについて知らされた。
27 その頃、ラバンの妻は不妊で、子供を産まず、彼の女奴隷たちも皆、彼に子供を産まなかった。
28 その後、主はラバンの妻アディナを思い出し、彼女は身ごもって双子の娘を産んだ。ラバンは娘たちに、姉をレア、妹をラケルと名付けた。
29 すると、人々は来てこれらのことをリベカに告げた。リベカは、主が兄を訪ねて、彼に子供ができたことを大いに喜んだ。

第 29 章

1 アブラハムの子イサクは年老いて、その目は衰え、かすんで見えなくなった。
2 その時、イサクは息子エサウを呼び、「頼むから武器、矢筒と弓を持って立ち上がり、野へ行って鹿肉を獲ってきてくれ。そして、それを美味しい料理にして持ってきてくれ。私が死ぬ前に、お前を祝福するためにそれを食べさせてくれ。私はもう年老いて白髪になったのだから。」と言った。
3 エサウはそのようにした。彼は武器を取り、いつものように野原へ鹿狩りに出かけ、父が命じたとおりに持ってきて、父に祝福してもらおうとした。
4 リベカはイサクがエサウに語った言葉をすべて聞き、急いで息子ヤコブを呼び、「あなたの父はあなたの兄エサウにこのように話しました。私もこのように聞きました。ですから、急いで私があなたに告げることを行いなさい」と言いました。
5 立ち上がって、お願いだから羊の群れに行って、二匹の立派な子ヤギを連れてきてください。私はあなたの父のために美味しい肉を用意します。そして、あなたの兄が狩りから帰ってくる前に、父が食べられるように美味しい肉を持ってきてください。そうすれば、あなたの父はあなたを祝福するでしょう。
6 ヤコブは急いで母の命令どおりにし、香ばしい肉料理を作り、エサウが狩りから帰ってくる前に父の前に持って行った。
7 イサクはヤコブに言った、「わが子よ、お前は誰だ？」ヤコブは言った、「私はあなたの長男エサウです。私はあなたが命じられたとおりにしました。ですから、どうぞ立ち上がって、私の狩りの獲物を食べてください。そうすれば、あなたが私に言ったように、あなたの魂が私を祝福してくれるでしょう。」
8 イサクは立ち上がり、食べたり飲んだりして心が慰められ、ヤコブを祝福した。ヤコブは父のもとを去った。イサクがヤコブを祝福し、ヤコブが去るとすぐに、見よ、エサウが野での狩りから帰って来た。彼もまた、おいしい料理を作り、それを父に持ってきて食べさせ、祝福した。
9 イサクはエサウに言った。「あなたが来る前に、鹿肉を持ってきて私に与え、私が祝福したのは誰だったのか。」エサウは、兄ヤコブがそうしたことを知り、兄ヤコブがこのようにしたことに怒りを覚えた。
10 エサウは言った。「彼はヤコブという名にふさわしいのではないか。彼は二度も私を出し抜き、私の長子の権利を奪い、今度は私の祝福まで奪ったのだ。」エサウは激しく泣いた。イサクは息子エサウの泣き声を聞いて、エサウに言った。「息子よ、どうしたらよいのだ。お前の兄は巧妙にやって来て、お前の祝福を奪ったのだ。」エサウは父が兄ヤコブに与えた祝福のゆえに兄ヤコブを憎み、彼に対して激しい怒りを燃やした。
11 ヤコブは兄エサウを非常に恐れ、立ち上がってセムの子エベルの家に逃げ込み、兄のゆえにそこに身を隠した。ヤコブはヘブロンからカナンの地を出た時、63 歳であった。ヤコブは兄エサウのゆえに 14 年間エベルの家に身を隠し、そこで主の道と戒めを学び続けた。
12 エサウはヤコブが逃げて自分から逃れ、またヤコブが巧みに祝福を得たのを見て、ひどく悲しみ、父と母に腹を立てた。そしてエサウは立ち上がり、妻を連れて父と母のもとを離れ、セイルの地へ行き、そこに住んだ。そこでエサウはヘトの娘たちの中からボスマトという名の女を見つけた。彼女はヒッタイト人エロンの娘であった。エサウは彼女を最初の妻に加えて妻として迎え、祝福が自分から去ったと言って、彼女をアダと名付けた。
13 エサウは父と母に会うことなく、セイルの地に六か月間滞在した。その後、エサウは妻たちを連れて立ち上がり、カナンの地へ戻り、二人の妻をヘブロンにある父の家に住まわせた。
14 エサウの妻たちは、自分たちの行いによってイサクとリベカを悩ませ、怒らせた。彼女たちは主の道に歩まず、父が教えたとおりに木や石でできた父の神々に仕え、父よりもさらに邪悪であった。
15 そして彼らは心の邪悪な欲望に従って行き、バアル神にいけにえを捧げ、香を焚いた。イサクとリベカは彼らにうんざりした。
16 リベカは言った、「私はヘトの娘たちのことで自分の命に疲れ果てています。もしヤコブがヘトの娘たち、つまりこの地の娘たちの中から妻をめとるなら、私にとって生きていることに何の益があるでしょうか。」

17 その頃、エサウの妻アダは身ごもり、彼に息子を産んだ。エサウはその息子をエリファズと名付けた。エサウは彼女が息子を産んだとき、65 歳であった。
18 その頃、アブラハムの子イシュマエルは死んだ。ヤコブの生涯の六十四年目に、イシュマエルは死んだ。イシュマエルの生涯は百三十七年であった。
19 イサクはイシュマエルが死んだと聞いて、彼のために嘆き悲しみ、何日も彼のために嘆き悲しんだ。
20 ヤコブがエベルの家に住んで 14 年が経ったとき、ヤコブは父と母に会いたいと願い、ヘブロンにある父と母の家に行った。その頃、エサウはヤコブが祝福を奪ったことをすっかり忘れていた。
21 エサウはヤコブが父と母のところに来るのを見て、ヤコブが自分にしたことを思い出し、ヤコブに対して激しく怒り、彼を殺そうとした。
22 アブラハムの子イサクは年老いて、エサウは言った。「父の死期が近づいてきた。父が死ぬ時が来たら、私は弟ヤコブを殺そう。」
23 このことがリベカに伝えられると、彼女は急いで人を遣わして息子ヤコブを呼び寄せ、彼に言った。「立ち上がって、ハランへ逃げて私の兄ラバンのところへ行きなさい。兄の怒りがあなたから離れるまで、しばらくそこに留まりなさい。それから戻ってきなさい。」
24 イサクはヤコブを呼び、彼に言った。「カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない。これは、私たちの父アブラハムが主の言葉に従って私たちに命じたことである。主はこう言われた。『わたしはあなたの子孫にこの地を与える。もしあなたの子孫がわたしがあなたと結んだ契約を守るならば、わたしはあなたに告げたことをあなたの子孫にも果たし、彼らを見捨てない。』」
25 それゆえ、わが子よ、わたしの声に聞き従い、わたしが命じるすべてのことに従え、カナンの娘たちの中から妻をめとることを控えなさい。立ち上がって、ハランに行き、あなたの母の父ベトエルの家に行き、そこであなたの母の兄弟ラバンの娘たちの中から妻をめとりなさい。
26 それゆえ、あなたが行く地で、あなたの神、主とそのすべての道を忘れて、その地の民と交わり、虚しいものを追い求め、あなたの神、主を捨てることのないように気をつけなさい。
27 しかし、あなたがその地に着いたら、そこで主にお仕えしなさい。わたしがあなたに命じ、あなたが学んだ道から右にも左にも逸れてはならない。
28 万軍の神が、地上の民の目にあなたに恵みを与え、あなたが望むとおりに、主の道において善良で正しい妻を娶ることができますように。
29 神があなたとあなたの子孫に、あなたの父アブラハムの祝福を与え、あなたを子孫繁栄させ、あなたが行く地で大勢の民となり、神があなたを、あなたの父の住まいの地、この地に、子供たちと多くの富と喜びと楽しみとともに帰らせてくださいますように。
30 イサクはヤコブに命じ、祝福し終えると、銀や金とともに多くの贈り物を与え、彼を送り出した。ヤコブは父と母の言葉に従い、彼らに口づけをして立ち上がり、パダン･アラムへ行った。ヤコブがベエルシェバからカナンの地を出た時、彼は 77 歳であった。
31 ヤコブがハランへ向かって出発したとき、エサウは息子エリファズを呼び、ひそかに彼に言った。「急いで剣を手に取り、ヤコブを追いかけ、道で彼の前に進み、彼を待ち伏せ、山のどこかで剣で彼を殺し、彼の持ち物をすべて奪って戻って来なさい。」
32 エサウの子エリファズは、父から教わったとおり弓の腕に長けた、活動的な人であり、野の猟師としても名高く、勇敢な人であった。
33 エリファズは父の命令どおりに行動した。エリファズはその時 13 歳であった。エリファズは立ち上がり、母の兄弟 10 人を連れてヤコブを追跡した。
34 彼はヤコブを執拗に追跡し、シェケムの町の向かいにあるカナンの地の境界で彼を待ち伏せた。
35 ヤコブはエリファズとその部下たちが自分を追ってきているのを見て、何事かと、自分が進んでいた場所に立ち止まった。ヤコブは、何が起こっているのか分からなかったからである。エリファズは剣を抜き、部下たちと共にヤコブに向かって進み続けた。ヤコブは彼らに言った。「あなたたちがここに来たのはどういうことなのか。剣を持って追ってくるのはどういう意味なのか。」
36 エリファズはヤコブに近づき、彼に答えて言った、「父上はこのように命じられました。ですから、私は父上から受けた命令から外れるつもりはありません。」ヤコブはエサウがエリファズに力を使うように言ったのを見て、エリファズとその部下に近づき、懇願して言った。
37 私の持っているもの、父と母が私に与えてくれたものすべてを見てください。それらを受け取って私から立ち去り、私を殺さないでください。そうすれば、このことがあなたにとって義とみなされるでしょう。
38 主はヤコブがエサウの子エリファズとその部下たちの目に好意を得るようにされたので、彼らはヤコブの声に耳を傾け、彼を殺さなかった。エリファズとその部下たちはヤコブの持ち物すべてと、彼がベエルシェバから持ってきた銀と金を奪い、彼には何も残さなかった。
39 エリファズとその部下たちは彼のもとを離れ、ベエルシェバのエサウのもとへ戻り、ヤコブに関して起こったことすべてを彼に話し、ヤコブから奪ったものすべてを彼に返した。
40 エサウは息子エリファズと、彼と共にいた部下たちに憤慨した。彼らがヤコブを殺さなかったからである。
41 彼らはエサウに答えて言った、「ヤコブがこの件で私たちを殺さないでくれと懇願したので、私たちは彼を憐れみ、彼の持ち物をすべてあなたのところに持ってきました。」エサウはエリファズがヤコブ

から奪った銀と金をすべて受け取り、自分の家に保管しました。
42 その時、エサウはイサクがヤコブを祝福し、「カナンの娘たちの中から妻をめとってはならない」と命じたこと、そしてカナンの娘たちはイサクとリベカの目には悪いと思われたことを知った。
43 それから彼は叔父のイシュマエルの家に行き、年上の妻たちに加えて、イシュマエルの娘でネバヨトの妹であるマクラトを妻として迎えた。

第 30 章

1 ヤコブはハランへの道を進み続け、モリヤ山まで来て、ルズの町の近くで一晩泊まった。その夜、主がヤコブに現れて言われた。「わたしはアブラハムの神、あなたの父イサクの神、主である。あなたが今横たわっているこの地を、わたしはあなたとあなたの子孫に与える。」
2 見よ、わたしはあなたと共にいて、あなたがどこへ行ってもあなたを守り、あなたの子孫を天の星のように増やし、あなたの敵を皆あなたの前に倒すであろう。彼らがあなたと戦っても、あなたに勝つことはできないであろう。わたしはあなたを喜びと、子供たちと、大きな富と共にこの地に連れ戻すであろう。
3 ヤコブは眠りから覚め、見た幻を見て大いに喜び、その場所をベテルと名付けた。
4 ヤコブはそこから大いに喜び立ち上がった。歩くと喜びで足が軽く感じられた。彼はそこから東の民の地へ行き、ハランに戻って羊飼いの井戸のそばに座った。
5 そこでヤコブは、ハランから羊の群れを飼うために来る男たちに出会った。ヤコブが彼らに尋ねると、彼らは「私たちはハランから来ました」と答えた。
6 するとイエスは彼らに言われた。「ナホルの子ラバンを知っていますか。」彼らは言った。「知っています。ちょうど彼の娘ラケルが父の羊の群れを養うためにやって来ます。」
7 イエスがまだ彼らと話している間に、ラバンの娘ラケルが父の羊の世話をしに来た。彼女は羊飼いであった。
8 ヤコブは母の兄弟ラバンの娘ラケルを見ると、走って行って彼女に口づけし、声を上げて泣いた。
9 ヤコブはラケルに、自分は彼女の父の妹リベカの息子だと告げた。ラケルは走って父に告げ、ヤコブはラバンの家に持っていくものが何もなかったので泣き続けた。
10 ラバンは妹の息子ヤコブが来たと聞いて、走って行って彼に口づけし、抱きしめ、家に連れて行き、パンを与えて食べさせた。
11 ヤコブはラバンに、兄エサウが自分にしたこと、そして息子エリファズが道中で自分にしたことを話した。
12 ヤコブはラバンの家に一か月滞在し、ラバンの家で食べたり飲んだりした。その後、ラバンはヤコブに言った。「あなたの報酬はいくらになるのか、私に言いなさい。あなたは私に無償で仕えることはできないのだから。」
13 ラバンには息子はおらず、娘ばかりであった。その頃、彼の他の妻や女奴隷たちはまだ子を産めなかった。ラバンの妻アディナが産んだ娘たちの名前は次のとおりである。長女の名はレア、次女の名はラケルであった。レアは目が優しかったが、ラケルは美しく容姿端麗で、ヤコブは彼女を愛した。
14 ヤコブはラバンに言った、「わたしはあなたの末娘ラケルのために七年間あなたに仕えます。」ラバンはこれに同意し、ヤコブはラバンの娘ラケルのために七年間ラバンに仕えた。
15 ヤコブがハランに住んだ 2 年目、すなわちヤコブの生涯の 79 年目に、セムの子エベルが死んだ。彼は 464 歳であった。
16 ヤコブはエベルが死んだと聞いて、非常に悲しみ、何日も彼のために嘆き悲しんだ。
17 ヤコブがハランに住んで三年目に、イシュマエルの娘でエサウの妻であるボシュマトが彼に息子を産み、エサウはその子をレウエルと名付けた。
18 ヤコブがラバンの家に住んで 4 年目に、主はラバンを訪れ、ヤコブのゆえに彼を覚えておられた。そして彼に息子たちが生まれた。長男はベオル、次男はアリブ、三男はコラシュであった。
19 主はラバンに富と名誉、息子と娘を与え、ラバンはヤコブのゆえに大いに栄えた。
20 その頃、ヤコブはラバンに仕え、家でも畑でもあらゆる仕事をした。そして、ラバンの家と畑にあるすべてのものに主の祝福があった。
21 そして第五年に、カナンの地で、エサウの妻ベエリの娘エフディトが死んだ。彼女には息子はおらず、娘ばかりであった。
22 彼女がエサウに産んだ娘たちの名前は次のとおりである。長女の名はマルジト、次女の名はプイトであった。
23 エフディトが死ぬと、エサウは立ち上がり、いつものようにセイルへ狩りに出かけ、長い間セイルの地に住んだ。
24 そして六年目に、エサウは他の妻たちに加えて、ヒビ人ゼベオンの娘アハリバマを妻として迎え、彼女をカナンの地に連れて行った。
25 アハリバマは身ごもり、エサウにイェウシュ、ヤアラン、コラという三人の息子を産んだ。
26 その頃、カナンの地で、エサウの牧夫たちとカナンの地の住民の牧夫たちの間に争いが起こった。エサウの家畜と財産があまりにも多く、彼がカナンの地、すなわち彼の父の家にとどまるには多すぎたため、カナンの地は彼の家畜のために彼を支えることができなかったからである。
27 エサウはカナンの地の住民との争いがますます激しくなるのを見て、立ち上がり、妻たち、息子たち、

娘たち、そして自分の所有するすべてのもの、所有していた家畜、カナンの地で得たすべての財産を連れて、その地の住民から離れてセイルの地へ行った。そしてエサウと彼の所有するすべてのものはセイルの地に住んだ。
28 しかし、エサウは時折カナンの地にいる父と母を訪ね、ホリ人と結婚し、娘たちをホリ人セイルの息子たちに与えた。
29 彼は長女マルジトを妻の兄弟ゼベオンの子アナに与え、プイトをホリ人ビルハンの子アザルに与えた。エサウは子らと共に山に住み、子孫は増え、繁栄した。

第 31 章

1 そして第七年目に、ヤコブがラバンに仕えた務めは完了した。ヤコブはラバンに言った、「私の務めの期間は満了しましたので、妻をください」。ラバンはそうし、ラバンとヤコブはその地のすべての人々を集めて宴会を開いた。
2 夕方になるとラバンが家に来て、その後ヤコブが祭りの人たちと一緒にそこへやって来た。ラバンは家の中にあったすべての明かりを消した。
3 ヤコブはラバンに言った。「なぜあなたは私たちにこのようなことをするのですか。」ラバンは答えた。「これはこの地での私たちの慣習です。」
4 その後、ラバンは娘のレアを連れてヤコブのところへ行った。ヤコブはレアのところへ行ったが、レアがレアだとは知らなかった。
5 ラバンは娘レアに女奴隷ジルパを侍女として与えた。
6 宴会にいた人々は皆、ラバンがヤコブにしたことを知っていたが、ヤコブにはそのことを告げなかった。
7 その夜、近所の人々は皆ヤコブの家にやって来て、食べたり飲んだりして喜び、レアの前でタンバリンを鳴らしたり踊ったりして遊び、ヤコブの前で「ヘレア、ヘレア」と答えた。
8 ヤコブは彼らの言葉を聞いたが、その意味は理解できなかった。しかし、彼はそれがこの地の彼らの習慣なのかもしれないと思った。
9 すると、近所の人たちはその夜、ヤコブの前でこれらの言葉を言ったので、ラバンはその夜、家の中にあったすべての明かりを消した。
10 朝になり、夜が明けると、ヤコブは妻の方を振り向いて見ると、なんと、彼の胸に抱かれていたのはレアだった。ヤコブは言った。「昨夜、隣人たちが言っていたことが今わかった。『ヘレアだ』と彼らは言っていたが、私は知らなかった。」
11 ヤコブはラバンを呼び、「あなたは私に何てことをしたのですか。私は確かにラケルのためにあなたに仕えていたのに、なぜあなたは私を欺いてレアを私に与えたのですか」と言った。
12 ラバンはヤコブに答えて言った。「私たちの地域では、年長者より先に年下の者を嫁がせることは慣習ではありません。ですから、もしあなたが彼女の姉も嫁がせたいのであれば、あなたが私にあと七年間仕えることになるので、彼女をあなたのところに嫁がせなさい。」
13 ヤコブはそのようにして、ラケルを妻として迎え、さらに七年間ラバンに仕えた。ヤコブはラケルのところへ行き、レアよりもラケルを愛した。ラバンは自分の女奴隷ビルハをラケルに侍女として与えた。
14 主はレアが憎まれているのをご覧になり、彼女の胎を開かれたので、彼女は身ごもり、そのころにヤコブに四人の息子を産んだ。
15 そして、彼らの名前はルベン、シメオン、レビ、ユダである。その後、彼女は子を産むのをやめた。
16 その頃、ラケルは不妊で、子供がいなかった。ラケルは姉のレアを妬み、レアがヤコブに子供を産まないのを見て、女奴隷のビルハを連れてきて、ビルハはヤコブにダンとナフタリという二人の息子を産んだ。
17 レアは自分がもう子を産めなくなったのを見て、自分の女奴隷ジルパを連れてきて、ヤコブに妻として与えた。ヤコブもジルパのところへ行き、ジルパはヤコブにガドとアシェルという二人の息子を産んだ。
18 その頃、レアは再び身ごもり、ヤコブとの間に二人の息子と一人の娘を産んだ。彼らの名はイッサカル、ゼブルン、そしてその妹ディナである。
19 その頃、ラケルはまだ子を産めなかった。そこでラケルは主に祈って言った。「主なる神よ、どうか私を覚えていて、私を訪ねてください。夫はもう私を捨てようとしています。私は夫に子供を産んでいないからです。」
20 主よ、今、あなたの御前に私の嘆願を聞き、私の苦しみを見て、女奴隷の一人のように私に子供を与えてください。そうすれば、私はもはや恥辱に耐える必要がなくなります。
21 神は彼女の願いを聞き入れ、彼女の胎を開かれた。ラケルは身ごもり、男の子を産んだ。彼女は言った、「主は私の恥辱を取り除いてくださった」。そして、その子をヨセフと名付け、「主が私にもう一人息子を加えてくださいますように」と言った。ヤコブは、彼女が彼を産んだとき、九十一歳であった。
22 その時、ヤコブの母リベカは、乳母ウズの娘デボラとイサクのしもべ二人をヤコブのもとに送った。
23 彼らはハランのヤコブのところに来て、彼に言った。「リベカが私たちをあなたのところに遣わして、あなたが父の家、カナンの地に戻るようにと言っています。」ヤコブは母が言ったとおりに彼らの言うとおりにした。
24 その頃、ヤコブがラケルのためにラバンに仕えた残りの七年が終わり、ハランに住んで十四年が経ったとき、ヤコブはラバンに言った。「妻たちを私に返して、私を故郷に帰らせてください。見よ、私の母がカナンの地から私に使いを送り、父の家に帰るように言ったのです。」

25 ラバンは彼に言った、「どうかそうしないでください。もし私があなたの目にかなうなら、私のもとを離れないでください。あなたの報酬を私に定めてください。私はそれをお渡ししますので、私と一緒にいてください。」
26 ヤコブは彼に言った、「あなたが私に報酬としてくれるのは、今日あなたの群れ全体を巡り、羊や山羊の中にいる斑点のある子羊や茶色い子羊をすべて取り除くことです。もしあなたが私のためにこのことをしてくださるなら、私は戻ってあなたの群れを養い、最初と同じように世話をします。」
27 ラバンはそのようにし、ヤコブが言ったとおりに自分の羊の群れからすべての羊を取り出してヤコブに与えた。
28 ヤコブはラバンの羊の群れから取り除いた羊をすべて息子たちの手に渡し、残りの羊の群れをヤコブが養っていた。
29 イサクがヤコブに遣わしたしもべたちは、ヤコブが彼らと共にカナンの地へ父のもとへ帰ろうとしないのを見て、ヤコブのもとを離れ、カナンの地にある自分の家へ帰った。
30 デボラはハランでヤコブと共に留まり、イサクの家臣たちと共にカナンの地には戻らなかった。デボラはハランでヤコブの妻たちと子供たちと共に暮らした。
31 ヤコブはさらに六年間ラバンに仕え、羊が産まれたとき、ヤコブはラバンと決めたとおり、斑点やまだら模様のある羊を取り除きました。ヤコブはラバンのところで六年間そのようにし、ヤコブの子孫は大いに増え、家畜、女奴隷、男奴隷、ラクダ、ロバを所有するようになりました。
32 ヤコブは 200 頭の牛を所有しており、その牛は大きく、見た目も美しく、非常に繁殖力が強かった。人の子らの家族は皆、ヤコブの牛を欲しがった。なぜなら、ヤコブの牛は非常に繁栄していたからである。
33 多くの人がヤコブの羊の群れを欲しがってやって来たので、ヤコブは男のしもべ、女のしもべ、ロバ、ラクダ、あるいはヤコブが望むものなら何でも彼らに与えた。
34 ヤコブはこれらの人との取引によって富と名誉と財産を得たが、ラバンの子らは彼のこの名誉を妬んだ。
35 やがて彼はラバンの息子たちの言葉を聞いた。「ヤコブは私たちの父のものであったものをすべて奪い取り、私たちの父のものであったものからこのすべての栄光を得た。」
36 ヤコブはラバンとその子らの顔色を見たが、見よ、その頃には彼らの顔色は以前とは違っていた。
37 六年が過ぎた時、主はヤコブに現れて言われた。「立ち上がって、この地を出て、あなたの生まれた地へ帰りなさい。わたしはあなたと共にいる。」
38 その時ヤコブは立ち上がり、自分の子供たちと妻たち、そして自分の持ち物すべてをラクダに乗せて、父イサクのいるカナンの地へ向かって出発した。
39 ラバンはその日、羊の毛刈りをしていたため、ヤコブが自分から離れて行ったことを知らなかった。
40 ラケルは父の像を盗み、それをラクダに隠して乗って旅を続けた。
41 偶像の作法はこうである。長男を捕らえて殺し、その頭の毛をむしり取り、塩を取って頭に塩を塗り、油を塗る。それから、銅の小板か金の小板を取って、その上に名前を書き、その小板を舌の下に置き、舌の下に小板を置いたままの頭を家の中に置き、その前で灯りをともしてひれ伏す。
42 そして、彼らがひれ伏すとき、それは、そこに記されている御名の力によって、彼らが求めるすべての事柄について彼らに語りかける。
43 また、ある者たちは金や銀で人の形をした像を作り、自分たちが知っている時間にそれらを持って行き、像は星の影響を受け、未来のことを告げる。ラケルが父から盗んだ像も、このようなものであった。
44 ラケルは、ヤコブがどこへ行ったのかラバンに知られないように、父の像を盗んだ。
45 ラバンは家に帰ってきて、ヤコブとその家族について尋ねたが、ヤコブは見当たらなかった。ラバンはヤコブがどこに行ったのかを知るために自分の像を求めたが、見つからなかった。そこで彼は他の像のところへ行き、それらに尋ねたところ、ヤコブは彼から逃れて父の地、カナンの地へ行ったと告げられた。
46 そこでラバンは立ち上がり、兄弟たちとすべてのしもべたちを連れてヤコブを追いかけ、ギレアデ山で彼に追いついた。
47 ラバンはヤコブに言った。「あなたは私に何をしたのか。逃げて私を欺き、私の娘たちとその子供たちを剣で捕らえられた捕虜のように連れ去ったとは。」
48 あなたは私に彼らに口づけして喜びのうちに送り出すことを許さず、私の神々を盗んで去って行った。
49 ヤコブはラバンに答えて言った。「あなたが娘たちを力ずくで私から奪い取るのではないかと恐れたからです。今、あなたが自分の神々を見つけた者は誰であれ死ぬでしょう。」
50 ラバンは像を探し、ヤコブのすべての天幕と家具を調べたが、見つけることができなかった。
51 ラバンはヤコブに言った。「私たちは契約を結び、それは私とあなたとの間の証となる。もしあなたが私の娘たちを苦しめたり、私の娘たち以外の妻を娶ったりするならば、この件に関しては神さえも私とあなたとの間の証人となるであろう。」
52 彼らは石を集めて積み上げ、ラバンは言った。「この積み上げられた石は、私とあなたとの間の証人となる。」それで彼はその場所をギレアデと名付けた。

53 ヤコブとラバンは山の上でいけにえをささげ、そこで供え物のそばで食事をし、夜通し山に滞在した。翌朝早くラバンは起きて娘たちと泣き、彼女たちに口づけをしてから、自分の場所に戻った。
54 彼は急いで、17 歳の息子ベオルを、ウズの子、ナホルの子アビコロフと共に送り出した。彼らには 10 人の男が同行していた。
55 彼らは急いで行き、ヤコブより先に道を進み、別の道を通ってセイルの地に着いた。
56 彼らはエサウのところに来て彼に言った、「あなたの兄弟であり親族である、あなたの母の兄弟であるベトエルの子ラバンがこう言っています。
57 あなたは、あなたの兄弟ヤコブが私にしたことを聞きましたか。彼は最初に裸で私のところに来ました。私は彼を迎えに行き、彼を丁重に私の家に連れて行き、彼を偉い者にし、私の二人の娘と二人の女中を妻として彼に与えました。
58 そして神は私のゆえに彼を祝福し、彼は大いに増え、息子、娘、女中をもうけた。
59 彼はまた、膨大な数の羊や牛、ラクダやロバ、そして銀や金も豊富に持っていた。そして、自分の富が増えたのを見て、私が羊の毛を刈りに行っている間に、彼は私のもとを離れ、ひそかに逃げ去った。
60 彼は妻と子供たちをラクダに乗せ、わたしの土地で得たすべての家畜と財産を連れ出し、父イサクのいるカナンの地へ向かうために顔を上げた。
61 彼は私に娘たちとその子供たちに口づけすることを許さず、娘たちを剣で捕らえた捕虜のように連れ去り、私の神々を盗んで逃げ去った。
62 そして今、わたしは彼をヤブク川の山に残した。彼と彼の持ち物すべてを。彼には何一つ欠けるものはない。
63 もしあなたが彼のもとへ行きたいと願うなら、行きなさい。そうすればあなたは彼を見つけるでしょう。そしてあなたは自分の望むように彼にすることができるでしょう。ラバンの使者たちが来て、エサウにこれらのことをすべて伝えました。
64 エサウはラバンの使者たちの言葉をすべて聞き、ヤコブに対する怒りが激しく燃え上がり、憎しみを思い出し、怒りが彼の心の中で燃え上がった。
65 エサウは急いで自分の子供たちと召使たちと家族 60 人を連れて行き、ホリ人セイルの子供たちと彼らの民 340 人を集め、剣を抜いた 400 人の男たち全員を連れてヤコブのところへ行き、彼を討とうとした。
66 エサウはこの人数をいくつかのグループに分け、自分の子供と召使と家族の中から 60 人の男を選び、長男のエリファズに彼らの世話を任せた。
67 そして残りの首長たちはホリ人セイルの六人の息子たちの管理下に置き、彼はそれぞれの息子を子孫の上に置いた。
68 そして、この陣営の全員がそのまま進み、エサウは彼らの間に入り、ヤコブの方へ行き、彼らを速やかに導いた。
69 ラバンの使者たちはエサウのもとを離れ、カナンの地へ行き、ヤコブとエサウの母リベカの家に着いた。
70 すると彼らは彼女に言った、「あなたの息子エサウは、兄ヤコブが来るのを聞いて、400 人の兵士を率いて兄ヤコブに戦いを挑み、彼を打ち倒し、彼の持ち物をすべて奪い取ろうとしています。」
71 リベカは急いで、イサクの家臣の中から 72 人をヤコブに道で会わせるために遣わした。彼女は、「もしかしたら、エサウが道でヤコブに会った時に戦いを挑んでくるかもしれない」と思ったからである。
72 これらの使者たちはヤコブに会うために道に出て、ヤブク川の向こう側の川沿いの道で彼に会った。ヤコブは彼らを見て、「この宿営地は神から私に定められたものだ」と言い、その場所をマクナイムと名付けた。
73 ヤコブは父の民全員を知っていたので、彼らに口づけし、抱きしめ、彼らと一緒に行った。ヤコブは父と母の様子を尋ねたところ、彼らは「彼らは元気です」と答えた。
74 すると、使者たちはヤコブに言った。「あなたの母リベカが私たちをあなたのところに遣わして、こう言いました。『わが子よ、あなたの兄エサウがホリ人セイルの子孫たちと共に、あなたに向かって道に出て行ったと聞きました。』」
75 それゆえ、わが子よ、わたしの声に耳を傾け、自分の考えに基づいて何をすべきかを見極めなさい。彼があなたのところに来たら、彼に懇願し、軽率なことを言ってはならない。そして、あなたが持っているもの、神があなたに与えてくださったものの中から贈り物を彼に与えなさい。
76 そして、彼があなたの事柄について尋ねたときは、何も隠さずに話しなさい。そうすれば、彼はあなたに対する怒りを収め、あなた自身とあなたのすべての持ち物を救うことができるかもしれない。なぜなら、彼はあなたの兄であり、彼を敬うことはあなたの義務だからである。
77 ヤコブは使者たちが伝えた母の言葉を聞くと、声を上げて激しく泣き、母が命じたとおりにした。

第 32 章

1 その時、ヤコブは使者を兄エサウのいるセイルの地へ送り、彼に嘆願の言葉を語った。
2 彼は彼らに命じて言った、「わが主君エサウにこう言いなさい。あなたのしもべヤコブはこう言います。わが主君よ、父が私に与えてくださった祝福が、私にとって有益であったなどと思わないでください。」
3 わたしはラバンと共に二十年間仕えてきましたが、彼はわたしを欺き、わたしの賃金を十回も変えました。このことはすべてすでにわたしの主君に報告済みです。
4 そして私は彼の家で大変苦労して仕えました。その後、神は私の苦しみ、私の労苦、私の手の働きをご

覧になり、御前で私に恵みと好意を与えてくださいました。
5 その後、私は神の大きな慈しみと恵みによって、牛やろばや家畜、そして男のしもべや女のしもべを得ました。
6 さて、私は今、カナンの地にいる父と母の元、私の故郷に帰ろうとしています。そして、主の目にかなうよう、このことをすべて主に知らせるために使いを送りました。それは、私が自分で富を得たとか、父が私に与えてくれた祝福が私に益をもたらしたなどと主が思わないようにするためです。
7 使者たちはエサウのもとへ行き、彼がエドムの地の境界でヤコブに向かっているのを見つけた。そこには、ホリ人セイルの子孫である四百人の男たちが剣を抜いて立っていた。
8 ヤコブの使者たちは、ヤコブがエサウについて彼らに語ったすべての言葉をエサウに伝えた。
9 エサウは傲慢と軽蔑をもって彼らに答えて言った。「確かに私は聞いた。ヤコブがラバンに対してしたことは確かに私に伝えられた。ラバンは彼を自分の家で高め、自分の娘たちを妻として与え、ヤコブは息子や娘をもうけ、ラバンの家で自分の力によって富と財産を大いに増やした。」
10 彼は自分の財産が豊かで、富が莫大であるのを見て、自分の持ち物すべてを持ってラバンの家から逃げ出し、ラバンの娘たちを、まるで剣で捕らえられた捕虜のように、父親に何も告げずに連れ去った。
11 ヤコブはラバンに対してだけでなく、私に対しても同じことをし、二度も私を陥れた。私は黙っていなければならないだろうか。
12 そこで、私は今日、陣営を率いて彼を迎えに来ました。そして、私の心の望みどおりに彼に仕えようと思います。
13 使者たちは戻ってヤコブのもとに行き、彼に言った。「私たちはあなたの兄エサウのところへ行き、あなたの言葉をすべて彼に伝えました。すると彼は私たちにこのように答え、見よ、彼は四百人の兵士を率いてあなたに会いに来るでしょう。」
14 さあ、何をすべきかをよく知り、神に祈って彼から救い出してください。
15 ヤコブは兄がヤコブの使者たちに語った言葉を聞いて、非常に恐れ、苦悩した。
16 ヤコブは主なる神に祈って言った。「わが父祖アブラハムとイサクの神、主よ、わたしが父の家を出た時、あなたはわたしにこう言われました。
17 わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、主である。わたしはあなたにこの地とあなたの子孫を与える。わたしはあなたの子孫を天の星のように増やし、あなたは天の四方に広がるであろう。そして、あなたとあなたの子孫によって、地のすべての家族は祝福されるであろう。
18 あなたは約束どおり、私の心の切なる願いどおり、富と子供と家畜を私に与えてくださいました。私があなたに求めたものはすべて与えてくださったので、私は何一つ欠けることはありませんでした。
19 その後、あなたは私に、「あなたの両親とあなたの故郷に帰りなさい。そうすれば、私はあなたに引き続き恵みを与えよう」と言いました。
20 今、私はここに来て、あなたがラバンから私を救い出してくれたので、私はエサウの手に落ち、彼は私を殺すでしょう。私の子供たちの母たちも殺されるでしょう。
21 それゆえ、主なる神よ、どうか私をも兄エサウの手から救い出してください。私は彼を非常に恐れているからです。
22 もし私に義がないのなら、アブラハムと私の父イサクのためにそうしてください。
23 私は、この富を慈しみと憐れみによって得たことを知っています。ですから、どうか今日、あなたの慈しみによって私を救い出し、私の願いに答えてください。
24 ヤコブは主への祈りをやめ、共にいた民と羊や牛を二つの宿営に分け、半分をアブラハムのしもべエリゼルの子ダメセクに、その子供たちと共に宿営させ、残りの半分をエリゼルの子エリアヌスの兄弟に、その子供たちと共に宿営させ、
25 彼は彼らに命じて言った、「陣営同士は距離を保ち、あまり近づきすぎてはならない。もしエサウが一方の陣営に来てそれを殺したとしても、遠くにあるもう一方の陣営は彼から逃れることができるだろう。」
26 ヤコブはその夜そこにとどまり、一晩中、軍隊と子供たちについてしもべたちに指示を与えた。
27 その日、主はヤコブの祈りを聞き入れ、ヤコブを兄エサウの手から救い出された。
28 すると主は天の御使いの中から三人の御使いを遣わし、彼らはエサウの前に進み出て、彼のところへ来た。
29 これらの天使たちは、エサウとその民に、あらゆる種類の武器を装備した馬に乗った 2000 人の男として現れた。そして、エサウとその民の目には、彼らは 4 つの陣営に分かれ、それぞれに 4 人の指揮官がいた。
30 そして、ある陣営が進み、エサウが 400 人の兵士を率いて兄ヤコブの方へ向かってくるのを見つけた。この陣営はエサウとその一族に向かって走り、彼らを恐れさせた。エサウは驚いて馬から落ち、彼の部下たちは皆、その場で彼から離れていった。彼らは非常に恐れていたからである。
31 彼らがエサウから逃げ去ると、陣営全体が彼らに向かって叫び、勇猛な者たちは皆答えて言った。
32 確かに私たちはヤコブのしもべであり、ヤコブは神のしもべです。では、誰が私たちに敵対できるでしょうか。エサウは彼らに言った。「ああ、私の主であり兄弟であるヤコブはあなた方の主であり、私はこの二十年間彼に会っていませんでした。今日、

彼に会いに来たのに、あなた方は私をこのように扱うのですか。」
33 すると天使たちは彼に答えて言った。「主は生きておられる。あなたが話しているヤコブがあなたの兄弟でなかったなら、私たちはあなたとあなたの民から一人も残さなかっただろう。しかしヤコブのゆえに、私たちは彼らに何もしない。」
34 この陣営はエサウとその部下たちの前から去り、エサウとその部下たちがそこから約 1 リーグほど離れたところで、第二の陣営があらゆる種類の武器を持ってエサウとその部下たちに向かってやって来て、彼らもまた第一の陣営がエサウとその部下たちにしたのと同じようにした。
35 彼らがそこを離れて進んでいくと、見よ、第三の陣営が彼に向かってやって来た。彼らは皆恐れおののき、エサウは馬から落ち、陣営全体が叫び声をあげて言った。「確かに私たちはヤコブのしもべであり、ヤコブは神のしもべである。誰が私たちに立ち向かうことができるだろうか。」
36 エサウは再び彼らに答えて言った。「ああ、ヤコブは私の主君であり、あなた方の主君でもある。私は二十年間彼の顔を見ておらず、今日彼が来ると聞いて、今日彼を迎えに行ったのに、あなた方は私をこのように扱うのか。」
37 彼らは彼に答えて言った、「主にかけて誓います。もしあなたが言ったようにヤコブがあなたの兄弟でなかったなら、あなたとあなたの部下から一人も残らなかったでしょう。しかし、あなたが言っているヤコブがあなたの兄弟であるという理由で、私たちはあなたやあなたの部下と関わるつもりはありません。」
38 そして第三の陣営も彼らから去り、彼は部下たちと共にヤコブに向かって進み続けた。すると第四の陣営が彼に向かってやって来て、彼らも他の者たちと同じように彼と彼の部下たちにした。
39 エサウは、四人の天使が自分と自分の部下たちにした災いを見て、兄ヤコブを非常に恐れ、平和のうちに彼に会いに行った。
40 エサウはヤコブに対する憎しみを隠した。それは、兄ヤコブのせいで自分の命が危ないと恐れていたからであり、また、自分が偶然見つけた四つの陣営がヤコブの召使たちのものだと想像したからである。
41 ヤコブはその夜、しもべたちと共に宿営地に滞在し、自分の持ち物と財産の中からエサウに贈り物をすることにしもべたちと決めた。そして翌朝、ヤコブはしもべたちと共に起き上がり、家畜の中からエサウへの贈り物を選んだ。
42 ヤコブが兄エサウに贈るために自分の群れの中から選んだ贈り物は、次のとおりである。羊の群れからは 240 頭を選び、ラクダとロバからはそれぞれ 30 頭ずつ選び、牛の群れからは 50 頭を選んだ。
43 彼はそれらをすべて十の群れに分け、それぞれの群れを分けて、十人のしもべの手に渡した。
44 彼は彼らに命じて言った、「互いに距離を保ち、群れの間に間隔を空けなさい。エサウと彼と共にいる者たちがあなたたちに会って、『あなたたちは誰の者か、どこへ行くのか、目の前にあるこのすべては誰のものか』と尋ねたら、彼らにこう言いなさい。『私たちはヤコブのしもべです。平和のうちにエサウに会いに来ました。見よ、ヤコブが私たちの後ろから来ます。』」
45 そして、私たちの目の前にあるものは、ヤコブが兄エサウに送った贈り物です。
46 もし彼らがあなた方に、「なぜ彼はあなた方の後ろに遅れて、兄弟に会いに行き、その顔を見るのをためらっているのか」と言うならば、あなた方は彼らにこう言いなさい。「彼は喜んで私たちの後ろに来て兄弟に会いに行きます。なぜなら、彼は『彼に贈る贈り物で彼をなだめよう。その後、彼の顔を見よう。もしかしたら彼は私を受け入れてくれるかもしれない』と言ったからです。」
47 こうして、贈り物はすべて彼のしもべたちの手に渡され、その日、彼の前に進み出た。彼はその夜、ヤブク川のほとりの陣営で宿営し、真夜中に起きて、妻たちと女中たち、そして彼に属するすべての人々を連れて、その夜、ヤブク川の渡し場を渡らせた。
48 ヤコブが自分の持ち物をすべて小川の向こうに渡ったとき、ヤコブは一人残された。すると、一人の男が彼に出会い、夜が明けるまで彼と格闘した。ヤコブは彼と格闘したために、大腿の関節が外れてしまった。
49 夜明けにその人はヤコブをそこに残し、彼を祝福して去って行った。ヤコブは夜明けに小川を渡り、膝をついて立ち止まった。
50 彼が小川を渡り終え、自分の牛と子供たちのいる場所に着いたとき、太陽が彼の上に昇った。
51 そして彼らは正午まで進み続け、彼らが進んでいる間に、未来は彼らの前を過ぎ去っていった。
52 ヤコブが目を上げて見ると、エサウが遠くから大勢の男たち、およそ 400 人を連れてやって来た。ヤコブは兄をとても恐れた。
53 ヤコブは急いで、子供たちを妻たちと女中たちに分け与え、娘のディナを箱に入れて、召使たちの手に渡した。
54 彼は子供たちと妻たちの前を通り過ぎて兄に会いに行き、地にひれ伏した。兄に近づくまで七回ひれ伏した。神はヤコブがエサウとその部下たちの目に恵みと好意を得られるようにされた。神はヤコブの祈りを聞き入れられたからである。
55 ヤコブの恐れと恐怖は、彼の兄エサウに及んだ。エサウは、神の天使たちがエサウにしたことのためにヤコブを非常に恐れていたからである。そして、ヤコブに対するエサウの怒りは、優しさに変わった。
56 エサウはヤコブが自分に向かって走ってくるのを見て、自分も走って彼に向かって行き、彼を抱きしめ、彼の首に抱きつき、二人は口づけをして泣いた。

57 神はエサウと共に来た人々の心にヤコブに対する
畏敬と慈しみを植え付け、彼らはヤコブに口づけし、
彼を抱きしめた。
58 また、エサウの子エリファズと、エサウの子であ
る彼の四人の兄弟もヤコブと共に泣き、彼に口づけ
し、抱きしめた。ヤコブに対する畏れが彼ら全員に
臨んだからである。
59 エサウは目を上げて見ると、ヤコブの子らである
女たちがヤコブの後ろを歩き、道沿いにエサウに向
かってお辞儀をしているのを見た。
60 エサウはヤコブに言った。「兄弟よ、あなたと一
緒にいるこの者たちは誰ですか。あなたの子供です
か、それともあなたのしもべですか。」ヤコブはエ
サウに答えて言った。「彼らは私の子供で、神があ
なたのしもべに恵みとして与えてくださった者たち
です。」
61 ヤコブがエサウとその部下たちと話している間に、
エサウは陣営全体を見て、ヤコブに言った。「昨夜
私が会った陣営全体は、どこから来たのか。」ヤコ
ブは言った。「それは、私の主の目にかなうために、
神があなたのしもべに恵みとして与えてくださった
ものです。」
62 贈り物がエサウの前に運ばれ、ヤコブはエサウに
懇願して言った。「どうか、私が主君に持って来た
贈り物を受け取ってください。」エサウは言った。
「なぜ私がそうするのか。お前が持っているものは
自分で取っておけ。」
63 ヤコブは言った、「あなたの顔を見て、あなたが
まだ平和に暮らしていることを願うので、これらす
べてを差し出すのは私の義務です。」
64 エサウは贈り物を受け取ろうとしなかった。ヤコ
ブは彼に言った。「お願いです、わが主よ。もし今、
私があなたの目にかなうようになったのなら、私の
贈り物を受け取ってください。あなたが私を喜んで
くださったので、私はあなたの顔を、まるで神の顔
を見たかのように感じました。」
65 エサウは贈り物を受け取り、ヤコブはエサウに銀
と金とベデリウムも与えた。ヤコブがあまりにも強
く勧めたので、エサウはそれらを受け取った。
66 エサウは宿営地にあった家畜を分け、半分を一緒
に来た人々に与えた。彼らは雇われて来ていたから
である。残りの半分は自分の子供たちに渡した。
67 エサウは銀と金とベデリウムを長男エリファズの
手に渡し、ヤコブに言った。「私たちはあなたと共
に滞在し、あなたが私の住む所に着くまで、ゆっく
りとあなたと共に進み、そこで共に住もう。」
68 ヤコブは兄に答えて言った、「主がおっしゃると
おりにいたしますが、主はご存じのとおり、子供た
ちは幼く、私と一緒にいる羊や牛、そしてその子ら
はゆっくりと行かせてください。もし急いで行かせ
れば、すべて死んでしまうでしょう。主は彼らの重
荷と疲労をご存じです。」
69 それゆえ、わが主よ、しもべより先に進んでくだ
さい。私は子供たちと羊の群れのために、ゆっくり
と進み、わが主の住むセイルに着きます。
70 エサウはヤコブに言った。「旅の途中であなたの
世話をし、あなたの疲れと重荷を負わせるために、
私と共にいる民の中から何人かをあなたのそばに置
こう。」ヤコブは言った。「もし私があなたの御目
にかなうことができるなら、何が必要でしょうか。」
71 見よ、わたしはあなたのところへ行き、セイルで
あなたと共に住む。あなたが言ったとおりに。だか
ら、あなたはあなたの民と共に行きなさい。わたし
はあなたに従う。
72 ヤコブはエサウとその部下たちを自分から遠ざけ
るために、こうしてエサウに言った。そうすれば、
ヤコブはその後、父の家、カナンの地に行くことが
できるからである。
73 エサウはヤコブの声に聞き従い、セイルへの道で
彼と共にいた四百人の男たちと共に戻った。ヤコブ
と彼に属する者たちはその日、カナンの地の境界の
果てまで行き、そこでしばらく滞在した。

第 33 章

1 その後しばらくして、ヤコブは土地の境界を離れ、
シャレムの地、すなわちカナン地方にあるシェケム
の町に着き、町の前に休んだ。
2 彼はその土地の民であるハモルの子らから、その畑
の一部を五シェケルで買い取った。
3 ヤコブはそこに家を建て、天幕を張り、家畜のため
に小屋を建てた。それで、その場所をスコトと名付
けた。
4 ヤコブはスコトに一年六ヶ月滞在した。
5 その時、その地の住民の女たちのうち何人かがシェ
ケムの町へ行き、町の娘たちと踊って喜んだ。彼女
たちが出かけた時、ヤコブの妻ラケルとレアも家族
と共に、町の娘たちの喜びを見ようとやって来た。
6 ヤコブの娘ディナも彼らと一緒に行き、町の娘たち
を見た。そして、町の人々が皆彼女たちのそばに立
って喜びを見守っている間、彼らはその娘たちの前
でそこに留まった。町の有力者たちも皆そこにいた。
7 そして、その地の君主であるハモルの子シェケムも、
彼らを見るためにそこに立っていた。
8 シェケムはヤコブの娘ディナが母と共に町の娘たち
の前で座っているのを見た。その娘は彼を大いに喜
ばせたので、彼は友人や民に尋ねた。「この町で知
らない娘が、女たちの中に座っているが、誰の娘だ
ろうか。」
9 すると彼らはイエスに言った、「確かにこの方は、
ヘブライ人イサクの子ヤコブの娘です。彼女はしば
らくこの町に住んでいて、この地の娘たちが喜びの
宴に出かけると聞いたとき、ご覧のとおり、母と女
中たちと一緒に彼女たちの間に座ったのです。」
10 シェケムはヤコブの娘ディナを見て、彼女を見た
とき、彼の心はディナに釘付けになった。

11 彼は人を遣わして彼女を力ずくで連れて行かせ、ディナはシェケムの家へ行った。彼は彼女を力ずくで捕らえ、彼女と寝て、彼女を辱め、彼女を非常に愛し、自分の家に住まわせた。
12 彼らは来てヤコブにそのことを告げた。ヤコブはシェケムが娘ディナを汚したと聞いて、十二人のしもべを遣わしてシェケムの家からディナを連れ戻させた。彼らはシェケムの家に行き、そこからディナを連れ去った。
13 彼らがやって来ると、シェケムは部下を連れて出てきて、彼らを家から追い出し、ディナの前に来ることを許さなかった。シェケムは彼らの目の前でディナと座って、彼女に口づけをし、抱きしめていた。
14 ヤコブの家臣たちは戻ってきて彼に言った、「私たちが到着したとき、彼とその部下たちは私たちを追い払い、シェケムは私たちの目の前でディナにこのようにしました。」
15 ヤコブはシェケムが自分の娘を汚したことを知っていたが、何も言わなかった。息子たちは野原で家畜の世話をしていたが、ヤコブは彼らが戻ってくるまで黙っていた。
16 息子たちが帰ってくる前に、ヤコブは召使の娘たちの中から二人の娘をシェケムの家に遣わし、ディナの世話をさせ、彼女と一緒にいさせた。シェケムは友人三人を父ハモル、すなわちペレドの子ヒデケムの子のもとに遣わし、「この娘を妻として迎えてください」と言わせた。
17 ヒビ人ヒデケムの子ハモルは、その子シェケムの家に来て、彼の前に座り、息子シェケムに言った。「あなたの民の娘たちの中に、あなたの民ではないヘブライ人の女を娶る女がいないのか。」
18 するとシェケムは彼に言った、「どうか彼女だけを私のために連れてきてください。彼女は私の目にとても美しいのです。」ハモルは息子の言葉どおりにした。息子はハモルをとても愛していたからである。
19 ハモルはこの件についてヤコブと話し合うためにヤコブのところへ出かけた。彼が息子シェケムの家を出てヤコブのところへ行って話をする前に、見よ、ヤコブの息子たちはハモルの息子シェケムがしたことを聞くとすぐに野原からやって来た。
20 男たちは妹のことで非常に悲しみ、家畜を集める前に皆怒りに燃えて家に帰ってきた。
21 彼らは父のところへ来て座り、怒りに燃えて父に言った。「この男とその家族は必ず死刑に処せられるべきです。全地の主なる神はノアとその子孫に、人は決して盗みを働いたり、姦淫を犯したりしてはならないと命じられたのに、シェケムは私たちの姉妹を略奪し、姦淫を犯したのに、町の住民は誰一人として彼に一言も言いませんでした。」
22 あなたは確かに知っていて、理解しているはずだ。シェケムとその父、そして町全体に、彼が行ったことのゆえに死の裁きが下されるべきである。
23 彼らがこの件について父の前で話していると、見よ、シェケムの父ハモルがヤコブにやって来て、ディナに関する息子の言葉を告げ、ヤコブとその息子たちの前に座った。
24 ハモルは彼らに言った、「私の息子シェケムはあなた方の娘を慕っています。どうか彼女を彼の妻として与え、私たちと結婚してください。あなた方の娘を私たちに与えてください。そうすれば、私たちもあなた方に私たちの娘を与えます。あなた方は私たちの土地に住み、私たちはその土地で一つの民となるでしょう。」
25 私たちの土地は非常に広いので、そこに住み、そこで商売をし、そこで財産を築き、そこであなたが望むように行いなさい。だれもあなたがたに一言言って妨げることはない。
26 ハモルがヤコブとその息子たちに話しかけるのをやめると、見よ、彼の息子シェケムが彼の後について来て、彼らの前に座った。
27 シェケムはヤコブとその息子たちの前で言った。「どうか、あなたの娘を私に与えてください。あなたが私に言うことは何でも、彼女のために行います。」
28 私に多くの持参金と贈り物を求めてください。私はそれを与えましょう。あなたが私に言うことは何でもします。あなたの命令に反逆する者は誰であれ死刑に処せられます。ただ、その娘を妻として私に与えてください。
29 シメオンとレビはハモルとその息子シェケムに偽って答えて言った、「あなたがたが私たちに言ったことはすべて、私たちがあなたがたのために行います。」
30 見よ、私たちの妹があなたの家にいますが、この件について父イサクに知らせるまでは、彼女に近づかないでください。父の許可なしには、私たちは何もできません。
31 彼は私たちの父アブラハムの道を知っておられるので、彼が私たちに言うことはすべてあなた方に伝え、あなた方から何も隠しません。
32 シメオンとレビは、口実を見つけて、この件に関してシェケムとその町にどうすべきか助言を求めるために、シェケムとその父にこのことを話した。
33 シェケムとその父はシメオンとレビの言葉を聞いて、それが良いことだと考えたので、シェケムとその父は家に帰るために出て行った。
34 彼らが去った後、ヤコブの子らは父に言った。「ご覧ください。私たちは、これらの悪人たちとその町には死がふさわしいことを知っています。なぜなら、彼らは神がノアとその子孫に命じられたことを破ったからです。」
35 また、シェケムが私たちの姉妹ディナを汚したので、このような卑劣な行為は私たちの間では決して行われてはならない。

36 それゆえ、今、あなたが何をすべきかを知って見極め、この町の住民を皆殺しにするために、彼らに何をすべきか相談し、口実を探しなさい。
37 シメオンは彼らに言った。「あなた方に良い助言があります。私たちが割礼を受けているように、彼らの中のすべての男子に割礼を施すように彼らに言いなさい。もし彼らがそうすることを望まないなら、私たちは娘を彼らから連れて出て行きます。」
38 もし彼らがこれに同意して実行するならば、彼らが苦痛に打ちひしがれたとき、我々は彼らを、穏やかで平和な者を攻撃するように剣で攻撃し、彼らの中の男子を一人残らず殺すであろう。
39 シメオンの助言は彼らに喜ばれ、シメオンとレビは提案されたとおりに彼らにすることにしました。
40 次の朝、シェケムと彼の父ハモルは再びヤコブとその息子たちのところへ来て、ディナについて話をし、ヤコブの息子たちが彼らの言葉にどう答えるかを聞こうとした。
41 するとヤコブの子らは彼らに偽って言った、「私たちは父イサクにあなた方の言葉を全て伝えました。そして父はあなた方を喜ばれました。」
42 しかし彼は私たちにこう言った。「父アブラハムは、全地の主である神から彼にこう命じた。彼の子孫ではない者が彼の娘を娶ろうとするならば、我々が割礼を受けているように、自分の所有するすべての男子に割礼を受けさせ、そうすれば我々は彼に娘を妻として与えることができる。」
43 私たちは父から言われたすべてのことをあなた方に知らせました。あなた方が私たちに言われたこと、つまり娘を割礼を受けていない男に嫁がせることは、私たちにはできません。それは私たちにとって恥辱だからです。
44 しかし、あなたがたが私たちの言うことを聞き、あなたがたの言うとおり、あなたがたの息子を皆割礼することに同意するならば、私たちはあなたがたに娘を差し出し、またあなたがたの娘たちを自分たちのものとし、あなたがたの間に住み、あなたがたが言ったとおり一つの民となるでしょう。
45 もしあなたがたが私たちの言うことを聞き入れず、私たちが命じたように、すべての男子に割礼を受けさせないなら、私たちはあなたがたのところへ行き、娘をあなたがたから連れ去って行きます。
46 シェケムとその父ハモルはヤコブの子らの言葉を聞いて、そのことを大変喜んだ。シェケムとその父ハモルは急いでヤコブの子らの願いを叶えようとした。シェケムはディナをとても愛しており、彼女のことで頭がいっぱいだったからである。
47 シェケムとその父ハモルは急いで町の門に行き、町の男たち全員を集めて、ヤコブの子らの言葉を彼らに語った。
48 私たちはヤコブの子らのところへ行き、彼らの娘について話したところ、彼らは私たちの願い通りにすることに同意した。見よ、私たちの土地は彼らにとって広大であり、彼らはそこに住み、そこで交易を行い、私たちは一つの民となる。私たちは彼らの娘たちを娶り、私たちの娘たちを彼らに妻として与える。
49 しかし、この人たちは、私たちの中のすべての男子が、彼らの神が命じたように割礼を受けるという条件でのみ、このことを行うことに同意するだろう。そして、私たちが彼らの指示に従って割礼を受けたら、彼らは家畜や財産と共に私たちの間に住み、私たちは彼らと一つの民となるだろう。
50 町の男たちは皆、シェケムとその父ハモルの言葉を聞くと、町の男たちは皆この提案に賛成し、割礼を受けることに従った。シェケムとその父ハモルは、その地の君主であり、彼らから非常に尊敬されていたからである。
51 翌日、シェケムと彼の父ハモルは朝早く起き、町のすべての男たちを町の中央に集め、ヤコブの子らを呼び寄せた。彼らはその日と翌日に、自分たちの息子たち全員に割礼を施した。
52 そして彼らはシェケムとその父ハモル、そしてシェケムの五人の兄弟に割礼を施し、それから皆立ち上がって家に帰った。これはシェケムの町に対する主の命令であり、この件に関するシメオンの助言は主からのものであり、主がシェケムの町をヤコブの二人の息子の手に渡すためであった。

第 34 章

1 割礼を受けた男子の総数は、男が六百四五人、子供が二百四六人であった。
2 しかし、ペレドの子でハモルの父であるキデケムとその六人の兄弟は、シェケムと父ハモルの言うことを聞かず、割礼を受けようとしなかった。ヤコブの子らの提案は彼らの目には忌まわしいものであり、町の人々が彼らの言うことを聞かなかったことに彼らは大いに憤慨した。
3 そして二日目の夕方、彼らは割礼を受けていない 8 人の幼い子供を見つけた。母親たちが彼らをシェケムとその父ハモル、そして町の男たちから隠していたからである。
4 シェケムとその父ハモルは、彼らを割礼を受けさせるために自分たちの前に連れてくるように人を遣わしたが、その時、キデケムとその六人の兄弟が剣を持って彼らに襲いかかり、彼らを殺そうとした。
5 そして彼らは、この件のために、シェケムとその父ハモルをも殺そうとし、ディナも彼らと共に殺そうとした。
6 すると彼らは彼らに言った、「あなたがたは何という行いをしたのか。あなたがたの同胞であるカナン人の娘たちの中に、あなたがたがこれまで知らなかったヘブライ人の娘たちを自分のものにしようとする女性はいないのか。あなたがたの先祖が一度も命じたことのないこのような行いをするのか。」
7 あなたは、自分がしたこの行いによって成功すると考えているのですか。明日、この件について尋ねに

来る同胞のカナン人たちに、あなたはどのように答えるつもりですか。
8 もしあなたがたの行いが彼らの目に正しく善いものと認められないなら、あなたがたは自分の命のために、また私は自分の命のために、どうするつもりですか。あなたがたが私たちの声に耳を傾けなかったために。
9 もしその地の住民と、ハムの子孫であるあなた方の兄弟たちが皆、あなた方の行いを聞いて、
10 シェケムとその父ハモル、そして彼らの町の住民全員が、ヘブライ人の女のために、彼らが知らなかったこと、先祖が彼らに命じたことのないことを行った。それならば、あなたたちは、カナンの地に住む兄弟たちの前で、どこに逃げ、どこに恥を隠すのか。
11 それゆえ、私たちはあなたがたがしたこのことに耐えることはできませんし、先祖が命じなかったこのくびきを負わされることもありません。
12 明日、私たちは行って、その地に住むすべての兄弟、カナンの兄弟たちを集め、あなたたちとあなたたちを信頼するすべての者を打ち殺し、あなたたちからも彼らからも一人も残らないようにします。
13 ハモルとその息子シェケム、そして町の人々は皆、ヒッデケムとその兄弟たちの言葉を聞くと、その言葉にひどく恐れを抱き、自分たちの行いを悔い改めた。
14 シェケムとその父ハモルは、父ヒデケムとその兄弟たちに答えて言った、「あなたがたが私たちに話した言葉はすべて真実です。」
15 では、ヘブライ人への愛ゆえに、先祖が命じなかったことをしたなどと、心の中で言ったり、想像したりしてはならない。
16 しかし、私たちは、娘を私たちに引き渡すという私たちの願いに、この条件以外では彼らが応じるつもりも望んでもいないことを知ったので、彼らの声に耳を傾け、あなた方が見たこの行為を行い、彼らから私たちの望みを叶えようとしたのです。
17 そして、私たちが彼らから願いを聞き入れたら、私たちは彼らのところに戻り、あなたが私たちに言われたとおりに彼らにします。
18 そこで、どうか私たちの体が癒され、再び強くなるまで待っていてください。そうすれば、私たちは共に彼らに立ち向かい、あなたがたの心と私たちの心にあることを彼らに行います。
19 ヤコブの娘ディナは、キデケムとその兄弟たちが語ったこれらの言葉と、ハモルとその息子シェケムと彼らの町の人々が彼らに答えたことを全て聞いた。
20 彼女は急いで、父がシェケムの家に彼女の世話をするために送った侍女の一人を、父ヤコブと兄弟たちのところに遣わし、こう言わせた。
21 ヒデケムとその兄弟たちはあなたについてこのように助言し、ハモルとシェケムと町の人々は彼らにこのように答えた。
22 ヤコブはこれらの言葉を聞くと、怒りに満たされ、彼らに憤り、彼らに対する怒りが燃え上がった。
23 シメオンとレビは誓って言った。「全地の神、主は生きておられる。明日の今頃までには、この町には一人も残っていないであろう。」
24 割礼を受けていない若者２０人が身を隠していた。彼らはシメオンとレビと戦い、シメオンとレビはそのうち１８人を殺した。２人は逃げて町の石灰穴に逃げ込んだ。シメオンとレビは彼らを探したが、見つけることができなかった。
25 シメオンとレビは町中を巡り歩き、剣で町の人々を皆殺しにし、一人も残さなかった。
26 すると、町の真ん中で大騒ぎが起こり、町の人々の叫び声が天にまで届き、女と子供は皆大声で泣き叫んだ。
27 シメオンとレビは町中の人々を皆殺しにし、町中に男子を一人も残さなかった。
28 そして彼らは剣でハモルとその息子シェケムを殺し、シェケムの家からディナを連れ去り、そこから去った。
29 ヤコブの子らは行って戻ってきて、殺された者たちを見つけ、町と野にあった彼らの財産をすべて略奪した。
30 彼らが戦利品を取っていると、三百人の男が立ち上がり、彼らに塵を投げつけ、石を投げつけた。シメオンは彼らに向き直り、剣の刃で彼らを皆殺しにした。そしてシメオンはレビの前に立ち、町に入った。
31 そして彼らは羊と牛と家畜、残りの女たちと幼い子供たちを連れて行き、門を開けて出て行き、元気いっぱいに父ヤコブのところへ行った。
32 ヤコブは彼らが町に対して行ったことすべてと、彼らが町から奪った略奪品を見て、彼らに非常に腹を立て、彼らに言った。「あなたたちは私に何てことをしたのか。見よ、私はこの地のカナンの住民の間で安息を得ていたのに、彼らは誰も私に干渉しなかった。」
33 あなたは今、私をこの地の住民、カナン人とペリジ人の間で嫌われる者にしてしまいました。私はわずかな人数ですが、彼らは皆、あなたが彼らの兄弟たちと行ったことを聞くと、私に敵対して私を殺し、私と私の家族は滅ぼされるでしょう。
34 シメオンとレビと彼らと共にいた兄弟たちは皆、父ヤコブに答えて言った。「ご覧ください、私たちはこの地に住んでいます。シェケムは私たちの妹にこのようなことをするのでしょうか。シェケムがしたことすべてについて、なぜあなたは黙っているのですか。彼は私たちの妹を街の遊女のように扱うのでしょうか。」
35 シメオンとレビがシェケムの町から捕虜として連れて行った女のうち、殺さなかった女の数は 85 人で、彼女たちは男を知らなかった。
36 その中に、美しく容姿端麗な若い娘がいた。彼女の名はブナであった。シメオンは彼女を妻とした。

捕虜にして殺さなかった男の数は 47 人で、残りは殺
した。
37 シメオンとレビがシェケムの町から捕虜として連
れてきたすべての若者たちは、ヤコブの子らとその
子孫に仕え、ヤコブの子らがエジプトの地を出る日
まで仕えた。
38 シメオンとレビが町から出て行ったとき、町に残
っていた二人の若者、町の民の中で死なずに町に身
を隠していた若者が立ち上がり、町に入って歩き回
ってみると、町は荒れ果てていて、男はおらず、泣
いている女たちだけがいた。そこで若者たちは叫ん
で言った、「見よ、これがヘブライ人ヤコブの子ら
が今日、カナンの町の一つを破壊し、カナンの地の
命を恐れなかったことによって、この町に犯した悪
である。」
39 そして、これらの人々は町を出てタプナクの町に
行き、そこに着くと、タプナクの住民に、自分たち
に起こったこと、ヤコブの子らがシェケムの町にし
たことすべてを話した。
40 この知らせはタプナクの王ヤシュブに届き、彼は
シェケムの町に人を遣わしてその若者たちを見させ
た。王は彼らの話を信じず、「どうして二人の男が
シェケムのような大きな町を荒廃させることができ
るだろうか」と言った。
41 ヤシュブの使者たちは戻ってきて彼に言った。
「私たちは町に着きましたが、町は破壊されていま
した。男は一人もおらず、泣いている女たちだけが
いました。羊や家畜も一頭もありませんでした。町
にあったものはすべてヤコブの子らが持ち去ってし
まったのです。」
42 ヤシュブはこれに驚いて言った。「どうして二人
の男が、これほど大きな町を滅ぼすことができ、彼
らに立ち向かえる者が一人もいないのだろうか。」
43 ニムロデの時代から、また遠い昔から、このよう
なことは一度もなかった。タプナクの王ヤシュブは
民に言った。「勇気を出して、我々はヘブライ人た
ちと戦いに行き、彼らが町にしたように彼らにもし
てやろう。そして、町の民の仇を討とう。」
44 タプナクの王ヤシュブは、この件について顧問た
ちと相談した。顧問たちは彼に言った、「あなた一
人ではヘブライ人に勝つことはできません。彼らは
町全体にこの仕事を成し遂げるには力が必要です。」
45 もし彼らのうちの二人が町全体を荒廃させ、誰も
彼らに立ち向かわなかったのなら、あなたが彼らに
立ち向かうなら、彼らは皆私たちに立ち向かい、同
じように私たちを滅ぼすでしょう。
46 しかし、もしあなたが私たちを取り囲むすべての
王たちに使いを送り、彼らを集結させるならば、私
たちは彼らと共にヤコブの子らと戦いに行きましょ
う。そうすれば、あなたは彼らに勝利するでしょう。
47 ヤシュブは顧問たちの言葉を聞き、その言葉は彼
と彼の民を喜ばせたので、彼はそのようにした。タ
プナクの王ヤシュブは、シェケムとタプナクを取り
囲むアモリ人の王たちすべてに使いを送り、こう言
った。
48 私と一緒に上って行き、私を助けてください。そ
うすれば、私たちはヘブライ人ヤコブとその息子た
ち全員を打ち、地上から滅ぼし尽くします。彼はシ
ェケムの町にも同じことをしたのです。あなた方は
それを知らないのですか。
49 アモリ人の王たちは皆、ヤコブの子らがシェケム
の町にした悪事を聞き、彼らに大変驚いた。
50 アモリ人の七人の王は、剣を抜いた約一万人の兵
士を率いて全軍を集結させ、ヤコブの子らと戦うた
めにやって来た。ヤコブは、アモリ人の王たちが自
分の子らと戦うために集結したことを聞き、非常に
恐れ、心を痛めた。
51 ヤコブはシメオンとレビに向かって叫んで言った。
「あなたたちは一体何をしたのか。なぜ私に危害を
加え、カナンの民すべてを私に差し向け、私と私の
家族を滅ぼそうとしたのか。私と私の家族は安らか
に暮らしていたのに、あなたたちは私にこのような
ことをし、あなたたちの行いによってこの地の住民
を私に敵対させたのだ。」
52 ユダは父に答えて言った。「私の兄弟シメオンと
レビがシェケムの住民を皆殺しにしたのは無駄だっ
たのでしょうか。シェケムが私たちの妹を辱め、ノ
アとその子供たちに対する私たちの神の命令に背い
たからです。シェケムは私たちの妹を力ずくで連れ
去り、彼女と姦淫を犯したのです。」
53 シェケムはこれらすべての悪事を働いたが、町の
住民は一人として彼に反対して、「なぜこのような
ことをするのか」と言わなかった。確かに、私の兄
弟たちが町を攻め、主が町を彼らの手に渡されたの
は、町の住民が私たちの神の命令に背いたからであ
る。では、彼らがこれらすべてを行ったことは無駄
だったのだろうか。
54 なぜあなたは恐れ、苦しんでいるのか。なぜあな
たは私の兄弟たちに不満を抱き、なぜ彼らに対して
怒りを燃やすのか。
55 確かに、シェケムの町とその住民を彼らの手に渡
された私たちの神は、私たちに攻め寄せてくるすべ
てのカナン人の王たちをも私たちの手に渡されるで
しょう。そして私たちは、私の兄弟たちがシェケム
にしたように彼らにもするでしょう。
56 今は、彼らのことを心配せず、恐れを捨て、私た
ちの神である主を信頼し、私たちを助け、私たちを
救い、私たちの敵を私たちの手に渡してくれるよう
に主に祈りなさい。
57 ユダは父の家臣の一人を呼び、「さあ、行って、
我々を攻めてくる王たちが軍隊と共にどこに陣取っ
ているか見てきて。」
58 するとしもべは行って遠くを見渡し、シホン山の
向かい側に登って、王たちの陣営が野原に立ってい
るのを見た。そしてユダに戻って、「見よ、王たち
はすべての陣営と共に野原に陣取っており、その民
は非常に多く、海辺の砂のように多い」と言った。

59 ユダはシメオンとレビ、そして兄弟たち全員に言った。「勇気を奮い起こし、勇猛果敢であれ。主なる我らの神が我らと共におられるのだから、彼らを恐れてはならない。」
60 各自、弓と剣という戦いの武器を身につけて前に出なさい。私たちは行って、割礼を受けていない者たちと戦おう。主は私たちの神であり、私たちを救ってくださる。
61 ヤコブの 11 人の息子と、ヤコブのすべてのしもべたちは立ち上がり、それぞれ大小の武器を帯びた。
62 イサクと共にヘブロンにいたイサクの家臣たちは皆、あらゆる種類の武器を携えて彼らのところへやって来た。ヤコブの子らとその家臣たち、百十二人はこれらの王たちのところへ向かい、ヤコブも彼らと共に行った。
63 ヤコブの子らは、ヘブロン（キレアト･アルバ）にいるアブラハムの子イサクに使いを送り、こう言った。
64 どうか、私たちの神、主に私たちのために祈ってください。私たちを攻め寄せてくるカナン人の手から私たちを守り、彼らを私たちの手に渡してください。
65 アブラハムの子イサクは、息子たちのために主に祈って言った。「主なる神よ、あなたは私の父に、『わたしはあなたの子孫を天の星のように増やす』と約束されました。また、私にも約束されました。今、カナンの王たちが集まって、私の子供たちと戦おうとしています。彼らは何の暴力も犯していないのに。」
66 それゆえ、全地の神、主なる神よ、どうかこれらの王たちの計画を覆し、彼らが私の息子たちと戦わないようにしてください。
67 そして、これらの王たちとその民の心に、わたしの息子たちの恐ろしさを刻みつけ、彼らの傲慢さを打ち砕き、わたしの息子たちから離れ去らせてください。
68 あなたの力強い手と伸ばされた腕で、私の息子たちと彼らのしもべたちを彼らから救い出してください。力と権威は、これらすべてを行うためにあなたの手にあるからです。
69 ヤコブの子らとそのしもべたちはこれらの王たちのところへ行き、主なる自分たちの神に信頼を置いた。彼らが行く途中、父ヤコブも主に祈って言った。「主なる神よ、力強く、いと高き神よ、あなたは昔から今に至るまで、永遠に統治しておられます。
70 あなたは戦争を引き起こし、また終結させる方です。あなたの手には、高め、また打ち倒す力と権威があります。どうか私の祈りがあなたの御前に受け入れられますように。どうかあなたの慈悲をもって私に目を向け、これらの王たちとその民の心に私の息子たちの恐怖を刻み込み、彼らとその陣営を恐怖に陥れ、あなたの大きな慈しみをもって、あなたに信頼するすべての人々を救い出してください。なぜなら、人々を私たちの支配下に置き、諸国を私たちの力の下に屈服させることができるのはあなただけだからです。

第 35 章

1 アモリ人の王たちは皆やって来て、野に陣取り、ヤコブの子らをどうすべきかについて顧問たちと相談した。彼らはまだヤコブの子らを恐れており、「見よ、彼らのうちの二人がシェケムの町の住民を皆殺しにした」と言っていた。
2 主はイサクとヤコブの祈りを聞き、王たちの顧問たちの心を大いに恐れと恐怖で満たし、彼らは皆一斉にこう叫んだ。
3 あなたは今日、愚かなのか、それとも理解力がないのか。ヘブライ人と戦うことになるのに、なぜ今日、自分の滅びを喜ぶのか。
4 見よ、彼らのうちの二人は恐れも怯むこともなくシェケムの町にやって来て、町の住民を皆殺しにした。彼らに立ち向かう者は一人もいなかった。あなた方はどうして彼ら全員と戦うことができるだろうか。
5 あなた方は確かに、彼らの神が彼らを非常に愛しておられ、昔からなされたことのないような偉大なことを彼らのために行われたことを知っている。諸国の神々の中で、彼の偉大な業に匹敵するものはない。
6 確かに、彼は彼らの父であるヘブライ人アブラハムを、ニムロデの手から、また幾度となく彼を殺そうとした彼の民すべての手から救い出した。
7 彼はまた、ニムロデ王が投げ込んだ火の中から彼を救い出し、彼の神は彼をそこから救い出した。
8 他に誰がこのようなことができるだろうか。確かに、ソドムに住んでいたアブラハムの兄弟の息子に手を出したエラムの五人の王を殺したのはアブラハムであった。
9 彼は家に忠実なしもべと数人の部下を連れて、エラムの王たちを一夜にして追い詰め、彼らを殺し、奪われたすべての財産を兄弟の息子に返した。
10 あなた方も、これらのヘブライ人の神が彼らを大いに喜んでおられることを知っているはずだ。そして彼らもまた神を喜んでいる。なぜなら、神が彼らをすべての敵から救い出してくださったことを知っているからである。
11 見よ、アブラハムは神への愛ゆえに、自分の唯一の大切な息子を神への焼き尽くしのいけにえとして育てようとした。もし神がそれを妨げなかったなら、彼は神への愛ゆえにそれを実行したであろう。
12 神は彼のすべての行いを見て、彼に誓い、彼の息子たちと子孫すべてを、彼らに降りかかるあらゆる災難から救い出すと約束された。それは彼がこのことを行い、神への愛ゆえに、自分の子供に対する憐れみを抑えたからである。
13 あなた方は、エジプトの王ファラオとゲラルの王アビメレクがアブラハムの妻を娶ったことで、彼らの神が彼らに何をしたか聞いていないのか。アビメレクは、アブラハムが彼女のために殺されることを

恐れ、また彼女を妻にしようと考えることを恐れて、「彼女は私の妹だ」と言った。そして神は、あなた方が聞いたとおり、彼らとその民にすべてのことをした。
14 すると、ヤコブの兄弟エサウが、ヤコブを殺す目的で、四百人の男たちを率いてヤコブのところにやって来たのを、私たちは自分の目で見た。それは、ヤコブがヤコブから父の祝福を奪ったことを思い出させたからである。
15 彼はシリアから来たイエスを迎えに行き、母子を殺そうとした。しかし、イエスが信頼していた神以外に誰がイエスをその手から救い出しただろうか。神はイエスを兄弟の手からも、また敵の手からも救い出した。そして、神は再び彼らを守ってくださるだろう。
16 あなた方が聞いたシェケムの町に対するあの悪事を、彼らの神が彼らに力を与えて行わせたことを知らない者がいるだろうか。
17 もし彼らが信頼していた神がいなかったなら、二人の人間が自分たちの力だけでシェケムのような大きな町を滅ぼすことができたでしょうか。イエスはそう言って、町の住民をその町で殺すために、これらすべてのことを彼らに行いました。
18 では、たとえ千倍もの大軍が援軍としてあなたの町から一斉に出てきた敵と、あなたは戦うことができるでしょうか。
19 あなた方は、彼らと戦うために来たのではなく、彼らを選び出した彼らの神と戦うために来たことを、確かに知っていて理解している。だから、あなた方は皆、今日滅ぼされるために来たのだ。
20 だから、あなたがたが自ら招こうとしているこの災いを思いとどまりなさい。たとえ彼らの数が少なくても、彼らと戦わない方があなたがたにとって良いでしょう。なぜなら、彼らの神が彼らと共におられるからです。
21 アモリ人の王たちは顧問たちの言葉をすべて聞くと、心は恐怖に満たされ、ヤコブの子らを恐れて、彼らと戦おうとはしなかった。
22 彼らは助言者たちの言葉に耳を傾け、彼らの言葉すべてに耳を傾けた。助言者たちの言葉は王たちを大いに喜ばせたので、彼らはそのようにした。
23 王たちは向きを変え、ヤコブの子らから身を引いた。彼らはヤコブの子らに近づいて戦う勇気がなかった。なぜなら、彼らはヤコブの子らを非常に恐れており、その恐れのために心が萎縮していたからである。
24 これは主から彼らに下されたことであり、主はしもべイサクとヤコブの祈りを聞き入れられた。彼らは主を信頼していたからである。その日、これらの王たちは皆、陣営と共にそれぞれの町へ戻り、その時はヤコブの子らと戦わなかった。
25 ヤコブの子らはその日、夕方までシホン山の向かい側に陣取っていたが、王たちが戦いに来ないのを見て、ヤコブの子らは家に帰った。

第 36 章

1 その時、主はヤコブに現れて言われた。「立ち上がってベテルに行き、そこに留まり、あなたに現れた主のために祭壇を築きなさい。主はあなたとあなたの息子たちを苦難から救い出された方である。」
2 ヤコブは息子たちと彼の所有するすべての人々と共に立ち上がり、主の言葉に従ってベテルへ行った。
3 ヤコブは九十九歳でベテルに上った。ヤコブと息子たち、そして彼と共にいたすべての人々はルズのベテルに滞在し、そこで彼に現れた主のために祭壇を築いた。ヤコブと息子たちはベテルに六か月滞在した。
4 その時、ウズの娘でリベカの乳母であったデボラが死んだ。彼女はヤコブと共にいた。ヤコブは彼女をベテルの麓、そこにあった樫の木の下に葬った。
5 ベトエルの娘でヤコブの母であるリベカも、その頃ヘブロン（キレアト･アルバ）で亡くなり、アブラハムがヘトの子らから買い取ったマクペラの洞窟に葬られた。
6 リベカの生涯は百三十三年で、彼女は死んだ。ヤコブは母リベカが死んだと聞いて、母のために激しく泣き、樫の木の下で母と乳母デボラのために大嘆き悲しんだ。そして、その場所をアロン･バクトと名付けた。
7 その頃、シリア人ラバンは死んだ。神が彼を打ったのは、彼がヤコブとの間にあった契約を破ったからである。
8 ヤコブが百歳になったとき、主が彼に現れて彼を祝福し、彼の名をイスラエルと名付けた。その頃、ヤコブの妻ラケルは身ごもった。
9 その時、ヤコブと彼の家族は皆、ベテルから父の家、ヘブロンへ旅立った。
10 彼らが旅を続け、エフラタまであと少しというところで、ラケルは男の子を産んだが、難産で死んでしまった。
11 ヤコブは彼女をエフラタ、すなわちベツレヘムへ向かう道に葬り、彼女の墓の上に石柱を立てた。その石柱は今日までそこにある。ラケルの生涯は 45 年で、彼女は死んだ。
12 ヤコブは、ラケルが産んだ息子をベンヤミンと名付けた。彼は右の地で生まれたからである。
13 ラケルが死んだ後、ヤコブは彼女の女奴隷ビルハの天幕に自分の天幕を張った。
14 ルベンはこのことで母レアを妬み、怒りに燃え、怒りに任せて立ち上がり、ビルハの天幕に入り、父の寝床をそこから持ち去った。
15 その時、ルベンの子らは、父の寝床を汚したため、王位と祭司職とともに長子の権利を奪われ、長子の権利はヨセフに、王位はユダに、祭司職はレビに与えられた。ルベンが父の寝床を汚したためである。
16 これはパダン･アラムでヤコブに生まれた子孫であり、ヤコブの子は十二人であった。

17 レアの子らは、長男のルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン、そして彼らの姉妹ディナであった。ラケルの子らは、ヨセフとベニヤミンであった。
18 レアの女奴隷ジルパの子はガドとアシェルであり、ラケルの女奴隷ビルハの子はダンとナフタリであった。これらはパダン･アラムでヤコブに生まれた子らである。
19 ヤコブとその息子たちと彼に属するすべての者は旅をしてマムレ、すなわちキレアト･アルバ、ヘブロンに着いた。そこはアブラハムとイサクが滞在した場所であり、ヤコブは息子たちと彼に属するすべての者と共にヘブロンで父と共に住んだ。
20 そして、彼の兄弟エサウとその息子たち、そして彼に属するすべての者はセイルの地へ行き、そこに住み、セイルの地に所有地を持ち、エサウの子孫はセイルの地で大いに増え、繁栄した。
21 これはエサウがカナンの地で生まれた子孫であり、エサウの息子は五人であった。
22 アダはエサウに長男エリファズを産み、またレウエルを産み、アリバマはエウシュ、ヤアラム、コラを産んだ。
23 これらはエサウの子孫で、カナンの地で生まれた者たちである。エサウの子エリファズの子らはテマン、オマル、ゼフォ、ガタム、ケナズ、アマレクスであり、レウエルの子らはナハト、ゼラハ、シャマ、ミザであった。
24 イエウシュの子らはティムナ、アルヴァ、イェテトであり、ヤアラムの子らはアラ、フィノル、ケナズであった。
25 コラの子らはテマン、ミブザル、マグディエル、エラムであった。これらは、セイルの地におけるエサウの子らの公爵領の氏族である。
26 セイルの地に住むホリ人セイルの息子たちの名前は、ロタン、ショバル、ジベオン、アナ、ディシャン、エゼル、ディションの 7 人である。
27 ロタンの子らはホリ、ヘマン、そして彼らの妹ティムナであった。ティムナはヤコブとその息子たちのところに来たが、彼らは彼女の言うことを聞かなかった。そこで彼女はエサウの子エリファズの側室となり、彼との間にアマレクを産んだ。
28 ショバルの子らはアルバン、マナハト、エバル、シェフォ、オナムであり、ジベオンの子らはアヤとアナであった。このアナは、父ジベオンのロバを飼っていた時に荒野でイェミムを見つけた者である。
29 そして、父のろばを飼っていたとき、彼は時折、それらを荒野に連れて行って餌を与えた。
30 ある日、イエスは彼らを海辺の荒野、民の住む荒野の向かいにある砂漠に連れて行き、彼らに餌を与えていると、見よ、海の向こうから激しい嵐が来て、そこで餌を食べていたろばの上にとどまり、ろばたちは皆、じっと動かなくなった。
31 その後、海の向こうの荒野から、およそ百二十匹の巨大で恐ろしい獣が現れ、ろばのいる所に来て、そこに陣取った。
32 そして、それらの動物は、胴体から下は人の子の形をしており、胴体から上は、熊のような形をしたものもあれば、ケファのような形をしたものもあり、肩の間から地面まで尾が伸びていて、ドゥケファの尾のようであった。これらの動物はやって来て、これらのろばに乗り、彼らを連れて行った。そして、彼らは今日まで去っていった。
33 すると、これらの動物のうちの 1 匹がアナに近づき、尾で彼を打ち、それからその場所から逃げ去った。
34 彼はこの業を見て、自分の命が危ないと感じ、逃げ出して町へ逃げた。
35 彼は自分の息子たちや兄弟たちに、自分に起こったことをすべて話した。すると、多くの人がロバを探しに行ったが、見つけることができなかった。アナと彼の兄弟たちは、その日以降、二度とその場所には行かなかった。彼らは命の危険を非常に恐れていたからである。
36 セイルの子アナの子はディションとその妹アハリバマであり、ディションの子はヘムダン、エシュバン、イトラン、ケランであり、エゼルの子はビルハン、ザアバン、アカンであり、ディションの子はウズとアランであった。
37 これらは、ホリ人セイルの子孫の家族であり、セイルの地における彼らの公爵領に従っている。
38 エサウとその子らは、その地の住民であるホリ人セイルの地に住み、そこに所有地を持ち、子孫を増やし、大いに繁栄した。ヤコブとその子ら、そして彼らに属するすべての者は、主が彼らの父アブラハムに命じられたとおり、彼らの父イサクと共にカナンの地に住んだ。

第 37 章

1 ヤコブの生涯の 105 年目、すなわちヤコブがカナンの地に子供たちと共に住んで 9 年目に、彼はパダン･アラムから来た。
2 その頃、ヤコブは子供たちと共にヘブロンから旅立ち、シェケムの町へ戻って行った。彼らと彼らのすべての持ち物は、そこに住んだ。ヤコブの子供たちはシェケムの町で家畜のための肥沃な牧草地を手に入れたからである。シェケムの町は当時再建されており、そこには約 300 人の男女が住んでいた。
3 ヤコブとその子供たち、そして彼に属するすべての人々は、シメオンとレビが町を攻める前に、ヤコブがパダン･アラムから来たときにシェケムの父ハモルから買い取った畑の区画に住んでいた。
4 シェケムの町を取り囲んでいたカナン人とアモリ人の王たちは皆、ヤコブの子らが再びシェケムに来てそこに住んだことを聞きました。

5 彼らは言った、「ヘブライ人ヤコブの子孫は、その住民を打ち倒して追い出した後、再び町に戻ってきてそこに住むのだろうか。彼らは今、戻ってきて、町に住んでいる人々を追い出したり、殺したりするのだろうか。」
6 カナンの王たちは再び集結し、ヤコブとその息子たちと戦うために集まった。
7 また、タプナクの王ヤシュブは、近隣のすべての王、ガアシュの王エラン、シロの王イフリ、ハザルの王パラトン、サルトンの王スシ、ベトコランの王ラバン、オトナイマの王シャビルに使いを送り、こう言った。
8 さあ、私のところに来て私を助けてください。ヘブライ人ヤコブとその息子たち、そして彼に属する者すべてを討ちましょう。彼らは以前のように、再びシェケムにやって来て、そこを占領し、住民を殺そうとしているのです。
9 そして、これらの王たちは皆集まって、それぞれの陣営と共にやって来た。その民は海辺の砂のように非常に多く、彼らは皆タプナクの向かい側にいた。
10 タプナクの王ヤシュブは全軍を率いて彼らに向かって出陣し、タプナクの町の外側の向かい側に陣を張った。そして、これらの王たちは皆、ヤコブの子らに対して七つの部隊に分かれ、七つの陣営を組んだ。
11 彼らはヤコブとその息子に布告を送り、「皆で我々のところへ来て、平野で会見し、シェケムの町で殺した人々の仇を討ちなさい。そして、再びシェケムの町に戻ってそこに住み、以前のようにその住民を殺しなさい」と言った。
12 ヤコブの子らはこれを聞いて、カナンの王たちの言葉に激しく怒り、ヤコブの子らのうち 10 人が急いで立ち上がり、それぞれが武器を身につけた。また、彼らのしもべ 102 人も戦闘態勢で彼らと共にいた。
13 ヤコブの子らは皆、しもべたちと共にこれらの王たちのところへ行き、彼らの父ヤコブも彼らと共にいて、彼らは皆シェケムの山の上に立った。
14 ヤコブは息子たちのために主に祈り、両手を主に広げて言った。「神よ、あなたは全能の神、私たちの父です。あなたは私たちを形造り、私たちはあなたの御手の業です。どうか、今日彼らと戦いに来る敵の手から、あなたの慈しみによって私の息子たちを救い出してください。彼らの手から彼らを救い出してください。あなたの御手には力と権威があり、少数の者を多数から救うことができるからです。」
15 そして、あなたのしもべである私の息子たちに、敵と戦い、彼らを征服し、敵を彼らの前にひれ伏させる心の力と力をお与えください。私の息子たちと彼らのしもべたちが、カナンの子らの手によって死ぬことがないようにしてください。
16 しかし、もし私の息子たちとそのしもべたちの命を奪うことがあなたの目に良いと思われるなら、あなたのしもべたちの手を通して、あなたの大きな慈しみによって彼らを救い出してください。そうすれば、彼らは今日、アモリ人の王たちの手によって滅びることはないでしょう。
17 ヤコブが主に祈るのをやめると、地は揺れ動き、太陽は暗くなり、これらの王たちは皆恐れおののき、大きな動揺に襲われた。
18 主はヤコブの祈りを聞き入れ、ヤコブの子らの恐ろしさと畏怖の念をすべての王とその軍勢の心に刻み込まれた。
19 主は彼らに、ヤコブの子らの戦車の音、力強い馬の音、そして彼らに同行する大軍の音を聞かせた。
20 これらの王たちはヤコブの子らを見て大変恐れおののき、彼らが宿営地に立っていると、見よ、ヤコブの子らは百十二人の兵士と共に、大声で叫びながら彼らに向かって進軍してきた。
21 王たちはヤコブの子らが自分たちに向かって進軍してくるのを見て、ますます恐れおののき、最初と同じようにヤコブの子らの前から退却し、彼らと戦おうとはしなかった。
22 しかし彼らは退却せず、「ヘブライ人の前から二度も退却するのは我々にとって恥辱となる」と言った。
23 ヤコブの子らは近づいて、これらの王たちとその軍隊すべてに攻め寄せた。彼らは見た。見よ、それは海の砂のように数えきれないほどの、非常に強力な民であった。
24 ヤコブの子らは主に向かって叫んで言った。「主よ、私たちを助けてください。私たちを助け、私たちに答えてください。私たちはあなたに信頼しています。今日私たちに攻め寄せてきた、割礼を受けていない者たちの手によって、私たちを死なせないでください。」
25 ヤコブの子らは戦いの武器を身につけ、それぞれ盾と投げ槍を手に取り、戦いに向かった。
26 ヤコブの子ユダは、まず兄弟たちの先頭に立って走り、十人のしもべを連れて、これらの王たちのところへ向かった。
27 タプナクの王ヤシュブもまた、最初に軍隊を率いてユダの前に進み出た。ユダはヤシュブとその軍隊が自分に向かって来るのを見て、怒りが燃え上がり、激しい憤りが彼の心にこみ上げ、彼は命をかけて戦いに臨んだ。
28 ヤシュブとその全軍はユダに向かって進軍していた。彼は非常に強く力強い馬に乗っており、ヤシュブは非常に勇敢な男で、頭からつま先まで鉄と青銅で覆われていた。
29 彼は馬に乗っている間、いつものように両手で前から後ろから矢を放ち、狙った場所に一度も矢を外さなかった。
30 ヤシュブがユダと戦うためにやって来て、ユダに向かって多くの矢を放ったとき、主はヤシュブの手を縛られたので、彼が放った矢はすべて跳ね返って彼自身の兵士に当たった。
31 それにもかかわらず、ヤシュブはユダに向かって進み続け、矢で彼に挑戦しようとした。二人の距離

は約 30 キュビトであった。ユダはヤシュブが自分に向かって矢を放つのを見ると、怒りに燃えて彼に向かって走った。
32 ユダは地面から大きな石を拾い上げ、その重さは六十シェケルであった。ユダはヤシュブに向かって走り寄り、その石でヤシュブの盾を打った。ヤシュブはその一撃で気を失い、馬から地面に落ちた。
33 すると盾はヤシュブの手から飛び出し、その衝撃で約 15 キュビトも飛んでいき、第二陣営の前に落ちた。
34 ヤシュブと共に来た王たちは遠くからヤコブの子ユダの力と、彼がヤシュブにしたことを見て、ユダを非常に恐れた。
35 彼らはヤシュブの陣営の近くに集まり、彼の混乱ぶりを見て、ユダは剣を抜いてヤシュブの陣営の四十二人を打ち殺した。ヤシュブの陣営の全員がユダの前に逃げ出し、誰も彼に立ち向かう者はいなかった。彼らはヤシュブを捨てて逃げ去り、ヤシュブは依然として地面に倒れたままだった。
36 ヤシュブは自分の陣営の兵士たちが皆逃げ去ったのを見て、急いでユダに向かって恐怖に駆られて立ち上がり、ユダの向かいに立った。
37 ヤシュブはユダと一騎打ちをし、盾を盾に向けて戦ったが、ヤシュブの兵士たちは皆逃げ出した。彼らはユダを非常に恐れていたからである。
38 ヤシュブは手に槍を取り、ユダの頭を打とうしたが、ユダは素早く盾を頭に当ててヤシュブの槍を防いだので、ユダの盾がヤシュブの槍の打撃を受け、盾も割れてしまった。
39 ユダは自分の盾が裂けたのを見て、急いで剣を抜き、ヤシュブの足首を打ち、足を切り落とした。ヤシュブは地面に倒れ、槍は手から落ちた。
40 ユダは急いでヤシュブの槍を拾い上げ、それで彼の首を切り落とし、足元に投げ捨てた。
41 ヤコブの子らは、ユダがヤシュブにしたことを見て、皆他の王たちの陣営に駆け寄り、ヤコブの子らはヤシュブの軍隊と、そこにいたすべての王たちの軍隊と戦った。
42 ヤコブの子らは彼らの兵士 1 万 5 千人を倒し、ひょうたんを打つように彼らを打ち倒し、残りの者は命からがら逃げ去った。
43 ユダはまだヤシュブの遺体のそばに立っていて、ヤシュブの鎖帷子を剥ぎ取った。
44 ユダはヤシュブの周りにあった鉄と青銅を取り除いた。すると、ヤシュブの隊長たちのうち九人がユダと戦うためにやって来た。
45 ユダは急いで地面から石を拾い上げ、それで彼らのうちの一人の頭を打った。すると頭蓋骨が砕け、体も馬から地面に落ちた。
46 残っていた八人の隊長は、ユダの強さを見て非常に恐れて逃げ出した。ユダは十人の部下と共に彼らを追いかけ、追いついて殺した。
47 ヤコブの子らはなおも王たちの軍隊を打ち破り、多くの者を殺したが、王たちは勇敢にも指揮官たちと共に陣地に留まり、退却しなかった。彼らはヤコブの子らの前から逃げ出した兵士たちに向かって叫んだが、誰も彼らの言うことを聞かなかった。彼らは命の危険を感じ、死ぬことを恐れていたからである。
48 ヤコブの子らは皆、王たちの軍隊を打ち破った後、戻ってユダの前に来た。ユダはヤシュブの八人の将軍を殺し、彼らの衣服を剥ぎ取っていた。
49 レビはガアシュの王エロンが 14 人の隊長を率いて自分を討とうと進軍してくるのを見たが、レビはそれを確信できなかった。
50 エロンは隊長たちと共に近づいてきた。レビは振り返って、背後で戦いが始まったのを見た。レビは十二人のしもべと共に走り、エロンとその隊長たちを剣で殺した。

第 38 章

1 シロの王イフリがエロンを助けるためにやって来て、ヤコブに近づいた。ヤコブは手に持っていた弓を引き、矢でイフリを射たので、イフリは死んだ。
2 シロの王イフリが死ぬと、残りの四人の王は他の隊長たちと共に持ち場から逃げ出し、退却しようとして言った。「我々よりも力のある三人の王とその隊長たちが殺された後では、ヘブライ人に対して我々には何の力もありません。」
3 ヤコブの子らは、残りの王たちがその所を去ったのを見て、彼らを追跡した。ヤコブもまた、シェケムの土塁から、自分が立っていた場所から出てきた。彼らは王たちを追いかけ、家臣たちと共に彼らに近づいた。
4 王たちと将軍たち、そして残りの軍隊は、ヤコブの子らが近づいてくるのを見て、命の危険を感じ、ハザルの町に着くまで逃げた。
5 ヤコブの子らは彼らをハザルの町の門まで追跡し、王たちとその軍隊、およそ 4000 人を打ち破った。彼らが王たちの軍隊を打ち破っている間、ヤコブは弓で王たちを射ることに専念し、彼らを皆殺しにした。
6 彼はハザルの町の門でハザルの王パラトンを殺し、その後、サルトンの王スシ、ベトコリンの王ラバン、マクナイマの王シャビルを打ち、矢で彼らを一人一人に射て殺し、彼らは死んだ。
7 ヤコブの子らは、すべての王たちが死に、彼らが敗走しているのを見て、ハザルの門の向かいで王たちの軍隊と戦い続け、なおも約 400 人の敵兵を打ち倒した。
8 その戦いでヤコブの家臣のうち三人が倒れた。ユダは自分の家臣が三人死んだのを見て、ひどく悲しみ、アモリ人に対して怒りが燃え上がった。
9 王たちの軍隊の残りの兵士たちは皆、命の危険を感じ、逃げ出してハザルの町の城壁の門を破り、皆安全のために町の中に入った。
10 そして彼らはハザルの町の中に身を隠した。ハザルの町は非常に大きく広大であったからである。そ

してこれらの軍隊がすべて町に入ると、ヤコブの子らは彼らの後を追って町へ走った。
11 すると、戦いに熟練した四人の勇士が町から出て行き、剣と槍を手に持って町の入り口に立ち、ヤコブの子らの前に立ちはだかり、彼らが町に入るのを許さなかった。
12 するとナフタリは走って彼らの間に入り、剣で二人を打ち、一撃で彼らの首を切り落とした。
13 彼は残りの二人の方を向くと、彼らは逃げていた。彼は彼らを追いかけ、追いつき、打ち殺した。
14 ヤコブの子らは町に着いて見ると、町には別の城壁があった。彼らは城壁の門を探したが見つからず、ユダは城壁の上に飛び乗り、シメオンとレビもそれに続いた。そして三人は城壁から町の中に降りて行った。
15 シメオンとレビは、町に逃げ込んだ男たちを皆殺しにし、町の住民とその妻や子供たちも剣で殺した。町の叫び声は天にまで届いた。
16 ダンとナフタリは嘆きの声の原因を見ようとして城壁に飛び乗った。ヤコブの子らは兄弟たちのことを心配していたからである。彼らは町の住民たちが泣きながら嘆願して、「町にある私たちの持ち物をすべて持って行ってください。ただ、私たちを殺さないでください」と言っているのを聞いた。
17 ユダ、シメオン、レビは町の住民を討ち終えると、城壁に登り、城壁の上にいたダンとナフタリ、そして他の兄弟たちに呼びかけた。シメオンとレビは彼らに町への侵入を知らせ、ヤコブの子孫は皆、戦利品を取りに来た。
18 ヤコブの子らはハザルの町の戦利品、すなわち羊や牛、財産を奪い、捕獲できるものはすべて持って行き、その日町から立ち去った。
19 翌日、ヤコブの子らはサルトンへ行った。サルトンの町に残っていた人々が、王を殺されたことへの報復として、彼らと戦うために集まっていると聞いたからである。サルトンは非常に高い要塞都市であり、町の周囲には深い土塁があった。
20 城壁の柱の高さは約 50 キュビト、幅は約 40 キュビトであった。城壁のために人が町に入る場所はなかった。ヤコブの子らは町の城壁を見て、そこから入ろうとしたが、見つけることができなかった。
21 町の入り口は裏側にあり、町に入りたい者は皆その道を通って町全体をぐるっと回ってから町に入った。
22 ヤコブの子らは町に入る道が見つからないのを見て、激しく怒りを燃やした。町の住民はヤコブの子らが自分たちのところへ来るのを見て、彼らを非常に恐れた。なぜなら、彼らはヤコブの子らの力と、彼らがハザルに対して行ったことを聞いていたからである。
23 サルトン市の住民は、ヤコブの子らと戦うために市に集まった後、彼らが市に入ってくることを恐れて、彼らに向かって出ることができなかった。しかし、彼らが自分たちに向かって来るのを見ると、彼らは彼らを非常に恐れた。なぜなら、彼らは彼らの強さと、彼らがハザルにしたことを聞いていたからである。
24 そこでサルトンの住民たちは、ヤコブの子らが来る前に、町の道路の橋を急いでその場所から取り外し、町の中に運び込んだ。
25 ヤコブの子らはやって来て、町に入る道を探したが、見つけることができなかった。町の住民は城壁の上に登って見ると、ヤコブの子らが町に入る入り口を探しているのが見えた。
26 すると、町の住民たちは城壁の上からヤコブの子らを非難し、呪った。ヤコブの子らはその非難を聞いて、ひどく憤り、心の中で怒りが燃え上がった。
27 ヤコブの子らは彼らに腹を立て、皆立ち上がり、力の限りを尽くして土塁を飛び越え、その力で土塁の幅 40 キュビトを越えた。
28 そして、彼らは城壁を通り過ぎて町の城壁の下に立ったが、町のすべての門が鉄の扉で囲まれているのを見つけた。
29 ヤコブの子らは町の門の扉をこじ開けようと近づいたが、住民たちはそれを許さず、城壁の上から石や矢を投げつけてきた。
30 城壁の上にいた人々の数はおよそ 400 人であった。ヤコブの子らは、町の人々が町の門を開けさせてくれないのを見て、飛び上がって城壁の上に登った。ユダはまず町の東側に登った。
31 ガドとアシェルは彼に続いて町の西の隅へ、シメオンとレビは北へ、ダンとルベンは南へ上って行った。
32 城壁の上にいた町の住民たちは、ヤコブの子らが自分たちのところへ近づいてくるのを見て、皆城壁から逃げ出し、町の中に降りて、町の真ん中に身を隠した。
33 城壁の下に残っていたイッサカルとナフタリは近づいて町の門を破り、町の門に火を放ったので鉄が溶け、ヤコブの息子たちは皆、彼らとその部下たちと共に町に入り、サルトンの町の住民と戦い、剣で彼らを打ち殺した。彼らの前に立ち向かう者は一人もいなかった。
34 すると、およそ 200 人の男たちが町から逃げ出し、町の塔に身を隠した。ユダは彼らを追ってその塔まで行き、塔を崩した。塔は男たちの上に崩れ落ち、彼らは皆死んだ。
35 ヤコブの子らはその塔の屋上の道を登って見ると、遠くの町にもう一つ堅固で高い塔があり、その頂は天に届いていた。ヤコブの子らは急いで降りて行き、仲間全員でその塔に行ってみると、そこには男、女、子供合わせて約 300 人がいた。
36 ヤコブの子らは塔の中にいた者たちを大いに打ち、彼らは逃げ去った。
37 シメオンとレビが彼らを追跡すると、彼らが身を隠していた場所から、十二人の勇敢で力強い男たちが出てきた。

38 その十二人はシメオンとレビに対して激しい戦いを挑み、シメオンとレビは彼らに勝つことができなかった。勇敢な者たちはシメオンとレビの盾を打ち破り、そのうちの一人が剣でレビの頭を斬りつけた。レビは剣を恐れて慌てて頭に手を当てたが、剣はレビの手に当たり、レビの手が切り落とされる寸前だった。
39 レビは勇敢な男の剣を手に取り、力ずくで奪い取り、それでその力強い男の頭を打ち、首を切り落とした。
40 すると、レビの一人が殺されたのを見て、11 人の男がレビと戦うために近づいてきた。ヤコブの子らは戦ったが、ヤコブの子らは彼らに勝つことができなかった。なぜなら、彼らは非常に力強かったからである。
41 ヤコブの子らは、自分たちが彼らに勝てないのを見て、シメオンは大きな叫び声をあげた。すると、11 人の力強い男たちはシメオンの叫び声に驚愕した。
42 遠くにいたユダの人々はシメオンの叫び声を聞き、ナフタリとユダの人々は盾を持ってシメオンとレビのところへ走って行った。すると、彼らは力強い者たちと戦っていたが、盾が壊れてしまい、勝つことができなかった。
43 ナフタリはシメオンとレビの盾が壊れているのを見て、自分のしもべたちから盾を二つ取ってシメオンとレビのところに持って行った。
44 その日、シメオン、レビ、ユダは、日没まで 11 人の勇士たちと 3 人で戦ったが、彼らに勝つことはできなかった。
45 このことがヤコブに伝えられると、彼はひどく悲しみ、主に祈り、彼と息子のナフタリはこれらの勇士たちに立ち向かった。
46 ヤコブは近づいて弓を引き、勇士たちに近づき、弓で彼らのうちの 3 人を殺した。残りの 8 人は引き返し、見よ、前と後ろから戦いが仕掛けられ、彼らは命の危険を感じ、ヤコブの息子たちの前に立つことができず、彼らの前から逃げ去った。
47 彼らが逃げる途中で、ダンとアシェルが近づいてくるのに出くわし、突然襲いかかって戦い、二人を殺した。ユダとその兄弟たちは彼らを追いかけ、残りの者を打ち殺した。
48 ヤコブの息子たちは皆戻って町中を歩き回り、男たちを探した。すると町の中の洞窟で二十人ほどの若者を見つけ、ガドとアシェルは彼らを皆殺しにした。ダンとナフタリは、第二の塔から逃げ出した残りの男たちに襲いかかり、彼らを皆殺しにした。
49 ヤコブの子らはサルトンの町の住民を皆殺しにしたが、女と幼い子供たちは町に残して殺さなかった。
50 サルトン市の住民は皆力持ちで、一人が千人を追いかけ、二人が残りの一万人を追いかけることができた。
51 ヤコブの子らは剣でサルトンの町の住民を皆殺しにした。彼らに立ち向かう者は一人もいなかった。そして町には女たちだけが残された。
52 ヤコブの子らは町の戦利品をすべて奪い、欲しいものを奪い取り、町から羊や牛、財産を奪い取った。ヤコブの子らは、ハザルとその住民にしたのと同じように、サルトンとその住民にも同じようにして、立ち去った。

第 39 章

1 ヤコブの子らがサルトンの町を出て、約 200 キュビト進んだところで、タプナクの住民が彼らに向かって来るのに出会った。彼らはタプナクの王とその兵士全員を打ち負かしたので、彼らと戦うために出て行ったのである。
2 そこでタプナクの町に残っていた者たちは皆、ヤコブの子らと戦うために出てきて、チャザルとサルトンから奪った戦利品と略奪品を彼らから取り戻そうと考えました。
3 タプナクの残りの者たちは、その場所でヤコブの子らと戦ったが、ヤコブの子らは彼らを打ち破り、彼らはヤコブの子らの前に逃げ去った。ヤコブの子らは彼らをアルベランの町まで追撃し、彼らは皆ヤコブの子らの前に倒れた。
4 ヤコブの子らは戻ってタプナクに行き、タプナクの戦利品を持ち帰ろうとした。タプナクに着くと、アルベランの人々が同胞の戦利品を守るために彼らを迎えに来たと聞いた。ヤコブの子らは町を略奪するために十人の部下をタプナクに残し、アルベランの人々の方へ向かった。
5 アルベランの男たちは妻たちと共にヤコブの息子たちと戦うために出て行った。彼らの妻たちは戦いに熟練していたからである。彼らは約 400 人の男女で出て行った。
6 するとヤコブの息子たちは皆大声で叫び、アルベランの住民に向かって走り、大声で叫びました。
7 アルベランの住民は、ヤコブの子らの叫び声と、ライオンの咆哮や海とその波の轟きのような彼らの咆哮を聞いた。
8 ヤコブの子らのゆえに、彼らは恐れと恐怖に襲われ、彼らをひどく恐れ、彼らから逃げて町の中に退却した。ヤコブの子らは彼らを町の門まで追いかけ、町の中で彼らに追いついた。
9 ヤコブの子らは町で彼らと戦い、彼らの女たちは皆ヤコブの子らに対して投石器を投げつけ、その日一日中夕方まで激しい戦いが続いた。
10 ヤコブの子らは彼らに勝つことができず、その戦いでヤコブの子らはほとんど滅びかけたが、ヤコブの子らは主に叫び求め、夕方になると大いに力を増し、ヤコブの子らは剣の刃でアルベランの住民全員、男も女も子供も打ち殺した。
11 また、サルトンから逃げてきた残りの民をヤコブの子らはアルベランで打ち、ヤコブの子らはハザルとサルトンにしたようにアルベランとタプナクにも同じようにした。女たちは男たちが皆死んだのを見

て、町の屋根に登り、雨のように石を投げつけてヤコブの子らを打ち殺した。
12 ヤコブの子らは急いで町に入り、女たちを皆捕らえて剣で打ち殺し、ヤコブの子らは戦利品や略奪品、羊や牛、家畜をすべて奪い取った。
13 ヤコブの子らはマクナイマに対しても、タプナク、ハザル、シロにしたのと同じようにした。そして彼らはそこから立ち去った。
14 五日目に、ヤコブの子らは、ガアシュの人々が彼らと戦うために集まったことを聞いた。それは、彼らがガアシュの王と隊長たちを殺したからである。ガアシュの町には 14 人の隊長がいたが、ヤコブの子らは最初の戦いで彼ら全員を殺したのである。
15 その日、ヤコブの子らは戦いの武器を身につけ、ガアシュの住民と戦うために進軍した。ガアシュにはアモリ人の強くて勇猛な民が住んでおり、ガアシュはアモリ人のすべての都市の中で最も強く、最も要塞化された都市であり、三つの城壁があった。
16 ヤコブの子らはガアシュに着くと、町の門が閉ざされており、約 500 人の男たちが外壁の上に立っていて、海岸の砂のように大勢の人々が町の背後からヤコブの子らを待ち伏せしていた。
17 ヤコブの子らが町の門を開けようと近づいたとき、見よ、町の背後で待ち伏せしていた者たちがそれぞれの場所から出てきて、ヤコブの子らを取り囲んだ。
18 ヤコブの子らはガアシュの人々に囲まれ、戦いは彼らの前と後ろの両方で起こり、城壁の上にいた者たちは皆、城壁から彼らに向かって矢や石を投げつけた。
19 ユダはガアシュの人々が自分たちにとって重荷になっているのを見て、非常に鋭く恐ろしい叫び声をあげた。ガアシュの人々は皆、ユダの叫び声に恐れおののき、その力強い叫び声で城壁から人が落ち、町の内外にいた人々は皆、命の危険を感じた。
20 ヤコブの子らはなおも町の門を破ろうと近づいてきたが、ガアシュの人々が城壁の上から石や矢を投げつけ、彼らを門から逃げさせた。
21 ヤコブの子らは、町の外から彼らと共にいたガアシュの者たちに反撃し、ひょうたんを打つように彼らをひどく打ちのめした。彼らはヤコブの子らに立ち向かうことができなかった。ユダの叫び声に恐怖と恐れが彼らを襲ったからである。
22 ヤコブの子らは町の外にいた者たちを皆殺しにした。ヤコブの子らはなおも町に近づき、城壁の下で戦おうとしたが、町に残っていたガアシュの住民がガアシュの城壁を四方八方から取り囲んでいたため、ヤコブの子らは町に近づいて戦うことができなかった。
23 ヤコブの子らは城壁の下の隅に集まって戦おうとしたが、ガアシュの住民は雨のように矢や石を彼らに投げつけ、彼らは城壁の下から逃げ出した。
24 城壁の上にいたガアシュの人々は、ヤコブの子らが城壁の下から自分たちに勝てないのを見て、ヤコブの子らをこう非難した。
25 あなた方は戦いでなぜ勝てないのか。それほど強くないアモリ人の町々にしたように、強大なガアシュの町とその住民にも同じことができるのか。確かに、私たちの中の弱い者たちには、あなた方はそのようなことをし、町の入り口で彼らを殺した。彼らはあなた方の叫び声に恐れおののき、力もなかったのだ。
26 では、あなた方は今、この場所で戦うことができるだろうか。必ずここであなた方は皆死ぬだろう。そして我々は、あなた方が荒廃させた町々の仇を討つだろう。
27 ガアシュの住民はヤコブの子らを激しく非難し、自分たちの神々で彼らを罵り、城壁の上から矢や石を投げつけ続けた。
28 ユダとその兄弟たちはガアシュの住民たちの言葉を聞いて、激しく怒りました。ユダはこの件に関して自分の神を疑い、叫んで言いました。「主よ、助けてください。私たちと兄弟たちに助けを送ってください。」
29 彼は剣を抜いて手に持ち、全力を尽くして遠くまで走り、地面から飛び上がり、その力で城壁を登ったが、剣は手から落ちた。
30 ユダは城壁の上で叫んだ。すると城壁の上にいた者たちは皆恐れおののき、城壁から町に落ちて死んだ者もいた。城壁の上に残っていた者たちは、ユダの力を見て大いに恐れ、命からがら町に逃げ込んだ。
31 すると、城壁の上でユダと戦おうとする者たちが勇気を奮い起こし、ユダの手に剣がないのを見て、彼を殺そうと近づいてきた。彼らはユダを城壁から兄弟たちのところへ投げ落とそうと考え、町の二十人が彼らを助けにやって来て、ユダを取り囲み、皆でユダに向かって叫び、抜いた剣を持って近づいてきた。彼らはユダを恐れさせ、ユダは城壁の上から兄弟たちに叫んだ。
32 ヤコブとその息子たちは壁の下から弓を引き、壁の上にいた男たちのうち三人を射た。ユダは叫び続け、「主よ、私たちを助けてください、主よ、私たちを救ってください」と叫び、壁の上で大声で叫んだ。その叫び声は遠くまで聞こえた。
33 この叫びの後、彼は再び叫び声を上げました。すると、城壁の上でユダを取り囲んでいた者たちは皆恐れおののき、ユダの叫び声と震えにそれぞれ剣を手から投げ捨てて逃げ去りました。
34 ユダは彼らの手から落ちた剣を取り、彼らと戦って城壁の上で彼らの兵士２０人を殺した。
35 すると、約 80 人の男女が町から城壁を登ってユダを取り囲んだ。主はユダの人々の心に畏れを植え付けたので、彼らは主のもとに近づくことができなかった。
36 ヤコブと彼と共にいた者たちは皆、城壁の下から弓を引き、城壁の上にいた十人を殺した。彼らはヤコブとその息子たちの前に、城壁の下に倒れた。
37 城壁の上にいた人々は、自分たちの仲間 20 人が倒れたのを見て、なおも剣を抜いてユダに向かって走

ったが、ユダの強さにひどく恐れをなして、近づくことができなかった。
38 すると、彼らの勇士の一人、アルドという名の者がユダの頭を剣で打とうと近づいてきた。ユダは慌てて盾を頭に当てたので、剣は盾に当たり、盾は二つに割れた。
39 この力強い男はユダを打った後、ユダの恐れに恐れて命からがら逃げ出し、壁の上で足が滑って壁の下にいたヤコブの子らの間に落ちた。ヤコブの子らは彼を打ち殺した。
40 ユダは力強い男の殴打で頭が痛くなり、危うく死にそうになった。
41 ユダは打撃による痛みのために壁の上で叫び声をあげた。ダンはそれを聞いて、怒りが燃え上がり、立ち上がって遠くへ行き、走り出して地面から飛び上がり、怒りに駆られた力で壁を登った。
42 ダンがユダの近くの城壁に近づくと、城壁の上にいたユダに対抗していた者たちは皆逃げ出し、第二の城壁に登り、そこからダンとユダに向かって矢や石を投げつけ、彼らを城壁から追い出そうとした。
43 矢と石がダンとユダに降り注ぎ、彼らは城壁の上で死にそうになった。ダンとユダが城壁から逃げるところどこへ行っても、第二の城壁から矢と石が投げつけられた。
44 ヤコブとその息子たちは、まだ町の入り口の第一の城壁の下にいたが、第二の城壁の上にいたので、町の住民からは見えず、弓を引くことができなかった。
45 ダンとユダは、第二の城壁から降り注ぐ石や矢に耐えられなくなったので、二人とも町の住民の近くの第二の城壁に飛び上がった。第二の城壁にいた町の住民は、ダンとユダが自分たちのところに来たのを見て、皆叫び声をあげて城壁の間に降りて行った。
46 ヤコブとその息子たちは、町の住民の叫び声を聞きました。彼らはまだ町の入り口にいましたが、ダンとユダが第二の城壁の上にいて姿が見えなかったので、心配していました。
47 ナフタリは怒りに燃え、勢いよく城壁を駆け上がり、町で聞こえた叫び声の原因を探ろうとした。イッサカルとゼブルンは町の門を破ろうと近づき、町の門を開けて町の中に入った。
48 ナフタリは最初の壁から二番目の壁へと飛び移り、兄弟たちを助けに来た。壁の上にいたガアシュの住民たちは、ナフタリが兄弟たちを助けに来た三人目であるのを見て、皆逃げて町に下りて行った。ヤコブと彼の息子たちと彼らの若者たちも皆、町に入って彼らのもとへ行った。
49 ユダとダンとナフタリは城壁から都に降りて都の住民を追った。シメオンとレビは都の外にいたので、門が開いたことを知らず、そこから城壁を登って都の兄弟たちのところへ降りて行った。
50 町の住民は皆町に下って来たが、ヤコブの子らは様々な方向から彼らに襲いかかり、正面と後方から戦いを挑んだ。ヤコブの子らは彼らをひどく打ち、男女合わせて約 2 万人を殺した。ヤコブの子らに立ち向かえる者は一人もいなかった。
51 すると、町には血が豊かに流れ、それはまるで小川のようであった。そして血は小川のように町の外へと流れ、ベトコリンの荒野にまで達した。
52 ベトコリンの人々は遠くからガアシュの町から血が流れているのを見て、彼らの中から約 70 人が走って血を見に行き、血のある場所に着いた。
53 彼らは血の跡をたどってガアシュの町の城壁に着くと、町から血が流れ出ているのを見た。また、ガアシュの住民の叫び声が天に昇るのを聞いた。血は小川のように絶えず流れ続けていた。
54 ヤコブの息子たちは皆、ガアシュの住民を打ち続け、夕方まで彼らを殺し続け、男女合わせて約 2 万人を殺した。コリンの人々は、「これは確かにヘブライ人の仕業だ。彼らはアモリ人のすべての町でまだ戦争を続けている」と言った。
55 そこで人々は急いでベトコリンへ走り、それぞれが武器を取り、ベトコリンの住民全員に叫んだ。住民たちも武器を身につけ、ヤコブの子らと戦いに行くように言った。
56 ヤコブの子らはガアシュの住民を打ち殺し終えると、殺された者たちの衣服を剥ぎ取るために町中を歩き回り、町の奥深く、さらに奥へと進むと、非常に力強い三人の男に出会ったが、彼らは手に剣を持っていなかった。
57 ヤコブの子らが彼らのいる所に上って来ると、力強い者たちは逃げ出し、そのうちの一人がゼブルンを捕らえた。ゼブルンは若くて背が低いのを見て、力で彼を地面に叩きつけた。
58 ヤコブは剣を持って彼に向かって走り、剣で彼の腰の下を斬り、彼を二つに切り裂いた。その死体はゼブルンの上に落ちた。
59 すると、もう一人が近づいてきてヤコブをつかみ、地面に倒そうとした。ヤコブは振り向いて彼に叫んだ。その間にシメオンとレビが走ってきて、剣で彼の腰を打ち、地面に倒した。
60 すると、その力強い男は怒りに燃えて地面から立ち上がった。ユダは彼が体勢を整える前に近づき、剣で彼の頭を打ちつけた。すると彼の頭は割れて死んだ。
61 そして、三番目の力ある男は、仲間が殺されたのを見て、ヤコブの子らの前から逃げ出した。ヤコブの子らは町の中で彼を追いかけた。力ある男は逃げている途中で町の住民の剣を見つけ、それを拾い上げてヤコブの子らに向き直り、その剣で彼らと戦った。
62 すると、その力強い男はユダの頭を剣で打とうとユダに駆け寄ったが、ユダは手に盾を持っていなかった。彼がユダを打とうとした時、ナフタリは急いで自分の盾を取り、ユダの頭に当てた。すると、力強い男の剣はナフタリの盾に当たり、ユダは剣から逃れた。

63 シメオンとレビは剣を持ってその力強い男に駆け寄り、剣で力強く彼を打ちつけた。すると二本の剣は力強い男の体に突き刺さり、縦に二つに切り裂いた。
64 その時、ヤコブの子らはガアシュの住民全員と共に三人の勇士を打ち倒した。日は暮れようとしていた。
65 ヤコブの子らはガアシュの町を歩き回り、町の戦利品をすべて奪い、幼い者や女さえも生かしておかなかった。ヤコブの子らはガアシュに対して、サルトンとシロにしたのと同じことをした。

第 40 章

1 ヤコブの子らはガアシュの戦利品をすべて持ち去り、夜のうちに町を出て行った。
2 彼らはベトコリンの城に向かって行進し、ベトコリンの住民も彼らを迎えに城に向かっていた。そしてその夜、ヤコブの子らはベトコリンの城でベトコリンの住民と戦った。
3 ベトコリンの住民は皆勇猛な男たちで、千人の敵の前でも一人たりとも逃げなかった。彼らはその夜、城で戦い、その夜、彼らの叫び声は遠くまで響き渡り、その叫び声で大地が揺れた。
4 ヤコブの子らは皆、暗闇での戦いに慣れていなかったので、その者たちを恐れ、ひどく混乱した。ヤコブの子らは主に向かって叫んで言った。「主よ、私たちを助けてください。私たちを救い出してください。割礼を受けていない者たちの手によって死なないように。」
5 主はヤコブの子らの声を聞き入れ、ベトコリンの民に大きな恐怖と混乱を起こされた。彼らは夜の闇の中で互いに戦い、大勢で打ち合った。
6 ヤコブの子らは、主が彼らの間に邪悪な精神をもたらし、彼らが互いに争うようになったことを知って、ベトコリンの民の集団の中から出て行き、ベトコリンの城の麓まで、さらにその先まで行き、その夜は若者たちと共にそこで安全に過ごした。
7 ベトコリンの人々は夜通し戦い、一人は兄弟と、もう一人は隣人と戦い、城に向かって四方八方に叫び声をあげた。その叫び声は遠くまで響き渡り、彼らの声に全地が震えた。彼らは地上のすべての民の中で最も強かったからである。
8 カナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ヒビ人の町々の住民、カナンのすべての王たち、そしてヨルダン川の向こう側にいた者たちも、その夜、叫び声を聞いた。
9 彼らは言った、「これは確かに、七つの町々が近づいてきたときに戦っているヘブライ人の戦いだ。いったい誰がそのヘブライ人に立ち向かうことができるだろうか。」
10 カナン人の町々の住民とヨルダン川の向こう側にいた人々は皆、ヤコブの子らを非常に恐れた。彼らは言った。「見よ、あの町々に起こったのと同じことが私たちにも起こるだろう。誰が彼らの強大な力に立ち向かうことができるだろうか。」
11 その夜、コリン人の叫び声は非常に大きく、ますます大きくなり、朝まで互いに打ち合い、多くの者が殺された。
12 夜が明けると、ヤコブの息子たちは皆、夜明けとともに起きて城へ上り、残っていたコリン人を恐ろしい方法で打ち殺した。
13 そして六日目になると、カナンの住民は皆、遠くからベトコリンの城にベトコリンの人々が皆死んで横たわり、子羊や山羊の死骸のように散らばっているのを見た。
14 ヤコブの子らはガアシュから奪った戦利品をすべて携えてベトコリンへ行き、町が海の砂のように人で溢れているのを見つけた。彼らは彼らと戦い、夕方までそこで彼らを打ち破った。
15 ヤコブの子らは、ガアシュとタプナクにしたように、またハザル、サルトン、シロにしたように、ベトコリンにも同じようにした。
16 ヤコブの子らはベトコリンの戦利品と町々の戦利品をすべて持って行き、その日にシェケムに帰った。
17 ヤコブの子らはシェケムの町に帰ったが、町の外にとどまり、そこで戦いから休息を取り、一晩滞在した。
18 そして、彼らのしもべたちは皆、町々から奪った戦利品と共に町を出て、町には入らなかった。彼らは、「もしかしたら、まだ我々と戦う者がいて、シェケムで我々を包囲するかもしれない」と言ったからである。
19 ヤコブと彼の息子たちと彼らのしもべたちは、その夜と翌日、ヤコブがハモルから五シェケルで買い取った畑の区画に滞在し、彼らが捕らえたものはすべて彼らの手元にあった。
20 ヤコブの子らが獲得した戦利品はすべて、海辺の砂のように広大な畑にあった。
21 その地の住民は遠くから彼らを観察していたが、このことを行ったヤコブの子らを恐れた。昔から、このようなことをした王はいなかったからである。
22 カナン人の七人の王はヤコブの子らと和平を結ぶことを決意した。ヤコブの子らのせいで、彼らは自分たちの命を非常に恐れていたからである。
23 その日、すなわち七日目に、ヘブロンの王ヤフィアはアイの王、ギベオンの王、シャレムの王、アドゥラムの王、ラキシュの王、ハザルの王、そして彼らの支配下にあったすべてのカナン人の王たちに密かに使いを送り、こう言った。
24 私と一緒に上って来て、ヤコブの子らのところへ行き、彼らと和平を結び、条約を結びましょう。そうしないと、あなたがたが聞いたり見たりしたように、ヤコブの子らの剣によって、あなたがたの土地すべてが滅ぼされてしまうでしょう。
25 あなたがたがわたしのところに来るときは、多くの者を連れて来てはならない。王はそれぞれ三人の

隊長を、隊長はそれぞれ三人の将校を連れて来なさい。
26 あなた方全員でヘブロンに行き、ヤコブの子らのところへ一緒に行って、彼らに私たちと平和条約を結ぶよう懇願しましょう。
27 そして、それらの王たちは皆、ヘブロンの王が遣わしたとおりにした。彼らは皆、ヘブロンの王の助言と命令に従っていたからである。カナンの王たちは皆、ヤコブの子らのところへ行って和平を結ぼうと集まった。ヤコブの子らは戻ってシェケムにある畑のところへ行った。彼らはその地の王たちを信用しなかったからである。
28 ヤコブの子らは戻ってきて、畑の区画に十日間滞在したが、彼らと戦うために来る者はいなかった。
29 ヤコブの子らは、戦争の兆候がないのを見て、皆集まってシェケムの町へ行った。ヤコブの子らはシェケムにとどまった。
30 そして四十日が過ぎた時、アモリ人の王たちは皆、それぞれの所から集まってヘブロンの王ヤフィアのもとに来た。
31 ヤコブの子らと和平を結ぶためにヘブロンに来た王の数は 21 人、彼らに同行した指揮官の数は 69 人、兵士の数は 189 人であった。これらの王と兵士は皆、ヘブロン山のそばで休んだ。
32 ヘブロンの王は三人の隊長と九人の兵士を率いて出陣し、これらの王たちはヤコブの子らのところへ行って和平を結ぶことを決意した。
33 彼らはヘブロンの王に言った。「どうかあなたの部下を率いて私たちの前に出て、ヤコブの子らに私たちのために話してください。私たちはあなたの後について行き、あなたの言葉を確かめます。」ヘブロンの王はそのようにした。
34 ヤコブの子らは、カナンの王たちが皆ヘブロンに集まって休んでいると聞き、四人のしもべを偵察に遣わして言った。「行って、これらの王たちを偵察し、彼らの兵士の数を調べ、もし少なければ、全員数えて戻って来なさい。」
35 ヤコブの家臣たちはひそかにこれらの王たちのところへ行き、ヤコブの子らが命じたとおりにした。そしてその日、彼らはヤコブの子らのところへ戻って来て、彼らに言った。「私たちはそれらの王たちのところへ行きましたが、彼らはわずか数人でした。そこで私たちは彼らを数えましたが、見よ、王と人合わせて 288 人でした。」
36 ヤコブの子らは言った、「彼らは数が少ないので、皆で出かける必要はない」。翌朝、ヤコブの子らは起きて、自分たちの男の中から 62 人を選び、ヤコブの子らのうち 10 人が彼らと共に行った。彼らは武器を身につけた。彼らは、「彼らは我々と戦うために来る」と言ったが、彼らが彼らと和平を結ぶために来ることを知らなかった。
37 ヤコブの子らはしもべたちと共にシェケムの門へ行き、王たちのところへ向かった。彼らの父ヤコブも彼らと共にいた。
38 彼らが出て行くと、見よ、ヘブロンの王と三人の隊長と九人の兵士がヤコブの子らに向かって道沿いにやって来た。ヤコブの子らは目を上げて遠くから見ると、ヘブロンの王ヤフィアとその隊長たちが自分たちの方へやって来るのが見えた。ヤコブの子らはシェケムの門の場所に陣取り、進まなかった。
39 ヘブロンの王は、彼とその隊長たちと共に進み続け、ヤコブの子らのところまで来ると、彼とその隊長たちは彼らに地にひれ伏し、ヘブロンの王は隊長たちと共にヤコブとその子らの前に座った。
40 ヤコブの子らは彼に言った。「ヘブロンの王よ、あなたに何が起こったのですか。なぜ今日私たちのところに来られたのですか。私たちに何を求めておられるのですか。」ヘブロンの王はヤコブに言った。「お願いです、わが主よ。カナンの王たちは皆、今日あなたと和平を結ぶためにやって来ました。」
41 ヤコブの子らはヘブロンの王の言葉を聞いたが、彼の提案に同意しなかった。ヤコブの子らは彼を信用していなかったからである。彼らはヘブロンの王が自分たちを欺いて話していると思ったからである。
42 ヘブロンの王はヤコブの子らの言葉から、彼らが自分の言葉を信じていないことを知り、ヤコブに近づいて言った。「わが主よ、どうかご安心ください。これらの王たちは皆、平和的な条件であなたのところに来ました。彼らは全兵を連れて来たわけではなく、また戦争の武器も持ってきていません。彼らはわが主とその子らに平和を求めて来たのです。」
43 ヤコブの子らはヘブロンの王に答えて言った。「これらの王たち全員に使者を送ってください。もしあなたが私たちに真実を語っているのなら、彼らを一人ずつ私たちの前に出させてください。もし彼らが武装せずに私たちの前に来るなら、彼らが私たちとの平和を求めていることが分かるでしょう。」
44 ヘブロンの王ヤフィアは、自分の部下の一人を王たちのところに遣わした。王たちは皆ヤコブの子らの前に来て、地にひれ伏した。そして王たちはヤコブとその子らの前に座り、彼らにこう言った。
45 私たちは、あなたが剣と非常に強い腕でアモリ人の王たちにしたことをすべて聞きました。誰もあなたの前に立ち向かうことができず、私たちは命の危険を感じてあなたを恐れていました。彼らに起こったように、私たちにも同じことが起こるのを恐れていたのです。
46 そこで私たちはあなた方との間に平和条約を結ぶためにやって来ました。ですから今、平和と真実の契約を私たちと結んでください。私たちがあなた方に干渉しなかったように、あなた方も私たちに干渉しないという契約です。
47 ヤコブの子らは、彼らが本当に彼らと和解を求めて来たことを知り、彼らの話を聞き、彼らと契約を結んだ。
48 ヤコブの子らは彼らに、彼らに干渉しないと誓った。カナンの王たちも皆彼らに誓ったので、ヤコブの子らはその日から彼らを貢納者とした。

49 その後、これらの王たちのすべての長が、ヤコブとその息子たちへの贈り物を持って、部下を連れてヤコブの前にやって来て、地にひれ伏して彼にひれ伏した。
50 そこで王たちはヤコブの子らに、アモリ人の七つの町から奪った戦利品をすべて返すように懇願した。ヤコブの子らはそうしたので、捕らえたものすべて、女たち、子供たち、家畜、そして奪った戦利品すべてを返した。そして王たちは彼らを送り出し、彼らはそれぞれ自分の町へ帰って行った。
51 そして、これらの王たちは皆、再びヤコブの子らにひれ伏し、その日々に多くの贈り物を送ったり、持ってきたりした。ヤコブの子らはこれらの王たちとその家臣たちを送り出し、彼らは平和にそれぞれの町へ帰っていった。ヤコブの子らもまた、故郷のシェケムへ帰った。
52 その日から、ヤコブの子らとカナン人の王たちの間には平和が続き、イスラエルの子らがカナン地方を相続するまで続いた。

第 41 章

1 その年の初めに、ヤコブの子らはシェケムから旅立ち、父イサクの住むヘブロンに着き、そこに住んだ。しかし、羊や牛の群れは毎日シェケムで飼っていた。当時、シェケムには良質で肥沃な牧草地があり、ヤコブとその子ら、そして彼らの家族全員はヘブロンの谷に住んでいた。
2 その頃、すなわちヤコブの生涯が百六年目、ヤコブがパダン･アラムから来て十年目のその年に、ヤコブの妻レアが死んだ。彼女はヘブロンで死んだとき、五十一歳であった。
3 ヤコブとその息子たちは、彼女をヘブロンにあるマクペラの野の洞窟に葬った。そこはアブラハムがヘトの子らから墓地として買い取った場所であった。
4 ヤコブの子らは父と共にヘブロンの谷に住み、その地のすべての住民は彼らの強さを知っており、彼らの名声は国中に広まった。
5 ヤコブの子ヨセフと、その兄弟ベニヤミンは、ヤコブの妻ラケルの子で、その頃はまだ幼く、アモリ人のすべての町での戦いには兄弟たちと共に出陣しなかった。
6 ヨセフは兄弟たちの力強さと偉大さを見て、彼らを褒め称え、称賛したが、自分は彼らよりも偉大だと考え、彼らを凌駕した。父ヤコブもまた、ヨセフを他のどの息子よりも愛した。ヨセフはヤコブの老齢の息子であったからである。ヤコブはヨセフへの愛ゆえに、彼に色とりどりの衣を作ってやった。
7 ヨセフは父が兄弟たちよりも自分を愛しているのを見て、ますます自分を兄弟たちより高くし、父に兄弟たちに関する悪い報告をした。
8 ヤコブの息子たちは、ヨセフが自分たちに対して行ったすべての行いと、父が自分たちよりもヨセフを愛していることを見て、彼を憎み、一日中彼に穏やかに話しかけることができなかった。
9 ヨセフは十七歳であったが、なおも自分を兄弟たちより偉いと思い、さらに彼らより上になろうと考えていた。
10 その時、イエスは夢を見ました。そして兄弟たちのところへ行って、その夢を話しました。「わたしは夢を見ました。見よ、わたしたちは皆、畑で束を縛っていました。するとわたしの束が立ち上がり、地面に横たわりました。すると、あなたがたの束がそれを取り囲み、ひれ伏しました。」
11 すると兄弟たちは彼に答えて言った、「あなたが見た夢は何を意味するのですか。あなたは心の中で、私たちを支配したり統治したりすることを想像しているのですか。」
12 彼はそれでもやって来て、父ヤコブにそのことを話した。ヤコブは彼の口からこれらの言葉を聞くと、ヨセフに口づけをして、ヨセフを祝福した。
13 ヤコブの子らは、父がヨセフを祝福し、口づけし、彼を非常に愛しているのを見て、彼に嫉妬し、ますます彼を憎むようになった。
14 その後、ヨセフは別の夢を見て、兄弟たちの前で父にその夢を話した。ヨセフは父と兄弟たちに言った。「見よ、私はまた夢を見た。見よ、太陽と月と 11 の星が私にひれ伏した。」
15 父はヨセフの言葉と夢を聞き、兄弟たちがこのことでヨセフを憎んでいるのを見て、兄弟たちの前でヨセフを叱責し、「お前が見たこの夢は何を意味するのか。お前より年上の兄弟たちの前で、なぜ自分を偉くするのか」と言った。
16 あなたは、私とあなたの母とあなたの 11 人の兄弟が来てあなたにひれ伏し、あなたがこのようなことを言うと心の中で想像しているのか。
17 そして、ヤコブの言葉と夢のために、彼の兄弟たちは彼を妬み、彼を憎み続けた。ヤコブは夢を心に留めておいた。
18 ヤコブの子らは、父の羊の群れを飼うために、ある日シェケムへ出かけた。彼らはまだ羊飼いであった。ヤコブの子らはその日シェケムで羊を飼っている間に、到着が遅れ、家畜を集める時期が過ぎてしまい、彼らはまだ到着していなかった。
19 ヤコブは息子たちがシェケムで遅れているのを見て、心の中で言った。「もしかしたらシェケムの人々が彼らと戦うために立ち上がったのかもしれない。だから今日来るのが遅れているのだろう。」
20 ヤコブは息子ヨセフを呼び、彼に命じて言った。「見よ、お前の兄弟たちは今日シェケムで食事をしているが、まだ帰って来ていない。だから今すぐ行って、彼らがどこにいるか調べて、兄弟たちの安否と羊の群れの安否について私に知らせて来なさい。」
21 ヤコブは息子ヨセフをヘブロンの谷に遣わした。ヨセフは兄弟たちを捜しにシェケムへ行ったが、彼らを見つけることができなかった。ヨセフは兄弟たちがどこへ行ったのか確かめようと、シェケムの近

くの野原を歩き回ったが、荒野で道に迷い、どちらへ行けばよいのか分からなくなった。
22 すると主の使いが、野原へ向かう道でヨセフがさまよっているのを見つけた。ヨセフは主の使いに言った。「兄弟たちを探しています。彼らがどこで食事をしているか、聞いていませんか。」主の使いはヨセフに言った。「私はあなたの兄弟たちがここで食事をしているのを見ました。そして、彼らがドタンへ行って食事をすると言っているのを聞きました。」
23 ヨセフは主の天使の声に聞き従い、ドタンにいる兄弟たちのところへ行った。すると、彼らはドタンで羊の群れを飼っていた。
24 ヨセフは兄弟たちのところへ進み出たが、彼が彼らに近づく前に、彼らはヨセフを殺すことを決意した。
25 シメオンは兄弟たちに言った。「見よ、夢の人が今日私たちのところに来る。さあ、来て彼を殺し、荒野にある穴の一つに投げ込もう。彼の父が私たちから彼を探しに来たら、私たちは彼を悪い獣が食い尽くしたと言うだろう。」
26 ルベンは兄弟たちがヨセフについて言っているのを聞いて、彼らに言った。「あなたたちはそんなことをしてはならない。どうして私たちは父ヤコブを敬うことができるだろうか。彼をこの穴に投げ込んで死なせなさい。しかし、彼の血を流すために手を伸ばしてはならない。」ルベンは、ヨセフを彼らの手から救い出し、父のもとに連れ戻すために、このように言ったのである。
27 ヨセフが兄弟たちのところへ来て座ると、彼らは立ち上がってヨセフを捕らえ、地面に打ち倒し、着ていた色とりどりの上着を剥ぎ取った。
28 彼らはヨセフを捕らえて穴に投げ込んだ。その穴には水はなく、蛇とサソリがいた。ヨセフは穴の中にいる蛇とサソリを恐れた。ヨセフが大声で叫ぶと、主は蛇とサソリを穴の壁に隠されたので、それらはヨセフに害を及ぼさなかった。
29 ヨセフは穴の中から兄弟たちに呼びかけ、こう言った。「わたしはあなたがたに何をしたというのか。わたしはどんな罪を犯したというのか。なぜわたしに関して主を畏れないのか。わたしはあなたがたの骨肉から生まれた者ではないか。ヤコブはあなたがたの父であり、わたしの父ではないか。なぜ今日、わたしにこのようなことをするのか。どうしてあなたがたは、わたしたちの父ヤコブを敬うことができるだろうか。」
30 彼は穴の中から兄弟たちに叫び、呼びかけ続け、言った。「ユダ、シメオン、レビよ、私の兄弟たちよ、あなたがたが私を置いた暗闇の場所から私を引き上げてください。主の子ら、私の父ヤコブの子らよ、今日来て私を憐れんでください。もし私があなたがたに罪を犯したとしても、あなたがたはアブラハム、イサク、ヤコブの子孫ではないか。彼らは孤児を見れば憐れみ、飢えている者を見ればパンを与え、渇いている者を見れば水を与え、裸の者を見れば衣服を与えたのだ。」
31 それなのに、どうしてあなたは兄弟への憐れみを差し控えるのですか。私はあなたと同じ肉親であり、もし私があなたに対して罪を犯したのなら、あなたはきっと私の父のためにそうしてくださるでしょう。
32 ヨセフは穴の中からこれらの言葉を語ったが、兄弟たちは彼の言葉に耳を傾けることができず、ヨセフの言葉に耳を澄ませることもできなかった。ヨセフは穴の中で泣き叫んでいた。
33 ヨセフは言った。「ああ、父よ、今日、兄弟たちが私にした行いと、私に言った言葉を知っておられたら。」
34 すると、彼の兄弟たちは皆、穴の中での彼の叫び声と泣き声を聞き、穴から出て行った。それは、穴の中でのヨセフの叫び声と泣き声を聞かないようにするためであった。

第 42 章

1 そして彼らは行って、弓矢の射程ほどの距離の反対側に座り、そこでパンを食べました。そして食事をしながら、彼をどうするか、殺すか、それとも彼の父のもとに連れ戻すかについて話し合いました。
2 彼らが協議しているとき、目を上げて見ると、遠くからイシュマエル人の一団がギレアデの道を通ってエジプトへ下って来るのが見えた。
3 ユダは彼らに言った、「兄弟を殺しても、私たちに何の益があるだろうか。もしかしたら、神は彼を私たちから取り去るかもしれない。だから、彼に関して提案された計画はこうだ。このイシュマエル人の一団がエジプトへ下っていくのを見よ。
4 それゆえ、彼を彼らに任せよう。我々の手は彼に及ばないようにしよう。彼らが彼を連れて行き、彼はこの地の民の中に紛れ込むだろう。我々は自らの手で彼を殺すことはしない。この提案は彼の兄弟たちを喜ばせ、彼らはユダの言葉どおりにした。
5 彼らがこの件について話し合っている間に、イシュマエル人の一団が彼らのところに来る前に、ミディアンの商人七人が彼らのそばを通りかかった。彼らは通り過ぎる際に喉が渇いたので、目を上げてヨセフが閉じ込められている穴を見た。彼らが見ると、あらゆる種類の鳥が彼の上に集まっていた。
6 ミディアン人たちは、その穴に水があると思って水を飲もうと走って行った。穴の前に来ると、穴の中でヨセフが泣き叫んでいる声が聞こえた。彼らが穴の中を覗き込むと、見よ、容姿端麗で愛らしい若者がいた。
7 彼らはヨセフを呼び、「あなたは誰ですか。誰があなたをここに連れてきたのですか。誰があなたをこの荒野の穴に投げ込んだのですか」と尋ねた。そして皆で協力してヨセフを起こし、穴から引き上げ、連れて行き、旅を続けて彼の兄弟たちのそばを通り過ぎた。

8 すると彼らは彼らに言った、「なぜこのようなことをするのか。私たちのしもべを私たちから連れ去って行くのか。確かに私たちはこの若者が私たちに反逆したために穴に投げ込んだのに、あなたたちは来て彼を引き上げて連れ去る。さあ、私たちのしもべを返してくれ。」
9 ミディアン人たちはヤコブの子らに答えて言った。「この男はあなたたちのしもべですか、それともあなたたちに仕えている者ですか。もしかしたら、あなたたち全員が彼のしもべなのかもしれません。彼はあなたたちの中で最も容姿端麗で、誰よりも恵まれているのですから。なぜあなたたちは皆、私たちに偽りを言うのですか。」
10 それゆえ、私たちはもうあなたの言葉に耳を傾けず、あなたに注意を払いません。私たちは荒野の穴の中でその若者を見つけ、彼を連れて行ったからです。ですから、私たちは先に進みます。
11 ヤコブの子らは皆彼らに近づき、立ち上がって言った。「私たちのしもべを返してください。なぜあなたたちは皆、剣の刃で死のうとするのですか。」ミディアン人は彼らに向かって叫び、剣を抜いてヤコブの子らと戦おうと近づいた。
12 すると、シメオンは彼らに向かって席から立ち上がり、地面に飛び降りて剣を抜き、ミディアン人に近づき、彼らの前で恐ろしい叫び声をあげた。その叫び声は遠くまで響き渡り、シメオンの叫び声で大地が揺れた。
13 ミディアン人たちはシメオンとその叫び声に恐れおののき、顔を地に伏せてひどく怯えた。
14 シメオンは彼らに言った。「まことに、私はヘブライ人ヤコブの子シメオンです。私は兄弟と共にシェケムの町とアモリ人の町々を滅ぼしました。神は私にも同じようにしてくださるでしょう。あなたがたの兄弟であるミディアンの民とカナンの王たちが皆あなたがたと共に来たとしても、彼らは私と戦うことはできないでしょう。」
15 それゆえ、あなたがたが連れ去った若者を返してください。さもないと、あなたがたの肉を空の鳥や地の獣に与えてしまいます。
16 ミディアン人はシメオンをますます恐れ、ヤコブの子らに恐怖と恐れと哀れな言葉で近づき、こう言った。
17 確かにあなたは、その若者はあなたのしもべであり、あなたに反逆したので穴に投げ込んだと言いました。では、主人に反逆するしもべをどうするつもりですか。ですから、彼を私たちに売ってください。そうすれば、あなたがたが求めるものをすべて差し上げましょう。主は、ヤコブの子らが兄弟を殺さないように、このことをお望みになったのです。
18 ミディアン人たちは、ヨセフが容姿端麗で、とても愛らしいのを見て、心の中で彼を欲しがり、彼の兄弟たちから彼を買い取ろうと躍起になった。
19 ヤコブの子らはミディアン人の言うことを聞き、兄弟ヨセフを銀二十枚で彼らに売り渡した。兄弟ルベンは彼らと一緒にいなかった。ミディアン人はヨセフを連れてギレアデへ旅を続けた。
20 彼らが道を進んでいくと、ミディアン人たちは若者を買い取ったことを悔い改め、互いに言った。「我々は、容姿端麗で愛らしいこの若者をヘブライ人から奪い取ったが、これは一体何をしたのだろうか。」
21 もしかしたらこの若者はヘブライ人の地から盗まれたのかもしれない。それならば、なぜ我々はこのようなことをしたのか。もし彼が捜索されて我々の手に捕らえられたら、我々は彼のために滅びるだろう。
22 確かに、今日あなたが見たような力強い男たちが、彼を私たちに売り渡したのです。おそらく彼らは、その力と腕力で彼をその土地から盗み出し、私たちが彼らに支払ったわずかな代価で彼を私たちに売り渡したのでしょう。
23 彼らがこのように話し合っていると、彼らが目をやると、最初にやって来たイシュマエル人の一団、ヤコブの子らが見た一団が、ミディアン人の方へ進んできていた。ミディアン人は互いに言った。「さあ、こちらに向かって来ているイシュマエル人の一団にこの若者を売ろう。そうすれば、彼のために与えたわずかな金を取り戻し、彼の悪事から逃れることができるだろう。」
24 彼らはそのようにしてイシュマエル人のところへ行き、ミディアン人はヨセフをイシュマエル人に銀二十枚で売り渡した。その銀は、彼らがヨセフのために兄弟たちに与えていたものであった。
25 ミディアン人はギレアデへ向かう途中、イシュマエル人はヨセフを連れて行き、ラクダの一頭に乗せてエジプトへ連れて行った。
26 ヨセフはイシュマエル人がエジプトに向かっていると聞き、カナンの地、父から遠く離れることになるこのことを嘆き悲しみ、ラクダに乗っている間も激しく泣いていた。すると、彼らのうちの一人が彼に気づき、ラクダから降りて歩かせた。それでもヨセフは泣き続け、「わが父よ、わが父よ」と言った。
27 すると、イシュマエル人の一人が立ち上がり、ヨセフの頬を打った。それでもヨセフは泣き続けた。ヨセフは道中で疲れ果て、心の苦しみのために先に進むことができなかった。彼らは皆、道中でヨセフを殴り、苦しめ、泣き止ませようと脅した。
28 主はヨセフの野心と苦難をご覧になり、彼らに暗闇と混乱を下された。ヨセフを打った者の手は皆、萎えてしまった。
29 彼らは互いに言った。「道で神が私たちにしてくださったこのことは、一体どういうことなのだろうか。」彼らは、これがヨセフのせいで起こったことを知らなかった。そして、一行は道を進み、ラケルが葬られたエフラタの道を通った。
30 ヨセフは母の墓に着くと、急いで母の墓に駆け寄り、墓の上にひれ伏して泣いた。

31 ヨセフは母の墓の上で大声で泣き叫び、「わが母よ、わが母よ、私を生んでくれた人よ、今目を覚まして起き上がり、あなたの息子が奴隷として売られ、誰も彼を憐れんでくれないのを見てください」と言った。
32 立ち上がってあなたの息子を見てください。私の苦しみのために私と共に泣いてください。そして私の兄弟たちの心を見てください。
33 母よ、目を覚ませ、私のために眠りから覚め、兄弟たちと戦ってください。ああ、彼らは私の服を剥ぎ取り、二度も奴隷として売り飛ばし、父から引き離し、私を憐れんでくれる者は誰もいません。
34 立ち上がって、神の前に彼らを訴えなさい。そうすれば、神が裁きにおいて誰を義とし、誰を罪に定めるかが分かるだろう。
35 起きてください、母よ、起きてください、眠りから目覚めて、父の魂が今日私と共にいるのを見て、父を慰め、心を安らかにしてください。
36 ヨセフはこれらの言葉を語り続け、母の墓の上で大声で泣き、激しく泣きました。そして、彼は話すのをやめ、心の苦しみから、墓の上の石のように静かになりました。
37 するとヨセフは地の下から自分に語りかける声を聞いた。その声は心の苦しみと、泣きながら祈る声で、次のように答えた。
38 わが子よ、わが子ヨセフよ、わたしはあなたの泣き声と嘆きの声を聞き、あなたの涙を見た。わが子よ、わたしはあなたの苦しみを知っており、あなたのために心を痛め、わたしの悲しみにさらに深い悲しみが加わった。
39 それゆえ、わが子よ、わが子ヨセフよ、主を待ち望み、主を待ち望め。恐れてはならない。主はあなたと共におられ、あなたをあらゆる苦難から救い出してくださる。
40「わが子よ、立ち上がりなさい。あなたの主人たちと共にエジプトへ下りなさい。恐れることはない。わが子よ、主があなたと共におられるのだから。」そして彼女はヨセフにこれらの言葉を続け、静かになった。
41 ヨセフはこれを聞いて、大変驚き、泣き続けた。その後、イシュマエル人の一人が、彼が墓の上で泣き叫んでいるのを見て、彼に対して怒りを燃やし、彼を追い出し、殴り、呪った。
42 ヨセフは人々に言った。「どうか私を父の家に帰らせてください。そうすれば父はあなた方にたくさんの富を与えてくれるでしょう。」
43 彼らは答えて言った、「お前は奴隷ではないのか。お前の父はどこにいるのか。もしお前に父がいたなら、二度もこんなわずかな値段で奴隷として売られることはなかっただろう。」そして彼らはますます怒りを募らせ、彼を打ち、懲らしめ続けた。ヨセフは激しく泣いた。
44 主はヨセフの苦難をご覧になり、再びこの人たちを打ち、懲らしめられた。主は地上を暗闇で覆い、稲妻が閃き、雷鳴が轟き、雷鳴と激しい風の声で大地が揺れ動いた。人々は恐れおののき、どこへ行けばよいのか分からなかった。
45 すると、獣やラクダは立ち止まり、彼らはそれらを導こうとしたが、それらは進もうとしなかった。彼らはそれらを打ち、それらは地面にうずくまった。人々は互いに言った、「神は私たちに何ということをなさったのか。私たちの背きと罪は何なのか。なぜこのようなことが私たちに起こったのか。」
46 すると、彼らのうちの一人が答えて言った。「おそらく、この奴隷を苦しめた罪のために、今日このようなことが私たちに起こったのでしょう。ですから、どうか彼に私たちを許してくださるよう強く懇願してください。そうすれば、誰のせいでこのような災いが私たちに降りかかったのかが分かるでしょう。もし神が私たちを憐れんでくださるなら、このすべてがこの奴隷を苦しめた罪のために私たちに起こったのだと分かるでしょう。」
47 そこで男たちはそのようにして、ヨセフに懇願し、許しを請い求め、こう言った。「私たちは主にもあなたにも罪を犯しました。ですから、どうかあなたの神に、私たちの間からこの死を取り除いてくださるようにお願いしてください。私たちは神に罪を犯したのですから。」
48 ヨセフは彼らの言葉どおりに行い、主はヨセフの願いを聞き入れ、ヨセフのゆえに彼らに下した災いを取り除かれた。獣たちは地から立ち上がり、彼らを導き、彼らは進み、激しい嵐は静まり、大地は穏やかになった。人々はエジプトへ下る旅を続け、この災いがヨセフのゆえに自分たちに降りかかったことを知った。
49 彼らは互いに言った。「見よ、この災いが我々に降りかかったのは、彼の苦しみのせいだと我々は知っている。それなのに、なぜ今、我々自身が死を招くようなことをしなければならないのか。この奴隷をどうするか、相談しよう。」
50 すると、一人が答えて言った。「確かに彼は、彼を父親のところへ連れて帰るようにと言いました。ですから、さあ、彼を連れ戻しましょう。そして、彼が私たちに言う場所へ行き、彼の家族から彼のために支払った代価を受け取ってから、私たちは立ち去ります。」
51 すると、また一人が答えて言った。「この助言は大変良いのですが、私たちにはできません。道は私たちからとても遠く、私たちは自分の道から外れることができないのです。」
52 すると、もう一人が答えて言った。「これが取るべき助言です。私たちはそれから離れません。見よ、私たちは今日エジプトへ行きます。エジプトに着いたら、そこで彼を高値で売り、彼の悪から救われるでしょう。」
53 このことが男たちの喜びとなり、彼らはそのようにして、ヨセフと共にエジプトへの旅を続けた。

第 43 章

1 ヤコブの子らは兄弟ヨセフをミディアン人に売り渡したが、彼のことで心を痛め、自分たちの行いを悔い改め、彼を取り戻そうと探し回ったが、見つけることができなかった。
2 ルベンはヨセフを引き上げ、父のもとに返すために、ヨセフが投げ込まれた穴に戻った。ルベンは穴のそばに立っていたが、何の音も聞こえなかった。そこで彼は「ヨセフ！ヨセフ！」と叫んだが、誰も答えず、一言も発しなかった。
3 ルベンは言った、「ヨセフは恐怖で死んだか、あるいは蛇に殺されたのだ」。そしてルベンは穴に降りてヨセフを探したが、穴の中では見つけることができず、再び出てきた。
4 ルベンは衣を裂いて言った。「あの子はそこにいない。もしあの子が死んでしまったら、どうやって父をなだめようか。」そして兄弟たちのところへ行ってみると、彼らはヨセフのことで悲しんでおり、どうやって父をなだめようかと相談していた。ルベンは兄弟たちに言った。「私は穴に行ってみたが、ヨセフはそこにいなかった。それでは父に何と言えばよいのか。父は私からあの子を探し出すだろう。」
5 すると兄弟たちは答えて言った、「私たちはそのようにしましたが、その後、この行いのせいで心が痛みました。それで今、父にこのことをどう認めてもらうか口実を探しているのです。」
6 ルベンは彼らに言った。「あなたがたは、私たちの父の白髪を悲しみに沈めて墓に葬るために、何をしたのですか。あなたがたのしたことは良くありません。」
7 ルベンは彼らと共に座っていたが、彼らは皆立ち上がり、このことをヤコブに話さないと互いに誓い合った。そして皆で言った、「もしこのことを私たちの父やその家族に話したり、この地の誰かに報告したりする者がいれば、私たちは皆立ち上がって剣で殺すだろう」
8 ヤコブの子らは、このことに関して互いに恐れ合い、最年少から最年長まで、誰も口を開かず、心の中にこのことを隠した。
9 その後、彼らは座って、これらのことすべてについて父ヤコブに言うべきことを話し合って考え出した。
10 イッサカルは彼らに言った。「もしあなたがたがこのことをするのが良いと思うなら、ヨセフの服を取り、それを裂き、子ヤギを殺して、その血に浸しなさい。」
11 そしてそれを私たちの父に送ってください。父はそれを見ると、悪い獣が彼を食い尽くしたと言うでしょう。ですから、彼の外套を引き裂いてください。見よ、彼の血が外套に付着するでしょう。あなたがたがこのようにすれば、私たちは父の不平不満から解放されるでしょう。
12 イッサカルの助言は彼らに喜ばれ、彼らは彼の言葉に耳を傾け、イッサカルが彼らに助言したとおりに行動した。
13 彼らは急いでヨセフの衣を取り、それを引き裂き、子ヤギを殺し、その衣を子ヤギの血に浸し、それを塵の中に踏みつけ、ナフタリの手によって父ヤコブにその衣を送り、彼に次の言葉を言うように命じた。
14 私たちは家畜を集めてシェケムへの道まで、さらにその先まで来たとき、荒野の道端で血と塵に染まったこの上着を見つけました。ですから、これがあなたの息子の上着かどうか教えてください。
15 ナフタリは父のところへ行き、父に上着を渡し、兄弟たちから命じられたすべての言葉を父に告げた。
16 ヤコブはヨセフの服を見て、それがヨセフの服だと分かり、顔を地に伏せて石のように動かなくなった。それから立ち上がり、泣きながら大声で叫んで言った。「これは私の息子ヨセフの服だ！」
17 ヤコブは急いで、しもべの一人を息子たちのところに遣わした。しもべは息子たちのところへ行き、彼らが羊の群れを連れて道を歩いているのを見つけた。
18 ヤコブの子らは夕方頃父のところにやって来たが、見よ、彼らの衣服は裂け、頭には塵が積もっており、父が大声で泣き叫んでいるのを見つけた。
19 ヤコブは息子たちに言った。「今日、突然私にどんな災いをもたらしたのか、正直に話してくれ。」息子たちは父ヤコブに答えて言った。「今日、羊の群れを集めた後、荒野の道を通ってシェケムの町まで来たとき、地面に血で染まったこの上着を見つけました。私たちはそれが何であるかを知っていたので、あなたに知らせようと思って送りました。」
20 ヤコブは息子たちの言葉を聞いて大声で叫び、「これは私の息子の服だ。獣が彼を食い尽くしたのだ。ヨセフは引き裂かれてしまった。今日、あなたたちの様子や羊の群れの様子を確かめ、あなたたちから知らせを持ってくるようにと彼を遣わしたのだが、彼は私の命令通りに出て行った。息子があなたたちと一緒にいると思っていた間に、今日、彼にこのようなことが起こったのだ」と言った。
21 するとヤコブの子らは答えて言った、「彼は私たちのところには来ませんでした。私たちがあなたのもとを出てから今まで、彼を見たこともありません。」
22 ヤコブは彼らの言葉を聞くと、再び大声で叫び、立ち上がって衣を引き裂き、腰に粗布をまとい、激しく泣き、嘆き悲しみ、泣きながら声を張り上げて叫び、こう言った。
23 わが子ヨセフよ、わが子ヨセフよ、わたしは今日、兄弟たちの幸福のためにあなたを遣わしたのに、見よ、あなたは引き裂かれてしまった。わが子にこのようなことが起こったのは、わたしの手によるものである。
24 わが子ヨセフよ、あなたのために私は悲しむ。あなたのために私は悲しむ。あなたは生きている間、

私にとってどれほど愛おしい存在だったことか。そして今、あなたの死は私にとってどれほど苦いことか。
25 O 我が子ヨセフよ、お前の代わりに私が死んでいればよかったのに。我が子よ、お前のために私はひどく悲しんでいる。我が子ヨセフよ、お前はどこにいるのか、どこに引き寄せられたのか。起きろ、起きろ、お前のところから来て、私のお前に対する悲しみを見てくれ、我が子ヨセフよ。
26 さあ、私の目から頬を伝って流れ落ちる涙を数えて、それを主の御前に持ってきてください。そうすれば、主の怒りは私から離れるでしょう。
27 O わが子ヨセフよ、どうしてあなたは、世の初めから今日まで誰も倒れたことのない者の手によって倒れたのか。あなたは残酷な仕打ちを受け、敵の攻撃によって殺された。しかし、私は確かに、これが私の多くの罪のためにあなたに起こったことを知っている。
28 わが子よ、目を覚まして、あなたのために私がどれほど苦しむかを見よ。わたしはあなたを育てたわけでも、形作ったわけでも、息と魂を与えたわけでもない。神があなたを形作り、骨を造り、肉で覆い、鼻に命の息を吹き込み、そしてあなたをわたしに与えたのだ。
29 まことに、あなたを私に与えてくださった神は、あなたを私から取り去られました。それで、あなたにはこのようなことが起こったのです。
30 ヤコブはヨセフについてこれらの言葉を続け、激しく泣き、地に倒れて静かになった。
31 ヤコブの息子たちは皆、父の苦しみを見て、自分たちの行いを悔い改め、激しく泣いた。
32 ユダは立ち上がり、父の頭を地面から持ち上げて自分の膝の上に置き、父の頬から涙を拭った。ユダは激しく泣き、父の頭は石のように動かずに膝の上に横たわっていた。
33 ヤコブの子らは父の苦しみを見て、声を上げて泣き続けたが、ヤコブは石のように地面に横たわっていた。
34 彼の息子たち、しもべたち、しもべの子どもたちは皆立ち上がり、彼を慰めようと周りに立ったが、彼は慰められることを拒んだ。
35 ヤコブの家族全員が立ち上がり、ヨセフと父の苦難のために大いに嘆き悲しんだ。この知らせはヤコブの父アブラハムの子イサクにも届き、彼と家族全員がヨセフのために激しく泣き、ヘブロンの住まいから家臣たちと共に出て行き、息子ヤコブを慰めたが、ヤコブは慰めを受け入れようとしなかった。
36 その後、ヤコブは地面から立ち上がり、涙を流しながら息子たちに言った。「立ち上がって剣と弓を取り、野に出て行って、私の息子の遺体を見つけられるかどうか探し、見つけたら私のところに連れてきてくれ。私がそれを埋葬する。」
37 どうか、獣の中から探し出して狩り、最初に現れたものを捕らえて私のところへ持ってきてください。そうすれば、主は今日、私の苦しみを憐れみ、私の息子を引き裂いたものをあなたの前に用意してくださるかもしれません。それを私のところへ持ってきてください。そうすれば、私は息子の仇を討ちます。
38 すると息子たちは父の命令どおりに、朝早く起きて、それぞれ剣と弓を手に取り、野原へ狩りに出かけた。
39 ヤコブはなおも大声で泣き叫び、家の中を行ったり来たりしながら、両手を打ち合わせ、「わが子ヨセフ、わが子ヨセフ」と叫んでいた。
40 ヤコブの子らは獣を捕らえるために荒野へ行った。すると、一匹の狼が彼らのほうへやって来た。彼らは狼を捕らえ、父のところへ連れて行き、父に言った。「これが私たちが見つけた最初の狼です。あなたが命じられたとおり、あなたのところへ連れてきました。あなたの息子の遺体は見つかりませんでした。」
41 ヤコブは息子たちの手から獣を取り上げ、獣を手に持ちながら大声で泣き叫び、獣に向かって苦々しい思いで言った。「なぜお前は私の息子ヨセフを食い尽くしたのか。なぜお前は地の神を恐れず、私の息子ヨセフのことで私が苦しんでいることを恐れなかったのか。」
42 あなたは私の息子をむやみに食い殺した。息子は暴力を振るっていなかったのに、それによって私を息子のせいで罪に問うた。だから神は迫害された者を罰するだろう。
43 主はヤコブを慰めるために獣の口を開かれ、獣はヤコブに答えて、彼にこう言われた。
44 地上に私たちを創造された神にかけて、またあなたの魂にかけて、わが主よ、私はあなたの息子を見ませんでしたし、彼を引き裂いたこともありません。今日私のもとを去った息子を探しに、遠い国からやって来たのです。息子が生きているのか死んでいるのか、私にはわかりません。
45 今日、私は息子を探しに野原へ出かけましたが、あなた方の息子たちが私を見つけ、私を捕らえ、私の悲しみを増し加え、今日私をあなたの前に連れてきました。そして今、私はあなた方に私のすべての言葉を話しました。
46 それゆえ、人の子よ、わたしはあなたの手に委ねられています。今日、あなたの目に良いと思われるようにわたしにしてください。しかし、わたしを創造された神の命にかけて誓いますが、わたしはあなたの息子を見たこともなく、彼を引き裂いたこともなく、わたしの生涯で人の肉を口にしたこともありません。
47 ヤコブは獣の言葉を聞いて大変驚き、獣を手から放ったので、獣は去って行った。
48 ヤコブは日ごとにヨセフのために大声で泣き叫び、息子のために何日も嘆き悲しんだ。

第 44 章

1 イシュマエルの息子たちは、ヨセフをミディアン人から買い取り、さらにその兄弟たちからヨセフを買い取ったのだが、ヨセフと共にエジプトへ行き、エジプトの国境に着いた。エジプトに近づいた時、彼らはエジプトの地から旅に出ていたアブラハムの子メダンの息子たちのうちの四人の男たちに出会った。
2 イシュマエル人たちは彼らに言った、「この奴隷を我々から買いたいですか」。彼らは言った、「彼を我々に引き渡してください」。彼らはヨセフを彼らに引き渡した。彼らはヨセフを見て、とても美しい若者であることを知って、彼を二十シェケルで買い取った。
3 イシュマエル人はエジプトへの旅を続け、メダニム人もその日エジプトに帰った。メダニム人は互いに言った。「見よ、我々は、ファラオの役人であり、護衛隊長であるポティファルが、自分の前に立って仕え、自分の家と所有物すべてを監督する良いしもべを探していると聞いた。」
4 さあ、さあ、彼を彼に売って、我々が望むものを彼に与えよう。
5 そこでメダニムたちはポティファルの家に行き、彼に言った。「あなたが仕える良いしもべを探していると聞きました。ご覧ください、私たちにはあなたを喜ばせるしもべがおります。もしあなたが私たちの望むものを与えてくださるなら、彼をあなたに売ります。」
6 ポティファルは言った、「彼を私のところへ連れて来なさい。私が彼に会って、もし彼が私の気に入れば、あなたが彼のために求めるものを与えよう。」
7 メダニムの人々はヨセフを連れてきてポティファルの前に立たせた。ポティファルは彼を見て、大変気に入った。そして彼らに言った、「この若者のために何が必要か教えてください。」
8 彼らは言った、「私たちは彼を銀貨 400 枚で買いたいのです」。ポティファルは言った、「もしあなたがたが彼の売買記録を持ってきて、彼の経歴を話してくれるなら、それを渡そう。彼は盗まれたのかもしれない。この若者は奴隷でも奴隷の息子でもなく、私は彼に美しく立派な容姿を見ているからだ」。
9 メダニム人は行って、彼を自分たちに売ったイシュマエル人たちをイエスのところに連れてきて、こう言った。「彼は奴隷で、私たちは彼を彼らに売りました。」
10 ポティファルはイシュマエル人の言葉を聞き、銀をメダニム人に与えた。メダニム人は銀を受け取って旅を続け、イシュマエル人も故郷へ帰った。
11 ポティファルはヨセフを自分の家に連れて行き、仕えさせた。ヨセフはポティファルの目に留まり、ポティファルは彼を信頼し、自分の家の管理人に任命し、自分の所有するすべてのものをヨセフの手に委ねた。
12 主はヨセフと共におられ、ヨセフは裕福な人となり、主はヨセフのゆえにポティファルの家を祝福された。
13 ポティファルは自分の持ち物すべてをヨセフに任せた。ヨセフは物の出入りを管理する者であり、ポティファルの家ではすべてのことが彼の意のままに行われた。
14 ヨセフは 18 歳で、美しい目と端正な容姿を持つ若者であり、エジプト全土に彼のような者はいなかった。
15 その時、ヨセフが主人の家にいて、家を出入りして主人の世話をしていたとき、主人の妻ゼリカがヨセフの方に目を上げて彼を見ると、見よ、彼は美しく容姿端麗な若者であった。
16 そして彼女は心の中で彼の美しさを欲しがり、彼女の魂はヨセフに釘付けになり、彼女は日ごとに彼を誘惑し、ゼリカは毎日ヨセフを説得したが、ヨセフは主人の妻を見ようと目を向けなかった。
17 ゼリカは彼に言った。「あなたの容姿はなんと美しいことでしょう。私はすべての奴隷を見てきましたが、あなたほど美しい奴隷は見たことがありません。」ヨセフは彼女に言った。「確かに、母の胎内で私を創造した方は、すべての人類を創造したのです。」
18 彼女は彼に言った、「あなたの目はなんと美しいのでしょう。あなたはエジプトのすべての住民、男も女も、その目で魅了しました。」 彼は彼女に言った、「私たちが生きている間は、その目はなんと美しいことでしょう。しかし、墓の中でそれを見たら、きっとあなたはそこから遠ざかるでしょう。」
19 彼女は彼に言った、「あなたの言葉はどれも美しく、心地よいものです。どうぞ、家にある竪琴を取って、手で弾いて、あなたの言葉を聞かせてください。」
20 彼は彼女に言った、「わたしがわたしの神とその栄光を賛美するとき、わたしの言葉はなんと美しく、喜ばしいことでしょう。」すると彼女は彼に言った、「あなたの頭の髪はなんと美しいことでしょう。ご覧ください、この家に金の櫛があります。どうぞそれを取って、あなたの頭の髪をとかしてください。」
21 彼は彼女に言った、「いつまでそのようなことを言うつもりか。私にそのようなことを言うのをやめて、立ち上がって家のことをしなさい。」
22 彼女は彼に言った、「私の家には誰もいませんし、あなたの言葉と願い以外に気を配るものは何もありません」。しかし、彼女はヨセフを自分のところに連れてくることができず、ヨセフも彼女に目を向けず、地面に目を落としていた。
23 ゼリカは心の中でヨセフに自分と寝てほしいと願った。ヨセフが家で仕事をしているとき、ゼリカはやって来て彼の前に座り、毎日言葉で彼を誘惑して、自分と寝るように、あるいは少なくとも自分を見るようにと頼んだが、ヨセフは彼女の言うことを聞かなかった。
24 彼女は彼に言った、「もしあなたが私の言葉に従わないなら、私はあなたを死刑で懲らしめ、鉄のくびきをあなたに負わせるでしょう。」

25 ヨセフは彼女に言った。「確かに、人を創造した神は囚人の鎖を解く方です。そして、その方が私をあなたの牢獄とあなたの裁きから救い出してくださるでしょう。」
26 そして彼女は彼を説得することができず、彼女の心は依然として彼に囚われていたので、彼女の欲望は彼女を重い病気に陥らせた。
27 エジプト中の女たちが彼女を訪ねてきて、彼女に言った。「なぜあなたはこんなに衰えた身なりをしているのですか。あなたは何も不足していないのに。あなたの夫は王の目に偉大で尊敬されている王子であるのに、あなたの心に望むもので何か不足しているものがあるでしょうか。」
28 ゼリカは彼らに答えて言った、「今日、あなたがたに、私が今陥っているこの混乱の原因が明らかになるでしょう」そして彼女は女中たちにすべての女性のために食事を用意するように命じ、彼女たちのために宴会を催した。そしてすべての女性はゼリカの家で食事をした。
29 そして彼女は、シトロンの皮をむいて食べるためにナイフを彼女たちに与え、ヨセフに高価な衣服を着せて、彼女たちの前に現れるように命じた。ヨセフが彼女たちの前に現れると、女たちは皆ヨセフを見て、彼から目を離すことができなかった。そして彼女たちは皆、手に持っていたナイフで手を切ってしまい、手に持っていたシトロンはすべて血で満たされた。
30 彼らは自分たちが何をしたのかも分からず、ヨセフの美しさに見とれ、目をそらさなかった。
31 ゼリカは彼らの行いを見て、彼らに言った。「あなたたちは何をしたのですか。見なさい、私はあなたたちにシトロンを食べさせたのに、あなたたちは皆手を切ってしまいました。」
32 すると、女たちは皆、彼らの手を見ると、血でいっぱいで、血が衣服に流れ落ちていた。そして、女たちは彼女に言った。「あなたの家のこの奴隷は私たちを魅了しました。私たちは彼の美しさに目をそらすことができませんでした。」
33 彼女は彼らに言った。「確かに、あなたがたは彼を見た瞬間に、彼から目を離すことができなかった。それなのに、彼がいつも私の家にいて、毎日私の家に出入りしているのを見ている私が、どうして彼から目を離すことができようか。どうして私は、このことで衰えたり、滅びたりせずにいられるだろうか。」
34 すると彼らは彼女に言った、「その言葉は真実です。この美しい姿を家の中で見て、彼から遠ざかることができる人がいるでしょうか。彼はあなたの家の召使いではありませんか。なぜあなたは心の内を彼に告げず、このことで自分の魂を滅ぼそうとするのですか。」
35 彼女は彼らに言った、「私は毎日彼を説得しようと努めていますが、彼は私の願いを聞き入れてくれません。私は彼にあらゆる良いことを約束しましたが、それでも彼は何の返事もくれませんでした。ですから、ご覧のとおり、私は衰弱しているのです。」
36 ゼリカはヨセフへの想いのためにひどく病気になり、ヨセフのことでひどく恋煩いになった。ゼリカの家の者たちと夫は、ゼリカがヨセフへの愛のために病気になったことを全く知らなかった。
37 すると、彼女の家の人々は皆彼女に尋ねて言った。「なぜあなたは病気で衰弱しているのですか。何も不足していないのですか。」彼女は彼らに言った。「私に日ごとに重くのしかかるこのことは、私にはわかりません。」
38 すると、女たちと彼女の友人たちは毎日彼女を訪ねてきて、彼女と話をした。彼女は彼女たちに言った、「これはヨセフの愛によるものに違いない」。すると彼女たちは彼女に言った、「彼を誘い出して、ひそかに捕まえなさい。そうすれば、彼はあなたの言うことを聞き、あなたから死を遠ざけてくれるかもしれない」。
39 ゼリカはヨセフへの愛ゆえにますます悪化し、衰弱し続け、ついには立つことさえほとんどできなくなった。
40 ある日、ヨセフが主人の仕事を家でしていたとき、ゼリカがひそかにやって来て、突然ヨセフに襲いかかった。ヨセフは彼女に立ち向かい、彼女よりも力強かったので、彼女を地面に倒した。
41 ゼリカは彼に対する心の願いのために泣き、泣きながら彼に懇願し、涙を流しながら、嘆願の声と心の苦しみをもって彼に語りかけ、
42 あなたは、私ほど美しい女性、あるいは私よりも美しい女性を、これまで聞いたことがあるだろうか、見たことがあるだろうか、あるいは、毎日あなたに話しかけ、あなたへの愛ゆえに衰え、あなたにこれほどの栄誉を与えている女性を、あなたはまだ私の声に耳を傾けようとしないのか。
43 もしそれが、あなたの主人があなたを罰することを恐れてのことなら、王が生きている限り、このことであなたの主人からあなたに危害が及ぶことはないでしょう。ですから、どうか私の言うことを聞き、私があなたに与えた名誉のために同意し、この死を私から遠ざけてください。なぜ私はあなたのために死ななければならないのですか？ そして彼女は話すのをやめた。
44 ヨセフは彼女に答えて言った、「私に頼まないでください。このことは主人にお任せします。見てください、主人は家の中で私の持ち物を何も知りません。主人の持ち物はすべて私の手に渡されているのですから、どうして主人の家でこのようなことができるでしょうか。」
45 彼はまた、自分の家で私を大いに敬い、自分の家の監督者に任命し、私を高めてくれた。この家には私より偉い者はいない。私の主人は、あなたの妻を除いて、私に何も禁じていない。それなのに、どうしてあなたは私にこのようなことを言うのか。どう

して私は、神とあなたの夫に対して、このような大きな悪と罪を犯すことができるだろうか。
46 だから、もう私から離れて、二度とこのような言葉を口にしないでください。私はあなたの言葉に耳を傾けません。しかし、ゼリカはヨセフがこれらの言葉を言っても聞き入れず、毎日彼を誘惑して自分の話を聞かせようとした。
47 その後、エジプトの川は四方八方から水で満たされ、エジプトの住民は皆出て行った。王や王子たちもタンバリンを鳴らし、踊りながら出て行った。エジプトでは大喜びで、シホルの海が氾濫した時は祝祭日だった。人々は一日中そこで祝った。
48 エジプト人たちがいつものように川へ喜びに出かけたとき、ポティファルの家の者は皆彼らと一緒に行ったが、ゼリカは「体調が悪い」と言って一緒には行かず、家に一人で残った。家には彼女以外に誰もいなかった。
49 彼女は立ち上がり、家の中の神殿に上り、王女の衣をまとい、頭に銀と金がはめ込まれたオニキスの宝石を飾り、顔と肌をあらゆる種類の女性用の清めの液体で美しくし、神殿と家の中をシナモンと乳香で香らせ、没薬とアロエを撒き散らした。その後、彼女は神殿の入り口、ヨセフが仕事をするために通る家の通路に座った。すると、ヨセフが畑から来て、主人の仕事をするために家に入った。
50 彼は通らなければならない場所に着き、ゼリカのすべての仕事を見て、引き返した。
51 ゼリカはヨセフが自分から背を向けるのを見て、彼に呼びかけて言った。「ヨセフ、どうしたの？仕事に戻りなさい。あなたが席に着くまで、私があなたのために場所を空けてあげましょう。」
52 ヨセフは戻って家に行き、そこから自分の席に着き、いつものように主人の仕事をするために座った。すると、ゼリカが王女の衣を着て彼のところに来て、彼の前に立った。彼女の衣の香りは遠くまで漂っていた。
53 彼女は急いでヨセフとその衣服をつかみ、彼に言った。「王にかけて誓うが、もし私の願いを聞き入れなければ、あなたは今日死ぬことになる。」そして急いでもう一方の手を伸ばし、衣服の下から剣を抜き、ヨセフの首に当てて言った。「立ち上がって私の願いを聞き入れなさい。さもなければ、あなたは今日死ぬことになる。」
54 ヨセフはゼリカがこのようなことをしたので恐れ、彼女から逃げようと立ち上がった。ゼリカはヨセフの衣服の前をつかんだ。ヨセフは逃げる恐怖で、つかんだ衣服が裂けてしまった。ヨセフは衣服をゼリカの手に残し、恐れて逃げ出した。
55 ゼリカはヨセフの衣服が破れており、それを自分の手に残して逃げたのを見て、自分のことが噂されるのではないかと恐れ、立ち上がって機転を利かせ、着ていた衣服を脱ぎ捨て、別の衣服を着た。
56 彼女はヨセフの服を取り、それを自分のそばに置き、家の人々が川へ出かける前に病気で座っていた場所に戻って座り、家にいた若い男を呼び、家の人々を自分のところに呼ぶように命じた。
57 彼女は彼らを見ると、大声で嘆きながら言った。「あなたたちの主人がヘブライ人を家に連れてきたのを見てください。彼は今日、私と寝るために来たのです。」
58 あなたが出て行った後、彼は家に来て、家に誰もいないのを見て、私のところに来て、私を捕まえ、私と寝ようとしたのです。
59 そこで私は彼の衣服をつかんで引き裂き、大声で彼に叫びました。私が声を上げると、彼は命の危険を感じ、衣服を私の前に残して逃げました。
60 彼女の家の人々は何も言わなかったが、ヨセフに対する怒りはますます燃え上がり、彼の主人のところへ行って、彼の策略の言葉を告げた。
61 ポティファルは激怒して家に帰ってきた。妻は彼に叫んで言った。「あなたは私に何をしたのですか。酒を注ぐ召使いを私の家に連れてきたのです。彼は今日、私と戯れるためにやって来て、私にこのようなことをしたのです。」
62 ポティファルは妻の言葉を聞いて、ヨセフに厳しい鞭打ちの刑を命じ、人々はそのようにヨセフを罰した。
63 彼らがヨセフを打っている間、ヨセフは大声で叫び、天を見上げて言った。「主なる神よ、あなたは私がこれらのことすべてにおいて無実であることをご存じです。なぜ私は今日、あなたがご存じの割礼を受けていない悪人たちの手によって、偽りによって死ななければならないのでしょうか。」
64 ポティファルの部下たちがヨセフを打っている間、ヨセフは泣き叫び続けた。そこに生後 11 ヶ月の子供がいた。主はその子の口を開かせ、ヨセフを打っていたポティファルの部下たちの前で、こう言わせた。
65 あなた方はこの男に何を望んでいるのか、なぜ彼にこのような悪事を働くのか。私の母は偽りを語り、嘘をつく。こうして事は起こった。
66 その子は起こったことすべてを正確に彼らに話し、ゼリカがヨセフに言った言葉を毎日彼らに告げた。
67 すると、男たちは皆その子供の言葉を聞いて、その言葉に大変驚いた。すると子供は話すのをやめて静かになった。
68 ポティファルは息子の言葉に非常に恥じ入り、部下にヨセフをもう打たないように命じたので、部下たちはヨセフを打つのをやめた。
69 ポティファルはヨセフを捕らえ、この件について彼を裁くために、王に属する裁判官である祭司たちの前に彼を連れて行くように命じた。
70 ポティファルとヨセフは王の裁判官である祭司たちの前に出て、彼らに言った。「どうか、しもべがこのようなことをしたのだから、どのような裁きを受けるべきか決めてください。」
71 祭司たちはヨセフに言った。「なぜあなたは主人にこのようなことをしたのか。」ヨセフは彼らに答えて言った。「主よ、そうではありません。事の次

第はこうです。」ポティファルはヨセフに言った。「確かに私は自分の持ち物すべてをあなたに託し、妻以外は何も隠さなかった。どうしてあなたはこのような悪事を働いたのか。」

72 するとヨセフは答えて言った、「主よ、主は生きておられ、あなたの魂も生きておられます。あなたが妻から聞いた言葉は真実ではありません。今日の出来事はこうでした。」

73 あなたの家に滞在してから一年が経ちました。私の中に何か不正や、命を奪うようなことがありましたか?

74 祭司たちはポティファルに言った。「どうか、ヨセフの裂けた衣を私たちの前に持って来させてください。その裂け目を見させてください。もし裂け目が衣の前面にあるならば、ヨセフの顔は彼女の方を向いていたに違いありません。そして彼女はヨセフをつかんで自分のところに引き寄せたに違いありません。あなたの妻は言ったことすべてを欺いて行ったのです。」

75 そこで彼らはヨセフの衣を裁判官である祭司たちの前に持って来た。祭司たちが見ると、ヨセフの前に裂け目があり、裁く祭司たちは皆、彼女が彼を締め付けたことを知って言った。「この奴隷は何もしていないので、死刑に処されるべきではない。しかし、彼を通してあなたの妻に対して広まった噂のために、彼を牢獄に入れるべきだ。」

76 ポティファルは彼らの言葉を聞き、ヨセフを王の囚人が閉じ込められる牢獄に入れた。ヨセフは 12 年間、その牢獄にいた。

77 それにもかかわらず、主人の妻は彼から離れず、毎日彼に話しかけて彼の言うことを聞かせようとした。三か月が過ぎても、ゼリカは毎日ヨセフのいる監禁の家に行き続け、彼に自分の言うことを聞かせようとした。そしてゼリカはヨセフに言った。「いつまでこの家にいるつもりですか。今は私の声を聞きなさい。そうすれば、この家からあなたを連れ出します。」

78 ヨセフは彼女に答えて言った、「あなたの言葉に耳を傾けて神に罪を犯すよりは、この家に留まる方がましです」。すると彼女は彼に言った、「もし私の願いを聞き入れないなら、あなたの目をえぐり出し、あなたの足に鎖をつけ、あなたがこれまで知らなかった者たちの手にあなたを引き渡します」。

79 ヨセフは彼女に答えて言った、「見よ、全地の神は、あなたが私にできることすべてから私を救い出すことができる。なぜなら、神は盲人の目を開き、縛られている者を解き、その土地を知らないすべての異邦人を守るからである。」

80 ゼリカはヨセフを説得して言うことを聞かせることができなかったので、彼を誘惑しに行くのをやめた。ヨセフは依然として監禁の家に閉じ込められていた。ヨセフの父ヤコブとカナンの地にいた彼の兄弟たちは皆、その日々の間、ヨセフのことで嘆き悲しんでいた。ヤコブは息子ヨセフのために慰められることを拒み、その日々の間ずっと大声で泣き叫び、嘆き悲しんでいた。

第 45 章

1 ヨセフが兄弟たちに売られてエジプトに下ったその年のその頃、ヤコブの子ルベンはティムナに行き、カナン人アビの娘エリウラムを妻として迎え、彼女のもとへ行った。

2 ルベンの妻エリウラムは身ごもり、ハノク、パル、ケツロン、カルミという四人の息子を産んだ。また、ルベンの兄弟シメオンは妹ディナを妻に迎え、彼女はメムエル、ヤミン、オハド、ヤキン、ゾカルという五人の息子を産んだ。

3 その後、シメオンはカナンの女ブナのところへ行った。ブナとは、シメオンがシェケムの町から捕虜として連れてきたブナのことである。ブナはディナの前にいて、彼女に仕えていた。シメオンが彼女のところへ来ると、彼女はシメオンにサウルを産んだ。

4 その時、ユダはアドゥラムに行き、アドゥラムのヒラという名の男のところに着いた。ユダはそこで、カナン人の娘で、シュアの娘アリヤトという名の娘を見つけた。ユダは彼女を連れて彼女のところに行き、アリヤトはユダにエル、オナン、シロという三人の息子を産んだ。

5 レビとイッサカルは東の地へ行き、ヨクタンの子ヨバブ、すなわちエベルの子ヨバブの娘たちを妻として迎えた。ヨクタンの子ヨバブには二人の娘がいた。姉の名はアディナ、妹の名はアリダであった。

6 レビはアディナを、イッサカルはアリダを連れて、カナンの地、彼らの父の家へ行った。アディナはレビにゲルション、ケハト、メラリという三人の息子を産んだ。

7 アリダはイッサカルにトラ、プヴァ、ヨブ、ショムロンという四人の息子を産んだ。ダンはモアブの地に行き、モアブ人ハムダンの娘アフラレトを妻として迎え、彼女をカナンの地に連れて行った。

8 アフラレトは不妊で、子供がいなかった。その後、神はダンの妻アフラレトを思い出し、彼女は身ごもって男の子を産み、その子をクシムと名付けた。

9 ガドとナフタリはハランに行き、そこからナホルの子ウズの子アムラムの娘たちを妻として迎えた。

10 アムラムの娘たちの名前は次のとおりである。姉の名はメリマ、妹の名はウジトであった。ナフタリはメリマを、ガドはウジトをそれぞれ連れて、カナンの地、すなわち彼らの父の家へ連れて行った。

11 メリマはナフタリ族にヤクツェエル、グニ、ヤゼル、シャレムという 4 人の息子を産み、ウジトはガド族にゼフィオン、ハギ、シュニ、エズボン、エリ、アロディ、アラリという 7 人の息子を産んだ。

12 アシェルは出て行き、イシュマエルの子ハダドの子アフラルの娘アドンを妻として迎え、彼女をカナンの地に連れて行った。

13 その頃、アシェルの妻アドンが死んだ。彼女には子供がいなかった。アドンが死んだ後、アシェルは川の向こう岸に行き、アビマエルの娘ハドゥラを妻として迎えた。アビマエルはエベルの子であり、エベルはセムの子である。
14 その若い女性は容姿端麗で聡明な女性であり、エラムの子マルキエルの妻であり、エラムの子はセムの子であった。
15 ハドゥラはマルキエルに娘を産み、マルキエルはその娘をセラハと名付けた。その後マルキエルは死に、ハドゥラは父の家に留まった。
16 アシェルで妻が亡くなった後、ヤコブは行ってハドゥラを妻として迎え、カナンの地へ連れて行った。また、ハドゥラの娘セラハも連れて行った。セラハは 3 歳で、その娘はヤコブの家で育てられた。
17 その娘は容姿端麗で、ヤコブの子孫の聖なる道を歩んでいた。彼女には何一つ欠けるものはなく、主は彼女に知恵と理解力をお与えになった。
18 アシェルの妻ハドゥラは身ごもり、イムナ、イシュヴァ、イシュヴィ、ベリアという四人の息子を産んだ。
19 ゼブルンはミディアンに行き、ミディアンのアビダの子モラドの娘メリシャを妻として迎え、カナンの地に連れて行った。
20 メルシャはゼブルン▪セレド、エロン、ヤクリエルに裸を見せた。 3 人の息子。
21 ヤコブはテラの子ゾバの子アラムに使いを送り、アラムの娘メカリアを息子ベンヤミンの妻として迎えさせた。彼女はカナンの地にあるヤコブの家に来た。ベンヤミンがアラムの娘メカリアを妻として迎えたとき、ベンヤミンは 10 歳であった。
22 メカリアは身ごもり、ベニヤミンにベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマンという五人の息子を産んだ。ベニヤミンはその後、最初の妻に加えて、アブラハムの子ショムロンの娘アリバトを妻として迎えた。彼は十八歳であった。アリバトはベニヤミンにアヒ、ヴォシュ、ムピム、チュピム、オルドという五人の息子を産んだ。
23 その頃、ユダはセムの家に行き、セムの子エラムの娘タマルを、長男エルの妻として迎えた。
24 エルは妻タマルのもとに行き、彼女は彼の妻となった。エルは彼女のもとに来たとき、自分の子孫を滅ぼした。彼の行いは主の目に悪であり、主は彼を殺した。
25 ユダの長男エルが死んだ後、ユダはオナンに言った。「兄の妻のところへ行って、近親者として彼女と結婚し、兄のために子孫をもうけなさい。」
26 オナンはタマルを妻として娶り、彼女のところへ行った。オナンもまた兄の行いに倣ったが、その行いは主の目に悪であったので、主は兄をも殺した。
27 オナンが死んだとき、ユダはタマルに言った。「私の息子シロが成長するまで、あなたの父の家にとどまりなさい。」そしてユダはもはやタマルをシロに与えることを喜ばなかった。なぜなら、彼は「もしかしたら彼も兄弟たちのように死ぬかもしれない」と言ったからである。
28 タマルは立ち上がって父の家に行き、そこにしばらく滞在した。
29 その年の初めに、ユダの妻アリヤトが死んだ。ユダは妻の死を慰められ、アリヤトの死後、友のヒラと共にティムナへ羊の毛を刈るために上った。
30 タマルは、ユダが羊の毛を刈るためにティムナへ上って行ったこと、シロが成長したこと、そしてユダがシロを喜ばなくなったことを聞いた。
31 タマルは立ち上がり、寡婦の衣を脱ぎ、ベールをかぶって全身を覆い、ティムナへ向かう道にある大通りに出て座った。
32 ユダは通りかかって彼女を見つけ、彼女を連れてきて、彼女のところへ行った。彼女は彼によって身ごもり、出産の時、見よ、彼女の胎内には双子がいた。彼は最初の子をペレツ、二番目の子をザラと名付けた。

第 46 章

1 その頃、ヨセフはまだエジプトの地の牢獄に閉じ込められていた。
2 その時、ファラオの従者たちが彼の前に立っていた。エジプト王に属する給仕長とパン職人長である。
3 すると、給仕係はぶどう酒を持ってきて王の前に置き、パン屋はパンを王の前に置いた。王はぶどう酒を飲み、パンを食べ、王の食卓で食事をしていた家臣や大臣たちも共に食事をした。
4 彼らが飲食している間、給仕長とパン屋はそこに残っていた。ファラオの家臣たちは、給仕長が持ってきたぶどう酒の中に多くのハエを見つけ、パン屋のパンの中に硝石を見つけた。
5 そして、衛兵隊長はヨセフをファラオの役人たちの従者として配置し、ファラオの役人たちは一年間監禁された。
6 そして年の終わりに、二人は監禁されていた場所で、ある夜に夢を見た。翌朝、ヨセフはいつものように二人の様子を見に来たが、二人を見ると、顔色は沈んで悲しそうだった。
7 ヨセフは彼らに尋ねた。「今日、なぜあなたたちの顔は悲しげで意気消沈しているのですか。」彼らは答えた。「私たちは夢を見ましたが、それを解き明かしてくれる人が誰もいません。」ヨセフは彼らに言った。「どうか、あなたたちの夢を私に話してください。そうすれば、神はあなたたちが望むように平安を与えてくださるでしょう。」
8 すると、給仕長はヨセフに夢の話をし、こう言った。「夢の中で、大きなぶどうの木が私の前にありました。そのぶどうの木には三つの枝があり、ぶどうの木はすぐに花を咲かせ、高く伸び、実が熟してぶどうになりました。」
9 私はぶどうを取り、それを杯に絞り、ファラオの手に渡すと、ファラオはそれを飲んだ。ヨセフは彼に

言った、「ぶどうの木についていた三つの枝は三日です」。
10 しかし、三日以内に王はあなたを連れ出すよう命じ、あなたを元の職に復帰させ、あなたが最初に王の執事であった時と同じように、王に酒を飲ませるでしょう。しかし、どうか私のことをお許しください。あなたが平安を得た時に、ファラオに私のことを思い出してくださり、私に親切にして、この牢獄から私を連れ出してください。私はカナンの地から連れ去られ、この地で奴隷として売られたのです。
11 また、私の主人の妻についてあなたに伝えられたことは嘘です。彼らは私を何の理由もなくこの牢獄に入れたのです。すると執事はヨセフに答えて言った。「もし王が最初にあなたが最後に私に通訳したように私に親切にしてくださるなら、私はあなたの望むことをすべて行い、あなたをこの牢獄から連れ出しましょう。」
12 パン屋は、ヨセフが執事の夢を正確に解釈したのを見て、自分も近づいてきて、自分の夢のすべてをヨセフに話した。
13 彼はイエスに言った、「夢の中で、私の頭の上に三つの白い籠があるのを見ました。見ると、一番上の籠にはファラオのためのあらゆる種類の焼き肉が入っていて、鳥たちが私の頭からそれを食べていました。」
14 ヨセフは彼に言った、「あなたが見た三つのかごは三日間のことです。三日以内にファラオはあなたの首を切り落とし、あなたを木に吊るし、鳥があなたの肉を食い尽くすでしょう。あなたが夢で見たとおりです。」
15 その頃、王妃は出産間近で、その日にエジプトの王に男の子を産んだ。人々は王に初めての息子が生まれたことを告げ、エジプトの民とファラオの役人や家臣たちは大いに喜んだ。
16 そして、ファラオは彼の誕生の三日目に、家臣や召使、ゾアルの地とエジプトの地の軍勢のために宴会を催した。
17 そしてエジプトの民とファラオの家臣たちは皆、王の息子の祝宴で王と共に飲食し、王の喜びを共に喜ぶためにやって来た。
18 その時、王の役人や家臣たちは皆、八日間の祝宴で喜び、王の宮で様々な楽器やタンバリンを鳴らし、踊りながら八日間楽しく過ごした。
19 ヨセフが夢を解き明かした給仕長はヨセフのことを忘れ、約束したとおり王にヨセフのことを話さなかった。これは、ヨセフが人間に頼ったために、主が彼を罰するために起こされたことであった。
20 その後、ヨセフは 2 年間牢獄にとどまり、12 年を終えた。

第 47 章

1 その頃、アブラハムの子イサクはカナンの地に住んでおり、180 歳という高齢であった。その子でヤコブの兄弟であるエサウはエドムの地に住んでおり、彼とその息子たちはセイルの子らの間に領地を持っていた。
2 エサウは父の死期が近づいていることを聞き、息子たちと家族と共にカナンの地、父の家へ行った。ヤコブとその息子たちはヘブロンの住まいから出て行き、皆父イサクのところへ行き、天幕の中でエサウとその息子たちを見つけた。
3 ヤコブと息子たちは父イサクの前に座った。ヤコブはまだ息子ヨセフの死を嘆き悲しんでいた。
4 イサクはヤコブに言った、「あなたの息子たちをここへ連れてきなさい。私は彼らを祝福しよう。」ヤコブは 11 人の息子たちを父イサクの前に連れて行った。
5 イサクはヤコブの息子たち全員に手を置き、彼らを抱きしめ、一人ずつ口づけをした。そしてその日、イサクは彼らを祝福し、彼らに言った。「あなたがたの先祖の神があなたがたを祝福し、あなたがたの子孫を天の星のように増やしてくださいますように。」
6 イサクはエサウの子らを祝福して言った。「神があなたたちを見る者すべてと、あなたたちの敵すべてにとって、あなたたちが恐るべき存在となりますように。」
7 イサクはヤコブとその息子たちを呼び寄せた。彼らは皆イサクの前に来て座った。イサクはヤコブに言った。「全地の神、主が私に言われた。『もしあなたの子孫が私の定めと道を守るならば、私はあなたの子孫にこの地を相続地として与えよう。そして、私はあなたの父アブラハムに誓った誓いを彼らに果たそう。』」
8 それゆえ、わが子よ、あなたの子孫に主を畏れ、あなたの神、主を喜ばせる良い道を歩むように教えなさい。あなたがたが主の道と律法を守るならば、主はアブラハムとの契約をあなたがたにも守り、あなたがたとあなたがたの子孫に、いつまでも恵みを与えてくださるであろう。
9 イサクはヤコブとその子供たちに命令を下し終えると、息を引き取り、死んで、自分の民のもとに集められた。
10 ヤコブとエサウは父イサクの顔にひれ伏して泣いた。イサクは百八十歳でカナンの地、ヘブロンで死んだ。息子たちは彼をマクペラの洞窟に運び入れた。そこはアブラハムがヘトの子らから墓地として買い取った場所であった。
11 カナンの地のすべての王たちは、ヤコブとエサウと共にイサクを葬るために行き、カナンの地のすべての王たちはイサクの死に際して彼に大きな敬意を表した。
12 ヤコブの子らとエサウの子らは裸足で辺りを歩き回り、嘆き悲しみながらキレアト･アルバに着いた。
13 ヤコブとエサウは、父イサクをヘブロンのキレアト･アルバにあるマクペラの洞窟に葬り、王の葬儀のように盛大に葬った。

14 ヤコブとその息子たち、エサウとその息子たち、そしてカナンの王たちは皆、大いなる深い嘆きをし、彼を葬り、何日も彼のために嘆き悲しんだ。
15 イサクが死ぬと、彼は家畜や財産、その他自分の所有物すべてを息子たちに残した。エサウはヤコブに言った。「お願いだ、父が残した財産を二つに分けて、私が選ぶようにしよう。」ヤコブは言った。「そうしよう。」
16 ヤコブはイサクがカナンの地に残した家畜や財産をすべて取り、それをエサウとその息子たちの前に二つに分けて置き、エサウに言った。「見よ、これらはすべてあなたの前にあります。あなたが取る半分を選びなさい。」
17 ヤコブはエサウに言った。「どうか、私があなたに話すことを聞いてください。天と地の主なる神は、私たちの先祖アブラハムとイサクにこう言われました。『わたしはあなたの子孫にこの地を永遠の相続地として与える。』」
18 それゆえ、父が残したすべてのものがあなたの前にあります。見よ、この地すべてがあなたの前にあります。あなたが望むものをその中から選びなさい。
19 もしあなたがこの土地全体を望むなら、それをあなたとあなたの子孫のために永久に受け取りなさい。そして、この富は私が受け取る。もしあなたが富を望むなら、それをあなたのものにしなさい。そして、この土地は私と私の子孫のために永久に相続させる。
20 その時、イシュマエルの子ネバヨトは、自分の子供たちと共にその地にいた。エサウはその日、彼のもとへ行き、彼に相談して言った。
21 ヤコブは私にこのように語り、このように答えた。さあ、あなたの助言をください。私たちはそれを聞きましょう。
22 するとネバヨトは言った、「ヤコブがあなたに話したことは何だ？見よ、カナンの子らは皆、その地に安全に住んでいて、ヤコブは自分の子孫と共にそれを永遠に相続すると言っているのだ。」
23 それゆえ、今行って、あなたの父の財産をすべて持って行き、あなたの兄弟ヤコブを彼が言ったとおりにその地に残しなさい。
24 エサウは立ち上がり、ヤコブのもとに戻り、イシュマエルの子ネバヨトが勧めたことをすべて行った。エサウはイサクが残したすべての富、すなわち魂、家畜、牛、財産、そしてすべての富を奪い取り、兄ヤコブには何も与えなかった。ヤコブはエジプトの川からユーフラテス川までのカナンの地すべてを奪い取り、それを永遠の所有地とし、自分の子孫と子孫のために永遠に所有した。
25 ヤコブはまた、兄エサウからヘブロンにあるマクペラの洞窟を受け取った。それはアブラハムがエフロンから買い取ったもので、彼と彼の子孫のための永遠の埋葬地として所有していたものであった。
26 ヤコブはこれらすべてのことを売買証書に書き記し、署名し、4 人の忠実な証人と共にこれらすべてを証言した。
27 ヤコブは書物にこう書き記した。「カナンの地、ヒッタイト人、ヒビ人、エブス人、アモリ人、ペリジ人、ゲルガシ人のすべての町々、エジプトの川からユーフラテス川までの七つの民族すべて。」
28 ヤコブはヘブロン▪キレアト▪アルバの町と、その町にある洞窟全体を、兄エサウから代価を払って買い取り、自分の子孫が永遠に所有し相続するものとして残した。
29 ヤコブは、購入の書と署名、命令と律法と啓示された書を取り、それらを土の器に入れて、長い間保存できるようにし、自分の子供たちの手に渡した。
30 エサウは、父が死後残したすべてのものを兄ヤコブから奪い取り、人や獣、らくだやろば、牛や子羊、銀や金、宝石やベデリウム、そしてアブラハムの子イサクに属していたすべての財産を奪い取った。イサクが死後残したすべてのものの中で、エサウが自分のものにしなかったものは何も残らなかった。
31 エサウはこれらすべてを持って、彼と彼の子どもたちは、兄ヤコブとその子どもたちから離れて、ホリ人セイルの地に帰って行った。
32 エサウはセイルの子らの間に所有地を持ち、その日からエサウはカナンの地に戻らなかった。
33 カナン全地はイスラエルの子らの永遠の相続地となり、エサウはすべての子らと共にセイル山を相続した。

第 48 章

1 その頃、イサクが死んだ後、主は命じて、全地に飢饉を起こされた。
2 その時、エジプトの王ファラオはエジプトの地で王座に座り、寝床に横になって夢を見ていた。ファラオは夢の中で、自分がエジプトの川のほとりに立っているのを見た。
3 すると、彼が立っていると、見よ、肉付きが良く、見た目も美しい七頭の牛が川から上がってきた。
4 すると、その後に七頭の痩せこけた醜い牛がやって来て、その七頭の醜い牛が醜い牛たちを飲み込んでしまい、その姿は最初と同じように醜いままだった。
5 彼は目を覚まし、再び眠り、二度目の夢を見た。すると、一本の茎に七つの実った立派な麦の穂が生え、その後に東風に枯れた七つの細い穂が生え、細い穂が実った穂を飲み込んでしまった。ファラオは夢から覚めた。
6 朝になると王は夢を思い出し、夢のせいでひどく心を乱された。そこで王は急いで人を遣わし、エジプト中の魔術師と賢者たちを呼び寄せた。彼らはやって来てファラオの前に立った。
7 王は彼らに言った、「私は夢を見たが、それを解き明かす者がいない」。彼らは王に言った、「あなたの夢をあなたのしもべたちに話してください。私たちに聞かせてください」。

8 王は彼らに夢の話をすると、彼らは皆声を揃えて王に答えた。「王よ、永遠に生きられますように。これがあなたの夢の解釈です。」
9 あなたが見た七頭の良き牛は、終わりの日にあなたに生まれる七人の娘を表し、その後にやって来て彼女たちを飲み込んだ七頭の牛は、あなたに生まれる娘たちが皆、王の存命中に死ぬことのしるしである。
10 また、あなたが二番目の夢で見た、一本の茎に七つの立派な麦の穂が生えている夢は、彼らの解釈によれば、あなたが終わりの日にエジプト全土に七つの都市を建設することになる。そして、あなたが見た七つの枯れた麦の穂がその後に生えてきて、あなたが目で見ている間にそれらを飲み込んでしまう夢は、あなたが建設する都市が終わりの日に、王の存命中にすべて破壊されるというしるしである。
11 彼らがこれらの言葉を述べたとき、王は彼らの言葉に耳を傾けず、心を留めなかった。王は知恵によって、彼らが夢を正しく解釈していないことを知っていたからである。彼らが王の前で話し終えると、王は彼らに答えて言った。「あなたがたが私に言ったことは何だ？確かに、あなたがたは偽りを言い、嘘をついた。だから、私の夢を正しく解釈しなさい。そうすれば、あなたがたは死なないだろう。」
12 その後、王は命じて、再び使者を遣わして他の賢者たちを呼び寄せた。彼らは王の前に立ち、王は彼らに夢の話を語った。すると彼らは皆、最初の解釈に従って答えた。王は怒りに燃え、非常に憤慨し、彼らに言った。「確かに、あなたたちは嘘をつき、全くの偽りを言っている。」
13 王はエジプト全土に布告を発するように命じ、こう言った。「王と高官たちは、夢の解釈を知り理解する賢者で、今日王の前に来ない者は死刑に処すると決めた。」
14 王に夢の正しい解釈を告げる者には、王から求めるものすべてが与えられるであろう。エジプトの地のすべての賢者と、エジプトとゴシェン、ラメセス、タクパンチェス、ゾアル、そしてエジプトの国境のすべての場所にいたすべての魔術師と呪術師が王の前にやって来て、彼らは皆王の前に立った。
15 エジプトのすべての都市から、貴族や王子、王の従者たちが集まり、皆王の前に座った。王は賢者たちと王子たちの前で夢を語った。王の前に座っていた者たちは皆、その幻に驚いた。
16 王の前にいた賢者たちは皆、王の夢の解釈について意見が大きく分かれた。ある者は王にこう言った。「七頭の良き牛は七人の王であり、王の子孫からエジプトを治める王たちが現れるでしょう。」
17 そして、七頭の悪い牛は、終わりの日に彼らに立ち向かい、彼らを滅ぼす七人の君主である。また、七本の麦の穂は、エジプトに属する七人の偉大な君主であり、彼らは我らの主である王の戦いにおいて、敵の七人の力の劣る君主の手に落ちるであろう。
18 すると、彼らのうちのある者たちが王にこう説明した。「七頭の良い牛はエジプトの堅固な都市であり、七頭の悪い牛はカナンの地の七つの民族です。彼らは終わりの日にエジプトの七つの都市に攻め寄せ、それらを滅ぼすでしょう。」
19 そして、あなたが二番目の夢で見た、七つの良い穂と悪い穂の麦は、エジプトの統治が再びあなたの子孫に最初のように戻るというしるしです。
20 彼の治世において、エジプトの諸都市の人々は、自分たちよりも強いカナンの七つの都市に反旗を翻し、それらを滅ぼすであろう。そして、エジプトの統治権はあなたの子孫に返されるであろう。
21 すると、彼らのうちのある者たちが王に言った。「これがあなたの夢の解釈です。七頭の良い牛は、あなたが終わりの日に妻として迎える七人の王妃を表し、七頭の悪い牛は、それらの女性たちが王の存命中に死ぬことを示しています。」
22 あなたが二番目の夢で見た七つの良い穂と悪い穂は、14 人の子供を表しており、終わりの日に彼らは立ち上がり、互いに戦い、そのうちの七人がより強い七人を打ち負かすでしょう。
23 すると、彼らのうちのある者が王にこう言った。「七頭の良き牛は、あなたに七人の子供が生まれることを示しています。そして、彼らは終わりの日にあなたの子孫のうち七人を殺すでしょう。また、あなたが二番目の夢で見た七つの良き麦の穂は、終わりの日に七人の力の弱い王子たちが戦って滅ぼし、あなたの子供たちの仇を討ち、権力が再びあなたの子孫に戻るであろう王子たちのことです。」
24 王はエジプトの賢者たちの言葉と夢の解釈をすべて聞いたが、どれも王の気に入らなかった。
25 王は知恵によって、彼らがこれらの言葉をすべて正しく語っているわけではないことを知っていました。これは、ヨセフが監禁の家から出て、エジプトで偉大な者となるために、主がエジプトの賢者たちの言葉を無効にしようとされたためです。
26 王は、エジプト中の賢者や魔術師の中で、誰一人として自分に正しく語る者がいないのを見て、怒りが燃え上がり、激しい憤りが王の心にこみ上げてきた。
27 王は、すべての賢者と魔術師に王の前から出て行くように命じた。すると彼らは皆、恥辱と屈辱を被って王の前から出て行った。
28 王はエジプト全土に布告を出し、エジプトにいる魔術師を皆殺しにし、一人たりとも生かしておいてはならないと命じた。
29 すると王の護衛隊長たちが立ち上がり、それぞれ剣を抜いて、エジプトの魔術師たちと賢者たちを打ち始めた。
30 その後、王の侍従長メロドが来て、王の前にひれ伏し、王の前に座った。
31 すると、給仕長は王に言った。「王が永遠に生き、その統治がこの国で栄えますように。」
32 2 年前のあの頃、あなたはあなたのしもべに怒り、私を病棟に入れられました。そして私はしばらくの間、パン職人の長と共に病棟にいました。

33 すると、私たちのところに、衛兵隊長に属するヘブライ人のしもべがいた。彼の名はヨセフであった。主人が彼に腹を立てて監禁所に閉じ込めたので、彼はそこで私たちの世話をしていた。
34 それからしばらくして、私たちが病棟にいたとき、私とパン職人の長は、ある夜に夢を見ました。私たちはそれぞれ自分の夢の解釈に従って夢を見ました。
35 私たちは朝になってそのしもべのところへ行き、夢の内容を話しました。すると彼は私たちの夢を解き明かしてくれました。一人ひとりの夢を正しく解き明かしてくれたのです。
36 そして、彼が私たちに説明したとおりに事は起こり、彼の言葉は一つも地に落ちなかった。
37 それゆえ、わが主君であり王である方は、エジプトの民をむやみに殺すのではない。見よ、あの奴隷は主人の護衛隊長によって、監禁の家に閉じ込められている。
38 もし王がお望みであれば、彼をあなたの前に呼び寄せ、あなたが見た夢の正しい解釈を彼に知らせてください。
39 王は首席給仕長の言葉を聞き、エジプトの賢者たちを殺してはならないと命じた。
40 王は家臣たちにヨセフを自分の前に連れてくるように命じ、彼らに言った。「ヨセフのところへ行きなさい。彼を怖がらせてはいけない。さもないと、彼は混乱して、正しく話せなくなるだろう。」
41 王の家臣たちはヨセフのところへ行き、急いで彼を牢獄から連れ出した。王の家臣たちは彼の髭を剃り、彼は牢獄の服を着替えて王の前に出た。
42 王は王座に座っており、王の衣装を身に着け、金のエフォドを帯びていた。その上に飾られた純金は輝き、王の頭に飾られた紅玉髄、ルビー、エメラルド、その他すべての宝石は目をくらませるほどで、ヨセフは王を見て大いに驚いた。
43 王が座る玉座は金と銀とオニキスで覆われており、70 段の階段があった。
44 エジプト全土では、王に話をしに来る者は、王子であるか、王の目にふさわしい者であれば、王座の３１段目まで上り、王は３６段目まで降りて彼と話をするのが慣習であった。
45 もし彼が一般人であれば、彼は 3 段目に上り、王は 4 段目に降りて彼に話しかけた。また、彼らの慣習では、70 の言語すべてを理解して話せる者は、70 段の階段を上り、王にたどり着くまで話しかけた。
46 そして、70 段を登りきれなかった者は、自分が話せる言語の数だけ階段を上った。
47 当時エジプトでは、70 の言語を理解し話せる者でなければ、誰も彼らを治めることはできないのが慣習であった。
48 ヨセフは王の前に来ると、王の前で地にひれ伏し、三段目に上った。王は四段目に座ってヨセフと話した。
49 王はヨセフに言った、「私は夢を見たが、それを正しく解釈できる者がいない。そこで今日、エジプトのすべての魔術師と賢者を私の前に呼び寄せ、彼らに夢の話をしましたが、誰も正しく解釈してくれませんでした。」
50 その後、今日、私はあなたについて、あなたが賢者であり、聞いた夢をすべて正しく解釈できる人であると聞きました。
51 ヨセフはファラオに答えて言った。「ファラオが見た夢を話してください。夢の解釈は確かに神に属するものです。」ファラオはヨセフに牛の夢と麦の穂の夢を話した。そして王は話すのをやめた。
52 するとヨセフは王の前で神の霊に満たされ、その日から王に起こるすべてのことを知り、王の夢の正しい解釈を知って、王の前で語った。
53 ヨセフは王の目にかなう者となり、王は耳を傾け、心を傾け、ヨセフの言葉をすべて聞いた。ヨセフは王に言った。「二つの夢だと思ってはいけません。それはただ一つの夢なのです。神がこの国で行おうと決めたことを、王に夢の中で示されたのです。これがあなたの夢の正しい解釈です。」
54 七頭の良き牛と七穂の麦は七年、七頭の悪しき牛と七穂もまた七年である。それは一つの夢である。
55 見よ、これから来る七年間は、この地全体に大豊作が訪れる。その後、七年間の飢饉が続く。それは非常にひどい飢饉である。そして、この地から豊作はすべて忘れ去られ、飢饉によってこの地の住民は滅びるであろう。
56 王は一つの夢を見た。そしてその夢はファラオに伝えられた。なぜならそれは神によって定められたことであり、神はまもなくそれを実現させるからである。
57 そこで、わたしはあなたに助言を与え、あなたとこの地の住民の魂を飢饉の災いから救い出そう。あなたの王国中から、非常に思慮深く賢明で、政務のすべてを知っている人を探し出し、その人をエジプトの地を監督するよう任命しなさい。
58 あなたがエジプトの上に立てる人は、その下に役人を任命し、来るべき豊作の年の食糧をすべて集め、穀物を蓄えて、あなたが定めた貯蔵庫に保管させなさい。
59 そして、その食糧を七年間の飢饉のために取っておきなさい。そうすれば、あなたとあなたの民とあなたの全地のために食糧が見つかり、あなたとあなたの地が飢饉によって滅びることはないでしょう。
60 また、この地のすべての住民に、七年間の豊作の期間に、各自が自分の畑で収穫したあらゆる種類の食物を集め、それを蓄えておくように命じなさい。そうすれば、飢饉の日にそれを見つけて、それで生活することができるでしょう。
61 これはあなたの夢の正しい解釈であり、あなたの魂とあなたのすべての臣民の魂を救うために与えられた助言です。
62 すると王はヨセフに答えて言った。「誰があなたの言葉が正しいと言い、誰がそれを知っているのか。」ヨセフは王に言った。「これが、私の言葉が

すべて真実であり、私の助言があなたにとって良いものであるというしるしとなるでしょう。」
63 見よ、あなたの妻は今日、出産の椅子に座り、あなたに男の子を産むであろう。あなたは彼と共に喜ぶであろう。あなたの子が母の胎から出ると、二年前に生まれたあなたの長男は死ぬであろう。そしてあなたは今日あなたに生まれる子によって慰められるであろう。
64 ヨセフは王にこれらの言葉を言い終えると、王にひれ伏して出て行った。ヨセフが王の前から出て行ったとき、ヨセフが王に語ったしるしはその日に実現した。
65 その日、王妃は男の子を産み、王は息子の誕生という喜ばしい知らせを聞いて喜んだ。報告者が王の前から去ると、王の家臣たちは王の長男が地面に倒れて死んでいるのを見つけた。
66 すると王宮には大きな嘆きと騒ぎが起こり、王はそれを聞いて、「この家の中で聞こえてくる騒ぎと嘆きは何だ」と言った。人々は王に、王の長男が亡くなったことを告げた。王はヨセフの言葉がすべて正しかったことを悟り、ヨセフが言ったとおりにその日に生まれた子によって、息子を失った悲しみから慰められた。

第 49 章

1 これらのことの後、王はすべての役人や家臣、そして王に属するすべての王子や貴族を遣わして集め、彼らは皆王の前に来た。
2 王は彼らに言った、「見よ、あなたがたはこのヘブライ人のすべての言葉と、彼が起こると宣言したすべてのしるしを見て、また聞いたが、彼の言葉は一つも地に落ちなかった。」
3 あなたは彼が夢を正しく解釈したことを知っている。そしてそれは必ず実現する。だから今、よく考えて、何をすべきか、そしてこの地が飢饉からどのように救われるかを知るべきである。
4 今、このような人が見つかるかどうか探しなさい。心に知恵と知識を持つ人が。わたしはその人をこの地の支配者に任命しよう。
5 あなた方は、ヘブライ人がこの地を飢饉から救うために何と助言したかを聞いた。そして私は、私に助言してくれたヘブライ人の助言がなければ、この地は飢饉から救われないことを知っている。
6 すると彼らは皆王に答えて言った、「ヘブライ人がこの件に関して与えた助言は良いものです。ですから今、わが主であり王よ、この国全体があなたの手にあります。どうかあなたの目に良いと思われることをしてください。」
7 あなたが選び、あなたの知恵によって賢明で、その知恵によって国を治める能力があると知っている者を、王は国を治めるために自分の下に任命しなければならない。
8 王はすべての役人に言った。「神がヘブライ人に語られたすべてのことを明らかにされたので、この国には彼ほど思慮深く賢い者はいないと私は考えました。もしあなたがたの目に良しとされるなら、彼をこの国の統治者に任命しましょう。彼はその知恵でこの国を救うでしょう。」
9 すると、すべての役人は王に答えて言った。「しかし、エジプトの法律には確かにこう書いてあり、それを破ってはならない。エジプトを治める者、あるいは王の第二位の地位に就く者は、人の子らのすべての言語に精通している者でなければならない。」
10 さて、わが主であり王よ、ご覧ください。このヘブライ人はヘブライ語しか話せません。どうして、わが言葉も知らない人が、わが国の第二位の統治者になれるでしょうか。
11 どうか彼をお呼びください。そして、彼をあなたの前に出させてください。そして、あらゆる点で彼を吟味し、あなたが適切と思われるようにしてください。
12 すると王は言った、「明日そうしよう。あなたが言ったことは良いことだ」。そしてその日、すべての役人が王の前にやって来た。
13 その夜、主は仕える天使の一人を遣わし、エジプトの地にあるヨセフのところに来られた。主の天使はヨセフの上に立っていた。見よ、ヨセフは夜、主人の家の牢獄の寝床に横たわっていた。主人は妻のことで彼を牢獄に戻していたからである。
14 天使がヨセフを眠りから起こすと、ヨセフは起き上がり、立ち上がった。すると、主の天使が彼の向かいに立っていた。主の天使はヨセフに語りかけ、その夜のうちに彼に人間のすべての言葉を教え、彼の名をヨセフと名付けた。
15 すると主の使いは彼のもとを去り、ヨセフは戻って床に横になった。ヨセフは自分が見た幻に驚いた。
16 翌朝、王はすべての役人と家臣を呼び寄せた。彼らは皆王の前に来て座った。王はヨセフを連れてくるように命じた。王の家臣たちは行ってヨセフをファラオの前に連れてきた。
17 王は進み出て、玉座の階段を上った。ヨセフはあらゆる言語で王に話しかけ、王のところへ行き、70 段目の階段に着くまで王に話しかけ続け、王の前に座った。
18 王はヨセフのことで大いに喜び、王の家臣たちも皆、ヨセフの言葉を聞いて王と共に大いに喜んだ。
19 王と役人たちは、ヨセフをエジプト全土の王の第二位に任命することが良いと考え、王はヨセフにこう言った。
20 あなたは私に、エジプトの地に賢者を任命し、その知恵によって飢饉から国を救うようにと助言しました。ですから、神があなたにこれらすべてのことと、あなたが語ったすべての言葉を知らせたので、この国にはあなたのような思慮深く賢い人は一人もいません。

21 あなたの名はもはやヨセフとは呼ばれず、ザフナト・パネアと呼ばれるようになる。あなたはわたしに次ぐ者となり、わたしの統治のすべての事柄はあなたの言葉に従い、わたしの民はあなたの言葉によって出入りする。
22 また、わたしのしもべや役人たちは、あなたの手から毎月の給料を受け取り、この地のすべての民はあなたにひれ伏すであろう。わたしの王座においてのみ、わたしはあなたより偉大である。
23 王は自分の指輪を外し、ヨセフの手に嵌め、ヨセフに王の衣を着せ、金の冠を頭にかぶせ、金の鎖を首にかけた。
24 王は家臣たちに命じ、王の戦車とは反対方向に向かう王の第二の戦車に彼を乗せ、王の馬の中から大きくて強い馬に彼を乗せて、エジプトの地の街路を案内させた。
25 王はタンバリン、ハープ、その他の楽器を演奏する者すべてにヨセフと共に出るように命じた。千のタンバリン、千のメコロト、千のネバリムがヨセフの後について行った。
26 五千人の男たちが、手に輝く抜刀した剣を持ってヨセフの前を行進し、遊んでいた。王の高官二万人は、金で覆われた皮の帯を締めてヨセフの右手に、二万人は左手に付き従い、女たちや乙女たちは皆、屋根の上に登ったり、通りに立ったりして、ヨセフを見て遊び、喜び、ヨセフの姿と美しさに見とれていた。
27 王の民は王の前後に進み、乳香とシナモン、その他あらゆる種類の香料で道を香らせ、没薬と沈香を道沿いに撒き散らした。そして二十人の男が王の前で、国中に大声でこれらの言葉を告げた。
28 あなた方は、王が副官として選んだこの人を見なさい。すべての政務は彼によって管理され、彼の命令に背く者、あるいは彼の前にひれ伏さない者は、王と副官に反逆した者として死刑に処せられる。
29 使者たちが布告を終えると、エジプトの民は皆ヨセフの前にひれ伏し、「王よ、またその第二の王よ、生きよ」と言った。エジプトの住民は皆道沿いにひれ伏し、使者たちが近づくとひれ伏し、あらゆる種類のタンバリン、メコル、ネバルを鳴らしてヨセフの前で喜んだ。
30 ヨセフは馬の上で目を天に向けて叫び、「主は貧しい者を塵の中から引き上げ、困窮している者を糞の山から引き上げられる。万軍の主よ、あなたに信頼する人は幸いです」と言った。
31 ヨセフはファラオの家臣や役人たちと共にエジプト全土を巡り、彼らはヨセフにエジプト全土と王のすべての宝物を見せた。
32 ヨセフはその日、戻ってファラオの前に出た。王はヨセフにエジプトの地にある所有地、すなわち畑とぶどう畑を与え、銀三千タラント、金一千タラント、オニキス、ベデリウム、その他多くの贈り物をヨセフに与えた。
33 翌日、王はエジプトのすべての人々に、ヨセフに捧げ物や贈り物を持ってくるように命じ、王の命令に背く者は死刑に処するとした。人々は町の通りに高い場所を設け、そこに衣服を広げ、ヨセフに何かを持ってくる者は皆、それを高い場所に置いた。
34 エジプトの人々は皆、高台に何かを投げ入れた。ある者は金のイヤリングを、またある者は指輪やイヤリング、金銀細工の様々な器、オニキスの石やベデリウムを高台に投げ入れた。皆、自分の持っているものの中から何かを捧げた。
35 ヨセフはこれら全てを取り、自分の宝物庫に納めた。王に属する全ての役人や貴族はヨセフを高く評価し、王が彼を第二の地位に選んだのを見て、彼に多くの贈り物をした。
36 王はオンの祭司アヒラムの子ポティフェラに使いを送り、ポティフェラは彼の幼い娘オスナトを連れてきてヨセフに妻として与えた。
37 その娘は非常に美しく、処女で、男を知らない者であった。ヨセフは彼女を妻として迎えた。王はヨセフに言った。「私はファラオである。あなた以外に、エジプト全土で私の民を治めるために手や足を上げる者はいない。」
38 ヨセフはファラオの前に立ったとき、30 歳であった。ヨセフは王の前から出て行き、エジプトで王の第二の役人となった。
39 王はヨセフに百人のしもべを与えて自分の家に仕えさせた。ヨセフもまた、多くのしもべを雇い、彼らはヨセフの家に留まった。
40 ヨセフは王宮の中庭の前に、王の家によく似た非常に立派な家を建て、その中に大きな神殿を造りました。それは外観も非常に美しく、ヨセフの住居として都合の良いものでした。ヨセフがその家を建てるのに 3 年かかりました。
41 ヨセフは自分のために、金と銀をふんだんに使って非常に立派な玉座を作り、それをオニキスとベデリウムで覆い、その上にエジプト全土の像と、エジプト全土を潤すエジプトの川の像を作った。ヨセフは自分の家の玉座に安心して座り、主はヨセフの知恵を増し加えられた。
42 エジプトのすべての住民とファラオの家臣と高官たちは、ヨセフを非常に愛した。これは主からヨセフへの賜物であった。
43 ヨセフには戦いに出る軍隊があり、王とヨセフを敵から守るために武器を携えることができる兵士が 4 万 600 人ほど大軍を率いて出陣した。これに加えて、王の役人や家臣、エジプトの住民も数えきれないほどいた。
44 ヨセフは勇士たちと全軍に盾と投げ槍と帽子と鎖帷子と投石用の石を与えた。

第 50 章

1 その時、タルシシュの子らがイシュマエルの子らに攻め寄せ、彼らと戦い、タルシシュの子らは長い間イシュマエル人を略奪した。
2 その頃、イシュマエルの子孫は数が少なく、タルシシュの子孫に勝つことができず、ひどく虐げられた。
3 イシュマエル人の老人たちはエジプトの王に書簡を送り、「どうか、あなたのしもべである役人や軍勢を遣わして、タルシシュの子らと戦うのを助けてください。私たちは長い間、彼らを滅ぼし尽くしてきました」と伝えた。
4 ファラオはヨセフを、彼と共にいた勇士たちと軍勢、そして王宮から来た勇士たちと共に遣わした。
5 そして彼らはハビラの地へ行き、イシュマエルの子らを助けてタルシシュの子らと戦った。イシュマエルの子らはタルシシュの子らと戦い、ヨセフはタルシシュ人を打ち破り、彼らの地を征服した。イシュマエルの子らは今日までそこに住んでいる。
6 タルシシュの地が征服されると、タルシシュ人は皆逃げ出し、同胞であるヤワンの子らの国境にたどり着いた。ヨセフは勇士たちと軍勢を率いてエジプトに帰還したが、一人も行方不明者はいなかった。
7 そして、ヨセフがエジプトを治めて二年目の年の初めに、主はヨセフが言ったとおり、七年間、国中に豊かな恵みを与えられた。主はその七年間、地のすべての産物を祝福されたので、人々は食べて大いに満足した。
8 その時、ヨセフには部下がいて、彼らは豊作の年の食糧をすべて集め、毎年穀物を積み上げて、ヨセフの宝物庫に保管した。
9 そして、彼らが食物を集めるときにはいつでも、ヨセフは、穂のついた穀物を持ってくるように、また、畑の土も少し持ってくるように命じた。それは、穀物が腐らないようにするためである。
10 ヨセフは毎年このとおりに行い、海の砂のように穀物を積み上げて豊かにした。彼の蓄えは膨大で、数えきれないほどだった。
11 また、エジプトの住民は皆、七年間の豊作の間、あらゆる種類の食料を蓄えましたが、ヨセフのようにはしませんでした。
12 そして、ヨセフとエジプト人が七年間の豊作の間に集めたすべての食糧は、七年間の飢饉に備えて国中に蓄えられ、国全体の生活を支えるために使われた。
13 エジプトの住民は飢饉の際の備えとして、各自の貯蔵庫と隠し場所に穀物を蓄えた。
14 ヨセフは集めた食料をエジプトのすべての町に置き、すべての倉庫を閉め、見張りを立てた。
15 ヨセフの妻、ポティフェラの娘オスナトは、彼にマナセとエフライムという二人の息子を産んだ。ヨセフは彼らをもうけたとき、３４歳であった。
16 そして少年たちは成長し、父の道と教えに従って歩み、父が教えた道から右にも左にも逸れることはなかった。
17 主は少年たちと共におられ、彼らは成長し、あらゆる知恵とあらゆる政務において理解力と技能を身につけた。エジプトの住民である王の役人や有力者たちは皆、少年たちを高く評価し、彼らは王の子弟たちの間で育てられた。
18 そして、国中に広がっていた七年間の豊作が終わり、ヨセフが言ったとおり、七年間の飢饉がその後に続き、飢饉は国中に広がった。
19 エジプトの民は皆、エジプトの地に飢饉が始まったのを見て、飢饉が彼らを襲ったので、エジプトの民は皆、穀物の貯蔵庫を開けた。
20 すると、彼らは貯蔵庫にあったすべての食料が虫だらけで食べられない状態になっているのを発見した。飢饉が国中に広がり、エジプトの住民は皆ファラオの前に来て泣き叫んだ。飢饉が彼らに重くのしかかっていたからである。
21 彼らはファラオに言った。「あなたのしもべたちに食べ物を与えてください。なぜ私たちは、あなたの目の前で、私たちと私たちの幼い子供たちが飢え死にしなければならないのでしょうか。」
22 するとファラオは彼らに答えて言った。「なぜ私に泣き叫ぶのか。ヨセフは、七年間の豊作の間に穀物を蓄えて飢饉の年に備えておくように命じたではないか。なぜ彼の声に耳を傾けなかったのか。」
23 エジプトの人々は王に答えて言った。「わが主よ、あなたの命にかけて誓います。あなたのしもべたちはヨセフが命じられたことをすべて行いました。あなたのしもべたちは七年間の豊作の間、畑のすべての収穫物を集め、今日までそれを貯蔵庫に蓄えてきました。」
24 そして、あなたのしもべたちに飢饉が襲ったとき、私たちは貯蔵庫を開けましたが、見よ、私たちの収穫物はすべて虫がたかっていて、食用に適していませんでした。
25 王はエジプトの住民に起こったすべてのことを聞くと、飢饉のために非常に恐れ、ひどく怯えた。そして王はエジプトの人々に答えて言った。「あなたがたにこのようなことが起こったのだから、ヨセフのところへ行き、彼が言うことは何でもしなさい。彼の命令に背いてはならない。」
26 エジプトの人々は皆出て行ってヨセフのところへ行き、彼に言った。「どうか私たちに食べ物を与えてください。なぜ私たちはあなたの前で飢え死にしなければならないのですか。私たちはあなたが命じたとおりに七年間収穫物を集めて蓄えましたが、このようなことになってしまいました。」
27 ヨセフはエジプトの人々の言うことや彼らに起こったことすべてを聞くと、自分の蓄えにある収穫物をすべて開けて、エジプトの人々に売りました。
28 飢饉は国中に広がり、すべての国で飢饉が起こったが、エジプトの地には売るための産物があった。
29 飢饉がエジプトを襲い、穀物がすべて腐ってしまったので、エジプトの住民は皆、穀物を買うために

ヨセフのところにやって来た。ヨセフは毎日、エジプトの人々に穀物を売った。
30 カナン地方とペリシテ地方の住民、ヨルダン川の向こう側の住民、東方の民、遠く近くのすべての町の住民は、エジプトに穀物があると聞いて、飢饉が彼らを襲っていたので、皆穀物を買うためにエジプトにやって来た。
31 ヨセフは穀物の貯蔵庫を開き、そこに役人を置いた。彼らは毎日そこに立って、来るすべての人に穀物を売った。
32 ヨセフは、飢饉が全地に蔓延していたので、兄弟たちも穀物を買いにエジプトに来るだろうと知っていた。そこでヨセフは、エジプト全土にこう布告するように民に命じた。
33 王と王の側近と高官たちの意向は、エジプトで穀物を買いたい者は、自分の召使いをエジプトに送って買わせてはならない、息子たちを送らせてはならない、また、エジプトの倉庫から穀物を買い付けてやって来て、それを国中に売り歩くエジプト人やカナン人も、その者は死刑に処せられる、なぜなら、自分の家族を養うため以外には誰も買わないからである。
34 二匹または三匹の家畜を連れて行く者は死刑に処せられる。人は自分の家畜だけを連れて行くべきである。
35 ヨセフはエジプトの門に番兵を配置し、彼らに命じて言った。「穀物を買いに来る者は誰であれ、その人の名前、父の名前、祖父の名前を書き記すまでは、中に入れてはならない。昼間に書き記した名前は、夕方になったら私に送って、私がその名前を知るようにしなさい。」
36 ヨセフはエジプト全土に役人を配置し、彼らにこれらのことをすべて行うように命じた。
37 ヨセフは、兄弟たちが穀物を買いにエジプトに来る時期を知るために、これらのことをすべて行い、これらの律法を定めた。ヨセフの民は、ヨセフが命じたこれらの言葉と律法に従って、毎日エジプトでそれを布告させた。
38 東の国と西の国、そして全地の住民は皆、ヨセフがエジプトで制定した律法と規則について聞き、地の果てからエジプトにやって来て、毎日穀物を買い、それから去っていった。
39 エジプトのすべての役人はヨセフの命令どおりに行い、穀物を買いにエジプトに来た者は皆、門番が彼らの名前と父親の名前を書き記し、毎日夕方にヨセフの前に連れてきた。

第 51 章

1 その後、ヤコブはエジプトに穀物があると聞き、息子たちにエジプトへ穀物を買いに行くように命じた。飢饉がエジプトにも及んでいたからである。ヤコブは息子たちにこう言った。
2 見よ、エジプトには穀物があり、地上の民は皆そこへ買いに行くと聞いている。それなのに、なぜあなたたちは全地の前で満足しているように見えるのか。あなたたちもエジプトへ行って、そこへ行く人々の間で少しばかり穀物を買ってきてくれ。そうすれば私たちは死なずに済むだろう。
3 ヤコブの子らは父の声に聞き従い、エジプトに下って穀物を買うために、そこに来た他の人々と共に立ち上がった。
4 彼らの父ヤコブは彼らに命じて言った、「町に入るときは、その地の住民のために、一つの門から一緒に入ってはならない。」
5 ヤコブの息子たちは出発してエジプトへ行った。ヤコブの息子たちは父が命じたとおりにすべてを行った。ヤコブはベニヤミンを送らなかった。それは、兄のように道中で事故に遭うかもしれないと思ったからである。ヤコブの息子のうち 10 人が出発した。
6 ヤコブの子らが旅路を進むうちに、彼らはヨセフにしたことの悔い改め、互いに話し合って言った。「私たちの兄弟ヨセフがエジプトへ下ったことは知っています。これから私たちはどこへ行っても彼を探し、もし見つけたら、身代金を取って主人から彼を連れ戻します。もし見つからなければ、力ずくで連れ戻し、彼のために命を捧げます。」
7 ヤコブの子らはこのことに同意し、ヨセフのために勇気を奮い起こし、彼を主人の手から救い出そうとした。そしてヤコブの子らはエジプトへ向かった。エジプトに近づくと、彼らは互いに別れ、エジプトの十の門を通り抜けた。門番たちはその日、彼らの名前を書き記し、夕方にヨセフのもとへ連れて行った。
8 ヨセフは町の門番たちの手から名前を読み上げ、兄弟たちが町の十の門から入ったことを知った。そこでヨセフはエジプト全土にこう告げるように命じた。
9 店番の者たちよ、皆出て行って、穀物倉庫を全て閉め、ただ一つだけ開けておきなさい。そうすれば、来た者はそこから買うことができる。
10 その時、ヨセフの役人たちは皆そのようにして、すべての店を閉め、ただ一軒だけ開けておいた。
11 ヨセフは兄弟たちの名前を書いた紙を、露店の責任者に渡した。責任者は彼に言った。「穀物を買いに来る者がいたら、名前を尋ねなさい。これらの名前の者が来たら、彼らを捕らえて送りなさい。」彼らはそのようにした。
12 ヤコブの子らが町に着くと、穀物を買う前にヨセフを探しに町に集まった。
13 そして彼らは遊女たちの城壁に行き、三日間遊女たちの城壁の中でヨセフを探した。ヨセフは非常に美しく容姿端麗であったので、遊女たちの城壁の中にヨセフが来るだろうと考えたからである。ヤコブの子らは三日間ヨセフを探したが、彼を見つけることができなかった。
14 店番をしていた人は、ヨセフが彼に告げた名前を探したが、見つけることができなかった。

15 彼はヨセフに使いを送り、「この三日間が過ぎましたが、あなたが名前を教えてくださった人たちがまだ来ていません」と伝えた。ヨセフはしもべたちをエジプト全土に送り、その人たちを探し出してヨセフのもとに連れてくるように命じた。
16 ヨセフのしもべたちはエジプトへ行って彼らを見つけられず、ゴシェンへ行ってもそこにもいなかった。それからラメセスの町へ行っても彼らを見つけられなかった。
17 ヨセフは兄弟たちを探すために 16 人のしもべを送り続けた。彼らは町の四隅に散らばり、そのうち 4 人が遊女の家に入ると、そこで 10 人の男たちが兄弟を探しているのを見つけた。
18 すると、その四人の男はそれらをヨセフの前に持ってきて、地面にひれ伏してヨセフにひれ伏した。ヨセフは神殿の王座に座っており、王の衣をまとい、頭には大きな金の冠をかぶっていた。そして、すべての力ある者たちが彼の周りに座っていた。
19 ヤコブの子らはヨセフを見て、その姿と容姿の美しさと威厳に驚嘆し、再び地にひれ伏して彼にひれ伏した。
20 ヨセフは兄弟たちを見て、彼らを認識したが、兄弟たちはヨセフを知らなかった。ヨセフは彼らの目には非常に偉大な人物であったので、彼らはヨセフを知らなかったのである。
21 ヨセフは彼らに、「あなたがたはどこから来たのか」と尋ねた。すると彼らは皆答えて言った。「あなたのしもべたちは、飢饉が全地に蔓延しているため、穀物を買うためにカナンの地から来ました。あなたのしもべたちは、エジプトには穀物があると聞き、他の人々と共に穀物を買いに来ました。」
22 ヨセフは彼らに答えて言った。「あなたがたが言うように買いに来たのなら、なぜ町の十の門を通って来たのですか。それは、あなたがたがこの地を偵察しに来たに違いありません。」
23 すると彼らは皆一斉にヨセフに答えて言った、「わが主よ、そうではありません。私たちの言うとおりです。あなたのしもべたちはスパイではなく、穀物を買いに来たのです。あなたのしもべたちは皆兄弟で、カナンの地に住む一人の父の息子たちです。父は私たちにこう命じました。『町に着いたら、その地の住民のために、一つの門から一緒に入ってはならない。』」
24 ヨセフは再び彼らに答えて言った。「私があなた方に話したことはまさにその通りです。あなた方は偵察のためにこの地を巡り、町の十の門を通ってやって来ました。あなた方はこの地の欠点を見に来たのです。」
25 確かに、穀物を買いに来た者は皆、自分の道へ帰る。あなた方はすでに三日間この地にいて、この三日間滞在した遊女たちの城壁の中で何をしているのか。確かに、スパイはこのようなことをする。
26 彼らはヨセフに言った。「主よ、そのようなことをおっしゃるのはお許しください。私たちは父ヤコブの息子たち十二人です。カナンの地に住むヤコブはイサクの子、アブラハムの子、ヘブライ人です。見よ、末っ子は今日、カナンの地で父と共にいます。しかし、一人は私たちから離れてしまいました。もしかしたらこの地にいるかもしれないと思い、この地中を探し回っています。遊女の家まで探しに来ました。」
27 ヨセフは彼らに言った。「それでは、あなた方は彼を地上中探し回ったのに、エジプトにしか残っていなかったのですか。また、あなた方の兄弟はエジプトにいるのに、遊女の家で何をするというのですか。あなた方は、自分たちはアブラハムの子イサクの子孫だと言ったではありませんか。ヤコブの子孫が遊女の家で何をするというのですか。」
28 彼らはイエスに言った。「イシュマエル人が彼を私たちから盗んだと聞き、エジプトで彼を売ったと聞きました。あなたのしもべである私たちの兄弟は、とても美しく容姿端麗なので、きっと遊女の家にいるだろうと思い、あなたのしもべたちが彼を探し出して身代金を払うためにそこへ行ったのです。」
29 ヨセフはなおも彼らに答えて言った。「あなたがたは確かに偽りを言い、嘘をついています。自分たちがアブラハムの子孫だと言っているのです。ファラオは生きておられます。あなたがたはスパイです。だから、正体がばれないように遊女の家に行ったのです。」
30 ヨセフは彼らに言った。「もし今、あなたがたが彼を見つけ、彼の主人があなたがたに高額の報酬を要求したら、それを彼に与えますか。」彼らは言った。「与えましょう。」
31 彼は彼らに言った、「もし彼の主人が高額の代価を払っても彼を手放そうとしないなら、あなたたちは彼のためにどうするつもりですか」。彼らは答えて言った、「もし彼が彼を私たちに渡さないなら、私たちは彼を殺し、私たちの兄弟を連れて行きます」。
32 ヨセフは彼らに言った。「私があなた方に話したことはまさにその通りです。あなた方はスパイです。あなた方はこの地の住民を殺しに来たのです。あなた方の兄弟のうち二人が、あなた方の妹のためにカナンの地のシェケムの住民を皆殺しにしたと聞いたからです。そして今、あなた方は弟のためにエジプトで同じことをしようとしています。」
33 あなた方が真実な人であるかどうかは、あなた方の中から一人を遣わして、一番下の弟を父の元から連れてきて、私のところへ連れて来させればわかる。そうすれば、あなた方が正しいとわかるだろう。
34 ヨセフは七十人の勇士を呼び集めて言った、「これらの男たちを連れて病室へ連れて行け。
35 そして、力ある者たちは 10 人の男を捕らえ、彼らを捕らえて病室に入れた。彼らは 3 日間病室にいた。
36 三日目にヨセフは彼らを病室から連れ出し、こう言った。「もしあなたがたが真の男であるならば、生き延びるために、兄弟の一人を病室に閉じ込めて

おき、あなたがたはカナンの地へ行って家族のための穀物を運び、末の弟を連れてきて、私のところへ連れて来なさい。そうすれば、あなたがたが真の男であることを私が知ることができる。」
37 ヨセフは彼らから離れて部屋に入り、彼らを哀れんで大泣きした。そして顔を洗い、再び彼らのところへ戻ってシメオンを連れて行き、彼を縛るように命じた。しかしシメオンはそうされることを望まなかった。彼は非常に力のある人だったので、彼らは彼を縛ることができなかった。
38 ヨセフは勇士たちを呼び集めると、70 人の勇敢な男たちが剣を抜いて彼の前に現れた。ヤコブの子らは彼らを見て恐れおののいた。
39 ヨセフは彼らに言った、「この男を捕らえて、兄弟たちが来るまで牢に閉じ込めておけ」。ヨセフの勇敢な部下たちは急いで行き、皆でシメオンを捕まえて縛った。シメオンは大きな恐ろしい叫び声をあげ、その叫び声は遠くまで聞こえた。
40 すると、ヨセフの勇敢な兵士たちは皆、その叫び声に恐れおののき、顔を地に伏せ、ひどく恐れて逃げ出した。
41 ヨセフと共にいた者たちは皆、命の危険を感じて逃げ去り、ヨセフと彼の息子マナセだけがそこに残った。ヨセフの息子マナセはシメオンの力を見て、非常に怒った。
42 ヨセフの子マナセはシメオンに近づき、拳でシメオンの首の後ろを強く殴った。するとシメオンは怒りが静まった。
43 マナセはシメオンを捕らえ、乱暴に彼を捕らえ、縛り上げて監禁の家へ連れて行った。ヤコブの息子たちは皆、この若者の行いに驚いた。
44 シメオンは兄弟たちに言った、「あなたがたのだれも、これはエジプト人に対する攻撃だと言ってはならない。これは私の父の家に対する攻撃なのだ。」
45 その後、ヨセフは倉庫の責任者を呼んで、彼らの袋にできるだけ多くの穀物を詰め、各人の金を袋に戻し、旅の食料を与えるように命じた。そして、彼はそのようにした。
46 ヨセフは彼らに命じて言った。「私が言ったとおりに、あなたたちの兄弟を連れてくるように私の命令に背かないように気をつけなさい。あなたたちが兄弟を私のところに連れて来たとき、私はあなたたちが誠実な人だと知り、あなたたちはこの地で商売をすることができるでしょう。そして私はあなたたちに兄弟を返してあげます。あなたたちは平和のうちに父のもとに帰るでしょう。」
47 すると彼らは皆答えて言った、「主がおっしゃるとおりにいたします」と言って、地にひれ伏して主を敬った。
48 すると、それぞれが自分の穀物をろばに乗せて、父の住むカナンの地へ向かって出て行った。宿屋に着くと、レビはろばに餌を与えようと袋を広げた。すると、なんと、彼の金が袋の中にそのまま残っていた。
49 その男は大変恐れて、兄弟たちに言った。「私の金が戻ってきました。見よ、私の袋の中に入っています。」すると、男たちは大変恐れて言った。「神は私たちに何ということをしてくださったのだろうか。」
50 すると彼らは皆言った。「主は私たちの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブに示してくださった慈しみはどこにあるのか。主は今日、私たちをエジプトの王の手に渡して、私たちに敵対する企みをさせようとしているではないか。」
51 ユダは彼らに言った、「確かに私たちは、兄弟、つまり自分の肉親を売ったことで、主なる私たちの神の前で罪深い者です。それなのに、なぜあなたたちは『主の慈しみは私たちの先祖にどこにあるのか』と言うのですか。」
52 ルベンは彼らに言った、「私はあなた方に言ったでしょう、あの少年に対して罪を犯してはならないと。それなのに、あなた方は私の言うことを聞かなかった。今、神は私たちから彼を奪おうとしている。あなた方は主に対して罪を犯したのに、どうして『主の慈しみは私たちの先祖にどこにあるのか』などと言えるのか。」
53 そして彼らはその場所で夜を過ごし、朝早く起きて、ロバに穀物を積み、ロバを連れて行き、カナンの地にある父の家に到着した。
54 ヤコブとその家族は息子たちを迎えに出かけたが、ヤコブは息子たちを見ると、彼らの兄弟シメオンが一緒にいないことに気づいた。ヤコブは息子たちに言った。「お前たちの兄弟シメオンはどこにいるのか。私には見えない。」息子たちはエジプトで起こったすべてのことを彼に話した。

第 52 章

1 そして彼らは家に入り、それぞれが袋を開けると、見よ、それぞれの金の束がそこにあるのが見えた。彼らと彼らの父親は、これを見て非常に恐れおののいた。
2 ヤコブは彼らに言った。「あなたたちは私に何をしたのですか。私はあなたたちの兄ヨセフを遣わしてあなたたちの安否を尋ねさせたのに、あなたたちは私にこう言いました。『野獣が彼を食い殺した』と。」
3 シメオンはあなた方と一緒に食料を買いに行ったのに、あなた方はエジプトの王が彼を牢獄に閉じ込めたと言い、ベニヤミンも捕らえて殺そうとしている。ベニヤミンとその兄弟ヨセフのことで、私の白髪は悲しみで墓場へと落ちていく。
4 それゆえ、私の息子はあなた方と一緒に下ってはいけません。彼の兄は死んでしまい、彼は一人ぼっちです。あなた方が行く道で、彼の兄に起こったように、彼にも災いが降りかかるかもしれません。
5 ルベンは父に言った、「もし私があなたの息子を連れてきてあなたの前に立たせなければ、あなたは私

の二人の息子を殺すでしょう。」ヤコブは息子たちに言った、「ここに留まり、エジプトへ下ってはならない。私の息子はあなたたちと一緒にエジプトへ下ってはならず、兄のように死ぬこともない。」
6 ユダは彼らに言った、「穀物がなくなるまで、彼から遠ざかってください。そうすれば、飢饉によって自分の命と家族の命が危険にさらされていることに気づいて、彼は『あなたの兄弟を倒しなさい』と言うでしょう。」
7 その頃、飢饉が国中にひどく起こり、地上の人々は皆、食料を買うためにエジプトへやって来た。飢饉が彼らの間でひどく蔓延していたからである。ヤコブの子らは穀物が尽きるまで、カナンの地に一年二ヶ月滞在した。
8 穀物が尽きると、ヤコブの家族全員が飢えに苦しんだ。ヤコブの子らの幼子たちが皆集まってヤコブのところにやって来て、彼を取り囲み、「私たちにパンをください。どうして私たちはあなたの目の前で飢え死にしなければならないのですか」と言った。
9 ヤコブは息子の子供たちの言葉を聞いて、大泣きし、彼らを哀れに思った。ヤコブは息子たちを呼び寄せ、彼らは皆来て彼の前に座った。
10 ヤコブは彼らに言った。「今日、あなた方の子どもたちが私のために泣きながら、『パンをください』と言っているのに、パンがないのを見なかったのですか。ですから、戻ってきて、私たちに少し食べ物を買ってきてください。」
11 ユダは父に答えて言った。「もしあなたが私たちの兄弟を私たちと一緒に遣わしてくださるなら、私たちは下って行って穀物を買いましょう。もしあなたが彼を遣わさないなら、私たちは下って行きません。エジプトの王は私たちに特にこう命じました。『兄弟が一緒でなければ、私の顔を見ることはできない。エジプトの王は強くて力強い王であり、もし私たちが兄弟なしで彼のところへ行けば、私たちは皆殺されるだろう。』」
12 あなたは知らないのか、また聞いたことがないのか。この王は非常に力強く、賢明であり、全地に彼に匹敵する者はいない。見よ、我々は地上のすべての王を見たが、エジプトの王である彼に匹敵する者は一人も見たことがない。確かに、地上のすべての王の中で、ペリシテ人の王アビメレクより偉大な者はいないが、エジプトの王は彼よりも偉大で力強く、アビメレクは彼の家臣の一人にしか匹敵しない。
13 父よ、あなたは彼の宮殿と王座、そして彼の前に立つすべてのしもべたちをご覧になっていません。あなたは、王が王座に座り、威厳と王の姿を備え、王の衣をまとい、頭に大きな金の冠をかぶっているのをご覧になっていません。あなたは、神が彼に与えられた栄誉と栄光をご覧になっていません。地上には彼に並ぶ者は一人もいません。
14 父よ、あなたは神がその心に与えた知恵と理解と知識をご覧にならず、また、神が私たちに語りかけられたときの甘い声を聞かれませんでした。
15 父よ、誰が私たちの名前と私たちの身に起こったすべてのことを彼に知らせたのか、私たちは知りません。しかし、彼はあなたのことも尋ねて、「あなたの父はまだ生きているか、元気でいるか」と言いました。
16 あなたは、主君であるファラオに尋ねることなく、彼がエジプトの政務をどのように治めているかを見たことがない。また、彼がすべてのエジプト人に与えた畏怖と恐れを見たことがない。
17 また、私たちが彼のもとを去ったとき、エジプトをアモリ人の他の町々と同じようにすると脅し、彼が私たちをスパイだと非難したすべての言葉に私たちは非常に憤慨しました。そして今、私たちが再び彼の前に出たとき、彼の恐怖が私たち全員に降りかかり、私たちのうちの誰も彼に少しも大きなことも話すことができないでしょう。
18 父上、どうかその子を私たちと一緒に送ってください。私たちは下って行って、生活のために食料を買ってきます。そうすれば飢え死にすることはありません。ヤコブは言った。「なぜあなたは私にこんなひどい仕打ちをしたのですか。王にあなたが兄弟を持っていたと告げたのですか。私に何をしたのですか。」
19 ユダは父ヤコブに言った。「その子を私に預けてください。私たちは立ち上がってエジプトへ下って穀物を買い、それから戻ってきます。もし私たちが戻ってきた時にその子が私たちと一緒にいなかったら、あなたの責任は私が永遠に負います。」
20 あなたは、飢えのためにあなたのもとで泣いている私たちの幼子たちを、あなたの手には何の力もないのをご覧になったのですか。どうか彼らを憐れんで、私たちの兄弟を私たちと一緒に送ってください。そうすれば私たちも行きます。
21 あなたがエジプトの王があなたの息子を連れ去ると言うとき、私たちの先祖に対する主の慈しみは、どのようにあなたに示されるでしょうか。主は生きておられます。私は息子を連れてきてあなたの前に立たせるまで、彼を放っておかません。どうか私たちのために主に祈ってください。主が私たちに慈しみを与え、エジプトの王とその部下たちの前で私たちを好意的に、そして親切に迎え入れてくださるように。もし私たちが遅れていなかったなら、今頃あなたの息子を連れて二度目の旅に出ていたでしょう。
22 ヤコブは息子たちに言った。「わたしは主なる神に信頼している。主はあなたたちを救い出し、エジプトの王と、その臣下たちの前であなたたちに恵みを与えてくださるだろう。」
23 さあ、立ち上がってその人のところへ行き、この地で手に入る贈り物を彼のために手に取り、彼の前に持って行きなさい。全能の神が彼の前であなたたちを憐れんでくださり、あなたたちの兄弟であるベニヤミンとシメオンをあなたたちと共に送ってくださるように。

24 すると男たちは皆立ち上がり、兄弟のベニヤミンを連れて行き、その地の最良のものを大量に贈り物として受け取り、また銀も二倍の量を受け取った。
25 ヤコブは息子たちにベニヤミンについて厳しく命じて言った。「あなたがたが行く道では彼に注意しなさい。道でもエジプトでも彼から離れてはならない。」
26 ヤコブは息子たちから立ち上がり、両手を広げて息子たちのために主に祈った。「天と地の神、主よ、私たちの父アブラハムとの契約を覚えていてください。私の父イサクとの契約も覚えていてください。私の息子たちに慈しみ深く接し、エジプトの王の手に渡さないでください。どうか、あなたの慈しみによってそうしてください。私の子供たち全員を贖い、エジプトの力から救い出し、彼らの二人の兄弟を送ってください。」
27 ヤコブの子らの妻たちと彼らの子供たちは皆、天を見上げて主の前に泣き、エジプトの王の手から自分たちの父たちを救い出してくれるように主に叫んだ。
28 ヤコブはエジプトの王に記録を書き、それをユダとその息子たちに渡してエジプトの王に伝え、こう言った。
29 あなたのしもべヤコブ、イサクの子、ヘブライ人アブラハムの子、神の君から、力強く賢明な王、秘密を明らかにする者、エジプトの王に挨拶を送ります。
30 エジプトの王よ、どうかご存じください。カナンの地では飢饉がひどく、私たちは生活のために少しでも食料を買おうと息子たちをあなたのもとへ送りました。
31 私の息子たちが私を取り囲みましたが、私は非常に年老いて目が見えなくなってしまいました。年老いて目が重くなり、また、私の前からいなくなってしまった息子ヨセフのために毎日泣いていたからです。私は息子たちに、エジプトに着いたときには、その地の住民のために町の門に入ってはならないと命じました。
32 また、私は彼らにエジプト中を巡って私の息子ヨセフを探すように命じました。もしかしたらそこで彼を見つけるかもしれないと思ったからです。彼らはその通りにしましたが、あなたは彼らをその地のスパイだと考えました。
33 あなたがファラオの夢を解き明かし、彼に真実を語ったという話を私たちは聞いていないのか。それなのに、どうしてあなたは自分の知恵をもって、私の息子たちがスパイかどうか分からないのか。
34 それゆえ、わが主君、わが王よ、あなたがわが子らに言われたとおり、わが子をあなたの前に遣わしました。どうか、わが子が兄弟たちと共に平和のうちにわが元に戻ってくるまで、彼を見守ってください。
35 あなたは知らないのか、あるいは聞いたことがないのか。私たちの神がファラオが私の母サラを連れ去った時にファラオにしたこと、また、サラのことでペリシテ人の王アビメレクにしたこと、また、私たちの父アブラハムがエラムの九人の王にしたこと、つまり、彼と共にいたわずかな者たちで彼ら全員を打ち殺したことを。
36 また、私の二人の息子シメオンとレビがアモリ人の八つの町々に対して行ったこと、すなわち、彼らが妹ディナのためにそれらを滅ぼしたことも忘れてはならない。
37 また、彼らは兄弟ベニヤミンのことで、その兄弟ヨセフを失ったことを慰めていた。それなのに、もし彼らが、ある民の手によって打ち負かされそうになったら、彼のために何をしてくれるだろうか。
38 エジプトの王よ、あなたは知らないのですか。神の力が私たちと共にあり、神は常に私たちの祈りを聞き、私たちを見捨てないということを。
39 私の息子たちがあなたの彼らに対する仕打ちを私に告げたとき、私はあなたのために主に祈らなかった。もし祈っていたら、私の息子ベニヤミンがあなたの前に来る前に、あなたは部下たちと共に滅びていただろうからである。しかし、私の息子シメオンがあなたの家にいたので、もしかしたらあなたは彼に親切にしてくれるかもしれないと思い、私はあなたにこのようなことはしなかった。
40 さあ、見よ、私の息子ベニヤミンが私の息子たちと共にあなたのところに来る。彼に注意を払い、彼に目を留めなさい。そうすれば、神はあなたとあなたの王国全体に目を留めてくださるだろう。
41 今、私は心の内をすべてあなたに話しました。見よ、私の息子たちが兄弟と共にあなたのところへ来ます。彼らのために全地の面を調べ、彼らを兄弟たちと共に平和のうちに帰らせてください。
42 ヤコブは記録を息子たちに託し、ユダに預けてエジプトの王に渡すようにさせた。

第 53 章

1 ヤコブの子らは立ち上がり、ベニヤミンとすべての贈り物を持ってエジプトに行き、ヨセフの前に立った。
2 ヨセフは彼らと一緒にいる兄のベニヤミンを見て挨拶し、彼らはヨセフの家に来た。
3 ヨセフは家の管理人に兄弟たちに食べ物を与えるように命じ、管理人はそのようにした。
4 正午になると、ヨセフはベニヤミンと共に男たちを呼び寄せた。男たちはヨセフの家の監督に、袋に入れられて返ってきた銀貨のことを話した。監督は彼らに、「あなたたちは大丈夫だ、恐れることはない」と言い、彼らの兄弟シメオンを彼らのところに連れてきた。
5 シメオンは兄弟たちに言った。「エジプト人の主は私に大変親切にしてくださった。あなたがたが見たように、私を縛り付けておかなかった。あなたがた

が町を出た時、主は私を解放し、自分の家で親切にしてくれた。」
6 ユダはベニヤミンの手を取り、ヨセフの前に進み出て、地にひれ伏して彼にひれ伏した。
7 すると、男たちは贈り物をヨセフに渡し、皆ヨセフの前に座った。ヨセフは彼らに言った。「あなた方は元気ですか。あなた方の子どもたちは元気ですか。あなた方の年老いた父は元気ですか。」彼らは言った。「元気です。」ユダはヤコブが送ってきた記録を受け取り、ヨセフの手に渡した。
8 ヨセフは手紙を読み、父の字だとわかったので、泣きたくなり、奥の部屋に入って激しく泣き、それから出て行った。
9 するとヨセフは目を上げて弟のベニヤミンを見て、「あなたが私に話していたのは、この弟ですか」と言った。ベニヤミンはヨセフに近づき、ヨセフは彼の頭に手を置いて、「わが子よ、神があなたに恵みを与えてくださいますように」と言った。
10 ヨセフは母の息子である弟を見ると、また泣きたくなり、部屋に入ってそこで泣き、顔を洗って出て行き、泣くのをやめて、「食事を用意しなさい」と言った。
11 ヨセフは杯を持っていた。それは銀製で、オニキスとベデリウムが美しく象嵌されていた。ヨセフは兄弟たちが一緒に食事をしている時に、彼らの目の前でその杯を打ち鳴らした。
12 ヨセフは人々に言った。「この杯によって、ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルンが皆、同じ母の子であることがわかった。生まれた順に席に着いて食事をしなさい。」
13 また、彼は他の者たちを生まれた順に並べ、こう言った。「わたしは、このあなたの末の弟には兄弟がいないことを知っています。わたしも彼と同じように兄弟がいません。ですから、彼はわたしと一緒に食事をしましょう。」
14 ベニヤミンはヨセフの前に進み出て、玉座に座った。人々はヨセフの行いを見て、それに驚いた。人々はその時ヨセフと共に飲食し、ヨセフは彼らに贈り物をした。ヨセフはベニヤミンに贈り物を一つ与えた。マナセとエフライムも父の行いを見て、彼に贈り物をした。オスナトも贈り物を一つ与え、ベニヤミンの手には五つの贈り物があった。
15 ヨセフは彼らにぶどう酒を持ってきて飲ませようとしたが、彼らは飲もうとせず、「ヨセフがいなくなってから、ぶどう酒も食べていない」と言った。
16 ヨセフは彼らに誓いを立て、強く勧めたので、彼らはその日、ヨセフと共にたくさん飲んだ。その後、ヨセフは兄のベニヤミンに話しかけようとしたが、ベニヤミンはヨセフの前に座っていた。
17 ヨセフは彼に言った、「あなたは子供をもうけましたか」。彼は言った、「あなたのしもべには 10 人の息子がいます。彼らの名前は、ベラ、ベケル、アシュバル、ゲラ、ナアマン、アヒ、ロシュ、ムピム、チュピム、オルドです。私は彼らに、まだ会っていない兄の名前を付けました。」
18 ヨセフは彼らに、自分の星図を持ってくるように命じた。ヨセフはそれによってすべての時を知っていた。ヨセフはベニヤミンに言った。「ヘブライ人はあらゆる知恵に通じていると聞いているが、あなたは何か知っているか？」
19 するとベンヤミンは言った、「あなたのしもべは、父が私に教えてくださったすべての知恵を知っています」。ヨセフはベンヤミンに言った、「この道具を見て、あなたがエジプトに下ったと言ったあなたの兄ヨセフがエジプトのどこにいるのかを知りなさい」。
20 ベンヤミンは天の星の地図が描かれたその道具を見て、賢明な彼はそれを見、兄がどこにいるのかを知ろうとした。ベンヤミンはエジプト全土を四つの地域に分け、自分の前に玉座に座っているのが兄のヨセフであることを発見した。ベンヤミンは大変驚いた。ヨセフは兄ベンヤミンがこれほど驚いているのを見て、ベンヤミンに言った。「何を見たのか、なぜそんなに驚いているのか。」
21 ベンヤミンはヨセフに言った。「このことから、私の兄ヨセフが私と共に王座に座っていることが分かります。」ヨセフは彼に言った。「私はあなたの兄ヨセフです。このことをあなたの兄弟たちに明かさないでください。見よ、彼らが去るとき、私はあなたを彼らと共に送ります。そして、私は彼らを再び都に連れ戻すように命じ、あなたを彼らから引き離します。」
22 もし彼らが命をかけてあなたのために戦うなら、私は彼らが私にしたことを悔い改めたと知り、彼らに自分の存在を知らせるでしょう。もし私があなたを捕らえたときに彼らがあなたを見捨てるなら、あなたは私と共に残るでしょう。私は彼らと争い、彼らは去っていくでしょう。そして私は彼らに知られることはないでしょう。
23 その時、ヨセフは部下に、彼らの袋に食料を詰め、各人の金銭をそれぞれの袋に入れ、杯をベニヤミンの袋に入れ、旅の食料を与えるように命じた。彼らはそのようにした。
24 次の日、男たちは朝早く起きて、ロバに穀物を積み、ベニヤミンと共に出発し、兄弟ベニヤミンと共にカナンの地へ向かった。
25 彼らがエジプトから遠く離れていないうちに、ヨセフは自分の家の管理者に命じて言った。「立ち上がって、彼らがエジプトからあまり遠く離れる前に追いかけ、彼らに『なぜ私の主人の杯を盗んだのか』と言いなさい。」
26 するとヨセフの役人が立ち上がり、彼らのところへ行き、ヨセフの言葉をすべて彼らに伝えた。彼らはこれを聞くと非常に怒り、言った。「あなたの主人の杯が見つかった者は死ぬ。そして私たちも奴隷になる。」

27 彼らは急いで、それぞれがろばから袋を下ろし、
袋の中を調べたところ、杯はベニヤミンの袋の中に
あった。彼らは皆、衣服を引き裂き、町に戻り、道
でベニヤミンを打ち、町に入るまで打ち続け、ヨセ
フの前に立った。
28 ユダは怒りに燃え、「この男は今日エジプトを滅
ぼすために私を連れ戻したのだ」と言った。
29 すると、その男たちはヨセフの家に着き、ヨセフ
が王座に座っており、すべての勇士たちが彼の右と
左に立っているのを見つけた。
30 ヨセフは彼らに言った。「あなたがたは何をしま
したか。私の銀の杯を持って行ってしまいましたが、
私はあなたがたが私の杯を持って行ったのは、それ
によってあなたがたの兄弟が国のどの辺りにいるの
かを知るためだったと知っています。」
31 ユダは言った。「私たちは主に対して何と言いま
しょうか。何を話して、どのように自分を正当化し
ましょうか。神は今日、あなたのしもべたちのすべ
ての罪を見つけ、それゆえ今日、私たちにこのよう
なことをされました。」
32 ヨセフは立ち上がり、ベニヤミンを捕らえ、兄弟
たちから力ずくで引き離し、家に入って戸を閉めま
した。そして、ヨセフは家の管理者に命じて、彼ら
にこう言わせました。「王はこう仰せられる。『安
心して父のもとへ行きなさい。見よ、私の杯が見つ
かった男を私は捕らえた。』」

第 54 章

1 ユダはヨセフが彼らとどのように接しているかを見
て、ヨセフに近づき、戸をこじ開けて兄弟たちと共
にヨセフの前に出た。
2 ユダはヨセフに言った。「わが主よ、どうか私に一
言申し上げさせてください。」ヨセフは彼に言った。
「話せ。」
3 ユダはヨセフの前で話し、兄弟たちも彼らの前に立
っていた。ユダはヨセフに言った。「確かに、私た
ちが初めて主君のもとに食料を買いに来たとき、あ
なたは私たちをこの地のスパイだと考え、ベニヤミ
ンをあなたの前に連れてきました。そしてあなたは
今日も私たちをからかっているのです。」
4 ですから、王よ、どうか私の言葉を聞いてください。
そして、どうか私たちの兄弟をあなたと共に父のも
とへ送ってください。さもなければ、あなたの魂は
今日、エジプトの住民全員の魂と共に滅びてしまう
でしょう。
5 あなたは、わたしの兄弟シメオンとレビの二人が、
わたしたちの姉妹ディナのためにシェケムの町とア
モリ人の七つの町に対して行ったこと、また、兄弟
ベニヤミンのために彼らが行ったことを知らないの
ですか。
6 そして、もしあなたが私たちの兄弟を送ることを望
まないなら、私は彼ら二人よりも偉大で力強い私の
力で、今日、あなたとあなたの土地にやって来る。
7 あなたは、私たちを選び、私たちの父から奪った母
サラのゆえに、ファラオに何をしたか、すなわち、
ファラオとその家族を重い災いで打ち、エジプト人
が今日に至るまでこの不思議な出来事を語り継いで
いることを、聞いていないのか。今日あなたが父か
ら奪ったベニヤミンのゆえに、また今日あなたがあ
なたの地で私たちに降りかかった災いのゆえに、私
たちの神はあなたにも同じことをするであろう。私
たちの神は、私たちの父アブラハムとの契約を思い
出し、あなたが今日私たちの父の心を悲しませたゆ
えに、あなたに災いを下すであろう。
8 だから、今日私があなたに語った言葉を聞き、私た
ちの兄弟を遣わして去らせなさい。さもないと、あ
なたとあなたの国の民は剣で滅びるだろう。あなた
たちは皆、私に打ち勝つことはできないのだから。
9 ヨセフはユダに答えて言った。「なぜあなたは口を
大きく開けて、なぜ私たちに対して『力はあなたと
共にある』と自慢するのか。ファラオが生きている
限り、もし私が勇敢な兵士全員にあなたと戦うよう
命じたなら、あなたとあなたの兄弟たちは必ず泥沼
に沈むだろう。」
10 ユダはヨセフに言った。「確かに、あなたとあな
たの民は私を恐れるべきです。主にかけて誓います
が、一度剣を抜けば、今日エジプト全土を滅ぼすま
では鞘に収めません。まずあなたを討ち、最後にあ
なたの主君であるファラオを討ちます。」
11 するとヨセフは答えて言った、「確かに力はあな
ただけのものではありません。私はあなたよりも強
く、力強いのです。もしあなたが剣を抜くなら、私
はあなたの首とあなたの兄弟たちの首に剣を突きつ
けましょう。」
12 ユダはヨセフに言った。「もし私が今日、あなた
に口を開けば、あなたを飲み込んで、地上から滅ぼ
し、今日、あなたの王国から滅び去るでしょう。」
ヨセフは言った。「もしあなたが口を開けば、私に
はあなたの口を石で閉じ、一言も話せなくなる力が
あります。私たちの前にはたくさんの石があります。
私は石を取って、あなたの口に押し込み、あなたの
顎を砕くことができます。」
13 ユダは言った、「神は私たちの間の証人です。私
たちはこれまであなたと戦うことを望んでいません
でした。ただ私たちの兄弟を返してください。そう
すれば私たちはあなたのもとを去ります。」ヨセフ
は答えて言った、「ファラオが生きている限り、カ
ナンの王たちが皆あなたと共に来たとしても、あな
たは彼を私の手から奪うことはできないでしょう。」
14 それゆえ、あなたは父のもとへ行きなさい。あな
たの兄弟は私の奴隷となる。彼は王の家から盗んだ
のだから。ユダは言った。「それがあなたや王の名
誉に何の関係があるのか。王は確かに家から国中に
銀や金を贈り物や支出として送っているのに、あな
たはまだ、私たちの兄弟の袋に入れたあなたの杯の
ことを話して、彼がそれをあなたから盗んだと言う
のか。」

15 私たちの兄弟ベンヤミンやアブラハムの子孫の誰かが、あなたから、あるいは王であろうと君主であろうと、あるいはどんな人であろうと、他の誰からも盗むようなことを決してしてはならない。
16 だから、この告発をやめなさい。さもないと、全世界があなたの言葉を聞いて、「エジプトの王はわずかな銀のために人々と争い、彼らを告発し、彼らの兄弟を奴隷にした」と言うだろう。
17 するとヨセフは答えて言った、「この杯を受け取って、私から離れて行きなさい。あなたの兄弟を奴隷として残しなさい。盗人が奴隷になるのは当然の報いだ。」
18 ユダは言った。「なぜあなたは自分の言葉を恥じないのですか。私たちの兄弟を捨てて、あなたの杯を取ろうとするのですか。たとえあなたが私たちにあなたの杯、あるいはその千倍の杯を与えてくださるとしても、私たちはどんな人の手にある銀のためにも兄弟を捨てたり、彼のために死んだりはしません。」
19 ヨセフは答えた。「なぜあなたは今日まで自分の兄弟を見捨てて銀二十枚で売り飛ばしたのか。なぜ今、この弟にも同じことをしないのか。」
20 ユダは言った、「主は私とあなたとの間の証人です。私たちはあなたの戦いを望んでいません。ですから、私たちの兄弟を私たちに返してください。そうすれば、私たちは争うことなくあなたのもとを去ります。」
21 ヨセフは答えて言った、「たとえこの地のすべての王が集まっても、彼らはあなたの弟を私の手から奪うことはできないでしょう。」ユダは言った、「父が弟が私たちと一緒に来ないことを見て、悲しむとき、私たちは父に何と言えばよいでしょうか。」
22 するとヨセフは答えて言った、「このことをあなたの父に伝えなさい。『縄がバケツの後ろについて行ってしまった』と。
23 するとユダは言った、「あなたは確かに王であるのに、なぜこのようなことを言い、偽りの裁きを下すのか。あなたのような王は災いだ。」
24 するとヨセフは答えて言った、「あなたがたの兄弟ヨセフのことで私が言った言葉には、偽りの裁きはありません。あなたがたは皆、彼をミディアン人に銀二十枚で売り渡したのに、父にはそれを否定して、『悪い獣が彼を食い尽くした、ヨセフは引き裂かれた』と言ったのです。」
25 ユダは言った、「見よ、シェムの火が私の心の中で燃えている。今、私はあなたの土地すべてを火で焼き尽くすだろう。」ヨセフは答えて言った、「確かに、あなたの息子たちを殺したあなたの義理の姉タマルがシェケムの火を消したのだ。」
26 ユダは言った、「もし私が自分の体から一本の毛を抜くなら、エジプト全土をその血で満たすだろう。」
27 ヨセフは答えて言った。「あなたがたは、自分の兄弟を売ったとき、その上着を血に浸して父に持って行き、父が『悪い獣が彼を食い殺した。ここにその血がある』と言うように仕向けたのが、あなたがたのいつものやり方です。
28 ユダはこのことを聞くと、非常に怒り、その怒りが彼の心に燃え上がった。その場所には、重さ約400シェケルの石があった。ユダは怒りに燃え、その石を片手でつかんで天に投げ上げ、左手で受け止めた。
29 その後、彼はそれを自分の足の下に置き、その上に力いっぱい座った。すると、石はユダの力によって塵と化した。
30 ヨセフはユダの行いを見て非常に恐れたが、息子のマナセに命じて、マナセも別の石でユダと同じようにした。ユダは兄弟たちに言った。「この男はエジプト人だなどと、だれも言ってはならない。この行いからして、彼は私たちの父祖の血を引いているのだ。」
31 ヨセフは言った。「力はあなただけに与えられているわけではありません。私たちも力のある者です。なぜ私たち全員に対して自慢するのですか。」ユダはヨセフに言った。「どうか私たちの兄弟をあなたに送ってください。今日はあなたの国を滅ぼさないでください。」
32 するとヨセフは答えて彼らに言った、「行って、あなたの父に伝えなさい。あなたがたがあなたの兄ヨセフについて言ったとおり、悪い獣が父を食い尽くしたのです。」
33 ユダは兄弟のナフタリに言った。「急いでエジプトのすべての通りを数えて、私に知らせてください。」シメオンは彼に言った。「このことはあなたにとって面倒なことではありません。私は山に行って、山から大きな石を一つ持ち上げて、エジプトのすべての人に投げつけ、そこに住む者すべてを殺します。」
34 ヨセフは兄弟たちが自分の前で話したこれらの言葉をすべて聞いていたが、兄弟たちはヨセフがそれらを理解しているとは知らなかった。彼らはヨセフがヘブライ語を話せないと思っていたからである。
35 ヨセフは兄弟たちの言葉を聞いて、エジプトが滅ぼされるのではないかと非常に恐れ、息子マナセに命じて言った。「急いでエジプトの住民と勇敢な男たちを皆私のところに集めなさい。馬に乗って、あるいは徒歩で、またあらゆる種類の楽器を持って、今すぐ私のところに来させなさい。」マナセは行ってそのようにした。
36 ナフタリはユダが命じたとおりに出て行った。ナフタリは俊敏な鹿のように足取りが軽く、麦の穂の上を歩いても穂は折れなかった。
37 彼はエジプトのすべての通りを数え、十二の通りがあることを知り、急いでユダのところへ行ってそれを告げた。ユダは兄弟たちに言った。「急いで、各自腰に剣を帯びなさい。我々はエジプトに攻め寄せ、彼らを皆殺しにして、一人も残さない。」
38 ユダは言った、「見よ、私は自分の力で三つの通りを破壊し、あなたたちはそれぞれ一つの通りを破

壊しなさい。」ユダがこのように言っていると、見よ、エジプトの住民とすべての勇士たちが、あらゆる種類の楽器を奏で、大声で叫びながら彼らに向かってやって来た。
39 彼らの数は騎兵 500 人、歩兵 1 万人、剣や槍を使わず、素手と力だけで戦える兵士 400 人であった。
40 そして、すべての勇士たちが大声で叫びながらやって来て、ヤコブの息子たちを取り囲み、彼らを恐怖に陥れた。彼らの叫び声で地が揺れた。
41 ヤコブの子らはこれらの軍隊を見て、命の危険を感じた。ヨセフはヤコブの子らを怖がらせて落ち着かせようとしてそうしたのである。
42 ユダは兄弟たちの何人かが恐れおののいているのを見て、彼らに言った。「神の恵みが私たちと共にあるのに、なぜ恐れるのか。」ユダはヨセフの命令でエジプトの民が皆彼らを取り囲んで脅かそうとしているのを見たが、ヨセフだけが彼らに「彼らに手出しするな」と命じた。
43 するとユダは急いで剣を抜き、大声で激しく叫び、剣で打ち、地面に飛び降り、なおも民衆に向かって叫び続けた。
44 彼がこのことを行ったとき、主はユダとその兄弟たちの恐怖を勇敢な者たちと彼らを取り囲むすべての民の上に及ぼされた。
45 すると、彼らは叫び声を聞いて皆逃げ出し、恐れおののいて互いに倒れ込み、倒れるうちに多くの人が死んだ。そして彼らは皆、ユダとその兄弟たち、そしてヨセフの前から逃げ去った。
46 彼らが逃げている間に、ユダとその兄弟たちはファラオの家まで彼らを追いかけましたが、彼らは皆逃げ延びました。そしてユダは再びヨセフの前に座り、ライオンのように彼に向かって吠え、大きな恐ろしい叫び声を上げました。
47 すると、叫び声が遠くまで聞こえ、スコトの住民は皆それを聞き、エジプト全土がその叫び声に震え上がり、エジプトとゴシェンの地の城壁は地の揺れによって崩れ落ち、ファラオも王座から地に落ち、エジプトとゴシェンの妊婦は皆、地の揺れの音を聞いてひどく恐れ、流産した。
48 ファラオは使いを送り、「今日エジプトの地で起こったこの出来事は何だ？」と尋ねた。人々はやって来て、初めから終わりまで全てを彼に告げた。ファラオは驚き、不思議に思い、非常に恐れた。
49 すると、彼はこれらのことをすべて聞いてますます恐れを抱き、ヨセフに使いを送って言った。「あなたはヘブライ人をエジプト全土を滅ぼすために私のところに連れてきました。あの盗人奴隷をどうするつもりですか? 彼を追い出して、兄弟たちと一緒に行かせてください。私たちもあなたも、そしてエジプト全土も、彼らの悪によって滅びないようにしてください。」
50 もしあなたがこのことをしたくないなら、私の大切な持ち物をすべて捨てて、彼らと共に彼らの土地に行きなさい。もしあなたがそこを気に入るなら。なぜなら、彼らは今日、私の国全体を滅ぼし、私の民をすべて殺すからです。エジプトの女たちは皆、叫び声によって流産しました。彼女たちがただ叫んだり話したりするだけで何をしたか見てください。さらに、もし彼らが剣で戦えば、この地を滅ぼすでしょう。ですから、今、あなたが望むものを選びなさい。私かヘブライ人か、エジプトかヘブライ人の土地か。
51 そして彼らは来て、ファラオがヨセフについて言ったすべての言葉をヨセフに告げた。ヨセフはファラオの言葉にひどく恐れ、ユダと彼の兄弟たちは憤慨してヨセフの前に立ち、ヤコブの子らは皆、海の轟音と波のようにヨセフに向かって怒鳴り散らした。
52 ヨセフは兄弟たちとファラオを非常に恐れていたので、兄弟たちがエジプト全土を滅ぼしてしまうことを恐れ、自分の存在を兄弟たちに知らせる口実を探した。
53 ヨセフは息子マナセに命じ、マナセはユダのところへ行き、彼の肩に手を置いた。するとユダの怒りは静まった。
54 ユダは兄弟たちに言った。「あなたがたのうちだれも、これはエジプトの若者の行いだと言ってはならない。これは私の父の家の行いなのだ。」
55 ヨセフはユダの怒りが静まったのを見て、ユダに近づいて穏やかな言葉で話しかけた。
56 ヨセフはユダに言った。「確かにあなたは真実を語り、今日、あなたの力に関する主張を証明しました。あなたを喜ばれるあなたの神が、あなたの幸福を増し加えてくださいますように。しかし、あなたの兄弟たちの中で、なぜその少年のことで私と争うのか、正直に教えてください。彼らは誰もその少年について私に一言も話していません。」
57 ユダはヨセフに答えて言った、「あなたはきっとご存知でしょうが、私はその子を彼の父に保証し、『もし私が彼を父のところに連れて行かなければ、私は永遠に彼の罪を負うことになる』と言ったのです。
58 それゆえ、わたしは兄弟たちの中からあなたに近づきました。あなたが彼をあなたから去らせようとしないのを見たからです。ですから、どうかあなたの御目にかなう恵みを得て、彼をわたしたちと共に行かせてください。そして、わたしは彼の代わりとして、あなたが望むことなら何でもあなたに仕えます。あなたがわたしをどこへ遣わされるとしても、わたしは行って、大いにあなたに仕えます。
59 今、あなたに反逆した強大な王のもとへ私を遣わしてください。そうすれば、私が彼とその国に何をするか、あなたは知るでしょう。たとえ彼が騎兵や歩兵、あるいは非常に強力な民を擁していようとも、私は彼らを皆殺しにし、王の首をあなたの前に持ってきます。
60 あなたは知らないのか、あるいは聞いていないのか。私たちの父アブラハムは、しもべエリゼルと共に、エラムの王たちとその軍勢を一夜にして打ち破

り、一人も残さなかった。そしてその日から、私たちの父の力は、私たちと私たちの子孫のために、永遠に受け継がれることになった。
61 ヨセフは答えて言った、「あなたは真実を語り、あなたの口には偽りはありません。ヘブライ人には力があり、彼らの神である主は彼らを大いに喜ばれると、私たちにも伝えられました。それでは、誰が彼らの前に立ち向かうことができるでしょうか。」
62 しかし、あなたがたが、エジプトへ下ったと言っていた、彼の母の息子である彼の兄弟を私のところに連れてくるならば、私はあなたの兄弟を送ろう。あなたがたが彼の兄弟を私のところに連れてくるならば、私はあなたの兄弟の代わりに彼を連れて行く。なぜなら、あなたがたのうち、彼のために父に保証人となった者は一人もいなかったからである。彼が私のところに来るとき、私はあなたが保証人となった彼の兄弟をあなたと共に送ろう。
63 ヨセフがこのことを言ったとき、ユダはヨセフに対して怒りを燃やし、怒りで目から血の滴が落ちた。そして兄弟たちに言った。「この男は今日、どうして自分の滅びとエジプト全体の滅びを企てているのか！」
64 シメオンはヨセフに答えて言った、「私たちは最初に、彼がどこへ行ったのか、生きているのか死んでいるのかも知らないと申し上げたではありませんか。それなのに、なぜわが主はこのようなことをおっしゃるのですか。」
65 ヨセフはユダの顔色を見て、彼に「この兄弟の代わりに、あなたのもう一人の兄弟を連れてきなさい」と言ったとき、彼の怒りが燃え始めたのを悟った。
66 ヨセフは兄弟たちに言った。「確かに、あなたたちは兄弟が死んだか、行方不明になったと言っていましたね。もし私が今日彼を呼び、彼があなたたちの前に来たら、あなたたちは彼の兄弟の代わりに彼を私に与えるのですか？」
67 するとヨセフは話し始め、大声で叫んだ。「ヨセフ、ヨセフ、今日私の前に出てきて、あなたの兄弟たちの前に現れ、彼らの前に座りなさい。」
68 ヨセフが彼らの前でこのことを話すと、彼らはヨセフがどこから現れるのかを見ようとして、それぞれ違う方向を見た。
69 ヨセフは彼らのすべての行いを見て、彼らに言った。「なぜあちこち見回すのですか。私はあなたがエジプトに売ったヨセフです。ですから、私を売ったことを悲しまないでください。飢饉の時の支えとして、神が私をあなたより先に遣わされたのです。」
70 ヨセフの言葉を聞いた兄弟たちは彼を恐れ、ユダは彼を非常に恐れた。
71 ベンヤミンはヨセフの言葉を聞くと、家の奥で彼らの前にいた。ベンヤミンは兄ヨセフのところに駆け寄り、彼を抱きしめ、首に抱きついて泣いた。
72 ヨセフの兄弟たちは、ベニヤミンが兄の首に抱きついて一緒に泣いているのを見て、自分たちもヨセフに抱きついて抱きしめ、ヨセフと共に大声で泣いた。
73 ヨセフの家で、彼らがヨセフの兄弟であるという声が聞こえた。ファラオは、彼らがエジプトを滅ぼすのではないかと恐れていたので、それを非常に喜んだ。
74 ファラオは、ヨセフのもとに兄弟たちがやって来たことを祝福するために家臣たちをヨセフのもとに遣わした。エジプトにいたすべての軍隊の長と兵士たちがヨセフと共に喜び祝うためにやって来て、エジプト全土がヨセフの兄弟たちのことで大いに喜んだ。
75 ファラオは家臣をヨセフのもとに遣わし、「兄弟たちに、持ち物をすべて持って私のところに来るように言いなさい。そうすれば、エジプトの地で最も良い場所に彼らを住まわせよう」と言った。兄弟たちはそのとおりにした。
76 ヨセフは、自分の家の管理者に、兄弟たちに贈り物と衣服を持ってくるように命じた。すると、管理者は王族の衣である多くの衣服と多くの贈り物を持ってきて、ヨセフはそれらを兄弟たちに分け与えた。
77 そしてヨセフは兄弟たち一人ひとりに金と銀の着替えと銀貨三百枚を与え、彼ら全員にこれらの着物を着てファラオの前に連れて行くように命じた。
78 ファラオはヨセフの兄弟たちが皆勇敢で容姿端麗な男たちであるのを見て、大いに喜んだ。
79 その後、彼らはファラオの前から出て、カナンの地、彼らの父のところへ向かった。彼らの兄弟ベニヤミンも彼らと一緒だった。
80 ヨセフは立ち上がり、ファラオから 11 台の戦車を彼らに与え、また、ヨセフはエジプトで戴冠した日に父をエジプトに迎えに行くために乗った自分の戦車を彼らに与えた。そしてヨセフは兄弟の子供たち全員に、人数に応じて衣服と銀 100 枚を送った。また、王の妻たちの衣服から兄弟の妻たちにも衣服を送った。
81 そして彼は兄弟たちそれぞれに 10 人の男を与え、彼らと共にカナンの地へ行き、彼らや彼らの子供たち、そしてエジプトに来るすべての人々に仕えさせた。
82 ヨセフは兄ベニヤミンに頼んで、自分の 10 人の息子たちのために 10 着の衣服を送った。これはヤコブの子らの子供たちの中で、他の子供たちよりも多かった。
83 彼はファラオのために、それぞれに銀貨 50 枚と戦車 10 台を送り、父にはエジプトのあらゆる贅沢品を積んだロバ 10 頭、父のための穀物とパンと食料を積んだ雌ロバ 10 頭、そして旅の食料として同行者全員に送った。
84 彼は妹のディナに銀と金の衣服、乳香と没薬、アロエ、そして女性の装飾品を大量に送り、ファラオの妻たちからベニヤミンの妻たちにも同じものを送った。

85 彼は兄弟たち全員と、その妻たちに、あらゆる種類のオニキスとベデリウムを与えた。エジプトの有力者たちのあらゆる貴重品の中から、ヨセフが父の家に送ったもの以外には、高価なものは何も残らなかった。
86 彼は兄弟たちを送り出し、彼らは出発した。彼は弟のベニヤミンを彼らと共に送った。
87 ヨセフは彼らと共にエジプトの国境までの道に同行し、父と家族のためにエジプトに来るようにと彼らに命じた。
88 彼は彼らに言った、「道で争ってはならない。これは、大勢の民が飢え死にしないようにするための主からのことなのだ。この地にはまだ五年間の飢饉があるだろう。」
89 彼は彼らに命じて言った、「カナンの地に着いたら、この件で私の父の前に急に出て行かず、あなたたちの知恵で行動しなさい。」
90 ヨセフは彼らに命令するのをやめ、向きを変えてエジプトへ帰った。ヤコブの子らは喜びと歓喜をもって父ヤコブのいるカナンの地へ行った。
91 そして彼らはその地の境界に着き、互いに言った。「父の前でこの件をどうしたらよいだろうか。もし私たちが突然父のところへ行ってこのことを話したら、父は私たちの言葉にひどく驚き、信じてくれないだろう。」
92 そして彼らは進み、彼らの家の近くまで来ると、アシェルの娘セラハが彼らを迎えに出てくるのを見つけた。その娘は非常に聡明で賢く、竪琴を弾くことができた。
93 彼らは彼女を呼び寄せ、彼女は彼らの前に出て、彼らに口づけをした。彼らは彼女を連れて行き、竪琴を与えて言った。「さあ、父の御前に行き、父の前に座って、竪琴を奏でて、これらの言葉を言いなさい。」
94 彼らは彼女に自分たちの家に行くように命じたので、彼女は竪琴を持って急いで彼らの前に出て行き、ヤコブのそばに座った。
95 彼女は上手に演奏し、歌い、甘い言葉で言った。「私の叔父ヨセフは生きていて、エジプト全土を統治しており、死んでいません。」
96 彼女はこれらの言葉を繰り返し言い続けた。ヤコブは彼女の言葉を聞いて、それが彼にとって心地よいものであった。
97 彼女がそれを二度三度繰り返すのをヤコブは聞き、彼女の言葉の甘美さにヤコブの心は喜びで満たされ、神の霊が彼の上に臨み、彼は彼女の言葉がすべて真実であることを知った。
98 ヤコブは、セラクが自分の前でこれらの言葉を語ったとき、彼女を祝福し、彼女に言った。「わが娘よ、死があなたに打ち勝つことがないように。あなたは私の心を生き返らせてくれた。あなたが語ったように、これからも私の前で語り続けなさい。あなたの言葉はすべて私を喜ばせてくれたのだから。」
99 彼女はこれらの言葉を歌い続け、ヤコブはそれを聞いて喜び、歓喜した。神の霊が彼の上に臨んだ。
100 彼がまだ彼女と話している間に、見よ、彼の息子たちが馬と戦車と王の衣をまとい、彼らの前に走る召使たちと共に彼のところにやって来た。
101 ヤコブは立ち上がって彼らを迎えに行き、息子たちが王の衣を着ているのを見て、ヨセフが彼らに送ったすべての宝物を見た。
102 彼らはイエスに言った、「私たちの兄弟ヨセフは生きており、エジプト全土を統治している者であり、私たちがあなたに話したとおりに私たちに話しかけた者です。
103 ヤコブは息子たちの言葉をすべて聞き、その言葉に胸が高鳴った。ヨセフが彼らに与えたもの、送ってきたもの、ヨセフが彼らに語ったしるしをすべて見るまでは、ヤコブは彼らの言葉を信じることができなかった。
104 彼らはヨセフが送ってきたものをすべて彼の前に見せ、ヨセフが送ってきたものをそれぞれに渡した。ヨセフは彼らが真実を語ったことを知り、息子の報告を聞いて大いに喜んだ。
105 ヤコブは言った。「私の息子ヨセフがまだ生きているなら、それで十分だ。私は死ぬ前に彼に会いに行こう。」
106 息子たちは自分たちに起こったことをすべて彼に話したので、ヤコブは言った、「私はエジプトに下って行って、息子とその子孫に会いに行こう。」
107 ヤコブは立ち上がり、ヨセフが送ってくれた服を着て、体を洗い、髪を剃り、ヨセフが送ってくれたターバンを頭にかぶった。
108 ヤコブの家の民と妻たちは皆、ヨセフが送ってきた衣服を身に着け、ヨセフがまだ生きていてエジプトを治めていることを大いに喜んだ。
109 カナンの住民は皆このことを聞き、やって来てヤコブが生きていることを大いに喜んだ。
110 ヤコブは彼らのために三日間宴会を開き、カナンの王たちとこの地の貴族たちは皆、ヤコブの家で食べたり飲んだりして喜んだ。

第 55 章

1 その後、ヤコブは言った。「私はエジプトに行って息子に会い、それから神がアブラハムに告げられたカナンの地へ戻ります。私は自分の生まれた地を離れることができないからです。」
2 すると主の言葉が彼に臨み、こう言われた。「あなたの家族全員と共にエジプトへ下って行き、そこに留まりなさい。エジプトへ下ることを恐れてはならない。わたしはそこであなたを大いなる国民とするからだ。」
3 ヤコブは心の中で言った、「エジプトのすべての住民の中で、息子の心にまだ神への畏れがあるかどうか、行って息子を見てみよう。」

4 主はヤコブに言われた、「ヨセフのことを恐れるな。
彼は今もなお、あなたの目に良いと思われるように、
わたしに仕える誠実さを保っている。」ヤコブは息
子のことで大いに喜んだ。
5 その時、ヤコブは主の言葉に従って息子たちと家族
にエジプトへ行くように命じた。ヤコブは息子たち
と家族全員と共に立ち上がり、喜びと歓喜に満ちた
心でカナンの地ベエルシェバを出て、エジプトの地
へ向かった。
6 エジプトに近づいたとき、ヤコブはユダを先にヨセ
フのもとへ遣わし、エジプトの状況を彼に知らせる
ように頼んだ。ユダは父の言葉どおりに急いで走り、
ヨセフのもとへ行った。そして、ゴシェンの地にユ
ダの家族全員のための場所が与えられた。ユダは戻
って、父のところへ道をたどって行った。
7 ヨセフは戦車に馬具をつけ、父ヤコブを迎えに行く
ために、自分の勇士たちと家臣たち、エジプトのす
べての役人たちを集めた。そして、ヨセフの命令が
エジプト中に布告された。「ヤコブを迎えに行かな
い者は皆死ぬであろう。」
8 翌日、ヨセフはエジプト全土の軍勢と共に、大軍勢
を率いて出発した。彼らは皆、上質の亜麻布と紫の
衣をまとい、銀と金の武器と戦いの道具を携えてい
た。
9 そして彼らは皆、あらゆる種類の楽器、太鼓やタン
バリンを持ってヤコブを迎えに行き、道沿いに没薬
とアロエを撒き散らし、皆このようにして進み、彼
らの叫び声で大地が揺れた。
10 エジプトの女たちは皆、ヤコブを迎えるためにエ
ジプトの屋根や城壁の上に登った。ヨセフの頭には
ファラオの王冠がかぶせられていた。ファラオは、
ヨセフが父に会いに行く時にかぶるようにと、それ
を彼に送っていたのである。
11 ヨセフが父の 50 キュビトまで近づくと、彼は戦車
から降りて父の方へ歩いて行った。エジプトのすべ
ての役人や貴族は、ヨセフが父の方へ歩いて行った
のを見て、彼らも戦車から降りてヤコブの方へ歩い
て行った。
12 ヤコブがヨセフの陣営に近づくと、ヤコブはヨセ
フと共に自分の方へ向かってくる陣営を見て、喜ん
だ。ヤコブはそれに驚いた。
13 ヤコブはユダに言った。「エジプトの陣営で、王
の衣をまとい、真っ赤な衣を着て、王冠をかぶって、
戦車から降りてこちらに向かってくるあの人は誰で
すか。」ユダは父に答えて言った。「あなたの息子、
ヨセフ王です。」ヤコブは息子の栄光を見て喜んだ。
14 ヨセフは父のそばに近づき、父にひれ伏した。宿
営の男たちは皆、彼と共にヤコブの前にひれ伏した。
15 するとヤコブは走り寄って息子ヨセフのところへ
急ぎ、彼の首に抱きついて口づけをした。そして二
人は泣いた。ヨセフも父を抱きしめて口づけをした。
そして二人は泣き、エジプトの民も皆彼らと共に泣
いた。
16 ヤコブはヨセフに言った。「あなたの顔を見て、
あなたがまだ生きて栄光に満ちているのを見た後な
ら、私は喜んで死ぬでしょう。」
17 ヤコブの息子たちとその妻たちと子供たちと召使
たち、そしてヤコブの家族全員がヨセフと共にひど
く泣き、彼に口づけをして、彼と共に大声で泣いた。
18 その後、ヨセフと彼の一族はエジプトに帰った。
ヤコブと彼の息子たち、そして彼の家の子供たちは
皆ヨセフと共にエジプトに来た。ヨセフは彼らをエ
ジプトの最も良い場所、ゴシェンの地に住まわせた。
19 ヨセフは父と兄弟たちに言った。「わたしはファ
ラオに上って行って、わたしの兄弟たちと父の家族、
そして彼らに属するすべての人々がわたしのところ
に来ました。見よ、彼らはゴシェンの地にいます。」
20 ヨセフはそのようにして、兄弟のルベン、イッサ
カル、ゼブルン、そして兄弟のベニヤミンを連れて
きて、ファラオの前に立たせた。
21 ヨセフはファラオに言った。「私の兄弟たちと父
の家族、そして彼らに属するすべての人々が、羊や
牛と共にカナンの地からエジプトにやって来て滞在
しています。飢饉が彼らをひどく襲っていたからで
す。」
22 ファラオはヨセフに言った。「あなたの父と兄弟
たちをこの地の最も良い所に住まわせ、彼らに良い
ものを何も惜しまず与え、この地の豊かな恵みを食
べさせなさい。」
23 ヨセフは答えて言った、「見よ、わたしは彼らを
ゴシェンの地に駐在させた。彼らは羊飼いだからだ。
だから、エジプト人とは離れてゴシェンにとどまり、
羊の群れを養わせなさい。」
24 ファラオはヨセフに言った、「兄弟たちがあなた
に言うことは何でもしなさい」。ヤコブの子らはフ
ァラオにひれ伏し、平和のうちにファラオのもとを
去った。その後、ヨセフは父をファラオの前に連れ
て行った。
25 ヤコブはファラオのところへ行き、ひれ伏してフ
ァラオを祝福し、それから出て行った。ヤコブと彼
の息子たち、そして彼の家族全員はゴシェンの地に
住んだ。
26 2 年目、すなわちヤコブの生涯の 130 年目に、ヨセ
フは飢饉の間、父と兄弟たち、そして父の家族全員
に、幼い者にもふさわしいパンを与え、彼らを養っ
た。彼らは何一つ不足することはなかった。
27 ヨセフは彼らに全地の最良の部分を与えた。彼ら
はヨセフの治世の間、エジプトの最良の部分を所有
した。またヨセフは彼らと父の家族全員に毎年衣服
や衣類を与えた。ヤコブの子らは兄の治世の間、エ
ジプトに安全に留まった。
28 ヤコブはいつもヨセフの食卓で食事をし、ヤコブ
とその息子たちは、ヤコブの子供たちが自分の家で
食べるもの以外は、昼も夜もヨセフの食卓を離れな
かった。

29 飢饉の間、エジプト人は皆ヨセフの家からパンを食べた。飢饉のためにエジプト人は皆、自分の持ち物をすべて売り払ったからである。
30 ヨセフはファラオのためにパンと引き換えにエジプトのすべての土地と畑を買い取り、飢饉の間ずっとエジプト全土にパンを供給した。ヨセフは国中から買い集めた穀物の代金として、銀と金をすべて集め、金銀を大量に蓄積した。さらに、金が尽きた人々が国中からヨセフのもとに持ってきた膨大な量のオニキス、ベデリウム、貴重な衣服も蓄積した。
31 ヨセフは、自分の手に渡った銀と金、すなわち約 72 タラントの金銀と、大量のオニキスとベデリウムを取り、それらを 4 つに分けて隠した。1 つは紅海の近くの荒野に、1 つはペラト川のほとりに、そして 3 つ目と 4 つ目はペルシャとメディアの荒野の向かい側の砂漠に隠した。
32 彼は残った金銀の一部を取り、それを兄弟たちと父の家族全員と父の家の女たち全員に与え、残りをファラオの家に持って行った。金銀約 20 タラントであった。
33 ヨセフは残っていた金銀をすべてファラオに与え、ファラオはそれを宝物庫に納めた。その後、その地の飢饉は終わり、人々は国中で種を蒔き、刈り取り、毎年例年通りの収穫を得るようになり、何一つ不足することはなかった。
34 ヨセフはエジプトに安全に住み、国全体が彼の支配下にあった。彼の父と兄弟たちは皆ゴシェンの地に住み、そこを所有した。
35 ヨセフは非常に年老いており、彼の二人の息子エフライムとマナセは、ヤコブの息子たちの兄弟たちと共に、主の道と律法を学ぶために、ヤコブの家に留まっていた。
36 ヤコブとその息子たちはエジプトの地、ゴシェンの地に住み、そこを所有し、そこで子孫を増やし、繁栄した。

第 56 章

1 ヤコブはエジプトの地に 17 年間住んだ。ヤコブの生涯は 147 年であった。
2 その時、ヤコブは死に至る病にかかり、エジプトにいる息子ヨセフを呼び寄せた。息子ヨセフはエジプトからやって来て、父のもとに来た。
3 ヤコブはヨセフと息子たちに言った。「見よ、私は死ぬ。あなたたちの先祖の神があなたたちを訪れ、主があなたたちとあなたたちの子孫に与えると誓われた土地にあなたたちを連れ戻してくれるだろう。だから、私が死んだら、カナンの地のヘブロンのマクペラにある洞窟に、私の先祖のそばに私を葬ってくれ。」
4 ヤコブは息子たちに、ヘブロンのマクペラに自分を葬るように誓わせた。息子たちはこのことについて彼に誓った。
5 そしてイエスは彼らに命じて言われた。「あなたたちの神、主にお仕えしなさい。あなたたちの先祖を救い出した方が、あなたたちをあらゆる苦難から救い出してくださるからだ。」
6 ヤコブは言った、「あなたたちの子供たちを皆私のところに呼びなさい」。するとヤコブの子らの子供たちは皆来て彼の前に座った。ヤコブは彼らを祝福し、彼らに言った、「あなたたちの先祖の神、主があなたたちに千倍の祝福を与え、あなたたちを祝福し、あなたたちの父アブラハムの祝福をあなたたちに与えてくださいますように」。ヤコブの子らの子供たちは皆、祝福を受けた後、その日出て行った。
7 次の日、ヤコブは再び息子たちを呼び集めた。彼らは皆集まってヤコブのところに来て、彼の前に座った。ヤコブはその日、死ぬ前に息子たちを祝福した。彼は一人ひとりにそれぞれの祝福を与えた。見よ、それはイスラエルに属する主の律法の書に記されている。
8 ヤコブはユダに言った。「わが子よ、わたしはあなたが兄弟たちにとって力強い人であることを知っている。彼らを治めよ。そうすれば、あなたの息子たちは永遠にその息子たちを治めるであろう。」
9 ただ、あなたの息子たちに弓とあらゆる戦いの武器を教えなさい。そうすれば、彼らは敵を支配するあなたの兄弟のために戦うことができるでしょう。
10 その日、ヤコブは再び息子たちに命じて言った。「見よ、私は今日、私の民のもとに集められる。私をエジプトから連れ出し、私が命じたとおり、マクペラの洞窟に私を葬りなさい。」
11 しかし、お願いですから、あなた方の息子たちに私を運ばせないでください。あなた方自身で運んでください。そして、私の遺体をカナンの地へ運んで埋葬する時、あなた方は私にこのようにしてください。
12 ユダ、イッサカル、ゼブルンは東側で私の棺を運び、ルベン、シメオン、ガドは南側で、エフライム、マナセ、ベニヤミンは西側で、ダン、アシェル、ナフタリは北側で私の棺を運ぶ。
13 レビにはあなたと共に運ばせてはならない。彼とその息子たちは、宿営地でイスラエル人と共に主の契約の箱を運ぶからである。また、私の息子ヨセフにも運ばせてはならない。王としての栄光が彼にはふさわしいからである。しかし、エフライムとマナセが彼らの代わりに運ぶであろう。
14 あなたがたがわたしを連れ去るときは、このようにわたしにしなさい。わたしが命じるすべてのことを、何一つとして怠ってはならない。あなたがたがわたしにこのようにするならば、主はあなたがたとあなたがたの子孫を、永遠に好意的に覚えてくださるであろう。
15 わが子らよ、兄弟や親族を敬い、あなたたちの子孫に、先祖の神である主を生涯にわたって仕えるように命じなさい。

16 あなたがたが主なる神の御前で善く正しいことを行い、そのすべての道に従って歩むならば、あなたがたとあなたがたの子孫が、この地で永遠に長生きすることができる。
17 わが子ヨセフよ、どうかあなたの兄弟たちの悪行と、彼らがあなたに与えたあらゆる害を赦してください。神はそれをあなたとあなたの子孫の益となるように意図されたのです。
18 わが子よ、兄弟たちをエジプトの住民に任せてはならない。彼らの感情を傷つけてはならない。見よ、わたしは彼らを神の手に委ね、エジプト人から彼らを守るために、あなたの手に委ねるのだ。ヤコブの子らは父に答えて言った。「父よ、あなたが私たちに命じられたことはすべて行います。ただ神が私たちと共におられますように。」
19 ヤコブは息子たちに言った。「あなたがたが神のすべての道を守り、神の目に善く正しいことを行うとき、神があなたがたと共におられるように。右にも左にも逸れてはならない。」
20 わたしは知っている。終わりの日に、この地で、あなたがた、すなわちあなたがたの子孫に、多くの、そして深刻な苦難が降りかかることを。ただ主にお仕えしなさい。そうすれば、主はあなたがたをあらゆる苦難から救ってくださる。
21 あなたがたが神に従って仕え、あなたがたの子孫に主を知るように教えるとき、主はあなたがたの子孫の中から、あなたがたとあなたがたの子孫のためにしもべを立て、主は御手によってあなたがたをあらゆる苦難から救い出し、エジプトから連れ出し、あなたがたの先祖の地に連れ戻して、それを安全に相続させるであろう。
22 ヤコブは息子たちに命令するのをやめ、足を寝床に引き込み、息を引き取って、自分の民のもとに集められた。
23 ヨセフは父にひれ伏し、泣き叫び、父に口づけし、苦しい声で叫んで言った。「ああ、わが父よ、わが父よ。」
24 すると、彼の息子の妻たちと彼の家族全員がやって来てヤコブのところにひれ伏し、彼のために泣き、ヤコブのために大声で泣き叫んだ。
25 ヤコブの子らは皆一斉に立ち上がり、衣を裂き、腰に粗布をまとい、顔を地に伏せ、頭から天に向かって塵を投げた。
26 このことがヨセフの妻オスナトに伝えられると、彼女は立ち上がり、袋を身に着け、エジプトの女たち全員と共にやって来て、ヤコブのために嘆き悲しんだ。
27 また、ヤコブを知っていたエジプトの人々は皆、このことを聞くと、その日にやって来て、エジプト全土は幾日も泣き続けた。
28 また、カナンの地から女たちはヤコブが死んだと聞いてエジプトに来て、エジプトで七十日間彼のために泣き続けた。
29 その後、ヨセフは家臣である医者たちに、没薬と乳香とあらゆる種類の香料と香水で父ヤコブの遺体を防腐処理するように命じた。医者たちはヨセフの命令どおりにヤコブの遺体を防腐処理した。
30 エジプトの民すべて、長老たち、ゴシェンの地の住民すべてはヤコブのために泣き悲しんだ。また、ヤコブの息子たちと家族の子供たちも、父ヤコブのために何日も嘆き悲しんだ。
31 ヨセフは泣き止んだ七十日後、ファラオに言った。「父が私に誓わせたとおり、カナンの地に父を葬り、それから戻ってきます。」
32 ファラオはヨセフを遣わして、「行って、父を葬りなさい。彼が言ったとおりに、また彼があなたに誓わせたとおりに」と言った。ヨセフは兄弟たち全員と共に立ち上がり、父ヤコブを葬るためにカナンの地へ向かった。
33 ファラオはエジプト全土にこう布告するように命じた。「ヨセフとその兄弟たちと共にカナンの地に上ってヤコブを葬らない者は、死刑に処せられる。」
34 エジプト全土はファラオの布告を聞き、皆一斉に立ち上がり、ファラオの家臣たち、ファラオの家の長老たち、エジプトの地の長老たちは皆ヨセフと共に上って行き、ファラオの役人や貴族たちも皆ヨセフの家臣として上って行き、ヤコブをカナンの地に葬るために行った。
35 ヤコブの子らは、父が横たわっている棺を運びました。父が命じたとおりに、子らは父のためにそのとおりにしました。
36 棺は純金でできており、周囲にはオニキスとベデリウムが象嵌されていた。棺の覆いは金糸で織られており、糸で縫い合わされ、その上にはオニキスとベデリウムの鉤が付いていた。
37 ヨセフは父ヤコブの頭に大きな金の冠をかぶせ、手に金の笏を持たせ、王が生きている間は慣習に従って棺を取り囲んだ。
38 そして、エジプトの全軍が彼の前に進み出た。まずファラオの勇士たちとヨセフの勇士たちが進み、その後にエジプトの残りの住民たちが続いた。彼らは皆剣を帯び、鎖帷子を身に着け、戦いの装束をまとっていた。
39 すると、泣き悲しむ者たちは皆、棺の反対側に離れて行き、泣き悲しんでいた。残りの人々は棺の後ろについて行った。
40 ヨセフとその家族は裸足で泣きながら棺のそばに行き、ヨセフの残りのしもべたちは彼を取り囲んだ。彼らは皆、装飾品を身につけ、皆、武器を携えていた。
41 ヤコブのしもべたち 50 人が棺の前に進み、道沿いに没薬とアロエとあらゆる種類の香料を撒いた。棺を担ぐヤコブの息子たちは皆、香料を撒いた場所を歩き、ヤコブのしもべたちは彼らの前に進み、道沿いに香料を撒いた。
42 ヨセフは重装備の陣営で上って行き、カナンの地に着くまで毎日このようにして進み、ヨルダン川の

向こう側にあるアタドの脱穀場に着き、そこで非常に大きな悲しみに暮れた。
43 カナンの王たちは皆このことを聞き、それぞれ自分の家から出て行き、カナン三十1人の王は皆、部下を連れてヤコブのために嘆き悲しんだ。
44 そして、これらの王たちは皆ヤコブの棺を見ると、見よ、その上にヨセフの冠があった。彼らもまた自分たちの冠を棺の上に置き、冠で棺を囲んだ。
45 そして、これらの王たちは皆、ヤコブの子らとエジプトの人々と共に、その地でヤコブのために大いなる深い嘆き悲しんだ。カナンの王たちは皆、ヤコブとその子らの勇猛さを知っていたからである。
46 その知らせはエサウに届き、ヤコブがエジプトで死に、彼の息子たちとエジプト中の人々が彼をカナンの地に葬るために運んでいると伝えられた。
47 エサウはこのことを聞き、セイル山に住んでいたが、息子たちとすべての民とすべての家臣たちと共に立ち上がり、非常に大勢の民がヤコブのために嘆き悲しむためにやって来た。
48 エサウがやって来て、弟ヤコブのために嘆き悲しんだとき、エジプトとカナンの民は再び立ち上がり、その地でエサウと共にヤコブのために大嘆き悲しんだ。
49 ヨセフと兄弟たちは父ヤコブをその場所から連れ出し、ヘブロンに行って、ヤコブを先祖の洞窟に葬った。
50 そして彼らはキレアト･アルバの洞窟に着いた。彼らが着くと、エサウは息子たちと共にヨセフとその兄弟たちに反対して洞窟の中に立ちはだかり、「ヤコブはそこに葬られてはならない。そこは我々と我々の父のものだ」と言った。
51 ヨセフと兄弟たちはエサウの息子たちの言葉を聞いて、非常に腹を立てた。ヨセフはエサウに近づき、「彼らが言っていることはどういうことですか。確かに私の父ヤコブは、イサクが死んだ後、今から二十五年前にあなたから莫大な富と引き換えにそれを買い取りました。また、カナンの地全体も、あなたとあなたの息子たち、そしてあなたの子孫から買い取ったのです。」と言った。
52 ヤコブはそれを息子たちと子孫のために、永遠の相続地として買い取ったのに、なぜ今日、これらのことを語るのですか。
53 エサウは答えて言った、「あなたは偽りを言い、嘘をついている。あなたが言うように、私はこの国で自分の持ち物を何も売っていないし、私の兄ヤコブもこの国で私の持ち物を何も買っていない。」
54 エサウはヨセフを欺くためにこれらのことを言った。エサウは、カナンの地で自分の所有物すべてをヤコブに売った当時、ヨセフがそこにいなかったことを知っていたからである。
55 ヨセフはエサウに言った、「確かに私の父はこれらのことをあなたのために購入記録に記入し、証人と共にその記録を証言しました。見よ、それはエジプトで私たちのところにあります。」
56 エサウは答えて言った、「記録を持ってきなさい。記録に書かれていることはすべて、我々がそうしよう。」
57 ヨセフは兄ナフタリを呼び寄せて言った。「急いで、ためらわずに、エジプトへ走って行って、すべての記録を持ってきてください。購入の記録、封印された記録、公開された記録、そして長子の権利に関するすべての取引が記された最初の記録もすべて持ってきてください。」
58 あなたはそれらを私たちのところへ連れて来なさい。そうすれば、私たちはエサウとその息子たちが今日話したすべての言葉を彼らから知ることができるでしょう。
59 ナフタリはヨセフの声を聞き、急いでエジプトへ下って行った。ナフタリは荒野にいるどの鹿よりも足が軽く、麦の穂の上を歩いても踏み潰さなかった。
60 エサウはナフタリが記録を取りに行ったのを見て、彼と息子たちは洞窟に対する抵抗を強め、エサウと彼の民は皆、ヨセフとその兄弟たちに立ち向かって戦った。
61 ヤコブの子らとエジプトの民は皆、エサウとその部下と戦った。エサウの子らとその民はヤコブの子らの前で打ち負かされ、ヤコブの子らはエサウの民のうち40人を殺した。
62 その時、ヤコブの子ダンの子クシムはヤコブの子らと共にいたが、戦場から百キュビトほど離れたところにいた。彼はヤコブの子らと共にヤコブの棺のそばに留まり、それを守っていたからである。
63 クシムは口がきけず耳も聞こえなかったが、それでも人々の間の動揺の声は理解できた。
64 彼は尋ねた、「なぜ死者を葬らないのか、この大騒ぎは何なのか」と。彼らはエサウとその息子たちの言葉を答えた。彼は戦いの最中にエサウに駆け寄り、剣でエサウを殺し、その首を切り落とした。首は遠くまで飛び、エサウは戦場の民の中に倒れた。
65 クシムがこのことを行ったとき、ヤコブの子らはエサウの子らに打ち勝ち、ヤコブの子らは父ヤコブを洞窟に力ずくで葬り、エサウの子らはそれを見ていた。
66 ヤコブはヘブロンのマクペラの洞窟に葬られた。そこはアブラハムがヘトの子らから墓地として買い取った場所であり、彼は非常に高価な衣服を着せられて葬られた。
67 そして、ヨセフが父の死に際して示したような栄誉を、王は誰にも示さなかった。ヨセフは父を王の葬りのように盛大に葬ったからである。
68 ヨセフと兄弟たちは父のために七日間喪に服した。

第 57 章

1 その後、エサウの子らはヤコブの子らと戦い、エサウの子らはヘブロンでヤコブの子らと戦った。エサウはまだ死んでいて、埋葬されていなかった。

2 彼らの間で激しい戦いが起こり、エサウの子らはヤコブの子らに打ち負かされ、ヤコブの子らはエサウの子らのうち八十人を殺したが、ヤコブの子らの民は一人も死なななかった。ヨセフの手はエサウの子らすべてに勝利し、エサウの子エリファズの子ゼフォと彼の部下五十人を捕虜にし、鉄の鎖で縛り、エジプトへ連れて行くために自分のしもべたちの手に渡した。
3 ヤコブの子らがゼフォとその民を捕虜にしたとき、エサウの家に残っていた者たちは皆、自分たちも捕虜にされることを恐れて、エサウの子エリファズとその民、そしてエサウの遺体と共に逃げ出し、セイル山へと向かった。
4 そして彼らはセイル山に着き、エサウをセイルに葬った。しかし、彼らはエサウの首をセイルに持って来なかった。それは、ヘブロンで戦いがあった場所に葬られていたからである。
5 エサウの子らがヤコブの子らの前から逃げ去ったとき、ヤコブの子らは彼らをセイルの境界まで追ったが、追撃した際に一人も殺すことができなかった。彼らが持ち運んでいたエサウの遺体が彼らを混乱させたため、彼らは逃げ出し、ヤコブの子らは彼らから引き返して、兄弟たちがいるヘブロンの地へ行き、その日と翌日、戦いが終わって休むまでそこに留まった。
6 そして三日目に、彼らはホリ人セイルの子孫を皆集め、東方の民を皆集めた。海の砂のように大勢の人々が集まり、ヨセフとその兄弟たちと戦って兄弟たちを救い出すためにエジプトへ下って行った。
7 ヨセフとヤコブの息子たちは皆、エサウの息子たちと東方の民が、兄弟たちを救うために戦いを挑んできたことを聞きました。
8 ヨセフとその兄弟たちとエジプトの勇士たちは出陣してラメセス市で戦い、ヨセフとその兄弟たちはエサウの子孫と東方の民に大打撃を与えた。
9 そして彼らは、彼らのうち六十万人を殺し、その中にはホリ人セイルの子孫の勇士たちもすべて殺した。生き残った者はわずかであった。また、東方の子孫とエサウの子孫も大勢殺した。エサウの子エリファズと東方の子孫は皆、ヨセフとその兄弟たちの前から逃げ去った。
10 ヨセフとその兄弟たちは彼らを追跡し、スコトに着いた。そしてスコトで 30 人を殺し、残りの者は逃げてそれぞれ自分の町へ逃げ帰った。
11 ヨセフとその兄弟たちとエジプトの勇士たちは、敵を皆打ち破ったので、喜びと歓喜に満ちて彼らから引き返した。
12 エリファズの子ゼフォとその部下たちは、依然としてエジプトでヤコブの子らの奴隷であり、彼らの苦しみは増し加わった。
13 エサウの子らとセイルの子らが自分たちの土地に帰ると、セイルの子らは、エサウの子らの戦いのせいで、自分たちが皆ヤコブの子らとエジプト人の手に落ちたのを見た。
14 セイルの子らはエサウの子らに言った、「あなた方は見て、この陣営があなた方のために作られたものであることを知っている。勇士も戦いに熟練した者も一人も残っていない。」
15 それゆえ、今、私たちの地を出て、カナンの地、あなたたちの先祖の住む地に行きなさい。そうすれば、あなたたちの子孫は、後の時代に私たちの子孫の遺産を相続することになるだろうか。
16 エサウの子孫はセイルの子孫の言うことを聞かなかったので、セイルの子孫は彼らと戦うことを考えた。
17 エサウの子孫はアフリカの王アンゲアス、すなわちディンハバに密かに使者を送り、こう言った。
18 あなたの兵士を何人か我々のところに送ってください。そうすれば我々はホリ人セイルの子らと共に戦います。彼らは我々をこの地から追い出すために我々と戦うことを決意したからです。
19 ディンハバの王アンゲアスは、そのとおりにした。彼は当時エサウの子孫と友好的であったので、エサウの子孫に勇敢な歩兵 500 人と騎兵 800 人を送った。
20 セイルの子らは東の子らとミディアンの子らに使いを送り、「あなたがたはエサウの子らがヤコブの子らとの戦いで我々に何をしたかを見たでしょう。彼らのせいで我々はほとんど滅びました」と言った。
21 さあ、今、私たちのところに来て私たちを助けてください。私たちは共に彼らと戦い、彼らをこの地から追い出し、ヤコブの子らである兄弟たちとの戦いで彼らのために死んだ私たちの兄弟たちの仇を討ちましょう。
22 東方の民は皆、セイルの民の言うことを聞き、剣を抜いた約 800 人の男たちが彼らのところにやって来た。その時、エサウの子らはパランの荒野でセイルの民と戦った。
23 そして、セイルの子らはエサウの子らに勝利し、その戦いで、セイルの子らはディンハバの王アンゲアスの民のうち約 200 人をエサウの子らから殺した。
24 そして二日目に、エサウの子らは再びセイルの子らと戦うためにやって来た。二度目の戦いはエサウの子らにとって非常に辛いものとなり、セイルの子らのせいで彼らは大いに苦しめられた。
25 エサウの子孫は、セイルの子孫が自分たちよりも強いのを見て、エサウの子孫の中には敵であるセイルの子孫を助けた者もいた。
26 また、第二次の戦いで、エサウの子孫のうち、ディンハバの王アンゲアスのもとで五十八人が倒れた。
27 そして三日目に、エサウの子らは、兄弟たちのうち何人かが自分たちに背いて、二度目の戦いで自分たちと戦ったことを聞き、このことを聞いたエサウの子らは嘆き悲しんだ。
28 彼らは言った、「我々の敵であるセイルの子らを助けるために我々に背いた同胞たちに、我々は何をすべきだろうか」。そしてエサウの子らは再びディンハバの王アンゲアスに使いを送り、こう言った。

29 再び他の兵士を我々のところに送ってください。彼らと共にセイルの子らと戦わせてください。彼らはすでに我々の二倍の兵力を持っています。
30 アンゲアスは再びエサウの子らに約 600 人の勇敢な兵士を遣わし、彼らはエサウの子らを助けるためにやって来た。
31 十日後、エサウの子らは再びパランの荒野でセイルの子らと戦った。戦いはセイルの子らにとって非常に激しいものであった。この時、エサウの子らはセイルの子らに勝利し、セイルの子らはエサウの子らの前で打ち破られ、エサウの子らは彼らからおよそ 2000 人を殺した。
32 そして、セイルの子らの勇士たちは皆この戦いで死に、町々に残された幼い子供たちだけが生き残った。
33 ミディアン人と東方の民は皆、戦いから逃げ出し、戦いが自分たちにとって厳しいものとなるのを見て、セイルの民を捨てて逃げ去った。エサウの民は東方の民を追撃し、彼らの土地にたどり着いた。
34 エサウの子らは、彼らのうち約 250 人を殺し、エサウの子らの民からは約 30 人がその戦いで倒れた。しかし、この災いは、彼らの兄弟たちが彼らを見捨ててホリ人セイルの子らを助けたことから彼らに降りかかった。エサウの子らは再び兄弟たちの悪行を聞き、このことで再び嘆き悲しんだ。
35 戦いの後、エサウの子らは引き返してセイルの地に帰った。エサウの子らはセイルの地に残っていた者たちを殺し、妻や幼い子供たちも殺した。彼らは五十人の少年と少女を除いては、一人も生かしておかなかった。少年たちは殺さず、奴隷にされ、少女たちは妻にされた。
36 エサウの子孫はセイルの地に住み、セイルの子孫の土地を受け継ぎ、それを所有した。
37 エサウの子らは、その地にあるセイルの子らに属するすべてのもの、すなわち彼らの羊の群れ、雄牛、財産を奪い、セイルの子らに属するすべてのものを奪い取った。そしてエサウの子らは、今日までセイルの子らの場所に住み、エサウの子らはその地をエサウの五人の息子たちに、それぞれの家族ごとに分割した。
38 その頃、エサウの子孫たちは、自分たちが所有するようになった土地に王を立てようと決心した。しかし、彼らは互いに言った。「そうではない。その王は私たちの土地を治め、私たちはその助言に従い、敵との戦いを戦ってくれるだろう。」そして彼らはそのようにした。
39 エサウの子孫は皆、誓って言った。「兄弟の誰も、兄弟ではない異国の人が自分たちを治めることは決してない」と。エサウの子孫は皆、セイルの子孫と戦った時に兄弟から受けた悪行のために、自分の息子、兄弟、友人に対して恨みを抱いていたからである。
40 そこでエサウの子らは誓って言った。「その日から今日まで、彼らは兄弟の中から王を選ばず、異国の者から王を選ばなければならない。」
41 そこに、ディンハバの王アンゲアスの民から、ベオルの子ベラという名の人がいた。彼は非常に勇敢で、美しく容姿端麗で、あらゆる知恵に優れ、分別と助言に富んだ人であった。アンゲアスの民には、彼のような人は一人もいなかった。
42 エサウの子孫は皆彼を連れて行き、油を注いで王冠をかぶせ、彼にひれ伏して、「王よ、永遠なれ、王よ、永遠なれ」と言った。
43 彼らは布を広げ、一人ひとりに金や銀のイヤリング、指輪、腕輪を持ってきて、銀や金、オニキスやベデリウムで彼を大いに富ませ、王座を作り、王冠を彼の頭にかぶせ、宮殿を建てて、彼はそこに住み、エサウの子孫すべての王となった。
44 アンゲアスの人々はエサウの子孫から戦いの報酬を受け取り、その時、ディンハバにいる主君のもとへ戻って行った。
45 ベラはエサウの子孫を 30 年間統治し、エサウの子孫はセイルの子孫の代わりにその地に住み、今日まで彼らの代わりに安全に住んでいます。

第 58 章

1 イスラエル人がエジプトに下ってから３２年目、すなわちヨセフの生涯の７１年目に、エジプトの王ファラオが死に、その子マグロンが代わりに王位に就いた。
2 そしてファラオは死ぬ前にヨセフに、息子マグロンの父親となるように、そしてマグロンはヨセフの世話を受け、彼の助言に従うように命じた。
3 そしてエジプト全土の人々は、ヨセフが彼らの王となることに同意した。エジプト人は皆、以前からヨセフを愛していたが、ファラオの息子マグロンだけが父の王座に座り、その頃、父に代わって王となったのである。
4 マグロンは 41 歳で王位に就き、40 年間エジプトを統治した。エジプトの人々は、彼の父の名にちなんで彼の名をファラオと呼んだ。これは、エジプトで彼らを統治するすべての王に対して行われていた慣習であった。
5 そして、ファラオが父に代わって王位に就いたとき、父が命じたとおり、エジプトの法律とすべての政務をヨセフの手に委ねた。
6 ヨセフはエジプトの王となり、エジプト全土を監督し、エジプト全土は彼の管理と助言の下にあった。ファラオの死後、エジプト全土はヨセフに傾き、彼らはヨセフが自分たちの王となることを非常に望んだからである。
7 しかし、彼らの中にはヨセフを好まない者たちがいて、「異邦人が我々を治めるなどあってはならない」と言った。それでも、ファラオの死後、エジプトの統治権はヨセフに委ねられ、彼は統治者として、誰

からも干渉されることなく、国中で自分の好きなように振る舞った。
8 こうしてエジプト全土はヨセフの支配下に置かれ、ヨセフは周囲の敵と戦い、彼らを征服した。また、ヨセフはカナンの国境に至るまでの全地とペリシテ人を征服し、彼らは皆ヨセフの支配下に置かれ、毎年ヨセフに税金を納めた。
9 そしてエジプトの王ファラオは父に代わって王座に着いたが、最初は父の支配下にあったように、ヨセフの支配と助言下にあった。
10 彼はヨセフの助言のもと、エジプトの地だけを統治したのではなく、ヨセフは当時、エジプトから大河ペラトに至るまでの国全体を統治していた。
11 ヨセフはすべての行いに成功し、主は彼とともにおられ、主はヨセフにさらなる知恵と栄誉と栄光を与え、エジプト人の心と国中の人々に彼を愛された。ヨセフは四十年間、国全体を統治した。
12 ペリシテ人、カナン人、シドン人、ヨルダン川の向こう側のすべての国々は、ヨセフの生涯の間、彼に贈り物を携えて来た。国全体がヨセフの手にあり、彼らは定められたとおりに毎年貢ぎ物をヨセフに納めた。ヨセフは周囲のすべての敵と戦って彼らを征服し、国全体がヨセフの手にあり、ヨセフはエジプトの王座に安らかに座っていた。
13 また、ヨセフの兄弟たち、ヤコブの子らは皆、ヨセフの生涯の間、その地に安全に住み、その地で子孫を増やし、父ヤコブが命じたとおり、生涯主にお仕えした。
14 そして、幾日も幾年も経って、エサウの子孫が王ベラと共にその地に平和に暮らしていたとき、エサウの子孫はその地で子孫を増やし、ヤコブの子孫とエジプト全土と戦い、エリファズの子ゼフォとその部下たちを救い出すことを決意した。彼らは当時まだヨセフの奴隷であったからである。
15 エサウの子孫は東方の民すべてに使いを送り、彼らと和平を結び、東方の民すべてはエサウの子孫と共にエジプトへ戦いに行くために彼らのところへやって来た。
16 また、ディンハバの王アンゲアスの民からも彼らがやって来て、彼らもイシュマエルの子らに使いを送り、彼らも彼らのところにやって来た。
17 そして、この民は皆集まってセイルにやって来て、エサウの子らの戦いを助けた。この陣営は非常に大きく、人で溢れかえっており、海の砂のように多く、歩兵と騎兵合わせて約 80 万人であった。そして、この全ての軍隊はヤコブの子らと戦うためにエジプトに下り、ラメセスのそばに陣を張った。
18 ヨセフは兄弟たちと共にエジプトの勇士たち、およそ 600 人と共に出陣し、ラメセスの地で彼らと戦った。ヤコブの子らは、ヤコブの子らがエジプトに下ってから 50 年目、すなわちベラがセイルでエサウの子らを治めてから 30 年目に、再びエサウの子らと戦った。
19 主はエサウの勇士たちと東方の民をヨセフとその兄弟たちの手に渡された。こうしてエサウの民と東方の民はヨセフの前で打ち負かされた。
20 エサウの民と東方の民のうち、ヤコブの子らの前に倒れたのは約 20 万人であった。彼らの王ベオルの子ベラも戦いで彼らと共に倒れた。エサウの子らは自分たちの王が戦いで倒れて死んだのを見て、戦いの力が弱くなった。
21 ヨセフとその兄弟たちとエジプト全土の人々は、なおもエサウの家の民を打ち殺し続け、エサウの民は皆ヤコブの子らを恐れて、彼らの前から逃げ去った。
22 ヨセフとその兄弟たちとエジプト全土の人々は、彼らを一日追跡し、道中で彼らを打ち続け、約三百人を殺した。その後、彼らは彼らから引き返した。
23 ヨセフと彼の兄弟たちは皆エジプトに帰ったが、一人も欠けることはなかった。しかし、エジプト人のうち十二人が倒れた。
24 ヨセフがエジプトに戻ると、ゼフォとその部下たちをさらに縛るように命じた。彼らは鉄枷で縛られ、彼らの悲しみは増した。
25 エサウの子孫と東方の民は皆、恥辱のうちにそれぞれの町へ帰って行った。彼らと共にいた勇士たちは皆、戦いで倒れたからである。
26 エサウの子孫は、自分たちの王が戦いで死んだのを見て、急いで東の民の中から一人の男を連れてきた。その名はザラクの子ヨバブで、ボツラの地出身であった。そして彼らは、ベラに代わって彼を王とした。
27 ヨバブはベラの王座に座り、エサウに代わって王となった。ヨバブはエドムでエサウの子孫すべてを十年間統治した。その日から、エサウの子孫はヤコブの子孫と戦うことはなくなった。エサウの子孫はヤコブの子孫の勇猛さを知っており、彼らを非常に恐れていたからである。
28 しかし、その日からエサウの子孫はヤコブの子孫を憎み、その憎しみと敵意は今日までずっと彼らの間に非常に強く残った。
29 その後、十年が経って、ボツラ出身のザラクの子ヨバブが死んだ。エサウの子孫はテマンの地からクシャムという名の人を連れてきて、ヨバブの代わりに彼を王とした。クシャムはエドムでエサウの子孫すべてを治めて二十年統治した。
30 エジプトの王ヨセフとその兄弟たち、そしてイスラエルの子らは皆、ヨセフとその兄弟たちの子らと共に、その時代エジプトに安全に住んでいた。何の障害も災難もなく、ヨセフとその兄弟たちの時代にはエジプトの地は戦争から解放され、平和であった。

第 59 章

1 これらは、ヤコブと共にエジプトに来たイスラエルの子らの名である。ヤコブの子らは皆、家族と共にエジプトに来た。

2 レアの子らは、ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン、そして彼らの姉妹ディナであった。
3 ラケルの息子たちはヨセフとベニヤミンであった。
4 レアの女奴隷ジルパの息子たちはガドとアシェルであった。
5 ラケルの女奴隷ビルハの息子たちは、ダンとナフタリであった。
6 これらは、彼らが父ヤコブと共にエジプトに来る前に、カナンの地で生まれた彼らの子孫である。
7 ルベンの子らはハノク、パル、ケツロン、カルミであった。
8 シメオンの子らは、イエムエル、ヤミン、オハド、ヤキン、ゾカル、そしてカナンの女の子サウルであった。
9 レビの子らはゲルション、ケハト、メラリ、そして彼らの妹ヨケベドであった。ヨケベドは彼らがエジプトへ下る途中で生まれた。
10 ユダの子らは、エル、オナン、シェラ、ペレツ、ザラクであった。
11 エルとオナンはカナンの地で死んだ。ペレツの子らはケズロンとハムルであった。
12 イッサカルの子らは、トラ、プヴァ、ヨブ、ショムロンであった。
13 ゼブルンの子らはセレド、エロン、ヤクレエルであり、ダンの子はクシムであった。
14 ナフタリの子らはヤクツェル、グニ、イェツェル、シラムであった。
15 ガドの子らは、ジフィオン、ハギ、シュニ、エズボン、エリ、アロディ、アレリであった。
16 アシェルの子らは、イムナ、ジシュヴァ、ジシュヴィ、ベリア、そして彼らの妹セラハであった。ベリアの子らは、ケベルとマルキエルであった。
17 ベニヤミンの子らは、ベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、アヒ、ロシュ、ムピム、チュピム、オルドであった。
18 ヨセフの息子たち、すなわちエジプトで生まれた者たちは、マナセとエフライムであった。
19 ヤコブの腰から生まれた魂は全部で七十人であった。彼らは父ヤコブと共にエジプトに住み、ヨセフとその兄弟たちは皆エジプトで安全に暮らし、ヨセフの生涯の間、エジプトの最良のものを食べていた。
20 ヨセフはエジプトの地に九十三年住み、八十年間エジプト全土を統治した。
21 ヨセフの死期が近づくと、彼は人を遣わして兄弟たちと父の家族全員を呼び寄せた。彼らは皆集まって彼の前に座った。
22 ヨセフは兄弟たちと父の家族全員に言った。「見よ、私は死ぬ。しかし、神は必ずあなたたちを顧み、あなたたちをこの地から、あなたたちの先祖に与えると誓われた地へ連れて行ってくださるだろう。」
23 神があなたたちをここから先祖の地へ連れて行くためにあなたたちを訪ねる時、私の骨もあなたたちと共にここから連れて行きなさい。
24 ヨセフはイスラエルの子らに、彼らの子孫のために誓わせて言った。「神は必ずあなた方を訪れ、あなた方はここから私の骨を携えて来るでしょう。」
25 その後、ヨセフはその年に亡くなった。イスラエル人がエジプトに下ってから 71 年目のことであった。
26 ヨセフはエジプトの地で百十歳で亡くなった。彼の兄弟たちと家臣たちは皆立ち上がり、慣習に従ってヨセフの遺体を防腐処理した。そして、兄弟たちとエジプト中の人々は七十日間、彼のために嘆き悲しんだ。
27 そして彼らはヨセフを香料とあらゆる種類の香水で満たした棺に入れ、シホル川のほとりに埋葬した。彼の息子たちと兄弟たち、そして彼の父の家族全員が、彼のために七日間喪に服した。
28 ヨセフの死後、エジプト人は皆イスラエルの民を支配し始め、父に代わって王位に就いたエジプトの王ファラオは、エジプトのすべての法律を取り、エジプトの統治を自らの助言のもとに行い、民をしっかりと統治した。

第 60 章

1 イスラエル人がエジプトに下ってから、ヨセフの死後、72 年目が来たとき、エサウの子エリファズの子ゼフォは、部下たちと共にエジプトから逃げ出し、去っていった。
2 そして彼はアフリカ、すなわちディンハバに行き、アフリカの王アンゲアスのもとへ行った。アンゲアスは彼らを大いに歓迎し、ゼフォを自分の軍の長に任命した。
3 ゼフォはアンゲアスと彼の民衆の目に好意を得て、アフリカの王アンゲアスの軍の長として長きにわたり仕えた。
4 そしてゼフォはアフリカの王アンゲアスを唆し、全軍を集めてエジプト人とヤコブの子らと戦い、兄弟たちの仇を討つように仕向けた。
5 しかし、アンゲアスはゼフォの言うことを聞かなかった。アンゲアスはヤコブの子らの強さを知っており、彼らがエサウの子らとの戦いで自分の軍隊に何をしたかを知っていたからである。
6 その頃、ゼフォはアンゲアスと彼の民衆の目に非常に偉大であり、エジプトと戦うようにと彼らを絶えず誘惑したが、彼らは従わなかった。
7 その頃、キッティムの地のプジムナの町にウズという名の男がいた。彼はキッティムの子らによって堕落した形で神として崇められるようになった。彼は死んだが、息子はおらず、ヤニアという名の娘が一人だけいた。
8 その娘は非常に美しく、容姿端麗で、聡明であった。国中に、彼女のような美しさと知恵を兼ね備えた者は一人もいなかった。
9 アフリカの王アンゲアスの民は彼女を見て、彼のところへ来て彼女を褒め称えた。アンゲアスはキッティムの子らに使いを送り、彼女を妻として迎えたい

と頼んだ。キッティムの民は彼女を妻として彼に与えることに同意した。
10 アンゲアスの使者たちがキッティムの地から旅に出ようとしていたとき、見よ、ビベントゥの王トゥルヌスの使者たちがキッティムにやって来た。ビベントゥの王トゥルヌスもまた、ヤニアを妻として迎えるために使者を送っていたからである。彼の家臣たちも皆、ヤニアを褒め称えていたので、彼は家臣たちを皆彼女のもとに送ったのである。
11 トゥルヌスの家臣たちはキッティムのところへ行き、ヤニアを妻としてトゥルヌス王のもとへ連れて行ってほしいと頼んだ。
12 するとキッティムの人々は彼らに言った、「私たちは彼女を渡すことはできません。なぜなら、あなた方が来る前に、アフリカの王アンゲアスが彼女を妻として迎えたいと望んでおり、私たちに彼女を彼に与えるように言ったからです。ですから、今、アンゲアスからその娘を奪ってトゥルヌスに与えることはできません。」
13 私たちはアンゲアスが戦いを挑んで私たちを滅ぼしてしまうのではないかと非常に恐れています。そして、あなた方の主君トゥルヌスは、私たちを彼の手から救い出すことができないでしょう。
14 トゥルヌスの使者たちはキッティムの子らの言葉をすべて聞くと、主君のもとへ戻り、キッティムの子らの言葉をすべて主君に伝えた。
15 キッティムの子らはアンゲアスに嘆願書を送り、「トゥルヌスがヤニアを妻として迎えようと人を呼び寄せたので、我々はそのように答えた。また、トゥルヌスは全軍を集めてあなたと戦うつもりで、サルドゥニアの道を通ってあなたの兄弟ルクスと戦い、その後あなたと戦うつもりだと聞いた」と伝えた。
16 アンゲアスはキッティムの子らが記録に記して送ってきた言葉を聞き、怒りに燃え、立ち上がって全軍を集め、海の島々を通ってサルデーニャの道を通って、サルデーニャの王である兄ルクスのところへ行った。
17 ルクスの子ニブロスは、叔父アンゲアスが来ると聞き、大軍を率いて彼を迎えに行き、彼に口づけをして抱きしめ、アンゲアスに言った。「あなたが私の父の安否を尋ねるとき、私があなたと共にトゥルヌスと戦うとき、父に私を軍の長に任命するように頼んでください。」アンゲアスはそのようにし、兄のところへ行き、兄は彼を迎えに来て、彼の安否を尋ねた。
18 アンゲアスは兄ルコスに自分の身の安全を願い、息子ニブロスを軍の長に任命するように頼んだ。ルコスはそうし、アンゲアスと兄ルコスは立ち上がり、トゥルヌスに向かって戦いに向かった。彼らには大軍と大勢の民がいた。
19 彼は船に乗ってやって来て、アシュトラシュ地方に着いた。すると、見よ、トゥルヌスが彼らに向かってやって来た。彼はサルドゥニアへ行き、そこを滅ぼし、その後アンゲアスへ行って彼と戦うつもりだった。
20 アンゲアスとその兄弟ルクスはカノピアの谷でトゥルヌスと出会い、そこで彼らの間で激しい戦いが繰り広げられた。
21 戦いはサルドゥニアの王ルクスにとって激しく、彼の軍隊は全滅し、彼の息子ニブロスもその戦いで倒れた。
22 そして、叔父のアンゲアスは家臣たちに命じてニブロスのために金の棺を作らせ、彼をその中に納めた。そしてアンゲアスは再びトゥルヌスに向かって戦いを挑み、トゥルヌスよりも強かったので彼を殺し、剣の刃で彼の民を皆殺しにした。こうしてアンゲアスは、兄の息子ニブロスと兄ルクスの軍隊の仇を討った。
23 トゥルヌスが死ぬと、戦いを生き延びた者たちの手は弱り、アンゲアスとその兄弟ルクスの前から逃げ出した。
24 アンゲアスとその兄弟ルクスは、アルファヌとローマの間にある街道まで彼らを追跡し、剣の刃でトゥルヌスの全軍を殺した。
25 サルドゥニアの王ルクスは家臣たちに、青銅の棺を作り、その中に息子ニブロスの遺体を納めるように命じ、彼らはその場所にニブロスを埋葬した。
26 そして彼らはその場所に、街道沿いに高い塔を建て、今日までニブロスの名にちなんでその塔を名付け、ビベントゥの王トゥルヌスをニブロスと共にその場所に葬った。
27 見よ、アルファヌとローマを結ぶ街道の片側にニブロスの墓があり、もう片側にトゥルヌスの墓があり、その間には今日まで舗装路がある。
28 ニブロスが葬られたとき、彼の父ルコスは軍隊を率いて自分の土地サルデーニャに戻り、彼の兄弟であるアフリカの王アンゲアスは民を率いてビベントゥの町、すなわちトゥルヌスの町へ行った。
29 ビベントゥの住民は彼の名声を聞き、彼を非常に恐れ、泣きながら懇願して彼を迎えに出て行った。ビベントゥの住民はアンゲアスに自分たちを殺さず、町を滅ぼさないでほしいと懇願した。ビベントゥは当時キッティムの子らの町の一つとみなされていたので、彼はその町を滅ぼさなかった。
30 しかしその日から、アフリカの王の軍隊はキッティムに行って略奪し、彼らが行くときにはいつでも、アンゲアスの軍勢の隊長ゼフォが彼らに同行した。
31 その後、アンゲアスは軍隊を率いてプジムナの町に着き、そこからウズの娘ヤニアを妻として迎え、アフリカの自分の町に連れて行った。

第 61 章

1 その時、エジプトの王ファラオは、エジプトに堅固な宮殿を建てるよう民に命じた。
2 また、彼はヤコブの子らにエジプト人の建設を手伝うように命じ、エジプト人は王の住居として美しく

立派な宮殿を建てた。彼はそこに住み、統治を再開し、安泰に統治した。
3 その年、すなわちイスラエル人がエジプトに下ってから 72 年目に、ヤコブの子ゼブルンが死んだ。ゼブルンは 114 歳で亡くなり、棺に入れられて子供たちの手に渡された。
4 そして、七十五年に彼の兄弟シメオンが死んだ。彼は百二十歳で亡くなった。彼もまた棺に入れられ、子供たちの手に渡された。
5 エサウの子エリファズの子ゼフォは、ディンハバの王アンゲアスの軍司令官であり、毎日アンゲアスにエジプトでヤコブの子らと戦う準備をするようにと説得していたが、アンゲアスはそれをしたくなかった。なぜなら、彼の家臣たちがヤコブの子らの力、すなわちエサウの子らとの戦いで彼らが自分たちに何をしたかを彼に報告していたからである。
6 その頃、ゼフォは毎日アンゲアスを唆してヤコブの子らと戦わせようとしていた。
7 しばらくして、アンゲアスはゼフォの言葉に耳を傾け、エジプトでヤコブの子らと戦うことに同意した。アンゲアスは海辺の砂のように数えきれないほどの民を全員整列させ、エジプトへ戦いに行く決意を固めた。
8 アンゲアスの家臣の中に、ベオルの子バラムという名の 15 歳の若者がいた。この若者は非常に賢く、魔術の技を理解していた。
9 アンゲアスはバラムに言った、「どうか、魔術を使って、これから我々が向かうこの戦いで誰が勝つか分かるようにしてください。」
10 バラムは蝋を持ってくるように命じ、それを使ってアンゲアスの軍勢とエジプトの軍勢を表す戦車と騎兵の像を作り、そのために用意しておいた巧妙に準備された水の中にそれらを置いた。そして、ミルテの木の枝を手に取り、巧みに水の上にそれらを繋ぎ合わせると、水の中にアンゲアスの軍勢の像が現れ、エジプト人とヤコブの子らの像の前に倒れた。
11 バラムはこのことをアンゲアスに告げた。アンゲアスは絶望し、エジプトへ下って戦うための武器を持たず、自分の町にとどまった。
12 エリファズの子ゼフォは、アンゲアスがエジプト人との戦いに出陣することを諦めたのを見て、アフリカからアンゲアスから逃れ、キッティムへ行った。
13 キッティムの人々は皆、彼を大いに歓迎し、毎日彼を雇って戦いをさせた。ゼフォはその頃、非常に裕福になった。アフリカの王の軍隊はその頃もなお勢力を拡大し、キッティムの人々は、アフリカの王アンゲアスの軍隊が迫ってきているのを見て、集まってクプティツィア山へ行った。
14 ある日、ゼフォは子牛を失い、探しに出かけた。すると、山のあたりで子牛の鳴き声が聞こえた。
15 ゼフォは行って見ると、山の麓に大きな洞窟があり、その洞窟の入り口には大きな石があった。ゼフォはその石を割って洞窟に入り、見ると、大きな動物が牛をむさぼり食っていた。その動物は上半身は人間のようで、下半身は動物のようであった。ゼフォはその動物に立ち向かい、剣でそれを殺した。
16 キッティムの住民はこのことを聞くと、大いに喜び、こう言った。「私たちの家畜を食い尽くしたこの獣を殺したこの男に、私たちは何をしてあげようか。」
17 そして彼らは皆集まって、年に一度、彼に捧げる日を定め、その日を彼の名にちなんでゼフォと名付け、毎年その日に彼に注ぎの供え物と贈り物を捧げた。
18 その時、ウズの娘でアンゲアス王の妻であるヤニアが病気になった。アンゲアスとその家臣たちは彼女の病状を深く憂慮し、アンゲアスは賢者たちに言った。「ヤニアをどうしたらよいだろうか。どうすれば彼女の病を治せるだろうか。」賢者たちは彼に言った。「私たちの国の空気はキッティムの地の空気とは異なり、私たちの水は彼らの水とは異なるため、王妃は病気になったのです。」
19 空気と水が変わったために彼女は病気になった。また、故郷では先祖が橋を架けて運んできたプルマの水だけを飲んでいたからでもある。
20 アンゲアスは家臣たちに命じ、彼らはキッティムに属するプルマの水を器に入れて彼のところに持って来た。そして彼らはその水をアフリカの地のすべての水と量ったところ、その水はアフリカの水よりも軽いことがわかった。
21 アンゲアスはこのことを見て、すべての役人に命じて、何千、何万人もの石工を集めさせた。彼らは数えきれないほどの石を切り出し、建築者たちがやって来て、非常に頑丈な橋を建設した。彼らはキッティムの地からアフリカまで泉の水を運び、その水はヤニア女王と彼女のすべての用事のために、飲んだり、焼いたり、洗ったり、入浴したり、また、食物を得られるすべての種子と地のすべての果実に水をやるために使われた。
22 王は、キッティムの土を大きな船で運び込むように命じ、また、それで建築するための石も運び込ませた。そして、建築家たちはヤニア女王のために宮殿を建て、女王は病気から癒された。
23 その年の革命の時、アフリカの軍隊はいつものように略奪のためにキッティムの地にやって来た。エリファズの子ゼフォは彼らの報告を聞き、彼らについて命令を下し、彼らと戦った。すると彼らはゼフォの前に逃げ出し、ゼフォはキッティムの地を彼らから救った。
24 キッティムの子らはゼフォの勇猛さを見て、決心してゼフォを王とした。ゼフォは彼らの王となり、彼が統治している間に、彼らはトバルの子らと周囲の島々を征服しに行った。
25 そして彼らの王ゼフォは先頭に立って、トゥバルと島々と戦い、彼らを征服した。戦いから戻ると、彼らはゼフォの統治を再開し、彼の王宮として非常に大きな宮殿を建て、彼のために大きな玉座を作っ

た。こうしてゼフォはキッティム全土とイタリア全土を 50 年間統治した。

第 62 章

1 その年、すなわちイスラエル人がエジプトに下ってから 79 年目に、ヤコブの子ルベンがエジプトの地で死んだ。ルベンは 125 歳で死んだ。人々は彼を棺に入れ、彼の子らに引き渡した。
2 そして、80 年目に彼の兄弟ダンが死んだ。彼は 120 歳で死んだ。彼もまた棺に入れられ、子供たちの手に渡された。
3 その年にエドムの王クシャムが死に、その後、ベダドの子ハダドが 35 年間王位に就いた。81 年目にヤコブの子イッサカルがエジプトで死に、イッサカルは 122 歳であった。彼はエジプトで棺に入れられ、子孫に引き渡された。
4 そして 82 年目に、彼の兄弟アシェルが死んだ。彼は 123 歳で亡くなり、エジプトで棺に入れられ、子供たちの手に渡された。
5 そして 83 年目にガドは死んだ。彼は 125 歳で亡くなった。彼はエジプトで棺に入れられ、子供たちの手に渡された。
6 エドムの王ベダドの子ハダドの治世の 50 年目、すなわち 84 年目に、ハダドはエサウの子孫をすべて集め、約 40 万人の全軍を準備し、モアブの地に向かい、モアブと戦って彼らを貢納者にするために行った。
7 モアブの人々はこれを聞いて非常に恐れ、エドムの王ベダドの子ハダドと戦うのを手伝ってもらうためにミディアンの人々に使いを送った。
8 ハダドはモアブの地に来た。モアブとミディアンの子らは彼を迎えに出て行き、モアブの野で彼に対して戦列を整えた。
9 ハダドはモアブと戦い、モアブの子らとミディアンの子らから多くの死者が出た。およそ 20 万人であった。
10 モアブにとって戦いは非常に激しく、モアブの人々は戦いが自分たちにとって厳しいものであるのを見て、手を緩めて背を向け、ミディアンの人々に戦いを続けさせた。
11 ミディアンの子らはモアブの意図を知らなかったが、戦いで力を増し、ハダドとその全軍と戦った。そしてミディアンは皆、彼の前に倒れた。
12 ハダドはミディアン人を皆、激しく打ち殺し、剣の刃で彼らを殺し、モアブを助けに来た者たちを一人も残さなかった。
13 ミディアンの子らが皆戦いで滅び、モアブの子らが逃げ延びたとき、ハダドは当時のモアブ全土を自分の属国とし、彼らはハダドの支配下に入り、命じられたとおりに毎年税金を納めた。そしてハダドは向きを変えて自分の国へ帰って行った。
14 その年の革命の時、その地に残っていたミディアンの人々は、モアブの子らが戦いで背を向け、ミディアンを戦場に残したために、自分たちの同胞が皆ハダドとの戦いでモアブのために倒れたと聞いた。そこで、ミディアンの五人の王子は、その地に残っていた他の同胞と共に、同胞の仇を討つためにモアブと戦うことを決意した。
15 ミディアンの子らは東方の兄弟たちすべてに助けを送った。すると、兄弟たちすべて、ケトゥラの子らすべてがミディアンを助けてモアブと戦うためにやって来た。
16 モアブの子らはこのことを聞くと、東方の子らが皆集まって自分たちと戦おうとしているのではないかと非常に恐れ、モアブの子らはエドムの地のベダドの子ハダドに嘆願書を送ってこう言った。
17 さあ、今、私たちのところに来て私たちを助けてください。そうすれば、私たちはミディアン人を打ち倒します。彼らは皆集まって、東方の兄弟たちと共に戦いにやって来て、戦死したミディアンの仇を討とうとしているのです。
18 エドムの王ベダドの子ハダドは、全軍を率いて出陣し、ミディアンと戦うためにモアブの地へ行った。ミディアンと東方の民はモアブの地でモアブと戦い、両者の間で激しい戦いが繰り広げられた。
19 ハダドは剣の刃でミディアン人と東方の民を皆殺しにし、その時モアブをミディアンの手から救い出した。ミディアン人と東方の民のうち残っていた者たちはハダドとその軍隊の前に逃げ出し、ハダドは彼らを追ってその地まで行き、大虐殺した。殺された者たちは道端に倒れた。
20 ハダドはモアブをミディアンの手から救い出した。ミディアンの子らは皆剣の刃に倒れたからである。そしてハダドは向きを変えて自分の国へ帰った。
21 その日から、ミディアンの子らはモアブの子らを憎むようになった。それは、彼らがモアブの子らのために戦いで倒れたからである。そして、彼らの間には、生涯にわたって激しい敵意が生じた。
22 そして、モアブの地の道で見つかったミディアン人は皆、モアブの剣によって滅び、ミディアンの地の道で見つかったモアブ人は皆、ミディアンの剣によって滅びた。このようにして、ミディアンはモアブに、モアブはミディアンに、幾日も続いた。
23 その頃、ヤコブの子ユダがエジプトで死んだ。ヤコブがエジプトに下ってから 86 年目のことであった。ユダは 129 歳で死んだ。人々は彼の遺体を防腐処理し、棺に納めて、彼の子供たちに引き渡した。
24 ナフタリは八十九年に死んだ。百三十二十歳であった。彼は棺に入れられ、子供たちの手に渡された。
25 イスラエル人がエジプトに下ってから九十１年目、すなわちエサウの子エリファズの子ゼフォがキッティムの子らを治めていた３０年目に、アフリカの子らがいつものようにキッティムの子らを略奪するためにやって来たが、この１３年間はやって来なかった。
26 その年、彼らはアフリカにやって来た。エリファズの子ゼフォは部下数名と共に出て行き、彼らを激しく打ち破った。アフリカの軍勢はゼフォの前から

逃げ出し、殺された者たちはゼフォの前に倒れた。ゼフォとその部下は彼らを追撃し、アフリカの近くまで進み、打ち破り続けた。
27 アフリカの王アンゲアスはゼフォの行いを聞いて、非常に腹を立て、アンゲアスは一日中ゼフォを恐れていた。

第 63 章

1 そして、第 93 年目に、ヤコブの子レビがエジプトで死んだ。レビは死んだとき、137 歳であった。人々は彼を棺に入れ、彼の子供たちの手に渡した。
2 レビが死んだ後、エジプト全土の人々がヨセフの兄弟であるヤコブの子らが死んだのを見て、エジプト人は皆ヤコブの子らを苦しめ、その日からエジプトを出る日まで彼らの生活を苦しめ、ヨセフが彼らに与えたぶどう畑や畑、イスラエルの民が住んでいた豪華な家々、エジプトの富をすべて奪い、その時代にエジプト人はヤコブの子らからすべてを奪った。
3 その頃、エジプト全土の手はイスラエルの子らに対してますますひどくなり、エジプト人はイスラエル人を苦しめたので、イスラエルの子らはエジプト人のせいで命を落とすほど疲れ果てた。
4 その頃、イスラエル人がエジプトに下ってから百二年目に、エジプトの王ファラオが死に、その子メロルが代わりに王位に就いた。そして、ヨセフとその兄弟たちを知っていたエジプトのすべての有力者と、その世代のすべての者がその頃に死んだ。
5 そして、ヤコブの子らを知らず、彼らが自分たちにしてくれたすべての善行や、エジプトでの彼らのすべての力を知らない別の世代が、彼らの代わりに立ち上がった。
6 それゆえ、エジプト全土は、その日からヤコブの子らの生活を苦しめ、あらゆる種類の重労働で彼らを苦しめ始めた。それは、彼らが飢饉の時代に彼らを救い出した先祖たちを知らなかったからである。
7 これもまた、イスラエルの子らのために主から与えられたものであり、彼らが後の時代に益を得るためであり、イスラエルの子らすべてが彼らの神、主を知るためであった。
8 また、イスラエルの民のために主がエジプトで行おうとされるしるしと偉大な奇跡を知るため、イスラエルの子らが先祖の神である主を畏れ、彼らとその子孫が代々そのすべての道に歩むためである。
9 メロルは 20 歳で王位に就き、94 年間統治した。エジプトの人々は、彼の父の名にちなんで彼の名をファラオと呼んだ。これは、エジプトで彼らを統治するすべての王に対して行う慣習であった。
10 その時、アフリカの王アンゲアスの全軍は、いつものように略奪のためにキッティムの地に展開した。
11 エサウの子エリファズの子ゼフォは彼らの報告を聞き、軍隊を率いて彼らを迎え撃ち、道で彼らと戦った。
12 ゼフォは剣の刃でアフリカの王の軍隊を打ち、一人も残さず、アフリカの主君のもとに一人も戻らなかった。
13 アンゲアスは、エリファズの子ゼフォが自分の全軍を滅ぼしたことを聞き、アフリカの地のすべての兵士、海辺の砂のように数えきれないほどの民を集めた。
14 アンゲアスは弟のルコスに使いを送り、「あなたの全兵を率いて私のところに来て、私の兵士を滅ぼしたゼフォとキッティムの子らを討つ手助けをしてください」と言った。ルコスは全軍を率いてやって来て、弟のアンゲアスを助け、ゼフォとキッティムの子らと戦った。
15 ゼフォとキッティムの子らはこのことを聞くと、非常に恐れ、心に大きな恐怖が襲った。
16 またゼフォはエドムの地へ、エドムの王ベダドの子ハダドとエサウの子孫すべてに手紙を送り、こう言った。
17 私は、アフリカの王アンゲアスが兄弟と共に我々と戦うためにやって来ると聞きました。我々は彼を非常に恐れています。なぜなら、彼の軍隊は非常に大きく、特に彼が兄弟とその軍隊と共に我々に攻め寄せてくるからです。
18 さあ、あなたも私と一緒に上って来て、私を助けてください。私たちは共にアンゲアスとその兄弟ルコスと戦い、彼らの手から私たちを救い出してください。もしそうしなければ、私たちは皆死ぬことになるでしょう。
19 エサウの子孫はキッティムの子孫と彼らの王ゼフォに手紙を送り、「私たちはアンゲアスとその民と戦うことはできません。なぜなら、最初の王ベラの時代から、またエジプトの王ヤコブの子ヨセフの時代から、長年にわたって平和の契約が結ばれているからです。ヨセフとは、彼が父を葬った時にヨルダン川の向こう側で戦いました。」と伝えました。
20 ゼフォは兄弟であるエサウの子らの言葉を聞いて、彼らから離れ、アンゲアスを非常に恐れた。
21 アンゲアスと彼の兄弟ルコスは、約 80 万人の全軍をキッティムの子らに対して集結させた。
22 キッティムの子らは皆ゼフォに言った。「どうか、あなたの先祖の神に私たちのために祈ってください。もしかしたら、アンゲアスとその軍隊の手から私たちを救い出してくださるかもしれません。私たちは、その神が偉大な神であり、その神を信じる者を皆救ってくださると聞いているからです。」
23 ゼフォは彼らの言葉を聞き、主を求めて言った。
24 0 私の先祖アブラハムとイサクの神、主よ、今日、私はあなたが真の神であることを知りました。諸国の神々はすべてむなしく、役に立たないのです。
25 今日、私たちの先祖が私たちに伝えた、私たちの父アブラハムとのあなたの契約を私に思い出してください。そして、私たちの父アブラハムとイサクのために、今日、私に恵みを与えてください。そして、

戦いを挑んでくるアフリカの王の手から、私とキッティムの子らを救ってください。
26 主はゼフォの声を聞き入れ、アブラハムとイサクのゆえに彼を顧み、ゼフォとキッティムの子らをアンゲアスとその民の手から救い出された。
27 その日、ゼフォはアフリカの王アンゲアスとその民すべてと戦った。主はアンゲアスの民すべてをキッティムの子らの手に渡された。
28 アンゲアスの戦いは激しく、ゼフォは剣でアンゲアスとその兄弟ルコスの兵士全員を打ち殺し、その日の夕方までに約 40 万人が倒れた。
29 アンゲアスは自分の部下が皆死んだのを見て、アフリカの住民全員に手紙を送り、戦いを手伝うために自分のところに来るように命じた。手紙にはこう書いてあった。「アフリカにいる者は皆、10 歳以上であれば私のところに来なさい。皆私のところに来なさい。もし来なければ、彼は死刑に処せられ、彼の持ち物と家族全員は王に没収されるだろう。」
30 アンゲアスの言葉を聞いて、アフリカの残りの住民は皆恐れおののき、十歳以上の男と少年約三十万人が町から出て行き、アンゲアスのところにやって来た。
31 そして十日後、アンゲアスはゼフォとキッティムの子らとの戦いを再開し、両者の間で非常に激しい戦いが繰り広げられた。
32 アンゲアスとルコスの軍勢から、ゼフォは負傷した兵士約 2000 人を自分の手に送った。アンゲアス軍の隊長ソシフタルはその戦いで戦死した。
33 ソシフタルが倒れると、アフリカの軍勢は背を向けて逃げ出し、アンゲアスと彼の兄弟ルコスも彼らと共に逃げた。
34 ゼフォとキッティムの子らは彼らを追跡し、道中で約 200 人を激しく打ち殺した。彼らは父と共に逃げたアンゲアスの子アズドルバルを追跡し、道中で彼の部下 20 人を打った。アズドルバルはキッティムの子らから逃れ、殺されることはなかった。
35 アンゲアスと彼の兄弟ルコスは残りの部下たちと共に逃げ、恐怖と不安を抱えながらアフリカに逃げ込んだ。アンゲアスはエリファズの子ゼフォが自分と戦いに来るのではないかと、毎日恐れていた。

第 64 章

1 その時、ベオルの子バラムはアンゲアスと共に戦っていたが、ゼフォがアンゲアスに勝利するのを見て、そこから逃げてキッティムに来た。
2 ゼフォとキッティムの子らは彼を大いに敬って迎えた。ゼフォはバラムの知恵を知っていたので、ゼフォはバラムに多くの贈り物をし、バラムは彼と共に滞在した。
3 ゼフォは戦いから戻って来たとき、キッティムの子供たちのうち、彼と共に戦場に出た者たち全員を数えるように命じた。すると、一人も欠けていなかった。
4 ゼフォはこのことを喜び、王国を再建し、すべての臣民のために宴会を催した。
5 しかしゼフォは主を思い出さず、主が戦いで自分を助け、アフリカの王の手から自分と自分の民を救い出してくださったことを顧みず、なおもキッティムの子らとエサウの邪悪な子らの道に歩み、兄弟であるエサウの子らが教えた他の神々を崇拝した。それゆえ、「悪人からは悪が出てくる」と言われるのである。
6 ゼフォはキッティムのすべての子らを安全に統治したが、彼と彼の民すべてをアフリカの王の手から救い出した主を知らなかった。アフリカの軍勢はもはや以前のように略奪するためにキッティムに来なかった。彼らはゼフォの力を知っており、ゼフォは剣の刃で彼らすべてを打ち砕いたからである。そのため、アンゲアスはエリファズの子ゼフォとキッティムの子らをずっと恐れていた。
7 その時、ゼフォは戦争から戻ってきて、アフリカのすべての民に打ち勝ち、剣の刃で彼らを打ち破ったのを見て、キッティムの子らに、エジプトに行ってヤコブの子らとエジプトの王ファラオと戦うように勧めた。
8 ゼフォは、エジプトの勇士たちが死に、ヨセフとその兄弟たち、ヤコブの息子たちが死に、彼らの子孫、イスラエルの子孫が皆エジプトに残っていることを聞いた。
9 ゼフォは、ヨセフとその兄弟たちとエジプト全土の人々がカナンの地でヤコブをヘブロンに葬るために上った際に打ち負かしたエサウの子孫である兄弟たちの仇を討つため、彼らとエジプト全土と戦いに行くことを考えた。
10 ゼフォはエドムの王ベダドの子ハダドと、エサウの子孫である彼の兄弟たち全員に使者を送り、こう言った。
11 あなた方は、アフリカの王はあなた方の契約の仲間だから戦わないと言ったのではなかったか。見よ、わたしは彼と戦い、彼とその民すべてを打ち破った。
12 そこで私はエジプトとそこに住むヤコブの子孫と戦うことを決意しました。ヨセフとその兄弟、先祖たちがカナンの地で、父をヘブロンに葬るために上った時に私たちにしたことの復讐を、彼らにするのです。
13 さて、もしあなたがたが私のもとに来て、彼らとエジプトとの戦いで私を助けてくれるなら、私たちは兄弟たちの仇を討とう。
14 エサウの子らはゼフォの言葉に耳を傾け、大勢の民が集まって、ゼフォとキッティムの子らを助けて戦いに行った。
15 ゼフォは東方の民とイシュマエルの子孫すべてに、このような言葉を遣わした。すると彼らは集まって、エジプトとの戦いにおいてゼフォとキッティムの民を助けに来た。

16 そして、エドムの王と東方の民の王たち、イシュマエルの子孫たち、そしてキッティムの王ゼフォは皆出陣し、全軍をヘブロンに集結させた。
17 そして、その陣営は非常に大きく、長さは三日間の旅路に及び、海辺の砂のように数えきれないほどの民がいた。
18 そして、これらの王たちとその軍勢は皆下って行き、全エジプトを攻め、パトロスの谷に陣を張った。
19 エジプト全土が彼らの報告を聞き、エジプトの地のすべての人々、エジプトに属するすべての都市の人々、およそ 30 万人が集まった。
20 また、エジプトの人々は、当時ゴシェンの地にいたイスラエルの子らに使いを送り、彼らのところへ来てこれらの王たちと戦うように命じた。
21 イスラエルの人々は集まり、およそ百五十人であった。彼らはエジプト人を助けるために戦いに出た。
22 イスラエルとエジプトの人々は、およそ三十万人と百五十人の兵士で出陣し、これらの王たちと戦うために向かい、ゴシェンの地の外からパトロスの向かい側に陣取った。
23 エジプト人はイスラエル人が共に陣営に入って戦うことを信じなかった。エジプト人は皆、「イスラエルの子らは、エサウとイシュマエルの子らの手に我々を引き渡すかもしれない。彼らはイスラエルの兄弟だからだ」と言った。
24 エジプト人は皆イスラエルの子らに言った。「あなた方はここに留まり、我々がエサウとイシュマエルの子らと戦いに行く。もしこれらの王たちが我々に勝つようなことがあれば、あなた方も皆一緒に来て我々を助けてください。」イスラエルの子らはそのようにした。
25 キッティムの王エサウの子エリファズの子ゼフォとエドムの王ベダドの子ハダド、そして彼らのすべての陣営、東方のすべての子ら、イシュマエルの子ら、砂のように数えきれない民が、タクパンチェスの向かいのパトロスの谷に陣を張った。
26 シリア人ベオルの子バラムはゼフォの陣営にいた。彼はキッティムの子らと共に戦いに来たからである。バラムはゼフォとその部下たちから非常に尊敬されていた人物であった。
27 ゼフォはバラムに言った、「我々とエジプト人のどちらが戦いに勝つかを知るために、占いをしてください。」
28 バラムは立ち上がり、占いを試みた。彼はその知識に長けていたが、混乱してしまい、占いは彼の手の中で失敗に終わった。
29 彼は再び試みたが、うまくいかなかった。バラムはそれを諦め、それを完成させなかった。これは主からのものであり、ゼフォとその民を、先祖の神である主を戦いにおいて信頼していたイスラエルの子らの手に落とすためであった。
30 ゼフォとハダドは軍勢を編成し、エジプト軍は全軍約 30 万人で単独で彼らに立ち向かったが、イスラエル人は一人もいなかった。
31 そして、エジプト人は皆、パトロスとタクパンケスに対抗してこれらの王たちと共に戦ったが、戦いはエジプト人にとって厳しいものだった。
32 その戦いでは王たちはエジプト人よりも強く、その日、エジプトの兵士約 180 人が倒れ、王たちの軍勢の兵士約 30 人が倒れた。エジプトの兵士は皆、王たちの前から逃げ去った。そこでエサウとイシュマエルの子孫はエジプト人を追撃し、イスラエルの子らの陣営があった場所まで彼らを打ち続けた。
33 エジプト人は皆イスラエルの子らに叫んで言った、「急いで来て、私たちを助け、エサウ、イシュマエル、キッティムの子らの手から私たちを救ってください。」
34 イスラエルの子らの百五十人の男たちは、それぞれの陣地からこれらの王たちの陣営に走り、イスラエルの子らは主なる神に自分たちを救ってくださるよう叫んだ。
35 主はイスラエルの願いを聞き入れ、王たちの兵士をすべてイスラエルの手に渡された。イスラエルの子らはこれらの王たちと戦い、王たちの兵士約 4000 人を打ち倒した。
36 主は王たちの陣営に大きな混乱を起こされたので、イスラエルの子らは恐れに襲われた。
37 すると、王たちの軍勢はイスラエルの子らの前から逃げ去り、イスラエルの子らは彼らを追撃し、クシュの地の境界まで打ち続けた。
38 イスラエルの子らは道中でさらに二千人を殺したが、イスラエルの子らは一人も倒れなかった。
39 エジプト人は、イスラエルの子らが王たちとわずかな兵力で戦い、戦いが非常に激しく、
40 激しい戦いのため、エジプト人は皆、命の危険を感じ、エジプト全土から逃げ出し、皆が整列した軍勢から身を隠し、道端に隠れて、イスラエル人を戦いに残した。
41 イスラエルの子らは王の兵士たちに恐ろしい打撃を与え、彼らをクシュの地の境界まで追い払ってから引き返した。
42 イスラエル人は皆、エジプト人が自分たちにしたこと、すなわち、戦いの際にエジプト人が自分たちから逃げ出し、自分たちを孤立させて戦わせたことを知っていた。
43 そこでイスラエルの子らは策略を巡らし、戦いから帰る途中、道でエジプト人を見つけて、そこで彼らを打ち殺した。
44 そして、彼らは彼らを殺しながら、こう言った。
45 なぜあなた方は、わずかな民である私たちを捨てて、大軍を率いて私たちを討とうとする王たちと戦いに行ったのですか。それは、あなた方自身の命を救うためだったのですか。
46 イスラエル人が道で出会ったある者について、イスラエルの子らは互いに言い合って言った。「打て、打て。彼はイシュマエル人か、エドム人か、キッティムの子らだ。」そして彼らは彼の上に立ち、彼を

殺した。彼らは彼がエジプト人であることを知っていた。
47 イスラエルの子らは、エジプト人が戦いでイスラエルを見捨てて逃げ出したので、エジプト人に対してこれらのことを巧妙に行った。
48 イスラエルの子らは、このようにして道でエジプトの男たちを約 200 人殺した。
49 エジプトの人々は皆、イスラエルの子らが自分たちにした悪事を見て、イスラエルの子らを大いに恐れた。彼らはイスラエルの子らの偉大な力を見て、彼らのうち一人も倒れなかったからである。
50 こうしてイスラエルの子らは皆、喜びのうちにゴシェンへ帰り、エジプトの残りの人々はそれぞれ自分の場所へ帰った。

第 65 章

1 これらの出来事の後、エジプトの王ファラオのすべての顧問官とエジプトのすべての長老たちが集まり、王の前に来て地にひれ伏し、王の前に座った。
2 エジプトの顧問官と長老たちは王にこう言った。
3 見よ、イスラエルの子らの民は我々よりも強く、力も勝っている。そして、我々が戦いから帰る途中で、彼らが我々にしたすべての悪事をあなたは知っている。
4 あなたはまた、彼らの強大な力を見た。この力は彼らの先祖から受け継がれたものである。わずかな者たちが砂のように数えきれない民に立ち向かい、剣で彼らを打ち倒したが、彼ら自身からは一人も倒れなかった。もし彼らが多数であったなら、完全に滅ぼし尽くしていたであろう。
5 ですから、彼らがこの地で私たちにとって手に負えないほど増えてしまう前に、私たちが徐々に彼らを滅ぼしていくまで、どうすべきか私たちに助言を与えてください。
6 イスラエルの子らがこの地で増えれば、彼らは私たちにとって障害となり、もし戦争が起きれば、彼らはその強大な力で私たちの敵に加わり、私たちと戦い、私たちをこの地から滅ぼし去り、そこから去ってしまうでしょう。
7 そこで王はエジプトの長老たちに答えて言った、「これはイスラエルに対して企てられた計画であり、我々はこの計画から離れるつもりはない。
8 見よ、この地にはピトムとラメセスという、戦いに備えられていない町がある。あなたと我々がそれらを再建し、要塞化するのは当然のことである。
9 それゆえ、あなた方も行って、彼らに対して巧妙に行動し、王の命令に従ってエジプトとゴシェンで声を上げて、こう言いなさい。
10 エジプト、ゴシェン、パトロス、そしてそのすべての住民よ！王は私たちにピトムとラメセスを建設し、戦いのために要塞化するように命じました。エジプト全土、イスラエルの子ら、そしてこれらの町の住民の中で、私たちと共に建設に携わる者は、王の命令により、それぞれ日当が支給されます。ですから、まずあなた方が先に行き、巧みに行動し、集まってピトムとラメセスに来て建設してください。
11 建設中は、王の命令により、毎日エジプト全土にこのような布告を発するようにしなさい。
12 イスラエルの子らがあなたと共に建設に来るときは、数日間、彼らに日当を払いなさい。
13 彼らが日当であなたたちと共に建設を終えた後、あなたたちは毎日一人ずつひそかに彼らから離れ、立ち上がって彼らの監督者、役人となり、その後は彼らに無償で建設を続けさせ、もし彼らが拒否するならば、全力を尽くして彼らに建設を強制しなさい。
14 もしあなたがたがこのようにするならば、イスラエルの子らに対して我々の土地を強化することは我々にとって良いことである。なぜなら、建設と仕事の疲れのために、イスラエルの子らは減少するからである。あなたがたは日々彼らから妻を奪うからである。
15 エジプトの長老たちは皆、王の助言を聞き、その助言は彼らの目にも、ファラオの家臣たちの目にも、エジプト全土の目にも良いと思われたので、彼らは王の言葉どおりに行動した。
16 そして、すべての家臣は王のもとを離れ、エジプト全土、タクパンケスとゴシェン、そしてエジプトを取り囲むすべての町々に布告を出させた。
17 あなた方は、エサウとイシュマエルの子孫が私たちにしたことを見た。彼らは私たちに戦いを挑み、私たちを滅ぼそうとした。
18 そこで王は、我々に国土を要塞化し、ピトムとラメセスの町を建設し、もし彼らが再び我々に攻め寄せてきた場合に備えて、それらの町を要塞化するように命じた。
19 エジプト全土およびイスラエルの子らの中から、私たちと共に建設に来る者は誰でも、王の命令どおり、王から日当を受け取ることができる。
20 エジプトとイスラエルの子らは皆、ファラオの家臣たちが語ったことをすべて聞いたとき、エジプト人やイスラエルの子らはファラオの家臣たち、ピトム、ラメセスと共に建設するためにやって来たが、レビの子らは兄弟たちと共に建設するために来なかった。
21 そして、ファラオとその高官たちの家臣たちは皆、最初は欺瞞をもってイスラエル人全員と共に日雇い労働者として建設に携わり、最初はイスラエル人に日当を支払った。
22 そしてファラオの家臣たちは全イスラエルと共に建設を行い、イスラエルと共にその仕事に 1 か月従事した。
23 そして月末になると、ファラオの家臣たちは皆、イスラエルの民からひそかに身を引いていった。
24 イスラエルはその時も仕事を続けていたが、エジプト人の何人かがまだイスラエルと共に仕事をしていたので、その時に日当を受け取った。エジプト人は、イスラエルの同労者である自分たちも労働の報

酬を受け取れるように、その日にイスラエルに日当を支払ったのである。
25 そして一年と四か月が過ぎた頃には、エジプト人は皆イスラエルの子らから去り、イスラエルの子らは自分たちだけで仕事をするようになった。
26 そしてエジプト人はイスラエルの子らから完全に去った後、戻ってきて彼らを圧制し、支配するようになった。また、彼らの中にはイスラエルの子らの上に監督者として立ち、労働の報酬として彼らからすべてを受け取る者もいた。
27 エジプト人はイスラエルの子らを日々苦しめるために、このようにした。
28 そしてイスラエルの子らは皆、労働に従事していたが、エジプト人はそれ以降、イスラエルの子らに賃金を一切支払わなかった。
29 イスラエルの民の中には、賃金が支払われないことを理由に働くことを拒否する者がいたため、ファラオの徴税人や家臣たちは彼らを虐げ、激しく打ち、力ずくで彼らを連れ戻し、兄弟たちと共に働かせた。エジプト人は皆、イスラエルの民に対してこのようにした。
30 イスラエルの子らは皆、このことでエジプト人を非常に恐れ、イスラエルの子らは皆帰って、報酬も受け取らずに一人で働いた。
31 イスラエルの子らはピトムとラメセスを建て、イスラエルの子らは皆その仕事に従事した。ある者は煉瓦を作り、ある者は建物を建て、イスラエルの子らはエジプト全土とその城壁を建設し、要塞化した。イスラエルの子らは、主が彼らを思い出し、エジプトから連れ出す時まで、長年にわたって仕事に従事した。
32 しかし、レビの子らは、初めからエジプトを出る日まで、イスラエルの同胞たちと共に働くことはなかった。
33 レビの子孫は皆、エジプト人がイスラエル人に対してこれらの言葉をすべて欺いて言ったことを知っていたので、レビの子孫は兄弟たちと共にその仕事に近づかなかった。
34 そしてエジプト人は、レビの子らが最初同胞たちと一緒にいなかったため、その後彼らを働かせようとはしなかった。それでエジプト人は彼らを放っておいた。
35 そしてエジプト人の手は、その仕事においてイスラエルの子らに対して絶えず厳しく向けられ、エジプト人はイスラエルの子らを厳しく働かせた。
36 そしてエジプト人は、モルタルやレンガを使った重労働や、あらゆる種類の畑仕事によって、イスラエルの子らの生活を苦しめた。
37 イスラエルの子らはエジプトの王メロルを「エジプトの王メロル」と呼んだ。それは、彼の時代にエジプト人があらゆる種類の労働で彼らの生活を苦しめていたからである。
38 エジプト人はイスラエルの子らにあらゆる仕事をさせ、イスラエルの子らを苦しめるために厳しく働かせたが、苦しめれば苦しめるほど、イスラエルの子らはますます増え、成長したので、エジプト人はイスラエルの子らのことで悲しんだ。

第 66 章

1 その時、エドムの王ベダドの子ハダドが死に、東の民の国メスレカ出身のサムラが彼の代わりに王位に就いた。
2 エジプトの王ファラオの治世第 13 年、すなわちイスラエル人がエジプトに下ってから 125 年目に、サムラはエドムを 18 年間統治していた。
3 そして、彼が王位に就くと、エリファズの子ゼフォとキッティムの子らと戦うために軍勢を率いて出陣した。彼らはアフリカの王アンゲアスと戦い、彼の全軍を滅ぼしたからである。
4 しかし、エサウの子らが「彼は私たちの兄弟だ」と言って止めたので、サムラは彼と戦わなかった。そこでサムラはエサウの子らの声に耳を傾け、全軍を率いてエドムの地に引き返し、エリファズの子ゼフォと戦うことはしなかった。
5 エジプトの王ファラオはこのことを聞いて言った。「エドムの王サムラはキッティムの子らと戦うことを決意し、その後エジプトと戦うつもりだ。」
6 エジプト人はこのことを聞くと、イスラエル人がハダドの時代にエサウの子孫と戦った時と同じように、イスラエル人に仕返しをしないように、イスラエル人に対する労働力を増やした。
7 そこでエジプト人はイスラエルの子らに言った。「急いで仕事をし、任務を終え、国を強固にせよ。さもないと、あなたたちの兄弟であるエサウの子孫が我々と戦いに来るだろう。あなたたちのせいで彼らは我々に攻め来るのだ。」
8 イスラエルの子らは日ごとにエジプト人の仕事をしたので、エジプト人はイスラエルの子らを苦しめて、その地での彼らの数を減らした。
9 しかし、エジプト人がイスラエルの子らに課す労働を増すにつれて、イスラエルの子らは増え、増え、エジプト全土はイスラエルの子らで満ち溢れた。
10 イスラエルがエジプトに下ってから 125 年目に、エジプト人は皆、自分たちの策略がイスラエルに対して成功せず、イスラエルが増し、エジプトの地とゴシェンの地がイスラエルの子らで満ち溢れるのを見た。
11 そこでエジプトの長老たちと賢者たちは皆王の前に来て、王にひれ伏し、王の前に座った。
12 エジプトの長老たちと賢者たちは皆、王に言った。「王よ、永遠に生きられますように。あなたはイスラエルの子らに対する助言を私たちに与えてくださり、私たちは王の言葉どおりに彼らにしました。」
13 しかし、労働が増えるにつれて彼らも増え、その地に蔓延り、見よ、国全体が彼らで満ち溢れている。
14 そこで、わが主であり王よ、エジプト全土の目はあなたに注がれています。あなたの知恵をもって彼

らに助言を与え、イスラエルを打ち負かし、彼らを滅ぼし、あるいはこの地から追い出してください。王は彼らに答えて言った、「この件について助言を与えてください。そうすれば、我々は彼らにどうすべきかを知ることができます。」
15 すると、王の顧問の一人で、メソポタミアのウズの地出身のヨブという名の役人が王に答えて言った。
16 もし王様がよろしければ、このしもべの助言をお聞きください。王様は彼に「話せ」と言われた。
17 ヨブは王と王子たちとエジプトのすべての長老たちの前でこう言った。
18 見よ、イスラエルの子らの労働に関して王が以前に助言した助言は非常に良いものであり、あなた方は彼らからその労働を永久に奪ってはならない。
19 しかし、もし王が彼らを苦しめるのが良いと思われるなら、あなたがたが彼らの苦しみを軽減するために勧められているのは次の助言です。
20 見よ、我々は長い間戦争を恐れてきた。そして、イスラエルがその地で繁栄するようになったら、戦争が起きれば彼らは我々をその地から追い出すだろうと言ってきた。
21 もし王がお望みならば、勅令を出して、エジプトの法律に、イスラエル人に生まれたすべての男の子の血は地に流されるべきであると書き記し、それを取り消さないようにせよ。
22 あなたがこのようにすれば、イスラエルの男子が皆死んだとき、彼らの戦争の災いは終わるでしょう。王はそうして、すべてのヘブライ人の助産婦を呼び寄せ、このことを実行するように命じてください。こうして、王と王子たちはこのことを気に入り、王はヨブの言葉どおりにしました。
23 王はヘブライ人の助産婦たちを呼び寄せた。そのうちの一人の名はシェフラ、もう一人の名はプアであった。
24 そして助産婦たちは王の前に来て、王の前に立った。
25 王は彼らに言った、「あなたがたがヘブライ人の女たちの助産婦の仕事をし、彼女たちが産褥の座に座っているのを見たら、もし男の子なら殺しなさい。女の子なら生かしておきなさい。」
26 しかし、もしあなたがたがこれを行わないなら、わたしはあなたがたとあなたがたの家々を火で焼き尽くすでしょう。
27 しかし、助産婦たちは神を畏れ、エジプトの王にもその言葉にも耳を傾けなかった。ヘブライ人の女たちが助産婦に男の子か女の子を産むと、助産婦はその子に必要なことをすべて行い、生かしておいた。助産婦たちはいつもこのようにしていた。
28 このことが王に伝えられると、王は人を遣わして助産婦たちを呼び寄せ、彼女たちに言った。「なぜこのようなことをして、子供たちを生かしておいたのか。」
29 すると助産婦たちは王の前で答えて、こう言った。
30 王よ、ヘブライ人の女がエジプト人の女と同じだと思ってはならない。イスラエルの子らは皆健康で、助産婦が来る前に出産する。そして、あなたのしもべである私たちについては、長い間、ヘブライ人の女は誰も私たちを産んでいない。ヘブライ人の女は皆健康なので、自分自身で助産するのである。
31 ファラオは彼女たちの言葉を聞いて、この件に関して彼女たちを信じた。助産婦たちは王のもとを去り、神は彼女たちに恵みを与え、民は増え、非常に繁栄した。

第 67 章

1 エジプトの地に、レビの子孫で、アムラムという名の人がいた。彼はケハトの子で、レビの子で、イスラエルの子であった。
2 この人は行って、レビの娘で父の妹であるヨケベドを妻に迎えた。彼女は百二十六歳であった。彼は彼女のもとへ行った。
3 その女は身ごもって娘を産み、その子をミリアムと名付けた。その頃、エジプト人はイスラエルの子らの生活を苦しめていたからである。
4 そして彼女は再び身ごもり、男の子を産み、その子をアロンと名付けた。彼女が身ごもった頃、ファラオはイスラエルの男の子の血を流し始めたからである。
5 その頃、キッティムの王でエサウの子エリファズの子ゼフォが死に、ヤネアスが代わりに王位に就いた。
6 ゼフォがキッティムの子らを治めた期間は 50 年であった。彼は死んで、キッティムの地のナブナの町に葬られた。
7 そして、キッティムの子孫の力ある者の一人であるヤネアスが彼の後に王位に就き、50 年間統治した。
8 キッティムの王が死んだ後、ベオルの子バラムはキッティムの地から逃げ出し、エジプトに行ってエジプトの王ファラオのもとへ行った。
9 ファラオは彼の知恵について聞いていたので、彼を大いに敬って迎え、贈り物を与え、顧問に任命し、地位を高めた。
10 バラムはエジプトに住み、王のすべての貴族たちから尊敬され、貴族たちは皆彼の知恵を学びたいと切望したので、彼を高く評価した。
11 イスラエル人がエジプトに下ってから百三十年目に、ファラオは夢を見た。彼は王座に座っていたが、目を上げると、老人が彼の前に立っていた。老人の手には、商人が使うような秤があった。
12 老人は天秤を取り、ファラオの前に吊るした。
13 そして老人はエジプトのすべての長老たちとすべての貴族と偉人たちを連れてきて、彼らを一つに縛り付けて一つの秤に乗せた。
14 彼は乳牛の子ヤギを取り、もう一方の秤に乗せたところ、子ヤギの方が重かった。

15 ファラオはこの恐ろしい幻を見て驚いた。なぜあの子羊がすべてのものの中で優位に立っているのかと。ファラオが目を覚ますと、それは夢だった。
16 ファラオは朝早く起きて、家臣たち全員を呼び集め、夢の話をしました。すると、家臣たちは非常に恐れました。
17 王は賢者たちに言った。「私が見た夢を解き明かしてください。そうすれば、私はそれを知ることができるでしょう。」
18 ベオルの子バラムは王に答えて言った、「これは終わりの日にエジプトに起こる大きな災い以外の何物でもありません。」
19 イスラエルに一人の子が生まれる。その子はエジプトとその住民を滅ぼし、力強い手でイスラエル人をエジプトから連れ出すであろう。
20 それゆえ、王よ、この件について熟慮し、この災いがエジプトに起こる前に、イスラエルの子らの希望と期待を打ち砕いてください。
21 王はバラムに言った、「イスラエルに対してどうしたらよいだろうか。確かに、我々は最初に彼らに対してある方法で策略を巡らせたが、彼らに勝つことができなかった。
22 そこで、彼らに打ち勝つための助言も与えましょう。
23 バラムは王に答えて言った。「今すぐあなたの二人の顧問を呼んでください。この件について彼らの意見を聞いてから、あなたのしもべが話します。」
24 そこで王は人を遣わして、ミディアン人レウエルとウズ人ヨブという二人の顧問官を呼び寄せた。彼らは王の前に来て座った。
25 王は彼らに言った。「見よ、あなた方は私が見た夢とその解釈を聞いた。それゆえ、イスラエルの子らに対して何をすべきか考え、見極め、彼らの悪が私たちに襲いかかる前に、私たちが彼らに打ち勝つことができるようにせよ。」
26 ミディアン人レウエルは王に答えて言った。「王よ、永遠に生きられますように。王よ、永遠に生きられますように。」
27 もし王が良しとされるなら、ヘブライ人への攻撃をやめて彼らを放っておき、彼らに手を伸ばしてはならない。
28 これらは、主が昔に選び、地のすべての国民と王の中からご自身の嗣業として選び取った者たちである。彼らに手を伸ばして罰を受けずに済んだ者がいるだろうか。彼らの神は、そのような者に対して復讐をなさらなかった。
29 あなたは確かに知っているでしょう。アブラハムがエジプトに下ったとき、エジプトの前の王ファラオは彼の妻サラを見て、彼女を妻として迎えました。アブラハムは「彼女は私の妹です」と言ったからです。彼はエジプトの人々が妻のことで彼を殺すのではないかと恐れていたのです。
30 エジプトの王がサラを連れ去ったとき、神は彼とその家族をひどい災いで打ち、アブラハムに妻サラを返された。するとアブラハムは癒された。
31 ペリシテ人の王ゲラ人アビメレクは、アブラハムの妻サラのことで、人から獣に至るまであらゆる胎を塞いだため、神に罰せられた。
32 彼らの神が夜の夢の中でアビメレクに現れ、彼を恐れさせて、彼が連れ去ったサラをアブラハムに返させた。その後、ゲラルの民は皆サラのことで罰せられた。アブラハムは彼らのために神に祈ると、神はそれを聞き入れ、彼らを癒された。
33 アビメレクは自分と自分の民に降りかかったこのすべての災いを恐れ、妻サラをアブラハムのもとに返し、多くの贈り物を彼に贈った。
34 神はイサクをゲラルから追い出したときも、同じようにされた。神はイサクに不思議なことをなさったので、ゲラルのすべての水路は干上がり、実りをもたらす木々は実を結ばなくなった。
35 ゲラルのアビメレクと、彼の友人の一人であるアフザトと、彼の軍の隊長ピコルが彼のところへ行き、彼らは彼の前にひれ伏して地に伏した。
36 彼らは彼に自分たちのために祈ってほしいと頼んだ。彼は彼らのために主に祈った。すると主は彼の願いを聞き入れ、彼は彼らを癒された。
37 素朴で誠実なヤコブもまた、兄エサウの手から、また彼の母の兄弟であるシリア人ラバンの手から、命を狙っていた者から救い出された。同様に、彼とその子らを滅ぼそうと集結したカナンの王たちの手からも救い出された。主は彼らを彼らの手から救い出されたので、彼らは彼らに襲いかかり、彼らを打ち殺した。いったい誰が彼らに手を伸ばして罰を受けずに済んだだろうか。
38 確かに、あなたの父の父である先代のファラオは、ヤコブの子ヨセフの知恵を見て、エジプトの地のすべての君主たちの中で彼を高く引き上げた。なぜなら、ヨセフはその知恵によって、その地のすべての住民を飢饉から救い出したからである。
39 その後、神はヤコブとその子供たちにエジプトに下るように命じ、彼らの善行によってエジプトの地とゴシェンの地が飢饉から救われるようにした。
40 それゆえ、もしあなたがイスラエルの子らを滅ぼすことを良しとされるなら、彼らがエジプトに留まることを望まないなら、彼らをここから送り出して、彼らの先祖が滞在したカナンの地へ行かせてください。
41 ファラオはイテロの言葉を聞くと、彼に非常に腹を立てたので、イテロは恥辱を感じて王の前から立ち上がり、自分の国ミディアンへ行き、ヨセフの杖を持って行った。
42 王はウズ人ヨブに言った。「ヨブよ、あなたは何と言うのか。ヘブライ人について、あなたの助言は何だ。」

43 そこでヨブは王に言った。「この地の住民はすべてあなたの支配下にあります。王はご自身の目に良いと思われるように行動してください。」
44 王はバラムに言った、「バラムよ、何を言うのか。あなたの言葉を話してください。私たちがそれを聞けるように。」
45 バラムは王に言った、「王がヘブライ人に対して企てたすべてのことは、ヘブライ人は救われ、王はどんな策略を用いても彼らに打ち勝つことはできないでしょう。」
46 もしあなたが燃える火で彼らを滅ぼそうとしても、彼らに打ち勝つことはできない。彼らの神は確かに彼らの父アブラハムをカルデアのウルから救い出したからである。もしあなたが剣で彼らを滅ぼそうとしても、確かに彼らの父イサクは剣から救い出され、彼の代わりに雄羊が置かれた。
47 もしあなたが、厳しい労働によって彼らの数を減らしようとしても、あなたはこれにも成功しないでしょう。なぜなら、彼らの父ヤコブはラバンに仕え、あらゆる重労働に従事して成功したからです。
48 それゆえ、王よ、私の言葉を聞いてください。これは彼らに対抗するために勧められた助言であり、これによってあなたは彼らに打ち勝つことができ、この助言から離れてはならないのです。
49 もし王がお望みならば、今日から生まれる彼らの子供たちを皆水に投げ込むように命じてください。そうすれば、あなたは彼らの名を消し去ることができるでしょう。なぜなら、彼らも彼らの父祖たちも、このような方法で裁かれたことはなかったからです。
50 王はバラムの言葉を聞き、そのことが王と王子たちの喜びとなり、王はバラムの言葉どおりに行動した。
51 王はエジプト全土に布告を出し、法律を制定するように命じた。「今日からヘブライ人の男児は皆、水に投げ込まれる。」
52 ファラオはすべての家臣を呼び集めて言った。「今、ゴシェンの地中を探し回って、イスラエルの子らがいる所に行き、ヘブライ人の息子は皆川に投げ込み、娘は皆生かしておけ。」
53 イスラエルの子らは、ファラオが男子を川に投げ込むように命じたことを聞くと、民の中には妻と別れる者もいれば、妻に付き従う者もいた。
54 その日から、夫と共に残っていたイスラエルの女たちは、出産の時が来ると、野原に行ってそこで出産し、野原で出産し、子供を野原に残して家に帰った。
55 彼らの先祖に子孫を増やすと誓われた主は、天にいる奉仕の天使の一人を遣わし、子供一人ひとりを水で洗い、油を塗り、布で包み、その手に二つの滑らかな石を持たせ、一つからは乳を、もう一つからは蜜を吸わせ、その髪を膝まで伸ばして、それで身を覆えるようにされた。主は、その子を憐れみ、慰め、寄り添われた。
56 神は彼らを憐れみ、地上に彼らを増やしたいと望まれたので、地が彼らを受け止め、成長するまでそこに留めておくように命じられた。その後、地は口を開いて彼らを吐き出し、彼らは地の草や森の草のように町から芽生え、それぞれ自分の家族や父の家に戻り、彼らと共に暮らした。
57 イスラエルの子らの幼子たちは、神の恵みによって、野の草のように地上に生い茂った。
58 エジプト人は皆これを見て、それぞれ自分の畑に出て行き、牛のくびきと鋤を持って、種まきの時に土を耕すように畑を耕した。
59 彼らが耕作しても、イスラエルの子らの幼子を傷つけることはできなかったので、民は増え、非常に繁栄した。
60 ファラオは毎日、家臣たちにゴシェンへ行ってイスラエルの子らの幼子たちを探し出すように命じた。
61 そして彼らは探し出して一人を見つけると、その子を母親の胸から力ずくで引き離し、川に投げ込んだ。しかし、女の子は母親のそばに残した。エジプト人はイスラエル人に対して、このようにして生涯を過ごした。

第 68 章

1 その時、神の霊がアムラムの娘でアロンの姉妹であるミリアムに臨み、彼女は出て行って家について預言して言った。「見よ、今度私の父と母から私たちに息子が生まれる。彼はイスラエルをエジプトの手から救い出すであろう。」
2 アムラムは娘の言葉を聞くと、ファラオがヤコブの家の男子を皆水に投げ込むように命じた時に追い出した妻を、再び家へ連れ戻した。
3 こうしてアムラムは、ヨケベドを追い出してから三年後に妻ヨケベドを迎え入れ、彼女のもとへ行った。すると彼女は身ごもった。
4 そして、彼女が身ごもってから七か月後、男の子を産んだ。すると、家全体が、太陽と月が輝いているときのような、まばゆい光で満たされた。
5 そして女は、その子が美しく、見るに美しい子であるのを見て、三ヶ月間奥の部屋に隠した。
6 その頃、エジプト人はそこにいるすべてのヘブライ人を滅ぼそうと企てた。
7 エジプトの女たちはイスラエルの子らが住むゴシェンに行き、まだ言葉を話せない赤子を肩に担いで行った。
8 その頃、イスラエルの子らの女たちが子を産むと、エジプト人に知られないように、またエジプト人がその子らをその地から滅ぼさないように、女たちはそれぞれ自分の息子をエジプト人から隠した。
9 エジプトの女たちがゴシェンにやって来て、まだ話せない子供たちを肩に乗せていた。エジプトの女がヘブライ人の女の家に入ると、その赤ん坊が泣き出した。

10 すると、奥の部屋にいた子供が泣き声をあげたので、エジプトの女たちはファラオの家にそのことを伝えに行った。
11 ファラオは役人を遣わして子供たちを捕らえさせ、殺させた。エジプト人はヘブライ人の女たちにいつもこのようにした。
12 ヨケベドが息子を隠してから約 3 か月後、そのことがファラオの宮廷で知られるようになった。
13 すると女は、役人たちが来る前に急いで息子を連れ出し、葦で箱舟を用意し、それに泥と瀝青を塗り、その中に子供を入れて、川岸の葦原に置いた。
14 そして、彼の妹ミリアムは、彼に何が起こるか、また自分の言葉がどうなるかを知ろうとして、遠く離れて立っていた。
15 その時、神はエジプトの地に恐ろしい熱を送られた。それは太陽が巡るように人の肉を焼き尽くし、エジプト人をひどく苦しめた。
16 そしてエジプト人は皆、焼けつくような暑さのために川に降りて行って体を洗った。
17 ファラオの娘バティアも、うだるような暑さのために川で水浴びをしに行った。彼女の侍女たちも、エジプトのすべての女たちも、川岸を歩いていた。
18 バティアは目を上げて川を見ると、水面に箱舟が見えたので、侍女を遣わしてそれを取りに行かせた。
19 彼女はそれを開けて子供を見た。すると、その赤子は泣いていた。彼女は彼を哀れに思い、「これはヘブライ人の子だ」と言った。
20 エジプトの川岸を歩いていた女たちは皆、彼に乳を与えたいと願ったが、彼は乳を飲もうとしなかった。これは主からのことで、彼を母の乳房に戻すためであった。
21 その時、彼の妹ミリアムは川岸のエジプトの女たちの中にいて、このことを見て、ファラオの娘に言った。「ヘブライ人の女の中から乳母を連れてきて、その子に乳を与えさせましょうか。」
22 するとファラオの娘は彼女に「行きなさい」と言ったので、その若い女性は行ってその子の母親を呼びました。
23 するとファラオの娘はヨケベドに言った。「この子を連れて行って、私のために乳を与えてください。そうすれば、毎日銀貨二枚をあなたの賃金として払います。」女はその子を連れて行き、乳を与えた。
24 2 年後、その子が成長したとき、彼女は彼をファラオの娘のところに連れて行った。彼は彼女にとって息子のような存在であり、彼女は彼の名をモーセと名付けた。それは、「私が彼を水の中から引き上げたから」と言ったからである。
25 そして、彼の父アムラムは彼の名をチャバルと名付けた。なぜなら、彼はかつて拒絶した妻と再び交わったからである。
26 そして、彼の母ヨケベドは、彼の名をイェクティエルと名付けた。それは、彼女が言った、「わたしは全能者に彼のことを望み、神は彼をわたしのもとに返してくれた」からである。
27 そして、彼の妹ミリアムは彼をジェレドと呼んだ。彼女は彼の最期を知ろうとして、彼を追って川へ下った。
28 すると、兄のアロンは彼の名をアビ･ザヌクと名付け、「私の父は母を捨てて、自分のために母のもとに戻った」と言った。
29 アムラムの父ケハトは、彼の名をアビグドルと名付けた。それは、神が彼のためにヤコブの家の破れを修復し、彼らがもはや男の子を水に投げ込むことができなくなったからである。
30 そして、彼らの乳母は彼をアビ･ソコと呼び、「ハムの子孫のせいで、彼は三ヶ月間、幕屋に隠れていた」と言った。
31 イスラエルの民は皆、彼の名をネタネルの子シェマイアと呼んだ。彼らは言った、「彼の時代に、神は彼らの叫びを聞き、彼らを虐げる者たちから救い出した」。
32 モーセはファラオの家に滞在し、ファラオの娘バティアにとって息子のような存在であり、モーセは王の子供たちの間で育った。

第 69 章

1 その頃、エドムの王は治世 18 年目に亡くなり、エドムの地に自分の王宮として建てた神殿に葬られた。
2 エサウの子らは川沿いのペトルに使いを送り、そこから美しい目と端正な容姿の若者を連れてきた。その名はサウルであった。そして彼らはサムラの地で彼を王とした。
3 そしてサウルはエドムの地でエサウの子孫すべてを治めて 40 年間統治した。
4 エジプトの王ファラオは、バラムがイスラエルの子らについて助言した助言が成功せず、彼らがエジプト全土でなおも子孫を増やし、増え続けているのを見て、
5 その頃、ファラオはエジプト全土のイスラエルの民に布告を発するように命じた。「何人も日々の労働を減らしてはならない。」
6 モルタルやレンガで日々の労働において不足が認められた者は、その末息子が代わりにその仕事をする。
7 その頃、エジプトでの労働はイスラエルの子らに重くのしかかり、もし誰かの日々の労働でレンガが一つでも不足すると、エジプト人はその者の末っ子を母親から力ずくで連れ去り、父親が不足させたレンガの代わりにその子を建物の中に入れた。
8 エジプトの人々は、イスラエルのすべての子らに対して、毎日毎日、長い間、そのようにした。
9 しかし、レビ族は、その当時、同胞であるイスラエル人とは最初から協力しなかった。レビの子孫は、エジプト人が最初にイスラエル人に対して行った狡猾さを知っていたからである。

第 70 章

1 モーセが生まれて三年目に、ファラオは宴会を開いていた。王妃アルパラニトは王の右に、バティアは左に座り、幼いモーセは王妃の胸に抱かれていた。ベオルの子バラムとその二人の息子、そして王国のすべての王子たちが王の前で食卓についていた。
2 すると少年は王の頭に手を伸ばし、王の頭から王冠を取って自分の頭にかぶせた。
3 王と王子たちは少年がした仕事を見て、恐れおののき、ある者は隣人に驚きを告げた。
4 王は食卓に着いていた家臣たちに言った。「家臣たちよ、この件について、あなた方は何を言い、何を言うのか。この行為のために、この少年に対してどのような判決を下すべきか。」
5 すると、魔術師ベオルの子バラムが王と王子たちの前で答えて言った。「わが主君、王よ、あなたが何日も前に見た夢と、あなたのしもべがあなたに解き明かした夢を思い出してください。」
6 さて、この子はヘブライ人の子であり、神の霊が宿っているのです。わが君王よ、この子が何も知らずにこのようなことをしたなどとは決して思わないでください。
7 彼はヘブライ人の少年であり、まだ幼いにもかかわらず、知恵と理解力を持っている。彼は知恵をもってこれを行い、エジプトの王国を自ら選んだ。
8 これは、ヘブライ人全員が王や貴族を欺き、これらのことをすべて巧妙に行い、地上の王やその民を震え上がらせるやり方である。
9 あなたは確かに、彼らの父アブラハムがこのように行動したことを知っている。彼はバベルの王ニムロデとゲラルの王アビメレクの軍隊を欺き、ヘトの子らの地とカナンの全ての王国を自分のものにした。
10 そして彼はエジプトに下り、妻サラについて「彼女は私の妹だ」と言って、エジプトとその王を惑わした。
11 彼の息子イサクもゲラルに行ってそこに住み、彼の力はペリシテ人の王アビメレクの軍隊に打ち勝った。
12 彼はまた、妻リベカを自分の妹だと偽って、ペリシテ人の王国をつまずかせようと考えた。
13 ヤコブはまた、兄を裏切り、兄から長子の権利と祝福を奪い取った。
14 彼はパダン･アラムに行き、母の兄弟であるラバンの家に行き、巧みに彼の娘と家畜と彼の持ち物すべてを奪い、逃げてカナンの地にある父のもとへ帰った。
15 彼の息子たちは弟のヨセフを売り、ヨセフはエジプトに下って奴隷となり、12 年間牢獄に入れられた。
16 以前のファラオが夢を見て、彼を牢獄から連れ出し、夢を解き明かしてくれたので、エジプトのすべての王子たちの中で彼を高く上げた。
17 そして、神がその地全体に飢饉を起こされたとき、彼は父と兄弟たち全員、そして父の家族全員を呼び寄せ、無償で彼らを養い、エジプト人を奴隷として買い取った。
18 それゆえ、わが君王よ、ご覧ください。この子はエジプトで彼らの代わりに立ち上がり、彼らの行いに従い、すべての王、君主、裁判官を欺こうとしています。
19 もし王がお望みなら、今、彼の血を地に流しましょう。さもないと、彼が成長してあなたの手から統治権を奪い、彼が統治した後、エジプトの希望は滅びてしまうでしょう。
20 バラムは王に言った。「エジプトのすべての裁判官と賢者たちを呼び集めて、あなたが言われたようにこの少年に死刑の判決が下されるべきかどうかを調べさせてください。そうすれば、私たちは彼を殺します。」
21 そこでファラオは人を遣わしてエジプトのすべての賢者を呼び寄せた。彼らは王の前に来た。すると主の天使が彼らの間に現れた。その天使はエジプトの賢者の一人のようであった。
22 王は賢者たちに言った。「あなた方は、この家にいるヘブライ人の少年が何をしたか、そしてバラムがこの件についてどのように裁いたかを聞いたはずだ。」
23 今度はあなたがたも判断して、その少年が犯した行為に対して、どのような報いを受けるべきかを見てください。
24 すると、ファラオの賢者の一人のように見える天使が、エジプトのすべての賢者と王と王子たちの前で、次のように答えた。
25 王がよろしければ、王は人を遣わして、黒曜石と火の炭を持ってきて、その子の前に置かせてください。もしその子が手を伸ばして黒曜石を取るならば、その若者が知恵をもって行ったことすべてを知り、我々は彼を殺さなければならないでしょう。
26 しかし、もし彼が炭の上に手を伸ばすなら、私たちは彼が故意にこのことを行ったのではないと知り、彼は生きるであろう。
27 そのことは王と王子たちの目には良いと思われたので、王は主の天使の言葉どおりにした。
28 王は、オニキスの石と炭を持ってきてモーセの前に置くように命じた。
29 彼らは少年を彼らの前に立たせた。少年はオニキスの石に手を伸ばそうとしたが、主の天使が彼の手を取り、炭の上に置いた。すると炭は彼の手の中で消え、彼はそれを持ち上げて口に入れた。すると唇と舌の一部が焼け、口と舌が重くなった。
30 王と王子たちはこれを見て、モーセが王の頭から冠を取ったのは賢明な行いではなかったと悟った。
31 そこで王と王子たちはその子を殺すのを思いとどまったので、モーセはファラオの家にとどまり、成長し、主は彼と共におられた。
32 その少年が王の家にいる間、彼は紫の衣をまとい、王の子供たちの間で育った。
33 モーセが王宮で育ったとき、ファラオの娘バティアは彼を息子のように思い、ファラオの家族全員が彼を敬い、エジプトの人々は皆彼を恐れた。

34 彼は毎日出て行って、兄弟であるイスラエルの子らが住むゴシェンの地に行った。モーセは彼らが毎日息切れして重労働をしているのを見た。
35 モーセは彼らに尋ねて言った、「なぜあなたたちには毎日このような労働が課せられているのですか」。
36 そして彼らは、自分たちに起こったことすべてと、ファラオが生まれる前に彼らに課したすべての命令を彼に話した。
37 彼らはベオルの子バラムが彼らに対して企てたすべての計画、そして王冠を奪った後に彼を殺すために企てた計画を彼に告げた。
38 モーセはこれらのことを聞くと、バラムに対して怒りを燃やし、彼を殺そうと企て、日ごとに彼を待ち伏せした。
39 バラムはモーセを恐れ、彼と二人の息子は立ち上がってエジプトを出て行き、逃げて命を救い、クシュの地へ行き、クシュの王キキアヌスに身を寄せた。
40 モーセは王宮に出入りしていたが、主はファラオの目にも、すべての家臣の目にも、エジプトのすべての民の目にも、モーセを好意的に思われた。そして彼らはモーセを非常に愛した。
41 モーセが同胞に会うためにゴシェンに行った日、彼はイスラエルの子らが重荷を負い、苦労して働いているのを見て、彼らのことで心を痛めた。
42 モーセはエジプトに戻り、ファラオの家に行き、王の前に出て、王の前でひれ伏した。
43 モーセはファラオに言った。「わが主よ、私はあなたに小さな願い事をしに来ました。どうか私の顔を空しく見捨てないでください。」ファラオは彼に言った。「話せ。」
44 モーセはファラオに言った、「ゴシェンにいるイスラエルの子らに、労働から休むための一日を与えてください。」
45 すると王はモーセに答えて言った、「見よ、わたしはあなたの願いを叶えるために、この件であなたの顔を上げたのだ。」
46 そしてファラオはエジプトとゴシェン全土に布告を発するように命じ、こう言った。
47 イスラエルのすべての子らよ、王はこう言う。六日間は仕事をし、労苦を積むが、七日目は休んで、いかなる仕事もしてはならない。王とバティアの子モーセが命じたとおりに、すべての日をこのように過ごしなさい。
48 モーセは王が自分に与えたこのことを喜び、イスラエルの民は皆、モーセの命じたとおりにした。
49 これは主からイスラエルの子らへのことであった。主はイスラエルの子らを彼らの先祖のために救うために、彼らを思い出し始められたからである。
50 主はモーセと共におられ、彼の名声はエジプト全土に広まった。
51 モーセはエジプト人全員の目にも、イスラエル人全員の目にも偉大な人物となり、イスラエルの民のために善を求め、王に彼らに関する平和の言葉を語った。

第 71 章

1 モーセが十八歳になったとき、父と母に会いたいと思い、ゴシェンへ行った。モーセがゴシェンに近づいたとき、イスラエルの子らが仕事をしている所に着き、彼らの重荷を見て、エジプト人がヘブライ人の同胞の一人を打っているのを見た。
2 殴られた男はモーセを見ると、助けを求めて彼のところに走って行った。モーセはファラオの宮廷で非常に尊敬されていたからである。男はモーセに言った。「わが主よ、どうか私にお付き合いください。このエジプト人が夜中に私の家に来て、私を縛り、私の目の前で私の妻のところへ行き、今、私の命を奪おうとしています。」
3 モーセはこの悪事を聞くと、エジプト人に対して怒りを燃やし、あちこち探し回ったが、誰もいないのを見て、エジプト人を打ち、砂の中に隠した。そして、ヘブライ人を打った者の手から救い出した。
4 ヘブライ人は自分の家へ帰り、モーセも自分の家へ戻り、王宮へ出て行った。
5 その男は家に帰ると、妻を捨てることを考えた。ヤコブの家では、妻が汚された後に夫が妻のところに行くのは正しくなかったからである。
6 すると女は行って兄弟たちに告げた。すると女の兄弟たちは彼を殺そうとしたが、彼は自分の家に逃げて逃げ延びた。
7 二日目にモーセは兄弟たちのところへ出て行き、二人の男が争っているのを見た。モーセは悪人に言った、「なぜ隣人を打つのか」。
8 するとモーセは答えて言った、「誰があなたを私たちの君主、また裁き人に任命したのか。エジプト人を殺したように、私を殺そうとしているのか。」モーセは恐れて言った、「確かにこのことは知られているでしょう。」
9 ファラオはこのことを聞き、モーセを殺すように命じた。そこで神は御使いを遣わし、御使いは近衛隊長の姿でファラオの前に現れた。
10 すると主の使いは衛兵隊長の手から剣を取り、それで彼の首をはねた。衛兵隊長の姿はモーセの姿に変わった。
11 主の使いはモーセの右手をつかみ、彼をエジプトから連れ出し、エジプトの国境の外、四十日の旅路の距離の場所に置いた。
12 そして、彼の兄弟アロンだけがエジプトの地に残り、イスラエルの子らに預言して言った。
13 あなたたちの先祖の神、主はこう言われる。「各自、自分の目に忌まわしいものを捨て去り、エジプトの偶像で身を汚してはならない。」
14 その時、イスラエルの子らは反逆し、アロンの言うことを聞こうとしなかった。

15 主は彼らを滅ぼそうとしておられたが、主はアブラハム、イサク、ヤコブと結ばれた契約を覚えておられなかった。
16 その頃、ファラオの手はイスラエルの民に対して容赦なく、彼らを抑圧し、苦しめ続けた。しかし、神が御言葉を遣わし、彼らに目を留めた時が来た。

第 72 章

1 その頃、クシュの子らと東方の人々、アラムの人々との間に大きな戦争が起こり、彼らは自分たちの支配下にあったクシュの王に反逆した。
2 そこでクシュの王キキアヌスは、砂のように数えきれないほどのクシュの民を率いて出陣し、アラムと東方の民と戦い、彼らを服従させせようとした。
3 キキアヌスが出て行くとき、彼は魔術師バラムとその二人の息子を町と、その地の最も下層の人々を守るために残した。
4 そこでキキアノスはアラムと東方の民のところへ出て行き、彼らと戦って打ち破った。彼らは皆、キキアノスとその民の前に傷つき倒れた。
5 彼は彼らの多くを捕虜にし、最初と同じように彼らを服従させ、いつものように彼らの土地に陣を張って彼らから貢ぎ物を取った。
6 クシュの王がベオルの子バラムに町と町の貧しい人々を守るよう命じたとき、バラムは立ち上がり、その地の民にキキアヌス王に反逆し、王が帰ってきたときに町に入れないようにと助言した。
7 その地の民は彼の言うことを聞き、彼に誓いを立て、彼を王とし、彼の二人の息子を軍の長とした。
8 そこで彼らは立ち上がり、町の二つの角に城壁を築き、非常に堅固な建物を建てた。
9 そして彼らは、町とクシュの地全体を取り囲む川との間に、三つ目の角に無数の溝を掘り、そこで川の水を噴出させせた。
10 彼らは第四の角で呪文と呪術によって数多くの蛇を集め、町を要塞化してそこに住み、彼らより先に出入りする者はいなかった。
11 キキアヌスはアラムと東方の民と戦い、以前と同じように彼らを征服し、彼らはいつものように貢物を納め、キキアヌスは自分の国へ帰って行った。
12 クシュの王キキアノスが、すべての軍司令官と共に自分の都に近づいたとき、彼らは目を上げて、都の城壁が築かれ、非常に高くなっているのを見て、人々はこれに驚いた。
13 彼らは互いに言った。「彼らは、私たちが戦いで遅れているのを見て、私たちを非常に恐れたので、このようなことをして、町の城壁を築き、要塞化したのだ。そうすれば、カナンの王たちが彼らと戦うことができないからだ。」
14 そこで王と軍隊は町の門に近づき、見上げると、町のすべての門が閉ざされていた。そこで彼らは番兵に叫んで言った。「門を開けて、町に入れ。」
15 しかし、番兵たちは、彼らの王である魔術師バラムの命令により、門を開けることを拒み、彼らが町に入ることを許さなかった。
16 そこで彼らは町の門の向かいで彼らと戦い、その日、キキアヌスの軍隊から 130 人が戦死した。
17 そして翌日も彼らは戦い続け、川岸で戦った。彼らは渡ろうとしたが渡ることができず、何人かは穴に落ちて死んだ。
18 そこで王は彼らに木を切り倒して筏を作り、それに乗って渡るように命じた。彼らはそのようにした。
19 そして、彼らが溝の場所に着くと、水は水車のように渦を巻き、10 艘のいかだに乗っていた 200 人が溺死した。
20 そして三日目に彼らは蛇のいる方角で戦おうとしたが、蛇が彼らのうち百七十人を殺したので、近づくことができなかった。彼らはクシュとの戦いをやめ、九年間クシュを包囲したが、誰も出入りしなかった。
21 その時、戦争と包囲がクシュに対して行われていたとき、モーセはエジプト人を殺した罪でファラオに殺されそうになり、エジプトから逃げ出した。
22 モーセはファラオの前からエジプトから逃げ出したとき、18 歳であった。彼は逃げて、当時クシュを包囲していたキキアヌスの陣営に逃れた。
23 モーセはクシュの王キキアヌスの陣営に九年間いた。彼らがクシュを包囲していた間ずっと、モーセは彼らと共に出入りした。
24 王と王子たちとすべての戦士たちはモーセを愛した。彼は偉大で立派な人物であり、その体格は高貴な獅子のようで、顔は太陽のようで、力は獅子のようであった。そして彼は王の顧問であった。
25 そして九年後、キキアノスは致命的な病にかかり、病魔に負けて七日目に死んだ。
26 そこで、彼のしもべたちは彼を防腐処理し、運び出して、エジプトの地の北にある町の門の向かいに埋葬した。
27 そして彼らは彼の上に、立派で頑丈な高い建物を建て、その下に大きな石を置いた。
28 そして王の書記官たちは、キキアヌス王の全ての力と、彼が戦った全ての戦いをそれらの石に刻み込んだ。見よ、それらは今日そこに記されている。
29 さて、クシュの王キキアヌスが死んだ後、戦争のために彼の部下や兵士たちは大いに悲しんだ。
30 そこで彼らは互いに言った。「私たちは故郷を離れて 9 年間荒野に住んでいます。どうしたらよいか、私たちに助言を与えてください。」
31 もし私たちが町と戦うと言えば、多くの人が負傷したり、死んだりするでしょう。また、もし私たちがここに留まって包囲されれば、私たちも死ぬでしょう。
32 今やアラムと東方の民の王たちは皆、私たちの王が死んだことを聞き、突然敵意をもって私たちを攻撃し、私たちと戦って、私たちの末裔を一人も残さないでしょう。

33 さあ、行って王を立て、町が我々の手に渡るまで包囲を続けよう。
34 その日、彼らはキキアヌスの軍隊の中から王を選ぶことを望んだが、モーセのような、自分たちを統治するのにふさわしい人物を見つけることができなかった。
35 彼らは急いで、それぞれ自分の衣服を脱ぎ捨て、地面に投げ捨て、大きな山を作り、その上にモーセを置いた。
36 すると彼らは立ち上がり、ラッパを吹き鳴らして王の前で叫び、「王よ、生きよ、王よ、生きよ！」と言った。
37 そして民衆と貴族たちは皆、キキアノスの妻であるクシュ人の女王アドニアをモーセに妻として与えることを誓い、その日、モーセを彼らの王とした。
38 その日、クシュの民は皆、布告を出して言った。「すべての人は、自分の持ち物の中からモーセに何かを捧げなければならない。」
39 そして彼らはその山の上に布を広げ、各自が自分の持っているものをその上に投げ入れた。ある者は金のイヤリングを、またある者は硬貨を投げ入れた。
40 また、クシュの子らは、オニキス、ベデリウム、真珠、大理石をモーセの山の上に投げ入れ、銀と金も大量に捧げた。
41 モーセは、クシュの子らが皆彼に贈った銀と金、すべての器、ベデリウムとオニキスの石をすべて取り、それらを自分の宝物の中に置いた。
42 その日、モーセはクシュの王キキアヌスに代わって、クシュの子らを治めた。

第 73 章

1 エジプトの王ファラオの治世の 55 年目、すなわちイスラエル人がエジプトに下ってから 157 年目に、モーセはクシュで統治した。
2 モーセはクシュの王位に就いたとき 27 歳で、40 年間統治した。
3 主はモーセにクシュの子らすべての目に恵みと好意を与え、クシュの子らはモーセを非常に愛した。こうしてモーセは主と人々に愛された。
4 そして、彼の治世の七日目に、クシュの子らは皆集まってモーセの前に来て、地にひれ伏して彼にひれ伏した。
5 すると子供たちは皆、王の前で声を揃えて言った。「この都に何をすべきか、私たちに助言を与えてください。」
6 というのも、私たちはもう 9 年間もこの町を包囲しているのに、子供たちや妻たちに会えていないからです。
7 そこで王は彼らに答えて言った。「もしあなたがたが私の言うことをすべて聞き従うならば、主は都を私たちの手に渡してくださり、私たちは都を征服することができるでしょう。」
8 もし私たちがキキアノスの死の前に彼らと戦った時のように戦うなら、以前と同じように多くの者が傷ついて倒れるでしょう。
9 それゆえ、この件に関して、ここにあなた方への助言がある。もしあなた方が私の声に耳を傾けるならば、この町は私たちの手に渡されるであろう。
10 そこで全軍は王に答えて言った、「我らが主が命じられることはすべて、我々は行います。」
11 モーセは彼らに言った、「通り過ぎて、陣営全体に声を上げて、すべての民にこう言いなさい。
12 王はこう言った。「森へ行き、コウノトリの雛を一人ずつ手に持って来なさい。」
13 王の言葉に背き、自分の子供を連れて来ない者は死刑に処せられ、王はその者の持ち物すべてを奪う。
14 あなたが彼らを連れて来たら、彼らはあなたの管理下に置かれ、あなたは彼らが成長するまで育て、鷹の雛のように飛び立つことを教えなければならない。
15 そこでクシュの子らは皆モーセの言葉を聞いて立ち上がり、宿営地中に布告を出してこう言った。
16 クシュの民よ、王の命令はこうだ。皆で森へ行き、そこでコウノトリの雛を捕まえ、一人ずつ自分の雛を手に持って家に持ち帰りなさい。
17 王の命令に違反する者は誰でも死刑に処せられ、王はその者の所有物をすべて奪う。
18 人々は皆そのようにして森へ行き、もみの木に登り、コウノトリの雛を一人ずつ手に捕まえ、王の命令に従って砂漠に連れて行き、育て、若いタカのように急降下することを教えた。
19 そして、コウノトリの雛が育つと、王は雛たちに三日間飢えさせるように命じ、民は皆その通りにした。
20 そして三日目に王は彼らに言った、「力をつけて勇敢な男になりなさい。各自鎧を身に着け、剣を帯び、各自馬に乗り、各自手に若いコウノトリを持って行きなさい。」
21 そして私たちは立ち上がり、蛇のいる所でその町と戦おう。そして民は皆、王の命令どおりにした。
22 彼らはそれぞれ自分の雛を手に持って出発し、蛇のいる場所に着くと、王は彼らに言った。「それぞれ自分の雛を蛇の上に放ちなさい。」
23 すると、王の命令で、人々はそれぞれ自分の若いコウノトリを放った。すると、若いコウノトリは蛇に飛びかかり、それらをすべて食い尽くし、その場所から滅ぼし尽くした。
24 王と民は、その場所で蛇がすべて滅ぼされたのを見て、民は皆大声で叫びました。
25 そして彼らは町に近づき、戦いを挑み、町を占領し、征服し、町に入った。
26 その日、町の住民、すなわち町に住んでいた者のうち、千百人が死んだ。しかし、包囲していた者たちは一人も死ななかった。

27 そこでクシュの子らは皆、それぞれ自分の家、妻と子供、そして自分の所有するすべての人々のところへ帰っていった。
28 魔術師バラムは、町が占領されたのを見て、門を開け、彼と彼の二人の息子と八人の兄弟は逃げてエジプトの王ファラオのもとへ帰った。
29 彼らは律法の書に記されている魔術師や呪術師たちであり、主がエジプトに災いをもたらされた時にモーセに敵対した者たちである。
30 こうしてモーセは知恵によってその町を攻略し、クシュの人々はクシュの王キキアノスの代わりにモーセを王位に就かせた。
31 そして彼らは王冠を彼の頭に載せ、キキアノスの妻であるクシュ人の女王アドニアを彼の妻として与えた。
32 モーセは先祖の神、主を畏れ、彼女のところへは行かず、彼女に目を向けなかった。
33 モーセは、アブラハムがしもべのエリゼルに誓わせて、「私の息子イサクのために、カナンの娘たちの中から女を娶ってはならない」と言ったことを思い出した。
34 また、ヤコブが兄から逃げ出したとき、イサクが彼に命じて、「カナンの娘たちから妻をめとってはならない。また、ハムの子孫の誰とも結婚してはならない」と言ったとき、イサクがしたことも思い出してください。
35 主なる私たちの神は、ノアの子ハムとその子孫、そしてそのすべての子孫を、セムの子孫とヤペテの子孫、そして彼らの後の子孫に、永遠に奴隷として与えられた。
36 それゆえ、モーセはクシュを治めていた間、キキアノスの妻に心も目も向けなかった。
37 モーセは生涯を通して主なる神を畏れ、心を尽くし、魂を尽くして、主の御前を真実に歩んだ。彼は生涯を通して正しい道から逸れることなく、アブラハム、イサク、ヤコブが歩んだ道から右にも左にも逸れることはなかった。
38 モーセはクシュの子らの王国で力を増し、いつもの知恵でクシュの子らを導き、モーセはその王国で繁栄した。
39 その時、アラムと東方の民は、クシュの王キキアヌスが死んだことを聞き、その頃、アラムと東方の民はクシュに対して反乱を起こした。
40 モーセはクシュの民、すなわち非常に力強い民、約 3 万人の男たちを集め、アラムと東方の民と戦うために出陣した。
41 彼らはまず東方の民のところへ行った。東方の民は彼らの知らせを聞くと、彼らを迎えに行き、戦いを始めた。
42 東の民に対する戦いは激しく、主は東の民すべてをモーセの手に渡された。そして、およそ三百人が倒れて殺された。
43 すると東方の民は皆引き返して退却したので、モーセとクシュの民は彼らを追いかけ、彼らを征服し、彼らの慣習に従って彼らに税金を課した。
44 こうしてモーセと彼と共にいた民は皆、戦いのためにそこからアラムの地へ向かった。
45 アラムの人々も彼らを迎えに行き、彼らと戦ったが、主は彼らをモーセの手に渡された。アラムの人々の多くは傷ついて倒れた。
46 アラム人もモーセとクシュの人々によって征服され、いつもの税金を納めた。
47 モーセはアラムと東方の民をクシュの民に服従させ、モーセと彼と共にいた民は皆、クシュの地へ向かった。
48 モーセはクシュの子らの王国で力を強め、主は彼と共におられ、クシュの子らは皆彼を恐れた。

第 74 章

1 終わりの年にエドムの王サウルは死に、アクボルの子バアル･ハナンが彼の代わりに王となった。
2 モーセがクシュを治めていた第 16 年に、アクボルの子バアル･ハナンがエドムの地でエドムのすべての子らを 38 年間統治した。
3 彼の時代にモアブはエドムの力に反逆した。モアブはベダドの子ハダドの時代からエドムの支配下にあり、ハダドはモアブとミディアンを打ち破り、モアブをエドムの服従下に置いた。
4 アクボルの子バアル･ハナンがエドムを統治していたとき、モアブの民は皆エドムへの忠誠を捨てた。
5 その頃、アフリカの王アンゲアスが死に、その子アズドルバルが代わりに王位に就いた。
6 その頃、キッティムの子らの王ヤネアスが死に、人々は彼をカノピアの平原に住居として建てた神殿に葬り、ラティヌスが彼の代わりに王位に就いた。
7 モーセがクシュの子孫を治めた二十二年目に、ラティヌスはキッティムの子孫を四五年間治めた。
8 また、彼は自分のために大きくて立派な塔を建て、その中に、慣習に従って政務を行うための住居として、立派な神殿を建てた。
9 彼の治世の 3 年目に、彼はすべての熟練した職人たちに布告を出させ、彼らは彼のために多くの船を造った。
10 ラティヌスは全軍を集め、船に乗ってアフリカの王アンゲアスの息子アズドルバルと戦うためにやって来た。彼らはアフリカに到着し、アズドルバルとその軍隊と戦った。
11 ラティヌスはアズドルバルに勝利し、アズドルバルの父がウジの娘ヤニアを妻に迎えた際にキッティムの子らから持ち帰った水道橋をアズドルバルから奪い取り、水道橋を破壊してアズドルバルの全軍に大打撃を与えた。
12 そして、アズドルバルの残りの屈強な者たちは力を増し、彼らの心は嫉妬で満たされ、死をも恐れず、再びキッティムの王ラティヌスと戦いを挑んだ。

13 そして、戦いはアフリカのすべての人々にとって激しく、彼らは皆ラティヌスとその民の前で負傷して倒れ、アズドルバル王もその戦いで倒れた。
14 アズドルバル王にはウシュペゼナという非常に美しい娘がいた。彼女の美しさと容姿の良さゆえに、アフリカの男たちは皆、彼女の肖像を衣服に刺繍した。
15 ラティヌスの人々はアズドルバルの娘ウシュペゼナを見て、王ラティヌスに彼女を褒め称えた。
16 ラティヌスは彼女を自分のところに連れてくるように命じ、ラティヌスはウシュペゼナを妻として迎え、キッティムへ向かう途中で引き返した。
17 アズドルバルの息子アンゲアスが死に、ラティヌスが戦いから自分の国へ帰った後、アフリカの住民は皆立ち上がり、アズドルバルの弟であるアンゲアスの息子アニバルを王に立て、兄に代わってアフリカ全土の王とした。
18 そして、彼が王位に就くと、キッティムに行ってキッティムの子らと戦い、兄アズドルバルの仇討ちとアフリカの住民の仇討ちをすることを決意し、彼はそのようにした。
19 彼は多くの船を造り、全軍を率いてそれに乗ってキッティムへ向かった。
20 こうしてアニバルはキッティムの子らと戦い、キッティムの子らはアニバルとその軍隊の前で傷つき倒れ、アニバルは兄の仇を討った。
21 アニバルはキッティムの子らと 18 年間戦い続け、キッティムの地に住み、長い間そこに陣を張った。
22 アニバルはキッティムの子らをひどく打ち、彼らの有力者や君主を殺し、残りの民のうち約 8 万人を打ち殺した。
23 そして幾日も幾年も過ぎ去った後、アニバルは故郷のアフリカに戻り、兄アズドルバルに代わってしっかりと王位に就いた。

第 75 章

1 その時、イスラエル人がエジプトに下ってから 180 年目に、イスラエルの子らの中から、勇敢な男たち、徒歩で 3 万人がエジプトから出て行った。彼らは皆、ヨセフの子エフライムの子孫であるヨセフ族の者たちであった。
2 なぜなら、主が昔、イスラエルの子らに定めておられた期間が満了した、と彼らは言ったからである。主はアブラハムにそのことを告げておられた。
3 そして彼らは身支度を整え、それぞれ腰に剣を帯び、それぞれ鎧を身に着け、自分たちの力に頼り、力強くエジプトから出て行った。
4 しかし彼らは道中の食料を何も持ってこなかった。銀と金だけを持ってきて、その日のパンさえも手に持っていなかった。彼らはペリシテ人から報酬として食料をもらおうと考えており、もしも得られなければ力ずくで奪い取ろうとしていた。
5 そして、これらの男たちは非常に力強く勇敢な男たちで、一人で千人を追撃でき、二人で一万人を打ち負かすことができた。それで彼らは自分たちの力に頼り、そのまま一緒に進んだ。
6 そして彼らはガトの地に向かって進み、下って行くと、ガトの羊飼いたちがガトの子らの家畜を飼っているのを見つけた。
7 そこで彼らは羊飼いたちに言った。「羊をいくらか分けてください。私たちはお腹が空いています。今日はパンを何も食べていないのです。」
8 羊飼いたちは言った。「あれは私たちの羊や牛なのか。代金を払ってでもあなたたちに渡さなければならないのか。」そこでエフライムの子らは力ずくで奪おうと近づいてきた。
9 するとガトの羊飼いたちは彼らに向かって大声で叫んだので、彼らの叫び声は遠くまで聞こえた。それでガトの子供たちは皆、彼らのところへ出て行った。
10 ガトの人々はエフライムの人々の悪行を見て、戻ってガトの男たちを集め、それぞれ鎧を身に着けてエフライムの人々のところへ戦いに出た。
11 そして彼らはガトの谷で彼らと戦い、戦いは激しく、その日、彼らは互いに多くの死者を出した。
12 二日目にガトの人々はペリシテ人のすべての町々に助けに来てくれるよう使者を送り、こう言った。
13 どうか私たちのところに来て助けてください。そうすれば、エジプトから出てきて私たちの家畜を奪い、理由もなく私たちに戦いを挑んできたエフライムの子らを打ち倒すことができます。
14 エフライムの子らは三日間パンを食べていなかったので、飢えと渇きで疲れ果てていた。そこで、ペリシテ人の町々から四万人の男たちがガトの人々を助けに出て行った。
15 そして、これらの人々はエフライムの子らと戦ったが、主はエフライムの子らをペリシテ人の手に渡された。
16 そして彼らはエフライムの子らを皆殺しにした。エジプトから出てきた者たちは皆殺しにされ、戦いから逃げ出した十人を除いては、一人も残らなかった。
17 この災いは、主がエフライムの子らに下されたもので、彼らは主が昔イスラエルに定めた時が来る前にエジプトを出て、主の言葉に背いたからである。
18 また、ペリシテ人からも多くの死者が出た。およそ 2 万人で、彼らの同胞は彼らを運び、自分たちの町に埋葬した。
19 エフライムの子らの殺された者たちは、ガトの谷に何日も何年も放置され、埋葬されることもなく、谷は人の骨で満たされた。
20 そして、戦いから逃れた者たちはエジプトに行き、イスラエルのすべての子らに自分たちに起こったすべてのことを話した。
21 そして彼らの父エフライムは幾日も彼らのために嘆き悲しみ、彼の兄弟たちが彼を慰めにやって来た。

22 彼は妻のところへ行き、妻は男の子を産んだ。彼はその子をベリヤと名付けた。妻は彼の家で不幸な者であったからである。

第 76 章

1 その頃、アムラムの子モーセはクシュの地で王であり、その王国は繁栄し、クシュの民を公正、正義、誠実に統治していた。
2 クシュの子らは皆、モーセが彼らを治めていた間ずっと彼を愛し、クシュの地の住民は皆彼を大いに恐れた。
3 モーセがクシュを治めていた第 40 年に、モーセは王座に座り、王妃アドニアがその前に座り、すべての貴族が彼の周りに座っていた。
4 王妃アドニアは王と王子たちの前で言った。「クシュの子らよ、あなた方は長い間、一体何をしてきたのですか。」
5 あなた方もご存じのとおり、この男がクシュを統治して 40 年もの間、彼は私に近づかず、クシュの子らの神々にも仕えなかった。
6 それゆえ、クシュの子らよ、よく聞きなさい。この男は我々の血を引いていないので、もはやあなたがたを支配させてはならない。
7 見よ、私の息子メナクロスは成長した。彼にあなたたちを治めさせなさい。あなたたちにとって、エジプトの王の奴隷である異邦人に仕えるよりも、あなたたちの主君の息子に仕える方が良いのだ。
8 クシュの民と貴族たちは皆、女王アドニアが彼らの耳に語った言葉を聞いた。
9 そして民は皆夕方まで準備をし、翌朝早く起きて、キキアノスの子メナクロスを王とした。
10 クシュの子らは皆、モーセに手を伸ばすことを恐れた。主がモーセと共におられたからである。クシュの子らはモーセに誓った誓いを思い出したので、モーセに危害を加えなかった。
11 しかし、クシュの人々はモーセに多くの贈り物をし、彼を大いに敬って送り出した。
12 こうしてモーセはクシュの地を出て、故郷に帰り、クシュの統治をやめた。モーセがクシュの地を出た時、彼は 66 歳であった。これは主の御心によるものであり、主が昔に定めておられた、イスラエルをハムの子孫の苦しみから救い出す時が来たからである。
13 そこでモーセはミディアンへ行った。ファラオのせいでエジプトに戻るのが怖かったからである。そしてミディアンの井戸のそばに行き、そこに座った。
14 ミディアン人レウエルの七人の娘たちは、父の羊の群れを飼うために出て行った。
15 そして彼らは井戸に行き、父の羊の群れに水を飲ませるために水を汲んだ。
16 そこでミディアンの羊飼いたちが来て彼らを追い払った。モーセは立ち上がって彼らを助け、羊の群れに水を飲ませた。
17 そして彼らは父レウエルのところへ帰り、モーセが自分たちのためにしてくれたことを話した。
18 彼らは言った、「エジプト人が羊飼いの手から私たちを救い出し、私たちのために水を汲んで羊の群れに水を飲ませてくれた。」
19 ルエルは娘たちに言った。「彼はどこにいるのか。なぜあの男を置いてきたのか。」
20 ルエルは人を遣わして彼を呼び寄せ、家に連れて帰り、彼と一緒に食事をした。
21 モーセはレウエルに、彼がエジプトから逃げてきて、クシュを 40 年間統治したこと、その後、人々が彼から統治権を奪い、彼を名誉と贈り物とともに平和のうちに送り出したことを話した。
22 レウエルはモーセの言葉を聞いて、心の中で言った。「この男を牢獄に入れよう。そうすればクシュの子らを和解させることができる。彼は彼らから逃げてきたのだから。」
23 そして彼らはモーセを捕らえて牢獄に入れ、モーセは 10 年間牢獄にいた。モーセが牢獄にいる間、レウエルの娘ツィッポラは彼を哀れみ、常にパンと水を与えて彼を支えた。
24 イスラエルの子らは皆、まだエジプトの地にいて、エジプト人に仕えてあらゆる種類の重労働に従事していた。そして、その頃、エジプトの支配はイスラエルの子らに対してますます厳しくなっていた。
25 その時、主はエジプトの王ファラオを打ち、彼の足の裏から頭のてっぺんまでらい病の災いをもたらした。イスラエルの子らに対する残酷な仕打ちのために、主はこの災いをエジプトの王ファラオに下されたのである。
26 主は、イスラエルの民の祈りを聞き入れ、彼らの叫びは彼らの苦労のゆえに主に届いた。
27 しかし、ファラオの怒りは彼らから離れず、ファラオの手はイスラエルの子らに伸ばされ続け、ファラオは主の前で頑なになり、イスラエルの子らに対するくびきを増し、あらゆる種類の重労働で彼らの生活を苦しめた。
28 主がエジプトの王ファラオに疫病を下されたとき、ファラオは賢者と魔術師に自分を治すように頼んだ。
29 すると、賢者と魔術師たちは彼に言った。「もし幼子の血を傷口に塗れば、彼は癒されるでしょう。」
30 ファラオは彼らの言うことを聞き入れ、家臣たちをゴシェンのイスラエルの民のもとへ遣わし、彼らの幼い子供たちを連れ去らせた。
31 ファラオの家臣たちは行って、イスラエルの子らの幼子たちを母親の胸から力ずくで奪い取り、毎日一人ずつファラオのもとに連れて行った。医者たちはその子らを殺し、疫病の治療に用いた。彼らは毎日このようにした。
32 ファラオが殺した子供の数は 375 人であった。
33 しかし、主はエジプトの王の医者たちの言うことを聞かず、疫病はますますひどくなった。

34 ファラオはその疫病に十年間苦しめられたが、ファラオの心はイスラエルの子らに対してますます頑なになった。
35 そして十年後、主はファラオに破壊的な災いを下し続けた。
36 すると主は彼をひどい腫瘍と胃の病気で打ち、その病気はひどい腫れ物になった。
37 その時、ファラオの二人の家臣が、イスラエルの子らが皆住んでいたゴシェンの地から来て、ファラオの家に行き、彼に言った。「私たちはイスラエルの子らが仕事に怠慢で、労働を怠っているのを見ました。
38 ファラオは家臣たちの言葉を聞くと、イスラエルの子らに対して非常に激しい怒りを燃やした。それは、彼が肉体の苦痛に深く心を痛めていたからである。
39 するとイエスは答えて言われた。「イスラエルの子らは私が病気だと知って、私たちをあざ笑う。だから、私の戦車を繋いでくれ。私はゴシェンへ行き、イスラエルの子らが私をあざ笑う様子を見よう。」そこで、しもべたちはイエスのために戦車を繋いだ。
40 そこで彼らは彼を馬に乗せた。彼は自分で馬に乗ることができなかったからである。
41 彼は騎兵 10 人と歩兵 10 人を連れて、イスラエルの子らの住むゴシェンへ行った。
42 そして、彼らがエジプトの国境に着くと、王の馬はぶどう畑の窪地にある、両側が柵で囲まれた狭い場所に入った。反対側は低い平野だった。
43 すると馬たちはその場所で速く走り、互いに押し合い、他の馬たちは王の馬を押し合いました。
44 王が馬に乗っていると、馬は低い平地に落ちた。王が落ちたとき、戦車は王の顔の上にひっくり返り、馬は王の上に倒れた。王は、皮膚がひどく痛んだので、叫び声をあげた。
45 王の肉は引き裂かれ、骨は砕かれ、彼は馬に乗ることができなかった。これは主が王に与えたものであり、主はイスラエルの民の叫びと彼らの苦しみを聞かれたからである。
46 そして、しもべたちは彼を少しずつ肩に担いでエジプトへ連れて帰り、彼と共にいた騎兵たちもエジプトへ帰った。
47 そして彼らは王を寝床に寝かせた。王は王の臨終が近いことを悟った。そこで王妃アパラニトが王の前に来て泣き、王も彼女と共に大声で泣いた。
48 その日、王の貴族や家臣たちは皆やって来て、王が苦しんでいるのを見て、王と共に大声で泣いた。
49 王の王子たちとすべての顧問は、王に、自分の息子の中から誰を選んでもよいので、王の代わりに国を治めるようにと助言した。
50 王には、妻である王妃アパラニトが産んだ息子 3 人と娘 2 人がおり、また側室との間に生まれた子供たちもいた。
51 そして、彼らの名前は、長男オトリ、次男アディカム、三男モリオン、そして彼らの姉妹の名前は、長女バティアと次女アクジであった。
52 そして王の長男オトリは愚か者で、言葉が早口でせっかちだった。
53 しかしアディカムは狡猾で賢い人で、エジプトのあらゆる知恵に通じていたが、容姿は醜く、肉付きが悪く、背丈は非常に低く、身長は 1 キュビトであった。
54 王は息子のアディカムがあらゆることにおいて聡明で賢明であるのを見て、自分の死後、彼を自分の代わりに王にしようと決心した。
55 彼はアビロットの娘ゲドゥダを妻として迎えた。彼は 10 歳で、彼女は彼に 4 人の息子を産んだ。
56 その後、彼は行って三人の妻をめとり、八人の息子と三人の娘をもうけた。
57 そして王には大きな混乱が蔓延し、その肉は夏の太陽の熱の中で野原に投げ捨てられた死体の肉のように悪臭を放った。
58 王は自分の病状がひどく悪化したのを見て、息子のアディカムを連れてくるように命じ、彼を自分の代わりにその地の王とした。
59 そして三年後、王は恥辱と不名誉と嫌悪の中で死に、家臣たちは彼を運び、ツォアン・ミツライムにあるエジプトの王たちの墓に葬った。
60 しかし、王の場合の慣例に従って彼を防腐処理しなかった。彼の肉は腐敗しており、悪臭のために近づいて防腐処理することができなかったため、彼らは急いで彼を埋葬した。
61 この災いは主から彼に下されたものであり、主は彼がかつてイスラエルに対して行った悪に対して、彼に悪をもって報いたのである。
62 彼は恐怖と恥辱の中で死に、その息子アディカムが彼の代わりに王となった。

第 77 章

1 アディカムは 20 歳でエジプトを統治し、4 年間統治した。
2 イスラエルがエジプトに下ってから 206 年目に、アディカムはエジプトを治めたが、彼の先祖たちが治めたほど長くはエジプトを治めなかった。
3 彼の父メロルはエジプトで九四年間統治したが、十年間病に伏して死んだ。それは彼が主の前で悪を行ったからである。
4 そしてエジプト人は皆、エジプトの慣習に従って、ファラオの名を彼の父祖たちの名にちなんでアディカムと呼んだ。
5 そしてファラオの賢者たちは皆、その名をアディカム・アフズと呼んだ。エジプト語では略してアフズと呼ばれる。
6 アディカムは非常に醜い男で、身長は 1 キュビト 1 スパンほどで、足の裏まで届くほどの長いあごひげを生やしていた。

7 そしてファラオは父の王座に着き、エジプトを統治し、その知恵によってエジプトの政務を行った。
8 彼は王位に就いている間、父王やそれ以前のすべての王たちよりも悪行を重ね、イスラエルの民に対する支配を強めた。
9 彼はしもべたちと共にゴシェンのイスラエルの民のところへ行き、彼らの労働を強めて言った。「毎日、仕事をやり遂げなさい。私の父の時代のように、今日から私たちの仕事から手を休めてはならない。」
10 彼はイスラエルの子らの中から彼らの上に役人を任命し、その役人の上に自分のしもべの中から監督者を任命した。
11 そして彼は、彼らがその数に従って毎日作業を行うように、レンガの量を彼らに与え、引き返してエジプトへ行った。
12 その時、ファラオの監督官たちはファラオの命令に従ってイスラエルの民の役人たちに命じて言った。
13 ファラオはこう言った。「毎日仕事をし、仕事を終え、レンガの量を毎日決めて守り、何も減らしてはならない。」
14 もしあなたがたに日々の糧となる煉瓦が足りないなら、わたしはあなたがたの幼い子供たちをその代わりに置くであろう。
15 そして、エジプトの監督官たちは、ファラオの命令どおりにそのようにした。
16 イスラエルの子らの日々のレンガの量が不足すると、ファラオの監督官たちはイスラエルの子らの妻たちのところへ行き、不足しているレンガの数と同じ数のイスラエルの子らの幼児を母親の膝から力ずくで連れ去り、レンガの代わりに建物の中に置いた。
17 彼らの父と母が彼らのために泣き叫んでいると、建物の壁の中から赤ん坊の泣き声が聞こえてきた。
18 そして監督たちはイスラエル人に、子供たちを建物の中に入れるように命じた。そこで、ある男は息子を壁の中に入れ、その上にモルタルを塗った。彼は息子を見て泣き、涙が子供の上に流れ落ちた。
19 エジプトの監督たちはイスラエルの幼子たちに何日もそのようにしたが、イスラエルの子らの幼子たちを憐れむ者も同情する者もいなかった。
20 その建物の中で殺された子供の総数は 270 人であった。その中には、父親たちが残した不足のレンガの代わりに、彼らがその上に建物を建てた子供たちもいれば、建物の中から死体となって引きずり出された子供たちもいた。
21 アディカムの時代にイスラエルの子らに課せられた労働は、彼の父の時代に彼らが行った労働よりもさらに過酷であった。
22 イスラエルの子らは、重労働のために毎日ため息をついていた。彼らは、「ファラオが死ぬと、その息子が立ち上がり、私たちの仕事を楽にしてくれるだろう」と心の中で思っていたからである。
23 しかし彼らは前者よりも後者の仕事を増やされたので、イスラエルの子らはこれにため息をつき、彼らの労苦のために神に叫び声をあげた。
24 その日、神はイスラエルの子らの声と叫びを聞き、アブラハム、イサク、ヤコブと結んだ契約を彼らに思い出された。
25 神はイスラエルの子らの重荷と、その日の彼らの重労働を見て、彼らを救い出すことを決意された。
26 その頃、アムラムの子モーセはミディアン人レウエルの家の牢獄に閉じ込められており、レウエルの娘ツィッポラは毎日ひそかに彼に食べ物を与えて養っていた。
27 そしてモーセはレウエルの家の地下牢に 10 年間閉じ込められた。
28 そして、父の跡を継いでエジプトを治めたファラオの治世の最初の年である十年の終わりに、
29 ツィッポラは父レウエルに言った。「あなたが 10 年間牢に閉じ込めておいたヘブライ人のことを、誰も尋ねたり探したりしません。」
30 そこで、もしそれがあなたの目に良しとされるなら、人を遣わして彼が生きているか死んでいるか確かめましょう。しかし、彼女の父親は彼女が彼を養っていたことを知らなかった。
31 すると、彼女の父レウエルは答えて言った。「人が 10 年間も食べ物も与えられずに牢に閉じ込められて生き延びたという例が、これまであっただろうか。」
32 するとツィッポラは父に答えて言った。「あなたはきっと、ヘブライ人の神は偉大で恐るべき方であり、常に彼らのために奇跡を行うと聞いておられるでしょう。
33 彼は、カルデアのウルからアブラハムを救い出し、父の剣からイサクを救い出し、ヤブクの渡し場で彼と格闘した主の使いからヤコブを救い出した方である。
34 また、神はこの人に対して多くのことをなさった。エジプトの川から、ファラオの剣から、クシュの子らから彼を救い出した。このように、神は彼を飢饉から救い出し、生きながらえさせることができる。
35 ルエルはそれを良いことと見なし、娘の言葉どおりに、モーセがどうなったか確かめるために牢獄へ人を遣わした。
36 すると彼は見た。見よ、モーセという人が牢獄にいて、立って先祖の神を賛美し、祈っていた。
37 するとレウエルはモーセを牢獄から連れ出すように命じたので、人々はモーセの髭を剃り、モーセは牢獄の服を着替えてパンを食べた。
38 その後、モーセは家の裏にあるレウエルの園に行き、そこで、彼のために数々の奇跡を行った主なる神に祈った。
39 彼が祈っていると、向かい側を見ると、見よ、サファイアの杖が地面に立てられ、園の真ん中に植えられた。
40 彼はその杖に近づいて見ると、万軍の主なる神の名が刻まれ、その杖に書かれ、はっきりと記されていた。

41 彼はそれを読んで手を伸ばし、森の木を茂みから引き抜くようにそれを引き抜いた。すると、その杖が彼の手に握られた。
42 そして、これは、私たちの神が天と地、そしてそれらすべてのもの、海、川、そしてそれらすべての魚を創造した後、そのすべての業を行った杖である。
43 神はアダムをエデンの園から追放した後、手に杖を取り、自分が取られた土地を耕しに行った。
44 そしてその杖はノアに渡り、セムとその子孫に与えられ、ついにはヘブライ人アブラハムの手に渡った。
45 アブラハムは自分の持っているもの全てを息子イサクに与えた後、この杖も彼に与えた。
46 ヤコブはパダン･アラムに逃げたとき、それを手に取り、父のもとに帰るときもそれを置いていかなかった。
47 また、ヤコブはエジプトに下ったとき、それを手に取り、ヨセフに兄弟たちよりも一等分して与えた。それはヤコブが兄エサウから力ずくで奪ったものであった。
48 ヨセフの死後、エジプトの貴族たちがヨセフの家に来て、その杖はミディアン人レウエルの手に渡り、彼はエジプトを出るときにそれを手に取り、自分の庭に植えた。
49 キニ人の勇士たちは皆、娘のツィッポラを奪おうとして、それを摘み取ろうとしたが、うまくいかなかった。
50 こうして、その棒はレウエルの庭に植えられたままで、権利のある人が来てそれを取り去るまでそのままだった。
51 レウエルはモーセの手にある杖を見て驚き、自分の娘ツィッポラをモーセに妻として与えた。

第 78 章

1 その時、エドムの王アハボルの子バアル･ハナンが死に、エドムの地にある彼の家に葬られた。
2 エサウの死後、エサウの子孫はエドムの地に人を遣わし、エドムにいたハダドという名の男を連れてきて、彼らの王バアル･ハナンの代わりに彼を王とした。
3 ハダドはエドムの民を 48 年間統治した。
4 彼は王位に就くと、モアブの子らと戦い、以前のようにエサウの子らの支配下に置こうと決意したが、できなかった。モアブの子らはこのことを聞き、立ち上がって、同胞の中から王を選ぼうと急いだからである。
5 その後、彼らは大勢の民を集め、エドムの王ハダドと戦うために、同胞であるアンモン人の子らに助けを求めた。
6 ハダドはモアブの子らがしたことを聞き、彼らを非常に恐れ、彼らと戦うのを控えた。
7 その頃、ミディアンに住むアムラムの子モーセは、ミディアン人レウエルの娘ツィッポラを妻として迎えた。
8 ツィッポラはヤコブの娘たちの歩みに倣い、サラ、リベカ、ラケル、レアの義に劣らない人であった。
9 ツィッポラは身ごもって男の子を産み、その子をゲルショムと名付けた。彼は「わたしは異国の地にいる寄留者であった」と言ったが、義父レウエルの命令に従って割礼を受けなかった。
10 そして彼女は再び身ごもり、男の子を産んだが、その子の包皮を切り、エリゼルと名付けた。モーセが「私の先祖の神は私の助けとなり、ファラオの剣から私を救い出してくださった」と言ったからである。
11 その頃、エジプトの王ファラオはイスラエルの子らの労働を大いに増やし、イスラエルの子らに対するくびきをますます重くした。
12 彼はエジプトで布告を出して、「もう人々にレンガを作るための藁を与えてはならない。人々は自分たちで藁を集めに行けばよい」と言った。
13 また、彼らが作る煉瓦の量を毎日彼らに与え、そこから何も減らしてはならない。彼らは仕事に怠惰だからである。
14 イスラエルの子らはこれを聞いて嘆き悲しみ、魂の苦しみのゆえに主に叫び求めた。
15 主はイスラエルの子らの叫びを聞き、エジプト人が彼らを虐げているのをご覧になった。
16 主はご自分の民と嗣業を熱心に思い、彼らの声を聞き、彼らをエジプトの苦難から救い出し、カナンの地を彼らに所有地として与えることを決意された。

第 79 章

1 その頃、モーセは義父であるミディアン人レウエルの羊の群れをシンの荒野の向こうで飼っていた。そして、義父から受け取った杖を手に持っていた。
2 ある日、一匹の子ヤギが群れからはぐれ、モーセがそれを追いかけると、それは神の山ホレブに着いた。
3 彼がホレブに着くと、主はそこで柴の中に現れた。彼は柴が火で燃えているのを見たが、火は柴を焼き尽くす力を持っていなかった。
4 モーセは、柴が燃え尽きないこの光景に大変驚き、この不思議な出来事を見ようと近づいた。すると主は火の中からモーセを呼び、エジプトの王ファラオのもとへ行き、イスラエルの民を彼の奉仕から解放するように命じられた。
5 主はモーセに言われた、「エジプトへ帰りなさい。あなたの命を狙っていた者たちは皆死んだ。ファラオに、イスラエルの子らをその地から追い出すように言いなさい。」
6 主は彼に、ファラオと彼の臣民の目の前でエジプトでしるしと不思議な業を行わせた。それは、彼らが主が彼を遣わされたことを信じるためであった。
7 モーセは主が命じられたことすべてに耳を傾け、義父のもとに戻ってそのことを話した。するとレウエルは彼に「安心して行きなさい」と言った。

8 モーセはエジプトへ行くために立ち上がり、妻と息
子たちを連れて行った。彼は道中の宿屋にいた。す
ると神の天使が降りてきて、彼を陥れる機会を探し
た。
9 彼は、長男が割礼を受けておらず、主がアブラハム
と結ばれた契約を破ったという理由で、彼を殺そう
とした。
10 モーセは、義父が彼に言った「長男に割礼をして
はならない」という言葉に耳を傾けたので、彼に割
礼をしなかった。
11 ツィッポラは主の使いがモーセを訴える口実を探
しているのを見て、これがモーセが自分の息子ゲル
ショムに割礼を施していないことによるのだと悟っ
た。
12 するとツィッポラは急いで、そこにあった鋭い岩
石を取り、息子に割礼を施し、主の天使の手から夫
と息子を救い出した。
13 その日、モーセの兄弟であるアムラムの子アロン
はエジプトで川のほとりを歩いていた。
14 すると主はその場所で彼に現れて言われた、「荒
野にいるモーセのところへ行きなさい」。彼は行っ
て神の山でモーセに会い、彼に口づけをした。
15 アロンは目を上げて、モーセの妻ツィッポラとそ
の子供たちを見て、モーセに言った。「この人たち
はあなたにとって誰ですか？」
16 モーセは彼に言った、「彼らは私の妻と息子たち
で、神がミディアンで私に与えてくださった者たち
です」。このことがアロンをその女と子供たちのこ
とで悲しませた。
17 アロンはモーセに言った。「その女とその子供た
ちを、彼女の父の家に帰らせてください。」モーセ
はアロンの言葉に聞き入れ、そのようにした。
18 ツィッポラは子供たちと共に戻り、レウエルの家
に行き、主がご自分の民を訪れ、ファラオの手から
エジプトから彼らを連れ出す時までそこに留まった。
19 モーセとアロンはエジプトのイスラエルの民のと
ころへ行き、主の言葉をすべて彼らに告げた。する
と民は大いに喜んだ。
20 翌日、モーセとアロンは朝早く起きてファラオの
家に行き、神の杖を手に取った。
21 彼らが王の門に着くと、二頭の若い獅子が鉄の檻
に閉じ込められており、王が命じた者以外は誰もそ
の前から出入りできなかった。そこで呪術師たちが
やって来て、呪文で獅子たちを解放し、こうして彼
らは王のもとへ連れて行かれた。
22 モーセは急いで杖をライオンの上に持ち上げ、ラ
イオンを解放した。そしてモーセとアロンは王宮に
入った。
23 ライオンたちも喜びながら彼らと共に来て、彼ら
について行き、犬が野原から帰ってきた主人を喜ぶ
ように喜んだ。
24 ファラオはこのことを見て驚き、その知らせにひ
どく恐れた。彼らの姿は神の子らの姿に似ていたか
らである。
25 ファラオはモーセに言った、「何を要求するの
か」。彼らは答えて言った、「ヘブライ人の神、主
が私たちをあなたのところに遣わし、『私の民を遣
わして、私に仕えさせなさい』と言わせました。
26 ファラオは彼らの言葉を聞いて、彼らの前で非常
に恐れを抱き、彼らに言った。「今日行って、明日
私のところに戻って来なさい。」彼らは王の言葉ど
おりにした。
27 彼らが去った後、ファラオは魔術師バラムと彼の
息子ヤンネスとヤンブレス、そして王に属するすべ
ての魔術師、呪術師、顧問たちを呼び寄せた。彼ら
は皆来て王の前に座った。
28 王はモーセと彼の兄弟アロンが彼に語った言葉を
すべて彼らに告げた。すると魔術師たちは王に言っ
た。「門に閉じ込められていたライオンのせいで、
どうしてあの人たちがあなたのところに来たのです
か？」
29 王は言った、「彼らは獅子に向かって杖を振り上
げて獅子を解き放ち、私のところに来た。獅子も犬
が主人に会って喜ぶように彼らを喜んだ。」
30 すると、魔術師ベオルの子バラムが王に答えて言
った。「彼らは私たちと同じような魔術師に他なり
ません。」
31 そこで、彼らを呼び出して来させ、試してみよう。
王はそうした。
32 朝になるとファラオはモーセとアロンを王の前に
呼び寄せた。二人は神の杖を持って王のところへ行
き、王にこう言った。
33 ヘブライ人の主なる神はこう言われた。「わたし
の民を遣わして、わたしに仕えさせよ。」
34 王は彼らに言った。「しかし、あなたがたが神の
使者であり、神の命令で私のところに来たことを、
誰が信じるだろうか。」
35 だから、この件に関して奇跡かしるしを示しなさ
い。そうすれば、あなたの言葉は信じられるでしょ
う。
36 アロンは急いで、ファラオと家臣たちの前で杖を
投げると、杖は蛇に変わった。
37 すると、魔術師たちはこれを見て、それぞれ杖を
地面に投げると、彼らは蛇になった。
38 アロンの杖の蛇は頭を上げ、口を開けて魔術師た
ちの杖を飲み込もうとした。
39 すると、魔術師バラムは答えて言った。「蛇が仲
間を飲み込み、生き物が互いに食い合うというのは、
昔からあることです。
40 さあ、それを最初のように杖に戻してください。
そうすれば、私たちも私たちの杖を最初のように戻
します。もしあなたの杖が私たちの杖を飲み込むな
ら、私たちはあなたの中に神の霊があることを知る
でしょう。そうでなければ、あなたは私たちと同じ
ようなただの職人にすぎません。
41 アロンは急いで手を伸ばし、蛇の尾をつかむと、
それは彼の手の中で杖になった。魔術師たちも自分

の杖で同じようにすると、それぞれが自分の蛇の尾をつかみ、それらは最初と同じように杖になった。
42 そして、彼らが杖に戻されたとき、アロンの杖が彼らの杖を飲み込んだ。
43 王はこのことを見て、エジプトの王たちの記録の書を持ってくるように命じた。人々はエジプトの王たちの年代記である記録の書を持ってきた。そこにはエジプトのすべての偶像が記されていた。彼らはそこにエホバの名を見つけようと思ったが、見つけることができなかった。
44 ファラオはモーセとアロンに言った。「見よ、私はこの書物の中にあなたたちの神の名を見つけられなかった。私はその名を知らない。」
45 すると、顧問官と賢者たちは王に答えた。「私たちは、ヘブライ人の神は賢者の子であり、古代の王の子であると聞いています。
46 ファラオはモーセとアロンに振り向いて言った、「あなたがたが告げた主を私は知らない。また、その民を送るつもりもない。」
47 彼らは王に答えて言った、「主なる神々の神こそその方の名です。その方は私たちの先祖の時代から、私たちの上にその名を宣言し、私たちを遣わしてこう言われました。『ファラオのところへ行って、私の民を遣わして、私に仕えさせなさい』と。
48 ですから、私たちを遣わして、荒野を三日間旅させてください。そこで彼にいけにえをささげましょう。私たちがエジプトに下って以来、彼は私たちの手から燔祭、供え物、いけにえを一度も受け取っていません。もしあなたが私たちを遣わさないなら、彼の怒りはあなたに対して燃え上がり、彼はエジプトを疫病か剣で打ち滅ぼすでしょう。
49 ファラオは彼らに言った、「今、彼の力と権能を私に話してください」。彼らは彼に言った、「彼は天と地、海とそこに住むすべての魚を創造し、光を形作り、闇を創造し、地に雨を降らせて水をやり、草木を芽生えさせ、人と獣と森の動物、空の鳥と海の魚を創造し、彼の口によって彼らは生き、死ぬのです」。
50 確かに、主はあなたの母の胎内であなたを創造し、あなたに命の息を吹き込み、あなたを育て、エジプトの王座に座らせた。そして主はあなたの息と魂をあなたから奪い、あなたが取られた土にあなたを戻すであろう。
51 彼らの言葉に王は激怒し、彼らに言った。「しかし、諸国の神々の中で、誰がこのようなことができるだろうか。この川は私のものであり、私が自分のために作ったのだ。」
52 彼は彼らを追い払い、イスラエルに対する労働を昨日やそれ以前よりもさらに厳しくするよう命じた。
53 モーセとアロンは王の前から出て行き、イスラエルの民がひどい状態にあるのを見た。監督たちが彼らの労働を非常に重くしていたからである。
54 モーセは主のもとに戻って言った。「なぜあなたはあなたの民を虐待されたのですか。私がファラオにあなたのお用件を伝えるためにやって来て以来、彼はイスラエルの子らをひどく虐待しました。」
55 主はモーセに言われた、「見よ、ファラオは手を伸ばし、重い災いを下して、イスラエルの子らをその地から追い出すであろう。」
56 そしてモーセとアロンは、エジプトで同胞であるイスラエルの子らの間に住んでいた。
57 イスラエルの子らは、エジプト人によって重労働を課せられ、苦しい生活を強いられた。

第 80 章

1 そして二年後、主は再びモーセをファラオのもとに遣わし、イスラエルの子らをエジプトの地から連れ出させた。
2 モーセはファラオの家に行き、彼を遣わした主の言葉をファラオに告げた。しかしファラオは主の声に耳を傾けようとしなかった。そこで神はエジプトでファラオとその臣民に対して力を奮い起こし、ファラオとその民を非常に大きな、恐ろしい災いで打った。
3 主はアロンの手を通して遣わし、エジプトのすべての水、すべての川と小川を血に変えられた。
4 あるエジプト人が水を飲みに来たとき、水差しの中を覗き込むと、水がすべて血に変わっていた。また、杯で飲もうとすると、杯の中の水も血に変わった。
5 そして、女がパン生地をこね、食べ物を調理すると、それらは血のように見えた。
6 すると主は再び遣わし、彼らのすべての水からカエルを湧き出させ、すべてのカエルがエジプト人の家に入り込んだ。
7 エジプト人が水を飲むと、腹の中にカエルがいっぱいになり、川で踊るように腹の中で踊った。
8 すると、彼らの飲み水や調理水はすべてカエルに変わり、寝床に横たわっているときの汗からもカエルが生まれた。
9 しかし、これらすべてにもかかわらず、主の怒りは彼らから離れず、主はエジプト人すべてに手を伸ばし、あらゆるひどい災いで彼らを打とうとされた。
10 彼は人を遣わして彼らの塵をシラミに変え、シラミはエジプトで地上で二キュビトの高さになった。
11 また、エジプトのすべての住民の人や動物の肉にシラミが非常に多く、主は王と王妃にもシラミを送られたので、エジプトはシラミのためにひどく苦しんだ。
12 しかし、主の怒りは収まらず、その手はなおエジプトの上に伸ばされていた。
13 主はあらゆる種類の野の獣をエジプトに送り込んだ。獣たちはやって来て、エジプトのすべて、人、獣、木々、そしてエジプトにあるすべてのものを滅ぼした。
14 すると主は、火の蛇、さそり、ねずみ、イタチ、ヒキガエル、その他塵の中を這う生き物を送られた。

15 ハエ、スズメバチ、ノミ、虫、ブヨはそれぞれ種類ごとに群れをなす。
16 そして、あらゆる種類の爬虫類と翼のある動物がエジプトにやって来て、エジプト人をひどく苦しめた。
17 そして、ノミとハエがエジプト人の目や耳に入り込んだ。
18 すると、スズメバチが彼らに襲いかかり、彼らを追い払った。彼らはそこから逃れて奥の部屋に逃げ込んだが、スズメバチは彼らを追いかけた。
19 エジプト人は動物の大群のために身を隠し、戸を閉めました。すると神は海にいたスラヌトに、上ってエジプトに入るように命じました。
20 彼女は腕が長く、男の腕の長さの 10 キュビトであった。
21 彼女は屋根に登り、垂木と床板を剥がして切り、腕を家の中に伸ばして錠と閂を外し、エジプトの家々を開いた。
22 その後、動物の大群がエジプトの家々に押し寄せ、エジプト人を滅ぼし、彼らはひどく悲しんだ。
23 しかし、主の怒りはエジプト人から去らず、主の手はなおも彼らに向かって伸ばされていた。
24 神は疫病を送られたので、疫病はエジプト全土に広がり、馬、ロバ、ラクダ、牛、羊の群れ、そして人々にも蔓延した。
25 エジプト人たちが朝早く起きて牛を牧草地へ連れて行こうとすると、牛がすべて死んでいた。
26 エジプト人の家畜は 10 頭に 1 頭しか残らず、ゴシェンにいたイスラエル人の家畜は 1 頭も死ななかった。
27 神はエジプト人の肉体に燃えるような炎症を送られ、皮膚が破れ、エジプト人全員の足の裏から頭のてっぺんまで激しいかゆみが生じた。
28 そして彼らの肉には多くの腫れ物ができて、肉は衰え、腐って腐敗した。
29 しかし、主の怒りは収まらず、その手は依然としてエジプト全土に及んでいた。
30 すると主は激しい雹を送られ、それが彼らのぶどうの木を打ち、果樹を折って枯らし、彼らの上に降り注いだ。
31 また、あらゆる青草は枯れて死んでしまった。雹の中に火が降りてきたので、雹と火がすべてを焼き尽くした。
32 また、外にいた人々や動物は、火と雹によって滅び、若い獅子は皆、力尽きてしまった。
33 主はエジプトに多数のイナゴ、すなわちカセル、サロム、チャルゴル、チャゴルのイナゴを遣わし、雹が残した作物をすべて食い尽くした。
34 エジプト人は、畑の産物を食い尽くしたにもかかわらず、いなごの大群を喜び、それを大量に捕まえて塩漬けにして食べた。
35 すると主は海の激しい風を起こし、塩漬けにされたイナゴも含め、すべてのイナゴを吹き飛ばして紅海に投げ込んだ。エジプトの国境内にはイナゴは一匹も残らなかった。
36 神はエジプトに暗闇を送られたので、エジプトとパトロスの地全体が三日間暗くなり、人が手を口に持っていっても自分の手が見えなくなった。
37 その時、主に反逆し、モーセとアロンの言うことを聞かず、神が彼らを遣わしたと信じなかったイスラエルの民の多くが死んだ。
38 また、「私たちはエジプトから出て行かない。荒れ果てた荒野で飢え死にするから」と言った者たち、モーセの声に耳を傾けなかった者たちもいた。
39 主は三日間の暗闇の中で彼らを災いされた。イスラエル人はその日に彼らを葬ったが、エジプト人は彼らのことを知らず、彼らのために喜ぶこともなかった。
40 エジプトでは三日間、非常に深い暗闇が訪れた。暗闇が訪れたとき、立っていた者はその場に立ったままで、座っていた者は座ったままで、横になっていた者は横になったままで、歩いていた者は地面に座ったままであった。そして、暗闇が去るまで、このことがすべてのエジプト人に起こった。
41 暗闇の日々は過ぎ去り、主はモーセとアロンをイスラエルの子らに遣わして言われた。「祭りを祝い、過越の祭りを行え。見よ、わたしは真夜中にエジプト人すべての中にやって来て、彼らの初子、人の初子から獣の初子まで、すべてを打ち殺す。わたしはあなたがたの過越の祭りを見て、あなたがたを通り過ぎる。」
42 イスラエルの子らは主がモーセとアロンに命じられたとおりにすべて行い、その夜、このようにした。
43 真夜中に、主はエジプトの真ん中に出て行き、エジプト人の初子、人の初子から獣の初子まで、すべてを打たれた。
44 ファラオは夜中に起き上がり、彼と彼のすべての家臣とすべてのエジプト人が立ち上がった。その夜、エジプト全土に大きな叫び声が響き渡った。死体のいない家はなかったからである。
45 また、エジプトの長子たちの家の壁に彫られていた像も破壊され、地面に落ちた。
46 その夜、エジプトの犬たちが、それ以前に死んで家に埋葬していた長子の骨さえも掘り起こし、エジプト人の前に引きずり出して投げつけた。
47 すると、突然自分たちに降りかかったこの災いをエジプト人は皆見て、皆大声で叫んだ。
48 その夜、エジプトのすべての家族は、長男と長女のために泣き、エジプトの騒ぎは遠くまで聞こえた。
49 その夜、ファラオの娘バティアは王と共にモーセとアロンの家を探しに出かけ、彼らが家でイスラエルの民と共に飲食し、喜んでいるのを見つけた。
50 バティアはモーセに言った。「私があなたにした善行、あなたを育て、養ってきたことに対する報いがこれですか。あなたは私と私の父の家にこのような災いをもたらしました。」

51 モーセは彼女に言った。「確かに主はエジプトに十の災いを下された。そのうちのどれかによって、あなたに何か災いが生じたか。どれか一つでもあなたに影響を与えたか。」彼女は言った。「いいえ。」
52 モーセは彼女に言った、「あなたは母の長女であるが、死ぬことはなく、エジプトの真ん中で災いがあなたに及ぶことはない。」
53 彼女は言った、「私の兄である王と、その家族や臣民全員がこのような災難に遭い、その長子がエジプトのすべての長子と共に滅びるのを見て、私にとって何の益があるでしょうか。」
54 モーセは彼女に言った、「確かにあなたの兄弟とその家族、そしてエジプトの民は主の言葉に聞き従わなかった。それでこの災いが彼らに臨んだのだ。」
55 エジプトの王ファラオはモーセとアロン、そしてその場所にいたイスラエルの子らの何人かに近づき、彼らに祈って言った。
56 立ち上がって、この地にいるイスラエルの兄弟たち、彼らの羊や牛、そして彼らに属するすべてのものを連れて行きなさい。何も残さずに、ただ私のために主なるあなたの神に祈ってほしい。
57 モーセはファラオに言った。「あなたは母の長子であるが、恐れることはない。あなたは死ぬことはない。主があなたに生きるように命じられたのだ。それは、主の偉大な力と力強く伸ばされた御腕をあなたに示すためである。」
58 ファラオはイスラエルの子らを送り出すように命じ、エジプト人は皆、彼らを送り出すために力を奮い立たせた。彼らは「我々は皆滅びる」と言ったからである。
59 そしてエジプト人は皆、主と私たちの父アブラハムとの間の誓いに従って、イスラエル人を莫大な富、羊や牛、貴重品とともに送り出した。
60 イスラエルの子らは夜になって出発を遅らせたので、エジプト人が彼らを連れ出そうとやって来たとき、彼らはイスラエルの子らに言った。「私たちは盗人なのか。夜に出かけるはずがない。」
61 イスラエルの子らはエジプト人に銀の器、金の器、衣服を求め、イスラエルの子らはエジプト人から衣服を剥ぎ取った。
62 モーセは急いで立ち上がり、エジプトの川に行き、そこからヨセフの棺を運び上げて、それを携えて行った。
63 イスラエルの子らは、それぞれ自分の父の棺と、自分の部族の棺を携えて来た。

第 81 章

1 イスラエルの子らはラメセスからスコトへ旅立った。幼い者とその妻を除いて、徒歩の男は約 60 万人であった。
2 また、様々な人々が大勢彼らと共に上って行った。羊や牛の群れ、たくさんの家畜も一緒だった。
3 イスラエルの子らがエジプトの地に住み、重労働を強いられた期間は 210 年であった。
4 そして 210 年後、主は力強い御手をもってイスラエルの子らをエジプトから連れ出された。
5 イスラエルの子らはエジプト、ゴシェン、ラメセスから旅立ち、第一の月の十五日にスコトに宿営した。
6 エジプト人は主が打たれたすべての長子を葬り、すべてのエジプト人は殺された者たちを三日間葬った。
7 イスラエルの子らはスコトから旅立ち、荒野の果てにあるエトムに宿営した。
8 エジプト人が長子を葬った三日目に、エジプトから多くの人々が立ち上がり、イスラエル人をエジプトに連れ戻そうと彼らを追って行った。彼らはイスラエル人を奴隷状態から解放して送り出したことを悔い改めたからである。
9 ある人が隣人に言った。「モーセとアロンはファラオにこう言ったはずだ。『私たちは荒野を三日間旅して、私たちの神、主にいけにえを捧げます。』
10 では、朝早く起きて彼らを帰らせよう。もし彼らが私たちと共にエジプトの主人のもとに帰るならば、彼らに信仰があることが分かるだろう。しかし、もし彼らが帰らないならば、私たちは彼らと戦い、力と強い手で彼らを帰らせよう。
11 朝になると、ファラオのすべての貴族と、彼らと共に約七十万人の兵士が立ち上がり、その日エジプトを出発し、イスラエルの民がいる所に着いた。
12 エジプト人は皆それを見て、モーセとアロンとイスラエルの子らが皆ピ･ハヒロトの前に座って、食べたり飲んだりして、主の祭りを祝っていた。
13 するとエジプト人は皆イスラエルの子らに言った。「確かにあなた方は、『私たちは荒野を三日間旅して、私たちの神にいけにえを捧げ、戻ってきます』と言いました。
14 さて、あなたがたが出発してから今日で五日になりますが、なぜ主人のところへ帰らないのですか。
15 モーセとアロンは彼らに答えて言った。「主なる私たちの神は、私たちを通して、『あなたたちはもうエジプトには戻らない。私たちは乳と蜜の流れる地へ移り住む。主なる私たちの神が私たちの先祖に与えると誓われたとおりに』と証しされたからです。
16 エジプトの貴族たちは、イスラエルの子らがエジプトに帰るようにという彼らの言うことを聞かないのを見て、イスラエルと戦うために身構えた。
17 主はイスラエルの子らの心をエジプト人に対して強くされたので、彼らはエジプト人を激しく打ち負かし、戦いはエジプト人にとって激しいものとなり、エジプト人は皆イスラエルの子らの前から逃げ去り、彼らの多くはイスラエルの手によって滅びた。
18 ファラオの貴族たちはエジプトに行き、ファラオにこう告げた。「イスラエルの子らは逃げ出し、もう二度とエジプトには戻りません。モーセとアロンもこのように私たちに告げました。」
19 ファラオはこのことを聞くと、彼と彼の臣民全員の心はイスラエルに背き、イスラエルを派遣したこ

とを悔いた。そして、エジプト人は皆ファラオに、イスラエルの子らを追跡して、彼らを荷物の所に戻らせるようにと進言した。
20 彼らはそれぞれ兄弟に言った。「我々がイスラエルを奴隷状態から解放したとは、一体何という行いだろうか。」
21 主はエジプト人全員の心を強くしてイスラエル人を追跡させ、主は紅海でエジプト人を滅ぼそうと望まれた。
22 ファラオは立ち上がり、戦車に馬具を繋ぎ、幼い者と女を除いて、すべてのエジプト人に集まるように命じた。
23 そして、エジプト人は皆ファラオと共にイスラエルの子らを追って出陣した。エジプトの陣営は非常に大きく、人数も約 100 万人であった。
24 そして、この陣営の全員がイスラエルの子らを追跡し、エジプトに連れ戻そうとした。そして、紅海のほとりに陣を張っていた彼らに追いついた。
25 イスラエルの子らは目を上げて、エジプト人が自分たちを追ってきているのを見た。イスラエルの子らはエジプト人をとても恐れ、主に向かって叫んだ。
26 エジプト人のせいで、イスラエルの子らは四つのグループに分かれ、意見が分かれた。彼らはエジプト人を恐れていたので、モーセは彼ら一人ひとりに語りかけた。
27 最初のグループはルベン、シメオン、イッサカルの子孫たちで、彼らはエジプト人を非常に恐れていたので、海に身を投げることを決意した。
28 モーセは彼らに言った。「恐れるな。立ち止まって、主が今日あなたたちのために成し遂げられる救いを見よ。」
29 第二のグループはゼブルン、ベニヤミン、ナフタリの子孫たちで、彼らはエジプト人と共にエジプトへ帰ることを決意した。
30 モーセは彼らに言った、「恐れるな。あなたがたが今日エジプト人を見たように、あなたがたは二度と彼らを見ないであろう。」
31 第三の部隊はユダとヨセフの子孫たちで、彼らはエジプト人と戦うために出陣することを決意した。
32 モーセは彼らに言った、「それぞれの持ち場に立ちなさい。主があなたたちのために戦われるので、あなたたちは静かにしていなさい。」
33 第四の部隊はレビ、ガド、アシェルの子孫たちで、彼らはエジプト人の中に入って彼らを混乱させようと決心した。モーセは彼らに言った、「持ち場にとどまり、恐れるな。ただ主に祈り求めなさい。そうすれば主はあなたたちを彼らの手から救い出してくださるだろう。」
34 その後、モーセは民衆の中から立ち上がり、主に祈って言った。
35 全地の神、主よ、あなたがエジプトから連れ出したあなたの民を今こそ救ってください。エジプト人が力と権力は自分たちのものだと誇ることがないようにしてください。
36 そこで主はモーセに言われた。「なぜあなたはわたしに叫ぶのか。イスラエルの子らに、進むように告げなさい。そして、あなたの杖を海の上に伸ばして海を分けなさい。そうすれば、イスラエルの子らはそこを通り抜けるであろう。」
37 モーセはそのようにして、杖を海に掲げ、海を分けた。
38 そして海の水は十二の部分に分かれ、イスラエルの子らは靴を履いて、まるで整備された道を通るように、歩いて渡った。
39 そして主は、モーセとアロンの手によって、エジプトと海でイスラエルの子らにその不思議な業を現された。
40 イスラエルの子らが海に入ると、エジプト人が彼らの後を追って来た。海の水が再び彼らの上に押し寄せ、彼らは皆水の中に沈んだ。ファラオを除いて、一人も生き残らなかった。ファラオは主に感謝し、主を信じたので、主はその時、彼をエジプト人と共に滅ぼさなかった。
41 主は天使に命じて彼をエジプト人の中から連れ出し、エジプト人は彼をニネベの地に投げ込んだ。彼は長い間そこを統治した。
42 その日、主はイスラエルをエジプトの手から救い出された。イスラエルの子らは皆、エジプト人が滅びたのを見て、主がエジプトと海で行われた偉大な御業を目の当たりにした。
43 そのとき、主がエジプト人を彼らの前にひれ伏させた日に、モーセとイスラエルの子らは主に向かってこの歌を歌った。
44 イスラエルの民は皆、声を合わせて歌った。「わたしは主に歌おう。主は高くあがめられた。馬と乗り手を海に投げ込まれた。見よ、それは神の律法の書に記されている。」
45 その後、イスラエルの子らは旅を続け、マラに宿営した。主はマラの地でイスラエルの子らに律法と裁きを与え、イスラエルの子らに主のすべての道に従って歩み、主に仕えるように命じられた。
46 そして彼らはマラから旅をしてエリムに着いた。エリムには十二の水の泉と七十本のナツメヤシの木があり、子供たちはそこで水のほとりに宿営した。
47 そして彼らはエリムを出発し、エジプトを出てから 2 か月目の 15 日にシンの荒野に着いた。
48 その時、主はイスラエルの子らにマナを与えて食べさせ、主はイスラエルの子らのために天から食物を降らせた。
49 イスラエルの子らは、荒野にいた四十年間、マナを食べ続け、カナンの地に到着してそこを所有するまで続いた。
50 そして彼らはシンの荒野を出発し、アルシュに宿営した。
51 そして彼らはアルシュを出発し、レフィディムに宿営した。

52 イスラエルの子らがレフィディムにいたとき、エサウの子エリファズの子でゼフォの兄弟であるアマレクがイスラエルと戦うためにやって来た。
53 彼は八百一千人の魔術師や呪術師を連れてきて、レフィディムでイスラエルとの戦いの準備をした。
54 そして彼らはイスラエルに対して激しく戦い、主はアマレクとその民をモーセとイスラエルの子らの手、すなわちモーセのしもべであるエフラタ人ヌンの子ヨシュアの手に渡された。
55 イスラエルの子らは剣の刃でアマレクとその民を打ち倒したが、戦いはイスラエルの子らにとって非常に激しいものであった。
56 主はモーセに言われた。「このことをあなたの記念として書物に書き記し、あなたのしもべであるヌンの子ヨシュアの手に渡して、イスラエルの子らに命じて言いなさい。『あなたがたがカナンの地に着いたときには、天の下からアマレクの記憶を完全に消し去らなければならない。』」
57 モーセはそのようにして、書物を取り、そこに次の言葉を書き記した。
58 あなたがエジプトを出発した時、アマレク人が道中であなたにしたことを思い出しなさい。
59 あなたが弱って疲れ果てていたとき、道であなたに出会い、あなたの後ろを打ったのは誰だったのか。
60 それゆえ、主なるあなたの神が、あなたに相続地として与え、それを所有させるために、あなたの周りのすべての敵からあなたを休ませたとき、あなたは天の下からアマレクの記憶を消し去り、それを忘れてはならない。
61 アマレクを、あるいはその記憶や子孫を憐れむ王には、見よ、わたしはそれを彼に求め、彼をその民の中から断ち切るであろう。
62 モーセはこれらすべてのことを書物に書き記し、イスラエルの子らにこれらのすべての事柄について命じた。

第 82 章

1 イスラエルの子らはレフィディムを出発し、エジプトを出てから三か月目にシナイの荒野に宿営した。
2 その時、モーセの義父であるミディアン人レウエルが、娘のツィッポラと彼女の二人の息子を連れてやって来た。彼は、主がイスラエルに対して行われた奇跡、すなわち、主がイスラエルをエジプトの手から救い出されたことを聞いていたからである。
3 そしてレウエルは、モーセが宿営していた荒野、すなわち神の山のある所にやって来た。
4 モーセは義父に会うために大いなる敬意をもって出かけ、イスラエルの民は皆彼と共にいた。
5 そしてレウエルとその子供たちはイスラエル人の間に何日も滞在し、レウエルはその日から主を知るようになった。
6 イスラエルの子らがエジプトを出てから三か月目の六日目に、主はシナイ山でイスラエルに十戒を与えられた。
7 そしてイスラエルの民は皆、これらの戒めをすべて聞き、その日、イスラエルの民は皆、主にあって大いに喜んだ。
8 主の栄光がシナイ山にとどまり、主はモーセを呼ばれた。モーセは雲の中を通って山に登った。
9 モーセは山の上で四十日四十夜を過ごし、パンも食べず、水も飲まず、主はイスラエルの子らに教えるために、彼に律法と定めを授けられた。
10 主はイスラエルの子らに命じた十戒を二枚の石板に書き記し、それをモーセに与えてイスラエルの子らに命じさせた。
11 そして四十日四十夜が過ぎ、主がシナイ山でモーセに語り終えられたとき、主はモーセに、神の指で書かれた石板を与えられた。
12 イスラエルの子らは、モーセが山から降りてこないのを見て、アロンの周りに集まり、「このモーセという男がどうなったのか、私たちは知らない」と言った。
13 さあ、立ち上がって、私たちのために、私たちの前に進んで行ってくれる神を造ってください。そうすれば、あなたは死ぬことはないでしょう。
14 アロンは民衆を非常に恐れ、彼らに金を持ってくるように命じ、それを鋳造して民衆のために子牛の像を作った。
15 主はモーセが山から降りる前に言われた。「降りなさい。あなたがエジプトから連れ出したあなたの民は堕落してしまったからだ。」
16 彼らは自分たちのために鋳造した子牛を作り、それにひれ伏した。だから今、わたしから離れなさい。わたしは彼らをこの地から滅ぼし尽くす。彼らは頑固な民だからだ。
17 モーセは主の御顔を仰ぎ見て、民が作った子牛のことで主のために祈った。その後、彼は山から下り、両手には神がイスラエル人に命じるために与えた二枚の石板を持っていた。
18 モーセが宿営に近づき、民が作った子牛を見ると、モーセの怒りが燃え上がり、彼は山の下で石板を砕いた。
19 モーセは宿営地に行き、子牛を取って火で焼き、細かく砕いて粉々にし、それを水の上に撒いてイスラエル人に飲ませた。
20 そして、子牛を作った民のうち、約三千人が互いに剣で殺し合った。
21 翌日、モーセは民に言った。「わたしは主のもとへ上って行きます。もしかしたら、あなたがたが主に犯した罪を贖うことができるかもしれません。」
22 モーセは再び主のもとへ上り、四十日四十夜主のもとに滞在した。
23 そして、モーセは四十日間、イスラエルの子らのために主に祈り求め、主はモーセの祈りを聞き入れ、

主はイスラエルのためにモーセの祈りを聞き入れられた。
24 そのとき、主はモーセに言われた。「二枚の石板を彫り、それを主のもとに持って来なさい。主はそれらの上に十戒を書き記されるであろう。」
25 モーセはそのようにして、下って来て二枚の石板を彫り、シナイ山に登って主のもとに行った。主は十戒を石板に書き記された。
26 モーセは四十日四十夜主のもとにとどまり、主は彼にイスラエルに伝えるべき律法と裁きを命じられた。
27 主はイスラエルの子らに関して、主のために聖所を造り、主の御名がそこにとどまるようにと彼に命じ、主は彼に聖所の姿と、そのすべての器の姿を示された。
28 そして四十日が過ぎて、モーセは山から下りてきた。二枚の石板は彼の手にあった。
29 モーセはイスラエルの子らのところへ行き、主の言葉をすべて彼らに語り、主が彼に教えられた律法、定め、裁きを彼らに教えた。
30 モーセはイスラエルの子らに主の言葉を告げた。主のために聖所が造られ、イスラエルの子らの間に住まわれるであろうと。
31 人々は主がモーセを通して彼らに告げられたすべての良いことを大いに喜び、主があなたに告げられたことはすべて行います、と言った。
32 すると人々は皆一斉に立ち上がり、主の聖所に惜しみなく捧げ物をした。そして、一人ひとりが聖所の働きとすべての奉仕のために、主への捧げ物を携えて来た。
33 イスラエルの子らは皆、自分の所有物の中から見つけたものすべてを、主の聖所の工事のために持って来た。金、銀、青銅、そして聖所に使えるあらゆるもの。
34 そして、熟練した技を持つ賢者たちは皆来て、主が命じられたすべてのことに従って、それぞれが自分の得意な技で主の聖所を造った。また、心ある賢者たちは皆、主がモーセに命じられたとおりに、聖所とその備品、聖なる奉仕のためのすべての器を造った。
35 そして、幕屋の聖所の工事は五か月後に完成し、イスラエルの子らは主がモーセに命じられたすべてのことを行った。
36 そして彼らは聖所とそのすべての備品をモーセのところに運びました。主がモーセに示された図のように、イスラエルの子らはそのようにしました。
37 モーセは彼らの働きを見て、見よ、彼らは主が命じられたとおりにそれを行ったので、モーセは彼らを祝福した。

第 83 章

1 そして第十二月の二十三日に、モーセはアロンとその息子たちを連れて行き、彼らに衣服を着せ、油を注ぎ、主が命じられたとおりに彼らにした。そしてモーセはその日に主が命じられたすべての供え物を持って来た。
2 その後、モーセはアロンとその息子たちを連れて行き、彼らに言った。「七日間、幕屋の入り口にとどまっていなさい。私はこのように命じられている。」
3 アロンとその息子たちは、主がモーセを通して命じられたことをすべて行い、幕屋の入り口で七日間過ごした。
4 そして、イスラエル人がエジプトを出てから 2 年目の第 1 月の 1 日、すなわち第 8 日に、モーセは聖所を建て、幕屋のすべての備品と聖所のすべての備品を設置し、主が命じられたすべてのことを行った。
5 モーセはアロンとその息子たちを呼び、彼らは主がモーセに命じられたとおり、自分たちとイスラエルの子らのために燔祭と罪のいけにえを持って来た。
6 その日、アロンの二人の息子、ナダブとアビフは、命じていない異国の火を持って主の前に来た。すると、主の前から火が出て彼らを焼き尽くし、彼らはその日、主の前で死んだ。
7 モーセが聖所を建て終えたその日に、イスラエルの子らの長たちは祭壇の奉献のために、主の前に供え物を携えて来た。
8 そして彼らは、各王子が一日ずつ、十二日間、毎日一人ずつ供え物を携えて来た。
9 そして、彼らが持ってきた供え物はすべて、各人がその日ごとに、聖所のシェケルで重さ 130 シェケルの銀の大皿 1 枚と、70 シェケルの銀の鉢 1 つで、どちらも油を混ぜた上質の小麦粉で満たされ、穀物の供え物として捧げられた。
10 スプーン 1 杯、重さ 10 シェケルの金で、香が満ちている。
11 燔祭として、若い雄牛 1 頭、雄羊 1 頭、1 歳の子羊 1 頭。
12 また、罪の贖いの供え物として、雄ヤギの子一匹を捧げた。
13 また、平和のいけにえとして、雄牛 2 頭、雄羊 5 頭、雄山羊 5 頭、1 歳の子羊 5 頭をささげなさい。
14 こうしてイスラエルの十二人の君主は、日ごとに、それぞれ自分の任期中に職務を遂行した。
15 そして、この後の月の 13 日に、モーセはイスラエルの民に過越祭を守るように命じた。
16 イスラエルの子らは、主がモーセに命じられたとおり、その月の十四日に、定められた時期に過越祭を守った。
17 そして第二の月の第一日に、主はモーセに告げて言われた。
18 イスラエルの子らの二十歳以上のすべての男子の頭を、あなたとあなたの兄弟アロンとイスラエルの十二人の長老で数えなさい。
19 モーセはそのようにし、アロンはイスラエルの十二人の指導者と共に来て、シナイの荒野でイスラエルの子らを数えた。

20 イスラエルの子らの数は、父祖の家ごとに、二十
歳以上で、六百万三千五百五十人であった。
21 しかし、レビの子らは、同胞であるイスラエルの
子らの中に数えられなかった。
22 イスラエルの子らの男子のうち、生後 1 か月以上
の者の総数は、2 万 2273 人であった。
23 レビの子のうち、生後 1 ヶ月以上の子の数は 2 万 2
千人であった。
24 そしてモーセは、主がモーセに命じられたとおり、
祭司とレビ人をそれぞれ幕屋の聖所に仕えるために、
それぞれの務めと任務に就かせた。
25 そしてその月の 20 日に、雲は証しの幕屋から取り
除かれた。
26 その時、イスラエルの子らはシナイの荒野から旅
を続け、三日間旅をしました。雲はパランの荒野に
とどまりました。そこで主の怒りがイスラエルに対
して燃え上がりました。彼らが食べるために主から
食物を求めたことで、主を怒らせたからです。
27 主は彼らの声を聞き入れ、彼らに食物を与え、彼
らはそれを一か月間食べた。
28 しかしその後、主の怒りが彼らに対して燃え上が
り、主は彼らを大虐殺し、彼らはその場所に葬られ
た。
29 イスラエルの子らはその場所をケブロト▪ハッタア
ヴァと名付けた。なぜなら、彼らはそこで肉を欲し
た人々を葬ったからである。
30 そして彼らはケブロト▪ハッタアヴァを出発し、パ
ランの荒野にあるハゼロトに宿営した。
31 イスラエルの子らがハゼロトにいたとき、主はモ
ーセのことでミリアムに対して怒りを燃やし、彼女
は雪のように白いらい病になった。
32 そして彼女は、らい病が治って再び受け入れられ
るまで、七日間宿営の外に隔離された。
33 その後、イスラエルの子らはハゼロトを出発し、
パランの荒野の果てに宿営した。
34 その時、主はモーセに、イスラエルの子らの中か
ら十二人の男を、部族ごとに一人ずつ遣わして、カ
ナンの地を探りに行かせなさいと言われた。
35 モーセは十二人を遣わし、彼らはカナンの地に行
って調査し、シンの荒野からレコブまで、あなたが
カモトに来るところまで、その地全体を調べた。
36 四十日後、彼らはモーセとアロンのところへ行き、
心に感じたことを彼らに伝えた。そして、十人の男
がイスラエルの子らに、偵察した土地について悪い
報告をして言った。「この土地に行くよりは、エジ
プトに帰る方がましだ。この土地はそこに住む者を
滅ぼすからだ。」
37 しかし、その地を偵察した者たちのうちの一人で
あるヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは、「こ
の地は非常に良い」と言った。
38 もし主が私たちを喜んでくださるなら、主は私た
ちをこの地に導き、この地を私たちに与えてくださ
るでしょう。なぜなら、ここは乳と蜜の流れる地だ
からです。
39 しかしイスラエルの子らは彼らの言うことを聞か
ず、その地について悪い報告をした十人の男の言葉
に耳を傾けた。
40 主はイスラエルの子らのつぶやきを聞き、怒って
誓い、こう言われた。
41 確かに、この邪悪な世代の者で、二十歳以上の者
で、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いて、
その地を見る者は一人もいない。
42 しかし、この邪悪な世代は必ずこの荒野で滅び、
彼らの子孫がその地にやって来て、それを所有する
であろう。こうして主の怒りはイスラエルに対して
燃え上がり、主は彼らをその邪悪な世代の終わりま
で 40 年間荒野をさまよわせた。それは彼らが主に従
わなかったからである。
43 そして、人々はパランの荒野に長い間住み、その
後、紅海の道を通って荒野へと進んだ。

第 84 章

1 その時、レビの子ケハトの子イェツェルの子コラは、
イスラエルの子らの中から多くの男たちを率いて立
ち上がり、モーセとアロンと全会衆と争った。
2 すると主は彼らに怒り、地は口を開いて、彼らとそ
の家、彼らに属するすべてのもの、そしてコラに属
するすべての男たちを飲み込んだ。
3 その後、神は長い間、民をセイル山の道を通って迂
回させた。
4 その時、主はモーセに言われた。「エサウの子孫に
対して戦いを起こしてはならない。わたしは彼らの
所有物のうち、足の裏で踏みつけるほどのものさえ、
あなたには与えない。わたしはセイル山をエサウの
相続地として与えたからだ。」
5 それゆえ、昔、エサウの子孫はセイルの子孫と戦っ
た。主はセイルの子孫をエサウの子孫の手に渡し、
彼らを彼らの前から滅ぼされた。そしてエサウの子
孫は今日まで彼らの代わりに住んでいる。
6 そこで主はイスラエルの子らに言われた。「あなた
がたの兄弟であるエサウの子らと戦ってはならない。
彼らの土地にはあなたがたに属するものは何もない。
しかし、彼らから金で食物を買って食べ、金で水を
買って飲むことはできる。」
7 イスラエルの子らは主の言葉どおりに行動した。
8 イスラエルの子らは荒野を巡り、長い間シナイ山の
周りを回ったが、エサウの子らに手を出すことはな
く、その地方に 19 年間滞在した。
9 その時、キッティムの王ラティヌスは、在位 45 年
目に、すなわちイスラエルの民がエジプトを出てか
ら 14 年目に、死んだ。
10 そして人々は彼を、キッティムの地に彼が自分の
ために建てた場所に葬り、アビムナスは彼の代わり
に 38 年間統治した。
11 その頃、十九年の終わりに、イスラエルの子らは
エサウの子らの境界を越え、モアブの荒野の道を通
り過ぎた。

12 主はモーセに言われた、「モアブを包囲してはならない。彼らと戦ってはならない。わたしは彼らの土地をあなたに何も与えないからだ。」
13 イスラエルの子らはモアブの荒野の道を 19 年間通ったが、彼らと戦わなかった。
14 イスラエルの子らがエジプトを出てから３６年目に、主はアモリ人の王シホンの心を打たれた。シホンは戦いを起こし、モアブの子らと戦うために出陣した。
15 シホンはエジプトの王の顧問官であるバラムの子ヤネアスの子ベオルと、その子バラムに使者を送り、モアブを呪わせ、モアブをシホンの手に渡らせた。
16 使者たちは行って、メソポタミアのペトルからヤネアスの子ベオルとその子バラムを連れてきた。ベオルとその子バラムはシホンの町に着き、アモリ人の王シホンの前でモアブとその王を呪った。
17 そこでシホンは全軍を率いて出陣し、モアブに行って彼らと戦い、彼らを征服した。主は彼らをシホンの手に渡された。シホンはモアブの王を殺した。
18 シホンは戦いでモアブのすべての町々を占領し、ヘシュボンも奪った。ヘシュボンはモアブの町の一つであったからである。シホンは自分の王子たちと貴族たちをヘシュボンに住まわせ、その頃ヘシュボンはシホンのものとなった。
19 そこで、たとえ話を語るベオルとその息子バラムは、こう言った。「ヘシュボンに来なさい。シホンの町が建てられ、確立されるでしょう。」
20 モアブよ、災いあれ！ケモシュの民よ、あなたは滅びる！見よ、神の律法の書にそう記されている。
21 シホンはモアブを征服すると、モアブから奪った町々に守備兵を配置した。すると、モアブの多くの子供たちが戦いでシホンの手に落ち、シホンは彼らの息子や娘を大勢捕虜にし、彼らの王を殺した。こうしてシホンは自分の国へ帰った。
22 シホンはベオルとその息子バラムに銀と金の贈り物をたくさん与え、彼らを帰らせた。彼らはメソポタミアの故郷へ帰って行った。
23 その時、イスラエルの民は皆モアブの荒野の道を通り、戻ってエドムの荒野を取り囲んだ。
24 こうして、全会衆はエジプトを出てから 40 年目の第一の月にシンの荒野に着き、イスラエルの子らはシンの荒野のカデシュに住み、ミリアムはそこで死んでそこに葬られた。
25 その時、モーセはエドムの王ハダドに使者を送り、「あなたの兄弟イスラエルはこう言います。どうかあなたの地を通らせてください。私たちは畑やぶどう畑を通らず、井戸の水も飲みません。王の道を歩きます」と告げた。
26 エドムは彼に言った、「あなたは私の国を通ってはならない」。エドムは大軍を率いてイスラエルの子らを迎えに出た。
27 エサウの子孫はイスラエルの子孫が自分たちの土地を通ることを拒んだので、イスラエル人は彼らから離れて戦いを挑まなかった。
28 主はこれより前にイスラエルの子らに、「エサウの子らと戦ってはならない」と命じておられたので、イスラエル人は彼らから離れて戦いませんでした。
29 こうしてイスラエルの子らはカデシュを出発し、すべての民はホル山に着いた。
30 その時、主はモーセに言われた。「あなたの兄弟アロンに、彼はそこで死ぬだろうと伝えなさい。彼はわたしがイスラエルの子らに与えた土地には来ないだろう。」
31 アロンは主の命令により、第四十年の第五の月の第一日にホル山に登った。
32 アロンはホア山で死んだとき、123 歳であった。

第 85 章

1 南に住んでいたカナン人の王アラドは、イスラエル人が斥候の道を通って来たことを聞き、イスラエル人と戦うために軍隊を配置した。
2 イスラエルの子らは彼を非常に恐れた。なぜなら彼は大軍を率いていたからである。そこでイスラエルの子らはエジプトへ帰ることを決意した。
3 イスラエルの子らは、アラド王を非常に恐れていたので、マセラト▪ベニ▪ヤアコンまで三日間の道のりほどの距離を引き返した。
4 イスラエルの子らは元の場所に戻ろうとせず、ベニ▪ヤアコンに 30 日間留まった。
5 レビの子らは、イスラエルの子らが引き返そうとしないのを見て、主のために熱心になり、立ち上がって同胞であるイスラエル人と戦い、大勢のイスラエル人を殺し、彼らを自分たちの場所であるホル山に引き返させた。
6 彼らが戻って来たとき、アラド王はまだイスラエル人との戦いのために軍隊を編成していた。
7 イスラエルは誓いを立てて言った、「もしあなたがこの民を私の手に渡されるなら、私は彼らの町々を徹底的に滅ぼします。」
8 主はイスラエルの声を聞き入れ、カナン人を彼らの手に渡して、彼らとその町々を完全に滅ぼし、その場所をホルマと名付けた。
9 イスラエルの子らはホル山から旅立ち、オボトに宿営し、オボトから旅立ち、モアブの国境にあるイエ▪アバリムに宿営した。
10 イスラエルの子らはモアブに使いを送り、「どうか、あなたの地を通って私たちの土地へ行かせてください」と言った。しかし、モアブの子らはイスラエルの子らが自分たちの地を通ることを許さなかった。モアブの子らは、イスラエルの子らが、アモリ人の王シホンが彼らにしたように、自分たちの土地を奪い、多くのイスラエル人を殺したように、自分たちにも同じことをするのではないかと非常に恐れていたからである。
11 そこでモアブはイスラエル人が自分の土地を通ることを許さなかった。主はイスラエルの子らに、モ

アブと戦ってはならないと命じられたので、イスラ
エル人はモアブから去った。
12 イスラエルの子らはモアブの国境から旅立ち、モ
アブとアモリ人の間のアルノン川の向こう側、モア
ブの国境に着き、アモリ人の王シホンの領地、ケデ
モトの荒野に宿営した。
13 イスラエルの子らはアモリ人の王シホンに使者を
送り、こう言った。
14 私たちはあなたの土地を通らせてください。畑や
ぶどう畑には入りません。王の街道を通ってあなた
の国境を越えます。しかし、シホンはイスラエル人
が通るのを許しませんでした。
15 そこでシホンはアモリ人の民を皆集めて荒野に出
てイスラエルの民と出会い、ヤハツでイスラエルと
戦った。
16 主はアモリ人の王シホンをイスラエルの子らの手
に渡された。イスラエルは剣でシホンの民を皆殺し
にして、モアブの仇を討った。
17 イスラエルの子らはアラムからヤブク、アンモン
の子らに至るまでのシホンの地を占領し、町々の戦
利品をすべて奪った。
18 そしてイスラエルはこれらの町々をすべて占領し、
イスラエル人はアモリ人のすべての町々に住んだ。
19 そしてイスラエルの民は皆、アンモンの民と戦っ
て、彼らの土地も奪おうと決心した。
20 そこで主はイスラエルの子らに言われた。「アン
モンの子らを包囲してはならない。彼らに対して戦
いを起こしてはならない。わたしは彼らの土地をあ
なた方に与えないからだ。」イスラエルの子らは主
の言葉に聞き従い、アンモンの子らと戦わなかった。
21 イスラエルの子らは向きを変え、バシャンの道を
通ってバシャンの王オグの地へ上った。バシャンの
王オグはイスラエル人と戦うために出陣し、多くの
勇士とアモリ人の非常に強力な軍勢を率いていた。
22 バシャンの王オグは非常に力のある人物であった
が、その息子ナアロンは、オグよりもはるかに力が
あり、オグよりも強かった。
23 オグは心の中で言った、「見よ、イスラエルの陣
営全体が三パルサの広さを占めている。今、私は剣
も槍も使わずに彼らを一気に打ち滅ぼそう。」
24 オグはヤハズ山に登り、そこから長さが 3 パルサ
の大きな石を一つ取り、それを頭に乗せて、イスラ
エルの子らの陣営に投げつけ、その石でイスラエル
人全員を打とうと決心した。
25 すると主の使いが来て、石をオグの頭に突き刺し
た。石はオグの首に落ちたので、オグは首に石がか
かった重みで地に倒れた。
26 その時、主はイスラエルの子らに言われた。「彼
を恐れてはならない。わたしは彼と彼の民すべてと
彼の土地すべてをあなたがたの手に与えた。あなた
がたはシホンにしたように彼にもするであろう。」
27 モーセは少数のイスラエルの子らと共にオグのと
ころへ下り、オグの足首を杖で打って殺した。
28 その後、イスラエルの子らはオグの子らとその民
すべてを追い詰め、彼らを打ちのめし、滅ぼし尽く
し、一人残らず滅ぼした。
29 その後、モーセはイスラエルの民の中から何人か
をヤアゼルに偵察に行かせた。ヤアゼルは非常に有
名な都市であったからである。
30 偵察隊はヤアゼルに行って偵察し、主を信頼して
ヤアゼルの人々と戦った。
31 こうして彼らはヤアゼルとその村々を占領し、主
はそれらを彼らの手に渡された。そして彼らはそこ
にいたアモリ人を追い出した。
32 イスラエルの子らは、ヨルダン川の向こう側、ア
ルノン川からヘルマン山までの六十の町々を、アモ
リ人の二人の王の領地として奪い取った。
33 イスラエルの子らは旅をして、ヨルダン川のこち
ら側、エリコのそばにあるモアブの平野に着いた。
34 モアブの人々は、イスラエルの人々がアモリ人の
二人の王、シホンとオグに対して行ったすべての悪
事を聞いたので、モアブの人々は皆、イスラエル人
を非常に恐れた。
35 モアブの長老たちは言った。「見よ、地上のすべ
ての王よりも強かったアモリ人の二人の王、シホン
とオグでさえ、イスラエルの子らに立ち向かうこと
ができなかった。どうして我々が彼らの前に立ち向
かうことができるだろうか。」
36 確かに彼らは以前、我々の土地を通って行くよう
にと我々に使いを送ってきたが、我々はそれを許さ
なかった。今、彼らは重い剣を持って我々に襲いか
かり、我々を滅ぼそうとしている。モアブはイスラ
エルの子らのことで苦悩し、彼らを非常に恐れ、イ
スラエルの子らにどうすべきか相談し合った。
37 そこでモアブの長老たちは決心し、モアブ人ツィ
ポルの息子バラクを一人選び、彼を当時の王とした。
バラクは非常に賢い人であった。
38 そこでモアブの長老たちは立ち上がり、ミディア
ンの子らに和平を結ぼうと使者を送った。というの
も、当時、モアブとミディアンの間には、エドムの
王ベダドの子ハダドがモアブの地でミディアンを打
ち破った時から今日に至るまで、大きな戦いと敵意
があったからである。
39 モアブの人々はミディアンの人々に使いを送り、
彼らと和平を結びました。ミディアンの長老たちは、
ミディアンの人々を代表して和平を結ぶためにモア
ブの地に来ました。
40 モアブの長老たちは、イスラエルから命を守るた
めにどうすべきかについて、ミディアンの長老たち
と相談した。
41 モアブの子らは皆、ミディアンの長老たちに言っ
た。「今、イスラエルの子らは、牛が野の草をなめ
るように、私たちの周りの者を皆なめ尽くします。
彼らは私たちよりも強いアモリ人の二人の王にも同
じことをしたのです。」
42 ミディアンの長老たちはモアブに言った。「アモ
リ人の王シホンがあなた方と戦い、あなた方に勝利

してあなた方の土地を奪った時、彼はメソポタミアからヤネアスの子ベオルとその子バラムを遣わし、彼らは来てあなた方を呪ったと聞いています。それでシホンの手があなた方に勝利し、あなた方の土地を奪ったのです。」
43 そこで、あなた方はまた、彼の息子バラムのところへも遣わしなさい。彼はまだ自分の土地に残っています。彼に報酬を与え、あなた方が恐れているすべての民を呪わせなさい。モアブの長老たちはこのことを聞き、ベオルの子バラムのところへ遣わすことにした。
44 そこで、モアブの王ツィポルの子バラクはバラムに使者を送り、こう言った。
45 見よ、エジプトから一つの民が出てくる。見よ、彼らは地の面を覆い、わたしの向かい側に住み着く。
46 さあ、来て、私のためにこの民を呪ってください。彼らは私には強大すぎるからです。もしかしたら、私は彼らと戦って、彼らを追い出すことができるかもしれません。なぜなら、あなたが祝福する者は祝福され、あなたが呪う者は呪われると聞いたからです。
47 そこでバラクの使者たちはバラムのところへ行き、バラムを連れてきて、モアブと戦うように民を呪わせた。
48 バラムはイスラエルを呪うためにバラクのところへ行ったが、主はバラムに言われた、「この民を呪ってはならない。彼らは祝福されているからだ。」
49 バラクは日ごとにバラムにイスラエルを呪うように促したが、バラムは主がバラムに語られた言葉のためにバラクの言うことを聞かなかった。
50 バラクはバラムが自分の願いを聞き入れないのを見て、立ち上がって家に帰り、バラムも自分の土地に戻り、そこからミディアンへ行った。
51 イスラエルの子らはモアブの平野から旅立ち、ヨルダン川のほとり、ベト・イェシモトからモアブの平野の果てにあるアベル・シッティムまで宿営した。
52 イスラエルの子らがシッティムの平野に滞在していたとき、彼らはモアブの娘たちと淫行を始めた。
53 イスラエルの子らはモアブに近づき、モアブの子らはイスラエルの子らの陣営の向かい側に天幕を張った。
54 モアブの人々はイスラエルの人々を恐れ、美しい容姿の娘や妻たちを皆連れて行き、金銀や高価な衣服を着せた。
55 モアブの人々は、イスラエルの人々が彼女たちを見て、彼女たちに頼り、モアブと戦わないように、彼女たちを天幕の入り口に座らせた。
56 モアブの子らは皆、イスラエルの子らにこのことを行い、各自が自分の妻と娘を天幕の入り口に置いた。イスラエルの子らは皆、モアブの子らの行いを見て、モアブの娘たちに目を向け、彼女たちを欲しがり、彼女たちのところへ行った。
57 さて、あるヘブライ人がモアブの天幕の入り口に来て、モアブの娘を見て、心の中で彼女を欲し、天幕の入り口で彼女に自分の望むことを話したとき、彼らが話している間に、天幕の男たちが出てきて、ヘブライ人に次のような言葉を言った。
58 あなた方は、私たちが兄弟であり、ロトの子孫であり、その兄弟アブラハムの子孫であることを知っているはずです。それなのに、なぜ私たちと共に留まらず、なぜ私たちのパンといけにえを食べないのですか。
59 モアブの子らはこうして彼を言葉で圧倒し、お世辞の言葉で誘惑し、彼を天幕に座らせ、彼のために料理をし、いけにえを捧げ、彼は彼らのいけにえとパンを食べた。
60 そこで彼らは彼にぶどう酒を与え、彼はそれを飲んで酔っぱらった。そして彼らは彼の前に美しい娘を連れてきたので、彼はぶどう酒をたくさん飲んでいたので、自分が何をしているのかわからず、好きなように彼女にした。
61 こうしてモアブの子らはシッティムの平野でイスラエルに襲いかかり、このことで主の怒りがイスラエルに対して燃え上がり、主は彼らの間に疫病を送られた。そこでイスラエル人のうち 2 万 4 千人が死んだ。
62 さて、シメオンの子孫の中に、サルの子ジムリという名の男がいた。彼は、イスラエルのすべての子らの目の前で、ミディアンの王ツルの娘であるミディアン人コスビと関係を持った。
63 祭司アロンの子エラゼルの子ピネアスは、ジムリが行ったこの悪事を見て、槍を取り、立ち上がって彼らを追いかけ、二人を突き刺して殺した。すると、イスラエルの子らから疫病が止んだ。

第 86 章

1 疫病が終わった後、主はモーセと祭司アロンの子エラゼルに言われた。
2 イスラエルの子らの全共同体の長たち、二十歳以上の者、軍隊に出て行った者すべてを数えなさい。
3 モーセとエラゼルはイスラエルの子らを家族ごとに数えたところ、イスラエル全体の数は七十七百三十であった。
4 レビの子らの数は、生後 1 か月以上の者で 2 万 3 千人であったが、その中にはシナイの荒野でモーセとアロンが数えた男は一人もいなかった。
5 主は彼らに荒野で死ぬと告げておられたので、彼らは皆死に、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアを除いては、一人も生き残らなかった。
6 その後、主はモーセに言われた。「イスラエルの子らに言いなさい。彼らの兄弟であるイスラエルの子らの仇をミディアンに討つように。」
7 モーセはそのようにした。イスラエルの子らは彼らの中から 1 万 2 千人を選び、部族ごとに千人ずつ選び、ミディアンへ行った。

8 イスラエルの子らはミディアンと戦い、ミディアンの男子を皆殺しにした。また、ミディアンの五人の首長も殺し、ベオルの子バラムも剣で殺した。
9 イスラエルの子らはミディアンの妻たちを、彼女たちの幼い子供たちと家畜、そして彼女たちに属するすべてのものと共に捕虜にした。
10 そして彼らは戦利品と獲物をすべて持って行き、それをモーセとエラゼルのいるモアブの平野に持って行った。
11 モーセとエラゼルと会衆のすべての長たちは、喜びのうちに彼らを迎えに出かけた。
12 そして彼らはミディアンの戦利品をすべて分け合った。こうしてイスラエルの子らは、同胞であるイスラエルの子らのためにミディアンに復讐を果たした。

第 87 章

1 その時、主はモーセに言われた。「見よ、あなたの命は終わりに近づいている。今、あなたのしもべヌンの子ヨシュアを連れて幕屋に入れなさい。わたしは彼に命じる。」モーセはそのようにした。
2 すると主は雲の柱の中に現れ、その雲の柱は幕屋の入り口に立っていた。
3 主はヌンの子ヨシュアに命じて言われた。「強く、そして勇気を持て。あなたはイスラエルの子らを、わたしが彼らに与えると誓った地へ連れて行くであろう。わたしはあなたと共にいる。」
4 モーセはヨシュアに言った。「強く、勇気を持ちなさい。あなたはイスラエルの子らにこの地を相続させるであろう。主はあなたと共におられ、あなたを見捨てず、あなたを離れることはない。恐れてはならないし、落胆してはならない。」
5 モーセはイスラエルのすべての子らを呼び集めて言った。「あなたがたは、主なるあなたがたの神が荒野であなたがたのために行われたすべての善いことを見た。
6 それゆえ、この律法のすべての言葉を守り、主なるあなたの神の道に歩みなさい。主が命じられた道から、右にも左にも逸れてはならない。
7 そしてモーセはイスラエルの子らに、主が命じられたとおりに、その地で行うべき律法、定め、戒律を教えた。
8 そして彼は彼らに主の道と律法を教えた。見よ、それらは神がモーセの手を通してイスラエルの子らに与えた神の律法の書に記されている。
9 モーセがイスラエルの子らに命じ終えると、主は彼に言われた。「アバリム山に登り、そこで死になさい。あなたの兄弟アロンが集められたように、あなたもあなたの民に集められなさい。」
10 モーセは主が命じられたとおりに上って行き、イスラエル人がエジプトの地を出てから 40 年目に、主の命令によりモアブの地で死んだ。
11 イスラエルの子らはモアブの平野でモーセのために 30 日間泣き、モーセのために泣き悲しむ日々は満了した。

第 88 章

1 モーセの死後、主はヌンの子ヨシュアに言われた。
2 立ち上がってヨルダン川を渡り、わたしがイスラエルの子らに与えた地に行きなさい。そうすれば、イスラエルの子らにその地を相続させることができる。
3 あなたがたの足の裏が踏みしめる場所はすべてあなたがたのものとなる。レバノンの荒野から大河ペラト川までが、あなたがたの境界となる。
4 あなたの生涯の間、あなたに立ち向かう者は誰もいないでしょう。私がモーセと共にいたように、私もあなたと共にいるでしょう。ただ、モーセがあなたに命じたすべての律法を守るために、強く、勇気を持ちなさい。右にも左にも道から逸れてはならない。そうすれば、あなたはすべての行いにおいて成功するでしょう。
5 ヨシュアはイスラエルの将校たちに命じて言った。「宿営地を通って民に命じて言いなさい。『食料を準備しなさい。あと三日でヨルダン川を渡ってその地を占領するからだ。』」
6 イスラエルの子らの役人たちはそのようにし、民に命じ、民はヨシュアが命じたとおりにすべてを行った。
7 ヨシュアはエリコの地を偵察するために二人の男を遣わした。男たちは行ってエリコを偵察した。
8 七日後、彼らは宿営地のヨシュアのところに来て言った。「主は全地を私たちの手に渡されました。その住民は私たちのために恐れおののいています。」
9 その後、朝になるとヨシュアは起き、イスラエルの民も皆彼と共にシッティムを出発した。そしてヨシュアとイスラエルの民は皆ヨルダン川を渡った。ヨシュアはイスラエルと共にヨルダン川を渡った時、82 歳であった。
10 そして、人々は第一の月の十日にヨルダン川を上り、エリコの東の隅にあるギルガルに宿営した。
11 イスラエルの子らは、モーセの律法に記されているとおり、その月の十四日に、エリコの平野にあるギルガルで過越祭を守った。
12 その時、過越祭の翌日にマナは止み、イスラエルの子らにはもはやマナは降らなくなったので、彼らはカナンの地の産物を食べた。
13 エリコはイスラエルの子らに対して完全に閉ざされ、誰も出入りできなかった。
14 第二の月の第一日に、主はヨシュアに言われた。「立ち上がれ。見よ、わたしはエリコとその住民すべてをあなたの手に渡した。あなたの兵士は皆、毎日一度ずつ町を巡回しなさい。これを六日間続けなさい。」
15 祭司たちはラッパを吹き鳴らし、あなたがたがラッパの音を聞くと、民は皆大声で叫び、町の城壁は

崩れ落ちる。民は皆、それぞれ敵に向かって攻め上る。
16 ヨシュアは主が命じられたとおりにすべてを行った。
17 そして七日目には、祭司たちは町を七回巡り、ラッパを吹き鳴らした。
18 そして第七ラウンドで、ヨシュアは民に言った。「叫べ。主は町全体を我々の手に渡されたのだ。」
19 都とその中にあるすべてのものは主によって呪われる。あなた方はその呪われたものから身を遠ざけなさい。さもないと、イスラエルの宿営を呪い、それを苦しめることになる。
20 しかし、銀、金、青銅、鉄はすべて主に聖別され、主の宝庫に入れられる。
21 人々はラッパを吹き鳴らし、大声で叫んだ。するとエリコの城壁は崩れ落ち、人々は皆、まっすぐに進み、町を占領し、その中にいたすべてのもの、男も女も、若者も老人も、牛も羊もろばも、剣の刃で滅ぼし尽くした。
22 そして彼らは町全体を火で焼き尽くした。銀と金と青銅と鉄の器だけは主の宝物庫に納めた。
23 その時、ヨシュアは誓って言った。「エリコを建てる者は呪われる。彼は長男でその基礎を築き、末息子でその門を建てるであろう。」
24 カルミの子、ザブディの子、ゼラの子、ユダの子であるアカンは、呪われた物に関して裏切りを行い、呪われた物の一部を取って天幕の中に隠した。そのため、主の怒りがイスラエルに対して燃え上がった。
25 その後、イスラエルの民がエリコを焼き払って戻ってきたとき、ヨシュアはアイを偵察し、アイと戦うために人々を送った。
26 そこで、彼らはアイに上って偵察し、戻ってきて言った。「すべての民をアイに上らせてはいけません。三千人ほどだけ上って町を攻めましょう。そこの男は少ないのですから。」
27 ヨシュアはそのようにした。イスラエルの子らのうち約三千人が彼と共に上って行き、アイの人々と戦った。
28 戦いはイスラエルに対して激しく、アイの人々はイスラエルの三十六人を打ち殺し、イスラエルの子らはアイの人々から逃げ去った。
29 ヨシュアはこのことを見て、衣を引き裂き、イスラエルの長老たちと共に主の前にひれ伏し、頭に塵をかぶった。
30 ヨシュアは言った、「主よ、なぜこの民をヨルダン川を渡らせたのですか。イスラエル人が敵に背を向けた後、私は何と言えばよいのでしょうか。」
31 それゆえ、この地の住民であるカナン人は皆このことを聞き、私たちを取り囲み、私たちの名を滅ぼすでしょう。
32 主はヨシュアに言われた。「なぜ顔を地に伏せるのか。立ち上がって立ち去りなさい。イスラエル人は罪を犯し、呪われたものを取ったのだ。彼らが呪われたものを自分たちの間から取り除かない限り、わたしはもはや彼らと共にいない。」
33 ヨシュアは立ち上がり、民を集め、主の命令に従ってウリムを持って来た。ユダ族は捕らえられ、カルミの子アカンも捕らえられた。
34 ヨシュアはアカンに言った。「わが子よ、何をしたのか私に話してくれ。」アカンは言った。「私は戦利品の中に、シナルの美しい衣と銀 200 シェケルと、重さ 50 シェケルの金の塊を見つけました。私はそれらを欲しがり、取ってしまいました。見よ、それらはすべて天幕の真ん中の土の中に隠してあります。」
35 ヨシュアは人を遣わして、アカンの天幕からそれらを取りに行かせ、ヨシュアのもとへ連れて行かせた。
36 ヨシュアはアカンとこれらの道具、そして彼の息子たちと娘たち、そして彼に属するすべての人々を連れて、アコルの谷へ行った。
37 ヨシュアはそこで火で彼らを焼き、イスラエル人は皆アカンを石で打ち、彼の上に石の山を築いた。それで彼はその場所をアコルの谷と名付けた。こうして主の怒りは鎮まり、その後ヨシュアはその町に来て、町と戦った。
38 主はヨシュアに言われた。「恐れるな、落胆するな。見よ、わたしはアイとその王とその民をあなたの手に渡した。あなたはエリコとその王にしたように彼らにもするであろう。ただ、その略奪品と家畜はあなたたちの獲物として取っておきなさい。その町の背後に伏兵を仕掛けなさい。」
39 そこでヨシュアは主の言葉に従い、戦士の中から三万人の勇敢な男を選び出し、彼らを派遣した。彼らは町を待ち伏せした。
40 彼は彼らに命じて言った、「あなたがたが私たちを見たら、私たちは策略を用いて彼らの前から逃げます。彼らは私たちを追ってきます。その時、あなたがたは待ち伏せから出て、町を占領しなさい。」そして彼らはそのようにした。
41 ヨシュアは戦い、町の人々はイスラエルに向かって出て行ったが、町の背後で待ち伏せしているとは知らなかった。
42 ヨシュアとイスラエル人は皆、彼らの前で疲れ果てたふりをして、巧妙に荒野の道を通って逃げた。
43 アイの人々は、イスラエル人を追跡するために町にいたすべての人々を集め、町から出て行きましたが、町から引き離されてしまい、一人も残らず、町を無防備なままにしてイスラエル人を追跡しました。
44 すると、待ち伏せしていた者たちはそれぞれの場所から立ち上がり、急いで町にやって来て、町を占領し、火を放った。アイの人々は引き返したが、町の煙が空高く立ち上り、彼らはどちらの方向にも退却する手段がなかった。
45 アイの人々は皆イスラエルの真ん中にいて、ある者はこちら側に、ある者はあちら側にいて、イスラエル人を打ち殺し、一人も残らなかった。

46 イスラエルの子らはアイの王メロシュを生け捕りにしてヨシュアのもとに連れて行き、ヨシュアは彼を木に吊るして殺した。
47 イスラエルの子らは町を焼き払った後、町に戻り、そこにいた者たちを剣で皆殺しにした。
48 アイの町で倒れた男と女の数は 1 万 2 千人であった。彼らは、主がヨシュアに告げられたとおり、町の家畜と戦利品だけを自分たちのものにした。
49 ヨルダン川のこちら側の王たち、カナンの王たちは皆、イスラエルの子らがエリコとアイに対して行った悪事を聞き、イスラエルと戦うために集結した。
50 ギベオンの住民だけが、イスラエル人と戦えば滅びてしまうことを非常に恐れていたので、彼らは狡猾な行動を取り、ヨシュアと全イスラエルの人々のところへ来て、彼らに言った。「私たちは遠い国から来ました。ですから、私たちと契約を結んでください。」
51 ギベオンの住民はイスラエルの子らを襲ったが、イスラエルの子らは彼らと契約を結び、平和を保った。会衆の長たちは彼らに誓いを立てた。しかしその後、イスラエルの子らは彼らが自分たちの隣人であり、自分たちの間に住んでいることを知った。
52 しかし、イスラエルの子らは彼らを殺さなかった。彼らは主にかけて誓いを立てていたので、彼らは薪を切り、水を汲む者となった。
53 ヨシュアは彼らに言った。「なぜ私を欺いて、このようなことをしたのか。」彼らは答えて言った。「あなたがアモリ人の王たち全員にされたことが、あなたのしもべたちにすべて伝えられたので、私たちは命の危険を感じ、このようなことをしたのです。」
54 その日、ヨシュアは彼らを木を切り、水を汲むように命じ、イスラエルのすべての部族に奴隷として分け与えた。
55 エルサレムの王アドニゼデクは、イスラエルの子らがエリコとアイに対して行ったすべてのことを聞くと、ヘブロンの王ホハム、ヤルムトの王ピラム、ラキシュの王ヤフィア、エグロンの王デベルに使いを送り、こう言った。
56 さあ、私のところに来て私を助けてください。そうすれば、イスラエルの子らと和平を結んだギベオンの住民とイスラエルの子らを打ち倒すことができます。
57 そして彼らは集結し、アモリ人の五人の王はすべての陣営と共に上って行った。それは海辺の砂のように数えきれないほどの大軍であった。
58 これらの王たちは皆やって来てギベオンの前に陣を張り、ギベオンの住民と戦い始めた。ギベオンの人々は皆ヨシュアに使いを送り、「急いでこちらに来て助けてください。アモリ人の王たちが皆集まって私たちと戦おうとしています」と言った。
59 ヨシュアと全ての戦闘民はギルガルから上って行き、ヨシュアは突然彼らに襲いかかり、この五人の王を大虐殺した。
60 主はイスラエルの民の前で彼らを混乱させ、イスラエルの民はギベオンで彼らを恐ろしい殺戮で打ち破り、ベト･ホロンを通ってマケダに至る道に沿って彼らを追い詰めたので、彼らはイスラエルの民の前から逃げ去った。
61 彼らが逃げている間に、主は天から彼らに雹を送られた。そして、イスラエルの子らの虐殺よりも、雹によって死んだ者のほうが多かった。
62 イスラエルの子らは彼らを追いかけ、道で彼らを打ち、進みながら彼らを打ち続けた。
63 彼らが敵を打ち倒しているうちに、日は暮れ始め、ヨシュアは民衆の目の前で言った。「太陽よ、ギベオンの上にとどまれ。月よ、アヤロンの谷にとどまれ。この民が敵に復讐を果たすまで。」
64 主はヨシュアの声を聞き入れられたので、太陽は天の真ん中にとどまり、36 分の間とどまり、月もとどまり、丸一日沈まなかった。
65 その日以前にも以後にも、主が人の声に耳を傾けられた日はなかった。主はイスラエルのために戦われたからである。

第 89 章

1 主がアモリ人をヨシュアとイスラエルの子らの手に渡された日に、ヨシュアはこの歌を語り、全イスラエルの民の前でこう言った。
2 主よ、あなたは偉大なことを成し遂げ、偉大な業を行われました。あなたに並ぶ者はだれでしょうか。私の唇はあなたの御名を歌います。
3 わが善、わが砦、わが高き塔よ、わたしはあなたに新しい歌を歌い、感謝をもってあなたに歌います。あなたはわたしの救いの力です。
4 地上のすべての王はあなたを賛美し、世界の君主はあなたに歌い、イスラエルの子らはあなたの救いを喜び、あなたの力を歌い賛美するでしょう。
5 主よ、私たちはあなたに信頼し、あなたは私たちの神であると言いました。あなたは私たちの避難所であり、敵に対する堅固な塔でした。
6 私たちはあなたに叫び求め、恥じることなく、あなたに信頼して救われました。私たちがあなたに叫んだとき、あなたは私たちの声を聞き、私たちの魂を剣から救い出し、私たちに恵みを示し、私たちに救いを与え、あなたの力で私たちの心を喜ばせてくださいました。
7 あなたは私たちの救いのために出て行き、御腕であなたの民を贖い、聖なる天から私たちに答えて、幾万もの民から私たちを救ってくださいました。
8 太陽と月は天に静止し、あなたは怒りをもって私たちの虐げる者たちに立ち向かい、彼らに裁きを下されました。
9 地上のすべての君主は立ち上がり、諸国の王たちは集結したが、彼らはあなたの存在に動じず、あなたの戦いを望んだ。

10 あなたは怒りをもって彼らに立ち向かい、彼らに
あなたの憤りを下し、怒りをもって彼らを滅ぼし、
あなたの心の中で彼らを断ち切った。
11 諸国はあなたの怒りによって滅ぼされ、王国はあ
なたの憤りによって衰退し、あなたは怒りの日に王
たちを傷つけました。
12 あなたは彼らにあなたの怒りを注ぎ、あなたの激
しい憤りが彼らを捉え、あなたは彼らの罪を彼らに
返し、彼らを彼らの悪行の中で滅ぼしました。
13 彼らは罠を仕掛けた。彼らはその罠に落ちた。隠
れていた網に足が引っかかった。
14 あなたの手は、剣によって地を支配し、腕によっ
て都に住み着いたと言うすべての敵に対して備えら
れていた。あなたは彼らの顔を恥で満たし、彼らの
角を地に打ち倒し、あなたの怒りによって彼らを恐
れさせ、あなたの憤りによって彼らを滅ぼした。
15 あなたの嵐が彼らの上に吹き荒れたので、地は震
え、揺れ動いた。あなたは彼らの魂を死から遠ざけ
ず、彼らの命を墓に落とした。
16 あなたは嵐で彼らを追いかけ、旋風で彼らを滅ぼ
し、雨を雹に変え、彼らを深い穴に落とし、二度と
立ち上がれないようにした。
17 彼らの死骸は、道の真ん中に捨てられたゴミのよ
うだった。
18 彼らはあなたの怒りによって滅ぼされ、あなたは
力によってあなたの民を救われた。
19 それゆえ、私たちの心はあなたにあって喜び、私
たちの魂はあなたの救いにあがめます。
20 私たちの舌はあなたの力について語り、あなたの
驚くべき御業を歌い、賛美します。
21 あなたは私たちを敵から救い出し、私たちに立ち
向かう者たちから私たちを解放し、私たちの前から
彼らを滅ぼし、私たちの足の下に踏みにじられまし
た。
22 主よ、こうしてあなたの敵は皆滅び、悪人は風に
吹き飛ばされるもみ殻のようになり、あなたの愛す
る者は水辺に植えられた木のようになるでしょう。
23 こうしてヨシュアと彼と共にいたイスラエル人は
皆、すべての王を打ち破り、一人も残さなかった後、
ギルガルの陣営に戻った。
24 すると、五人の王は戦場からそれぞれ徒歩で逃げ
出し、洞窟に身を隠した。ヨシュアは戦場で彼らを
探したが、見つけることができなかった。
25 その後、ヨシュアにこう告げられた。「王たちは
見つかりました。見よ、彼らは洞窟の中に隠れてい
ます。」
26 ヨシュアは言った。「洞窟の入り口に人を配置し
て、彼らが逃げ出さないように見張らせなさい。」
イスラエルの子らはそのようにした。
27 ヨシュアはイスラエル全土に呼びかけ、戦いの将
校たちに言った。「これらの王たちの首に足を乗せ
なさい。」そしてヨシュアは言った。「主はあなた
たちの敵すべてにそのようにされるであろう。」
28 その後、ヨシュアは王たちを殺して洞窟に投げ込
み、洞窟の入り口に大きな石を置くように命じた。
29 その後、ヨシュアはその日一緒にいたすべての民
と共にマケダに行き、剣でそれを打ち滅ぼした。
30 彼はその町の住民とそこに属するすべての人々を
滅ぼし尽くし、エリコにしたように、その王と民に
も同じようにした。
31 彼はそこからリブナへ行き、リブナと戦った。主
はリブナを彼の手に渡された。ヨシュアは剣でリブ
ナとその住民を滅ぼし、エリコにしたようにリブナ
とその王にも同じようにした。
32 そこからヨシュアはラキシュへ向かい、ラキシュ
と戦った。ガザの王ホラムはラキシュの人々を助け
ようと上って来たが、ヨシュアは彼とその民を打ち
滅ぼし、一人残らず滅ぼした。
33 ヨシュアはラキシュとその住民すべてを捕らえ、
リブナにしたのと同じようにラキシュを滅ぼした。
34 ヨシュアはそこからエグロンへ行き、そこも占領
し、剣でそこに住む者すべてを滅ぼした。
35 そこからヘブロンへ行き、ヘブロンと戦ってこれ
を占領し、完全に滅ぼした。そして、イスラエル全
軍と共にデビルへ戻り、デビルと戦って剣でこれを
打ち滅ぼした。
36 彼はその町の住民を一人残らず滅ぼし、エリコに
したように、その町とその王にも同じようにした。
37 ヨシュアはカデシュ・バルネアからアザに至るまで
のアモリ人の王たちを皆打ち破り、彼らの国をたち
まち征服した。主がイスラエルのために戦われたか
らである。
38 ヨシュアは全イスラエルと共にギルガルの陣営に
着いた。
39 その時、ハツォルの王ヤビンは、ヨシュアがアモ
リ人の王たちにしたすべてのことを聞いたので、ミ
ディアンの王ヨバト、シムロンの王ラバン、アクシ
ャフの王イエファル、そしてアモリ人のすべての王
たちに使いを送り、こう言った。
40 急いで私たちのところに来て助けてください。イ
スラエルの子らが私たちに襲いかかり、アモリ人の
他の王たちにしたように私たちにも危害を加える前
に、彼らを打ち倒しましょう。
41 そして、これらの王たちは皆、ハゾルの王ヤビン
の言葉に耳を傾け、17 人の王とその民は海辺の砂の
ように多く、馬と戦車も数えきれないほどで、陣営
を率いて出陣し、メロムの水辺に陣を張り、イスラ
エルと戦うために集結した。
42 主はヨシュアに言われた、「彼らを恐れるな。明
日のこの時間頃には、わたしは彼らを皆殺しにして
あなたの前に引き渡す。あなたは彼らの馬を屠り、
彼らの戦車を火で焼き尽くすであろう。」
43 するとヨシュアは全ての兵士と共に突然彼らに襲
いかかり、彼らを打ち破った。彼らはヨシュアの手
に落ちた。主が彼らをイスラエルの子らの手に渡さ
れたからである。

44 そこでイスラエルの子らは、これらの王たちとその陣営を追撃し、彼らを打ち破って一人残らず滅ぼした。ヨシュアは主が彼に告げられたとおりに彼らに対処した。
45 その時、ヨシュアはハゾルに戻り、剣でそこを攻め、そこに住む者を一人残らず滅ぼし、火で焼き尽くした。そしてハゾルからシムロンへ行き、そこを攻め、完全に滅ぼした。
46 そこから彼はアクシャフへ行き、シムロンにしたのと同じようにアクシャフにもした。
47 そこから彼はアドラムへ行き、そこに住む民を皆打ち殺した。彼はアドラムに対しても、アクシャフとシムロンにしたのと同じようにした。
48 そして彼はそこを離れ、打ち破った王たちのすべての町々へ行き、残っていた民をすべて打ち破り、彼らを完全に滅ぼした。
49 イスラエル人は戦利品と家畜だけを獲物として持ち帰ったが、人間を殺したときは、一人も生かしておかなかった。
50 主がモーセに命じられたとおりに、ヨシュアとイスラエルの民は皆それに従い、何一つ失敗しなかった。
51 こうしてヨシュアとイスラエルの子らは主が命じられたとおりにカナンの地全体を攻め、その王たち、すなわち 31 人の王を討ち、イスラエルの子らはその国全体を奪った。
52 ヨルダン川の向こう側にあるシホンとオグの王国は、モーセが多くの都市を滅ぼしたものであり、モーセはそれらをルベン族とガド族とマナセ族の半分に与えた。
53 ヨシュアはヨルダン川の西側にいたすべての王を打ち破り、その地をイスラエルの九部族と半部族に相続地として与えた。
54 ヨシュアは五年間これらの王たちと戦い続け、彼らの町々をイスラエル人に与えた。こうして、アモリ人とカナン人の町々は戦いから解放され、平安が訪れた。

第 90 章

1 イスラエルの子らがヨルダン川を渡ってから五年目、イスラエルの子らがカナン人との戦いを終えて休んだとき、エドムとキッティムの子らの間で激しい戦いが起こり、キッティムの子らはエドムと戦った。
2 キッティムの王アビアヌスは、その年、すなわち彼の治世の３１年に、キッティムの子らの勇士たちの大軍を率いて出陣し、エサウの子らと戦うためにセイルへ向かった。
3 エドムの王ハダドは彼の報告を聞き、大勢の民と強力な軍勢を率いて彼を迎え撃ち、エドムの野で彼と戦った。
4 キッティムの手はエサウの子らに打ち勝ち、キッティムの子らはエサウの子らのうち 2 万 2 千人を殺し、エサウの子らは皆、彼らの前から逃げ去った。
5 キッティムの子らは彼らを追いかけ、彼らの前を走っていたエドムの王ハダドに追いつき、彼を生け捕りにしてキッティムの王アビアヌスのもとへ連れて行った。
6 アビアヌスは彼を殺害するよう命じ、エドムの王ハダドは治世 48 年目に死んだ。
7 キッティムの子らはエドムを追撃し続け、大虐殺で彼らを打ち破り、エドムはキッティムの子らの支配下に入った。
8 キッティムの子らはエドムを支配し、エドムはその日からキッティムの子らの支配下に入り、一つの王国となった。
9 その時から彼らは頭を上げることができなくなり、彼らの王国はキッティムの子らと一つになった。
10 アビアヌスはエドムに役人を配置し、エドムのすべての子らはアビアヌスの臣下となり、貢納を納めるようになった。そしてアビアヌスは自分の土地であるキッティムへ帰った。
11 彼は戻ってきて、統治を再開し、王の住居として広々とした要塞化された宮殿を建て、キッティムの子らとエドムをしっかりと統治した。
12 その頃、イスラエルの民がカナンの民とアモリ人を皆追い払った後、ヨシュアは年老いていた。
13 主はヨシュアに言われた、「あなたは年老いて、人生も長く、まだ領有されていない土地が大部分残っている。」
14 そこで、この土地を九つの部族とマナセ族の半部族に相続地として分け与えなさい。ヨシュアは立ち上がり、主が彼に告げられたとおりにした。
15 そして彼は、イスラエルの部族に、その区分に応じて全地を相続地として分け与えた。
16 しかし、レビ族には相続地は与えられなかった。主の捧げ物が彼らの相続地であり、それは主がモーセを通して彼らについて語られたとおりである。
17 ヨシュアは、主がモーセを通して語られたとおり、ヘブロン山をエフネの子カレブに、兄弟たちよりも一等多く与えた。
18 それゆえ、ヘブロンは今日までカレブとその子孫の相続地となった。
19 そしてヨシュアは、主が命じられたとおり、全地をくじでイスラエルの民に相続地として分け与えた。
20 イスラエルの子らは、主がモーセに命じられたとおりに、自分たちの相続地からレビ人に町々を与え、家畜のための郊外地や土地を与え、大小を問わずくじで土地を分けた。
21 そして彼らは自分たちの境界に従って土地を相続しに行き、イスラエルの子らはヌンの子ヨシュアに彼らの間で相続地を与えた。
22 主の言葉によって、人々は彼が求めた町、エフライム山地のティムナト･セラクを彼に与え、彼はその町を建ててそこに住んだ。
23 これらは祭司エラゼルとヌンの子ヨシュアと部族の父祖たちが、シロで主の前で幕屋の入り口でくじ

によってイスラエルの子らに分け与えた相続地であり、彼らは土地の分割をやめた。
24 主はイスラエル人にその地を与え、彼らは主が彼らに告げられたとおり、また主が彼らの先祖に誓われたとおりに、その地を所有した。
25 主はイスラエル人に、周囲のすべての敵から安息を与えられた。彼らに立ち向かう者は一人もいなかった。主はすべての敵を彼らの手に渡された。主がイスラエルの子らに語られたすべての良いことは、一つも成就しなかったものはなかった。まことに、主はすべてを成し遂げられた。
26 ヨシュアはイスラエルのすべての子らを呼び集め、彼らを祝福し、主にお仕えするように命じ、その後彼らを送り出した。彼らはそれぞれ自分の町へ、またそれぞれ自分の相続地へと帰っていった。
27 イスラエルの子らはヨシュアの治世の間ずっと主にお仕えし、主は彼らを周囲のあらゆる脅威から守り、彼らは町々に安全に住んだ。
28 その頃、キッティムの王アビアヌスが、治世 38 年目、すなわちエドムを治めて 7 年目に亡くなった。人々は彼を、彼が自分のために建てた場所に葬り、ラティヌスが代わりに 50 年間統治した。
29 そして、彼の治世中に彼は軍隊を率いて、ブリタニアとケルナニアの住民、すなわちヤワンの子エリシャの子孫と戦い、彼らに勝利して彼らを貢納させた。
30 するとラティヌスは、エドムがキッティムの支配から反乱を起こしたことを聞き、彼らのもとへ行って打ち破り、征服し、キッティムの子らの支配下に置いた。こうしてエドムは、キッティムの子らと永遠に一つの王国となった。
31 そして、エドムには長い間王がいなかったので、キッティムの子孫とその王が統治していた。
32 イスラエルの子らがヨルダン川を渡ってから２６年目、すなわちイスラエルの子らがエジプトを出てから６６年目のとき、ヨシュアは年老いており、当時１０８歳であった。
33 主がイスラエル人全員に周囲の敵から安息を与えられた後、ヨシュアはイスラエルの長老たち、裁判官たち、役人たちを呼び集め、イスラエルの長老たちと裁判官たちに言った。「見よ、私は年老いて、歳も重ねている。あなたがたは、主があなたがたの前から追い払われたすべての国々に対して何をしたかを見た。あなたがたのために戦ってくださったのは主だからである。」
34 それゆえ、今、あなたがたはモーセの律法のすべての言葉を守り行い、右にも左にもそれから離れず、この地に残された諸国民の中に入らず、彼らの神々の名を口にせず、今日までそうしてきたように、あなたがたの神、主に堅くつき従いなさい。
35 ヨシュアはイスラエルの民に、生涯を通して主にお仕えするようにと強く勧めた。
36 するとイスラエル人は皆言った、「私たちは、私たちの神、主を、私たちの生涯にわたって、私たち自身も、私たちの子孫も、私たちの子孫も、私たちの末裔も、永遠に仕えます。」
37 その日、ヨシュアは民と契約を結び、イスラエルの子らを送り出した。彼らはそれぞれ自分の相続地と町へ帰っていった。
38 その頃、イスラエルの子らは町々に安全に住んでいた。彼らはエジプトから連れてきた先祖の部族の棺を、それぞれ自分の子孫の相続財産として葬った。ヤコブの十二人の息子たちも、イスラエルの子らはそれぞれ自分の子孫の所有物として葬った。
39 これらは、イスラエルの子らがエジプトから連れ出したヤコブの十二人の息子を葬った町々の名前である。
40 そして彼らはルベンとガドをヨルダン川のこちら側、モーセが彼らの子孫に与えたロミアに葬った。
41 シメオンとレビは、シメオンの子孫に与えられたマウダの町に葬られ、その町の郊外はレビの子孫のためのものであった。
42 そして彼らはユダをベツレヘムの向かいにあるベニヤミンの町に葬った。
43 イッサカルとゼブルンの骨は、彼らの子孫に割り当てられたシドンに葬られた。
44 ダンは自分の子らの町エシュタエルに葬られ、ナフタリとアシェルはカデシュ•ナフタリに葬られた。それぞれが自分の子らに与えた場所に葬られた。
45 そして彼らはヨセフの骨をシェケムに葬った。そこはヤコブがハモルから買い取った畑の一部であり、ヨセフの相続地となった場所であった。
46 そして彼らは、ベニヤミン族の子孫に与えられたエルサレムのエブス人の向かいにベニヤミンを葬った。イスラエルの子らは、それぞれ自分の子孫の町に父を葬った。
47 2 年後、ヌンの子ヨシュアは 110 歳で死んだ。ヨシュアがイスラエルを裁いた期間は 28 年で、イスラエルは生涯を通して主にお仕えした。
48 ヨシュアのその他の出来事、彼の戦い、彼がイスラエルを叱責した際の叱責、彼が彼らに命じたすべてのこと、そして彼の時代にイスラエルの子らが所有していた町々の名前は、見よ、ヨシュアがイスラエルの子らに語った言葉の書と、モーセとヨシュアとイスラエルの子らが書き記した主の戦いの書に記されている。
49 イスラエルの子らは、ヨシュアを彼の相続地の境界にあるティムナト•セラフに葬った。そこはエフライム山地にあり、彼に与えられた土地であった。
50 その頃、アロンの子エラゼルが死に、人々は彼を、エフライム山地にある、彼の子ピネアスに与えられた丘に葬った。

第 91 章

1 その時、ヨシュアの死後もカナンの民はまだその地に住んでおり、イスラエル人は彼らを追い出すことを決意した。

2 イスラエルの子らは主に尋ねて言った。「誰が最初
にカナンの地へ上って行って、彼らと戦うべきでし
ょうか。」主は言われた。「ユダが上って行く。」
3 ユダの子らはシメオンに言った。「私たちと一緒に
私たちの分隊に入って上って行き、カナンの民と戦
いましょう。私たちもあなたと一緒にあなたの分隊
に入って上って行きます。」そこでシメオンの子ら
はユダの子らと一緒に行った。
4 ユダの子らは上って行ってカナン人と戦った。主は
カナン人をユダの子らの手に渡された。彼らはベゼ
クで一万人の兵でカナン人を打ち破った。
5 そして彼らはベゼクでアドニベゼクと戦った。アド
ニベゼクは彼らの前から逃げたが、彼らは彼を追い
かけ、捕らえて、彼の親指と足の親指を切り落とし
た。
6 アドニベゼクは言った、「70 人の王が親指と足の
親指を切り落とされて、私の食卓の下で食べ物を集
めた。私がしたように、神は私に報いてくださった
のだ」そして彼らは彼をエルサレムに連れて行き、
彼はそこで死んだ。
7 シメオンの子らはユダの子らと共に行き、剣でカナ
ン人を打ち殺した。
8 主はユダの子らと共におられ、彼らはその山を所有
した。ヨセフの子らはベテル（ルズとも呼ばれる）
に上ったが、主は彼らと共におられた。
9 ヨセフの子らはベテルを偵察し、見張りの者たちは
町から出てくる男を見つけ、彼を捕まえて言った。
「町の入り口を教えてくれれば、親切にしてあげよ
う。」
10 その男は彼らに町の入り口を示し、ヨセフの子ら
は町に入って剣で町を攻めた。
11 彼らはその男とその家族を送り出し、彼はヒッタ
イト人のところへ行き、町を建て、その町をルズと
名付けた。こうしてイスラエル人は皆、それぞれの
町に住み、イスラエルの子らもそれぞれの町に住み、
イスラエルの子らはヨシュアの生涯の間、またヨシ
ュアの後に長生きした長老たちの生涯の間、主にお
仕えし、主がイスラエルのために行われた偉大な御
業を見た。
12 そして、ヨシュアの死後、長老たちは 17 年間イス
ラエルを裁いた。
13 また、すべての長老たちもイスラエルの民を率い
てカナンの民と戦い、主はカナンの民をイスラエル
の民の前から追い払い、イスラエルの民を彼らの土
地に住まわせた。
14 そして、主はアブラハム、イサク、ヤコブに語ら
れたすべての言葉と、彼らとその子孫にカナンの地
を与えると誓われたすべての約束を果たされた。
15 主はイスラエルの子らに、彼らの先祖に誓われた
とおり、カナンの地全体を彼らに与え、彼らを周囲
の人々から守り、イスラエルの子らは町々に安心し
て住んだ。
16 主は永遠に祝福されますように。アーメン、アー
メン。
17 強くなりなさい。主を信頼するすべての者の心は、
勇気に満ちていなさい。終わり。